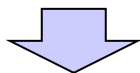


(3) 二つ岩の調査結果

二つ岩 空中写真判読

一部修正 (H27/5/15審査会合)

- 急勾配の沢の出口に発達した扇状地様の堆積地形が認められる。
- 対象範囲を含む急崖部については、火山岩類が露岩し、滑落崖等の地すべりを示唆する状況は認められない。
- 二つ岩周辺は、国道229号線の弁慶トンネルの坑口に位置し、施工実績から地すべりを示唆する地質は認められない。
- 前面位置の水深は浅い（約20m）。



- 沖積錐であり、地すべりではないと判断される。

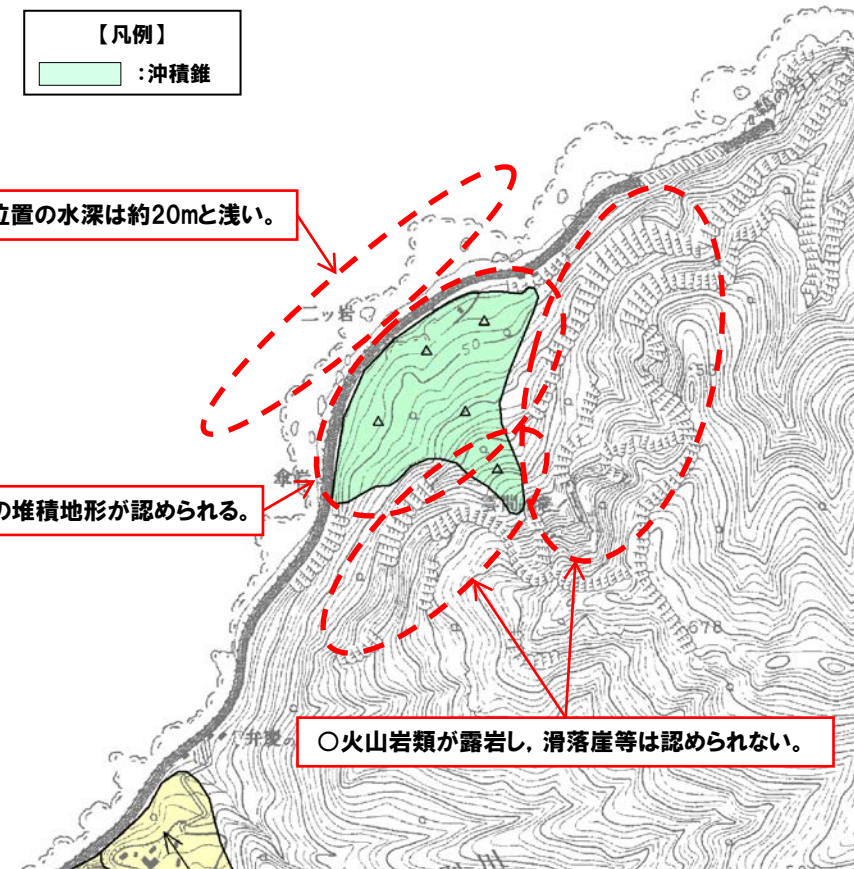
【凡例】

: 沖積錐

○前面位置の水深は約20mと浅い。

○扇状地様の堆積地形が認められる。

○火山岩類が露岩し、滑落崖等は認められない。



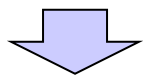
空中写真判読結果

(3) 二つ岩の調査結果

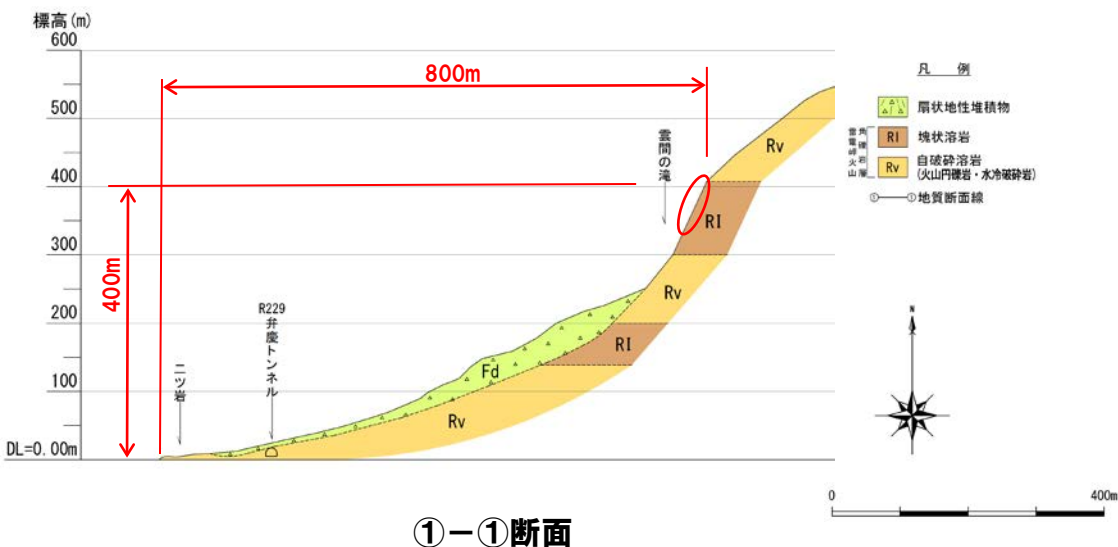
二つ岩 地表地質踏査 (1/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)

- 二つ岩周辺は海岸線に沿って比高100m程度の急崖が連続し、二つ岩付近では雲間の滝に代表される急崖から供給された堆積物が、扇状地地形を形成している。
- 扇状地基部の急崖には、新第三紀鮮新世の雷電岬火山角礫岩層の塊状溶岩及び自破碎溶岩が露岩しており、それらには地すべりを示唆する状況は認められない。
- 二つ岩付近では地すべり地形は認められず、防災科学技術研究所(2010)の地すべり地形は、扇状地及び露岩した急崖と考えられる。
- 仮に雲間の滝上流での岩盤崩壊を考慮しても、海岸までの距離は崩壊高さ(約400m)の2倍程度を有しており、崩壊堆積物の分布範囲はほぼ陸域に限られると考えられる。



- 地表地質踏査の結果も踏まえたうえで、二つ岩については地すべり地形ではないことから、数値シミュレーションによる定量的評価対象外と判断される。



(3) 二つ岩の調査結果

二つ岩 地表地質踏査 (2/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)

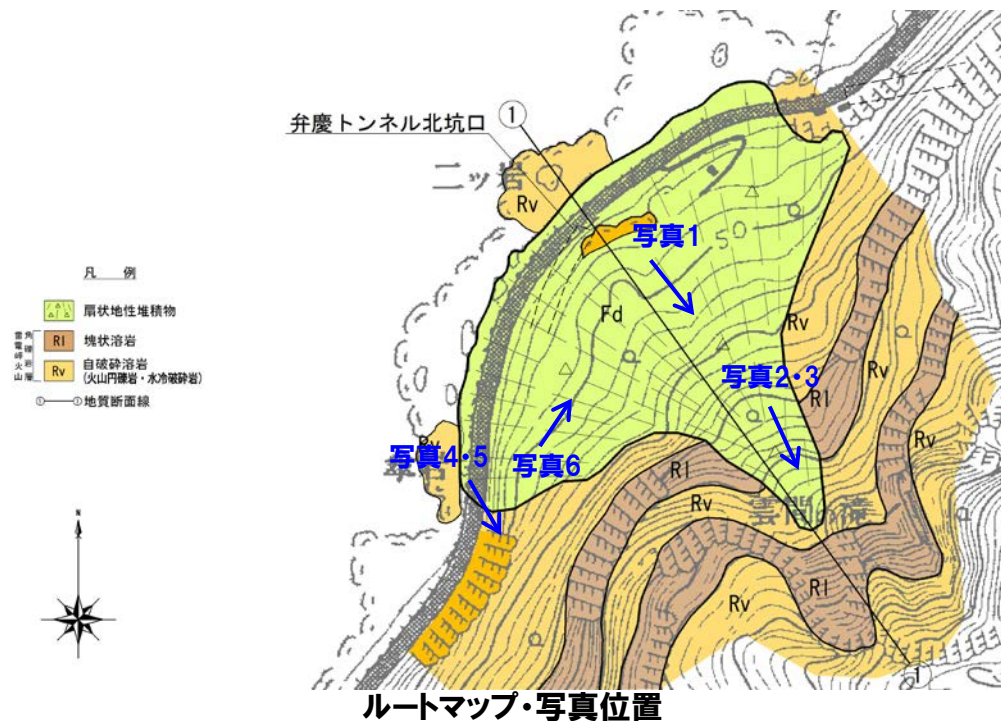


写真2: 雲間の滝付近の急崖。
柱状節理の発達した堅硬な溶岩が露岩し、滑落崖等の地すべりを示唆する状況は認められない。



写真3: (写真2の拡大)
柱状節理の発達した堅硬な溶岩が露岩し、滑落崖等の地すべりを示唆する状況は認められない。



写真1: 前面の扇状地様の沖積錐の背後に雷電火山岩層の火山岩が急崖を形成している。

(3) 二つ岩の調査結果

二つ岩 地表地質踏査 (3/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)

- 二つ岩南側の雲間の滝周辺の急崖部も露岩しており堅硬な火山岩が認められる。
- また、前面の地形にも遷急線や急崖は認められない。



写真4:二つ岩北側の急崖部。自破碎溶岩の露頭が認められる。



写真5: (写真4の拡大) 自破碎溶岩の状況。滑落崖等は認められない。



写真6:沖積錐の緩斜面部(10~15°)。遷急線や急崖は認められない。

(3) 二つ岩の調査結果

二つ岩の調査結果（まとめ）

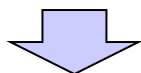
一部修正（H27/5/15審査会合）

【空中写真判読】

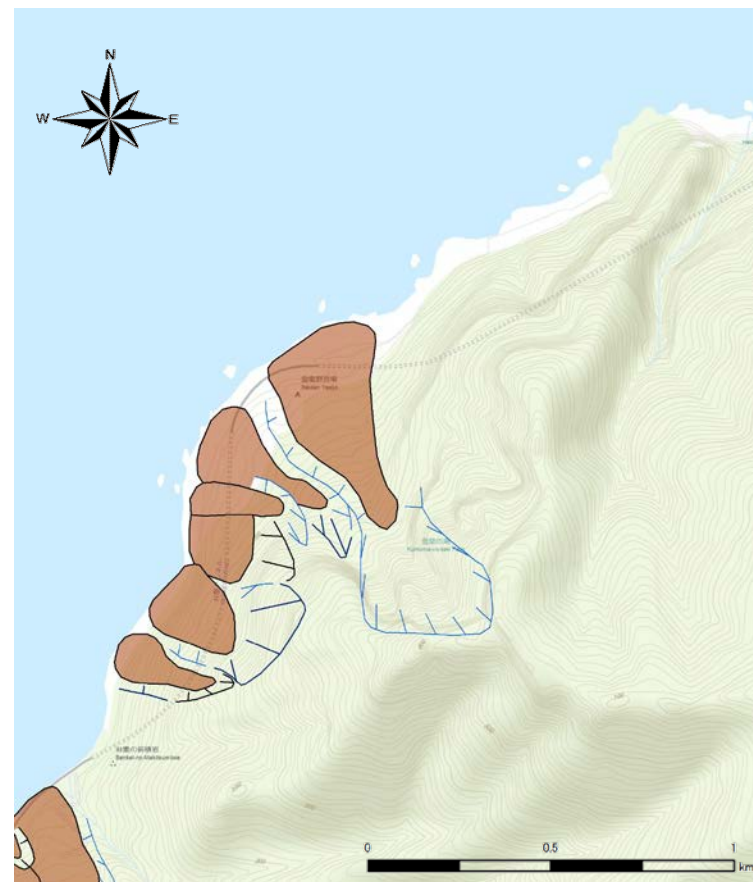
○前面位置の水深は約20mと浅く、急勾配の沢の出口に発達した扇状地様の堆積地形が認められることから、沖積錐であり、地すべり地形ではないと判断した。

【地表地質踏査結果】

○防災科学技術研究所（2010）に示される滑落崖付近において、火山岩類が露岩し、滑落崖等の地すべりを示唆するようなものは認められない。



○空中写真判読及び地表地質踏査結果を踏まえ、敷地に影響のある津波を発生させる可能性がある津波として、二つ岩は選定しない。



地すべり地形位置図（二つ岩）
（防災科学技術研究所（2010）より引用）

余白

(4) 弁慶岩の調査結果

評価対象の選定 弁慶岩

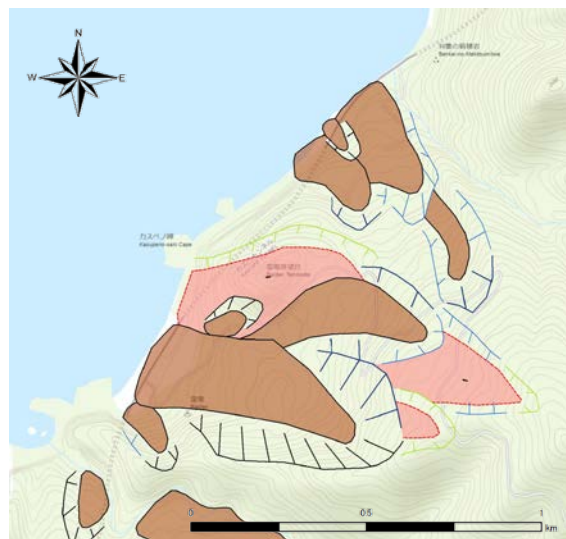
一部修正 (H27/5/15審査会合)

【空中写真判読結果】

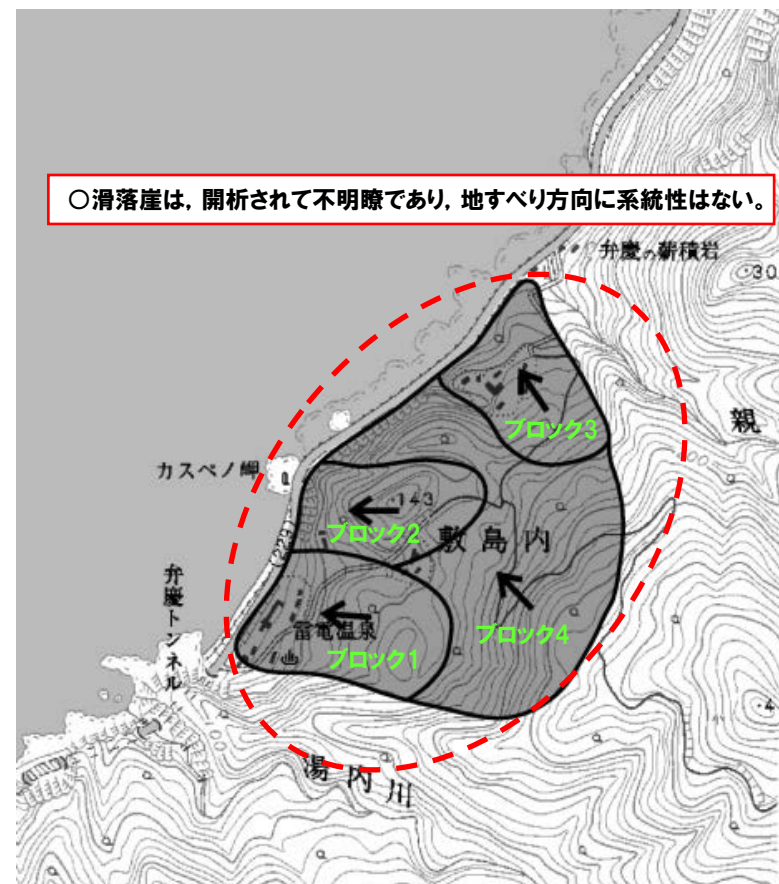
- 地すべり地形は4箇所のブロックから構成される。
- 滑落崖は、開析されて不明瞭であり、地すべり方向に系統性はない。

【地表地質踏査結果】

- ブロック2・4は、海岸部に堅硬な火砕岩類が連続して分布し、地すべりを示唆する状況は認められない。
- ブロック1・3は、地すべり地形の特徴を確認した。



地すべり地形位置図（弁慶岩）
（防災科学技術研究所（2010）より引用）



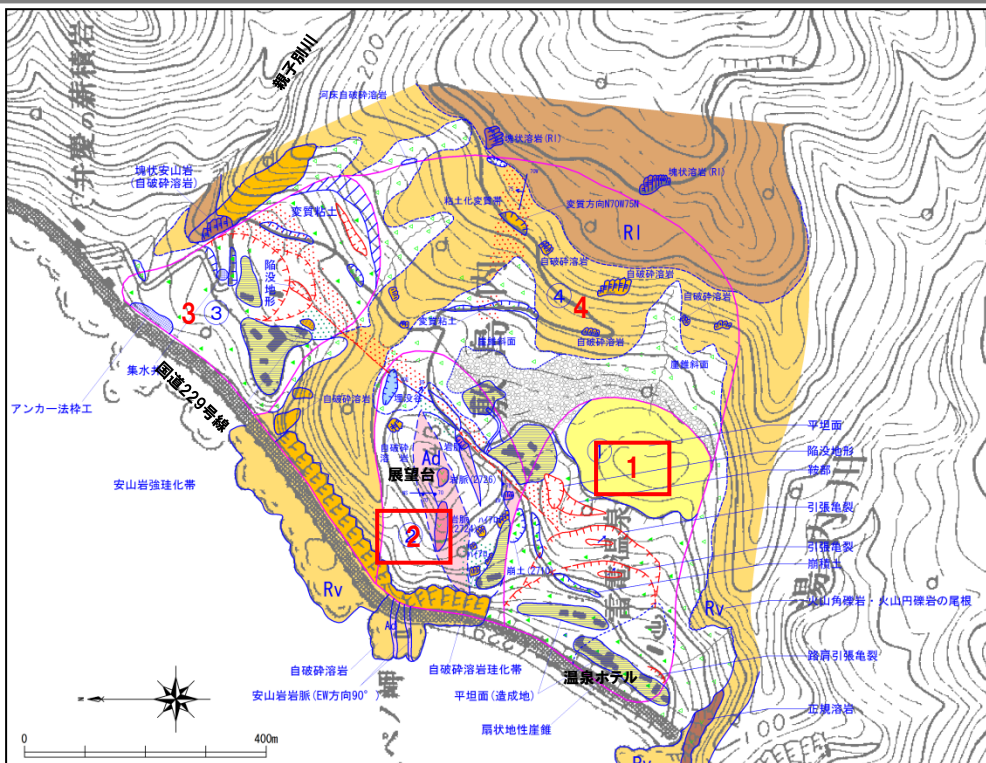
空中写真判読結果（弁慶岩）

- 空中写真判読結果及び地表地質踏査を踏まえ、ブロック1・3の崩壊を想定し、敷地に影響のある津波を発生させる可能性がある津波として、弁慶岩を選定した。
- なお、安全側の評価となるブロック1・3が一括崩壊した場合を想定した。

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (1/9)

再掲 (H27/5/15審査会合)



赤字:ブロック

【凡例】

地質記号

地形記号

| | | | |
|--|------------------|--|-------------|
| | 地すべり崩積土 | | 平坦面 |
| | 崖堆積物 | | 平坦面(造成地) |
| | 塊状溶岩落石堆 | | 鞍部・コル |
| | 塊状溶岩 | | 引張亀裂・分離丘 |
| | 自破砕溶岩・火山閃岩・水砕破砕岩 | | 段差 |
| | 安山岩岩脈 | | 陥没地形 |
| | 粘土化変質帯 | | 滑落崖 |
| | 珪化変質帯 | | 法面 |
| | 断層(推定含む) | | 露岩地点(塊状溶岩) |
| | 片理面の走向・傾斜 | | 露岩地点(自破砕溶岩) |
| | 変質帯の走向・傾斜 | | 露岩地点(安山岩岩脈) |
| | | | 埋没谷 |
| | | | 沢筋 |
| | | | 地すべり想定ブロック |

弁慶岩周辺ルートマップ

○弁慶岩は、地表地質踏査結果から4ブロックに区分され、それぞれのブロックの特徴は以下(次頁も含む)のとおりである。

【ブロック1】

- 舌端部(海岸部) : 国道229号法面は、植生被覆があり基盤の分布は不明であるが、擁壁工に変状は認められない。
- 舌端部～中腹部 : 標高20m～30mの緩斜面に造成された温泉ホテル背後の道路に古い引張亀裂が認められる。
- 北側方崖部 : 温泉ホテルと展望台の中間にある沢状の鞍部で画されており、鞍部北側には安山岩脈及び自破砕溶岩が認められる。
- 南側方崖部 : 南北に張り出した尾根部と前面の崖錐堆積物の斜面からなり、段差や陥没等の地すべりを示唆する地形の発達は認められない。
- 背後崖部 : 標高110m付近の平坦面で、安山岩溶岩由来の落石堆からなる斜面が形成されており滑落崖等は認められないが、平坦面より前面の斜面には引張亀裂が2列、陥没地形が1箇所確認されることから、地すべりは標高110m付近より海側の斜面に限定される。

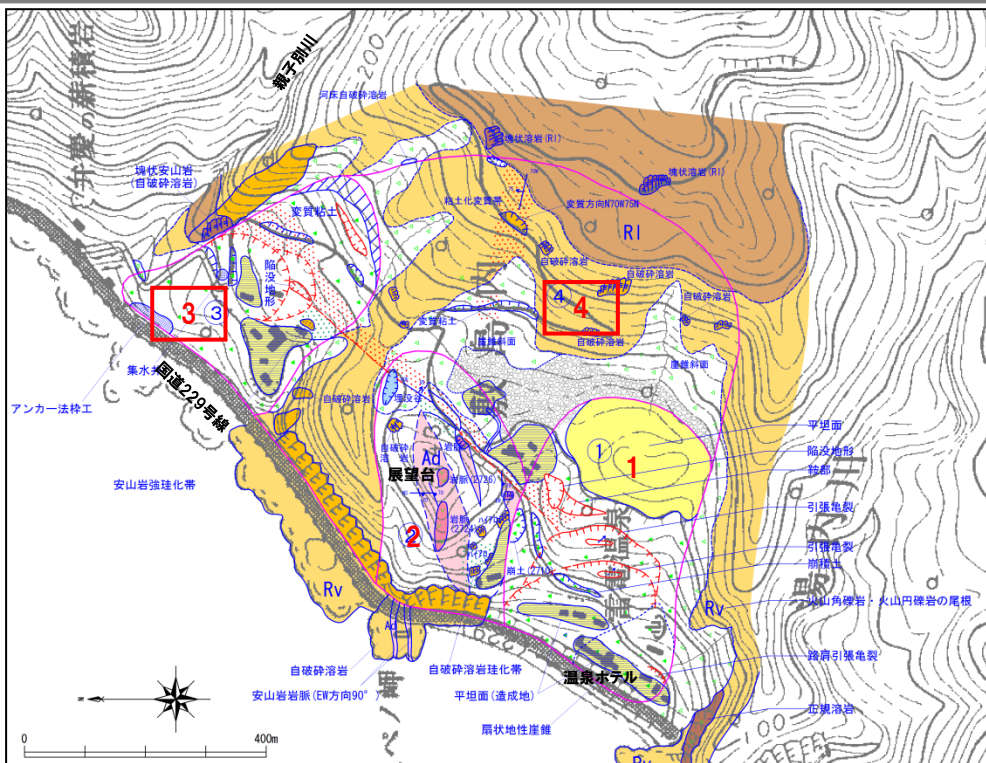
【ブロック2】

- 舌端部(海岸部) : 地すべり先端部に相当する海岸部汀線付近では自破砕溶岩、山腹から山頂にかけての急崖斜面では自破砕溶岩及び堅硬緻密な安山岩岩脈が連続露頭し、地すべりを示唆するせん断面や弱線は認められない。
- 北側方崖部 : 閉塞した谷地形で、両岸には基盤岩、側方崖先端部の海食崖には基盤の自破砕溶岩の連続露頭が分布し、地すべりを示唆するすべり面は認められない。
- 南側方崖部 : 展望台～海食崖にかけて自破砕溶岩の連続露頭が分布し、地すべりを示唆するすべり面は認められない。
- 背後崖部 : 展望台背後の鞍部で、変質帯の分布に沿って発達することや、脆弱な粘土化変質と岩質が硬化する珪化変質の両方の特徴を有すること等から、基盤の岩質を反映した差別浸食により形成された地形と判断される。

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (2/9)

再掲 (H27/5/15審査会合)



赤字:ブロック

【凡例】

地質記号

地形記号

| | | | |
|--|-------------------|--|-------------|
| | 地すべり崩積土 | | 平坦面 |
| | 崖堆積物 | | 平坦面(造成地) |
| | 塊状溶岩落石堆 | | 鞍部・コル |
| | 塊状溶岩 | | 段差 |
| | 自破碎溶岩・火山円礫岩・水砕破砕岩 | | 陥没地形 |
| | 安山岩岩脈 | | 滑落崖 |
| | 粘土化変質帯 | | 法面 |
| | 珪化変質帯 | | 露岩地点(塊状溶岩) |
| | 断層(推定含む) | | 露岩地点(自破碎溶岩) |
| | 片理面の走向・傾斜 | | 露岩地点(安山岩岩脈) |
| | 変質帯の走向・傾斜 | | 埋没谷 |
| | | | 沢筋 |
| | | | 地すべり想定ブロック |

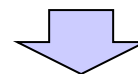
弁慶岩周辺ルートマップ

【ブロック3】

- 舌端部 : 国道229号の法面で、アンカー付き法枠工等の斜面对策が施工されており、北側は開析された緩斜面、南側は段丘状の急斜面となるが、中腹部にかけて地すべり地形の発達が認められる。
- 北側方崖部: 親子別川左岸斜面で、崩積土が分布する。
- 南側方崖部: 谷地形～鞍部で、南側斜面には自破碎溶岩が分布し、ブロック側は崖錐堆積物に覆われている。
- 背後崖部 : 国道229号法面は、擁壁工に変状は認められないものの、中腹から背後にかけて、明瞭な段差地形・陥没地形等の地すべり特有の微地形が発達する。

【ブロック4】

- 本ブロックは、ブロック1～3の背後のブロックで、ブロック2を含む斜面中央部が安山岩岩脈群を基盤とした非地すべり地域であること、山頂部が塊状溶岩の末端であり、滑落崖ではないことから、地すべり地形ではないと判断される。

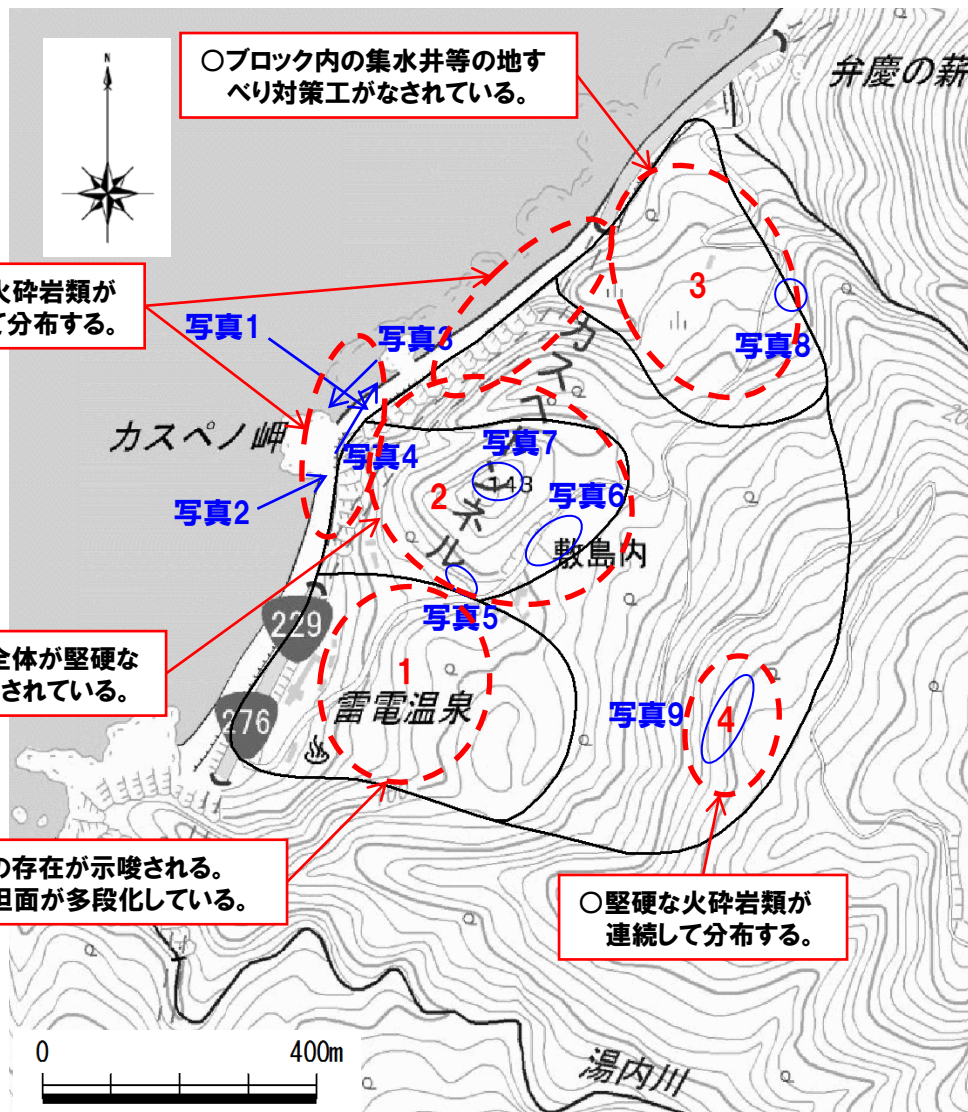


○地表地質踏査結果より、弁慶岩地域の地すべりはブロック1・3が該当し、ブロック2・4は地すべりではないと判断される。

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (3/9)

再掲 (H27/5/15審査会合)



ルートマップ・写真位置

赤字:地すべりブロック
青字:写真位置

【ブロック1】

- 過去においてブロック上部の平坦面に池の存在が示唆される。
- 平坦面が多段化している。

【ブロック2】

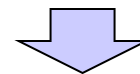
- カスペノ岬付近の海岸部には、堅硬な火砕岩類が連続して分布し、ブロックの地すべりを示唆する状況は認められない。
- ブロック全体が堅硬な安山岩溶岩及び火砕岩で形成されており、貫入岩の可能性も推定される。

【ブロック3】

- 北側の尾根部は、堅硬な安山岩溶岩で形成されている。
- しかし、ブロック内に集水井等の地すべり対策工がなされている。

【ブロック4】

- カスペノ岬付近の海岸部には、堅硬な火砕岩類が連続して分布し、ブロックの地すべりを示唆する状況は認められない。
- 中央部では、堅硬な安山岩溶岩が分布し、地すべりを示唆する状況は認められない。



【ブロック2・4】

- 安定ブロック群

【ブロック1・3】

- 不安定ブロック群 (の可能性)

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (3/9)

再掲 (H25/11/29審査会合)



写真1:ブロック2・4の境界付近には、堅硬な火山礫凝灰岩が分布し、ブロックの地すべりを示唆する段差や破碎は認められない。



写真2:ブロック2の中央・先端部のカスペノ岬付近には、堅硬な火山礫凝灰岩が分布し、ブロックの地すべりを示唆する段差や破碎は認められない。

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (5/9)

再掲 (H25/11/29審査会合)



写真3

写真3:ブロック2・4の境界の延長部に当たるカスペノ岬には、
堅硬な火山礫凝灰岩が分布し、ブロックの地すべり示
唆する段差や破碎は認められない。



写真3 (南側)

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (6/9)

再掲 (H27/5/15審査会合)



写真4



写真3～4の海岸の露頭状況

写真4:ブロック2の海岸部には、堅硬な火山礫凝灰岩が分布し、ブロックの地すべりを示唆する段差や破碎は認められない。

写真3～4:ブロック2～ブロック4の海岸部には、堅硬な火山礫凝灰岩が連続して分布する。

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (7/9)

再掲 (H25/11/29審査会合)



写真5

写真5:ブロック2の南側中腹には、堅硬な安山岩溶岩及び自破碎溶岩の境界が認められる。



写真6

写真6:ブロック2の背後の鞍部には、堅硬な安山岩溶岩が分布する。

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (8/9)

再掲 (H25/11/29審査会合)



写真7

写真7:ブロック2の頂上付近には、堅硬な安山岩溶岩及び火山礫凝灰岩が分布する。



写真8

写真8:ブロック3の北側の遷緩線付近には、山側に堅硬な安山岩溶岩が分布し、ブロックの地すべりを示唆する滑落崖等は認められないものの、海岸側との地質の連続性は確認できない。

(4) 弁慶岩の調査結果

弁慶岩 地表地質踏査 (9/9)

再掲 (H25/11/29審査会合)



写真9:ブロック4の頂部付近には、上部から下部にかけて堅硬な安山岩溶岩が分布し、ブロックの地すべりを示唆する破碎等は認められない。

(5) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○地すべりシミュレーションは、陸上の土砂の動きを時刻歴で解析することが可能なTITAN2Dを使用する。

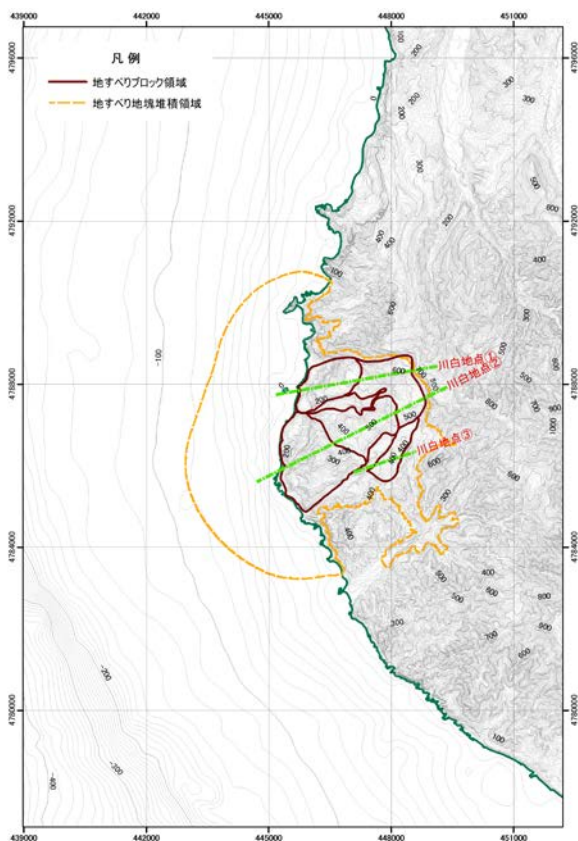
【地すべりシミュレーション (TITAN2D)】

| 入力データ | 入力値 | | | 備考 |
|------------------------|------|------|------|---------------------------|
| | 川白 | 堀株 | 弁慶岩 | |
| 内部摩擦角 ϕ_{int} (°) | 30.0 | 30.0 | 30.0 | ○想定される地質 (33° 程度) より設定した。 |
| 底面摩擦角 ϕ_{bed} (°) | 11.3 | 19.3 | 18.3 | ○森脇 (1987) より設定した。 |

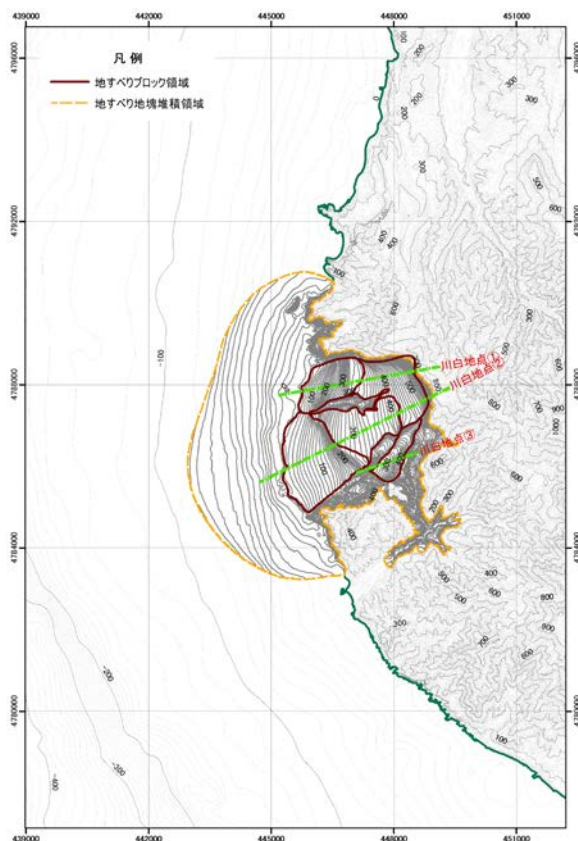
(5) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 川白 (1/2)

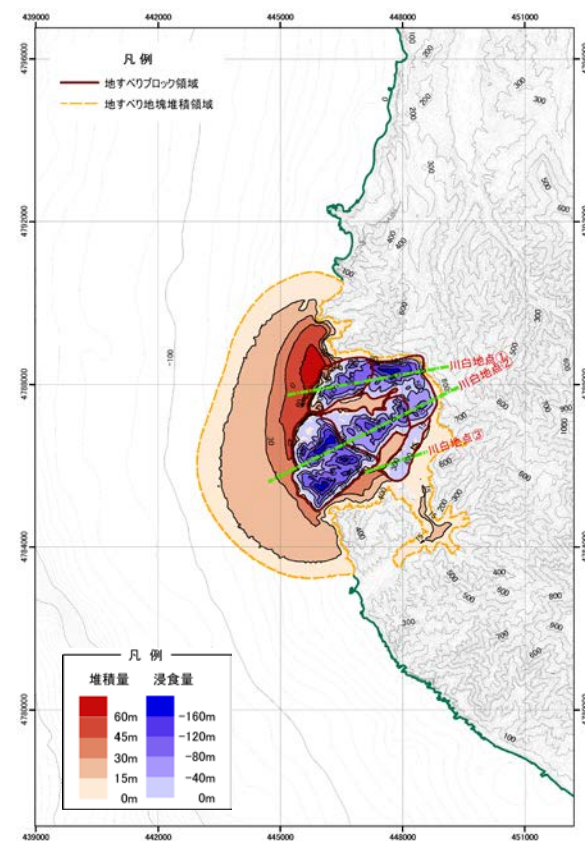
一部修正 (H27/8/21審査会合)



地すべり前地形



地すべり後地形 (10分後)

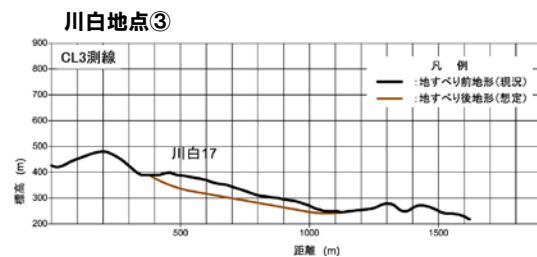
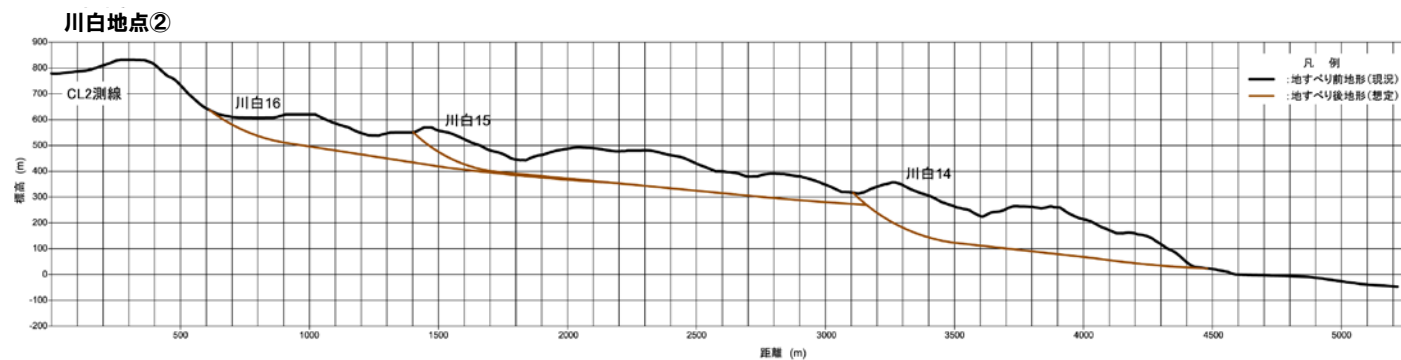
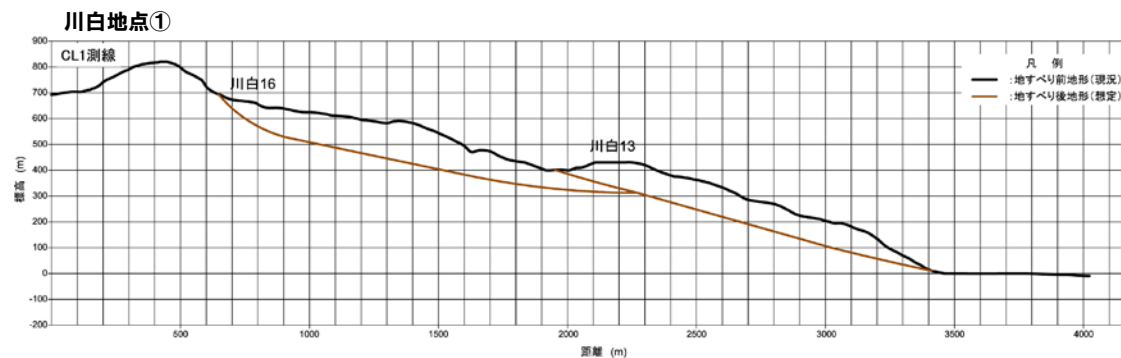


地すべり前後の地形変化量

(5) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 川白 (2/2)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

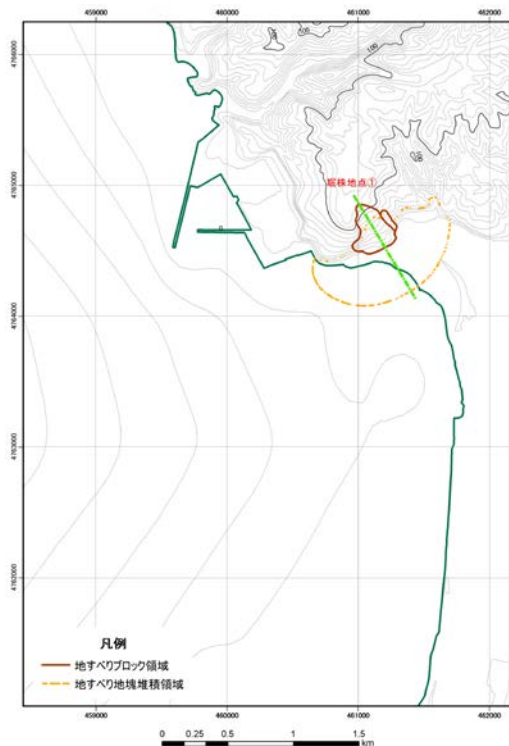


地すべり地形の断面形状

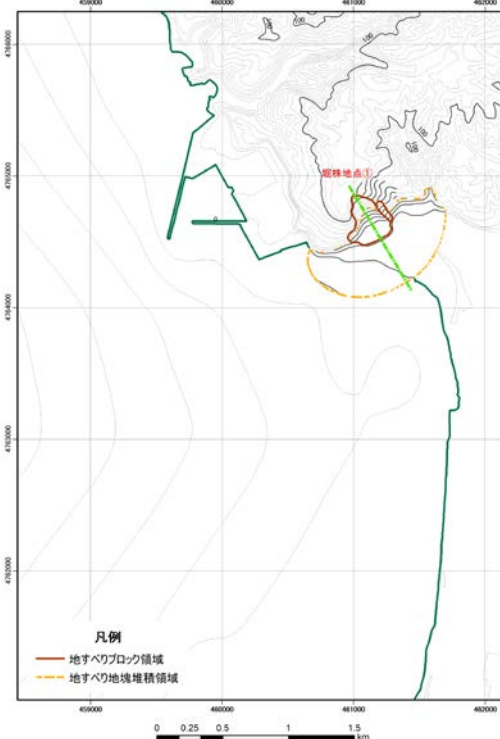
(5) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 堀株

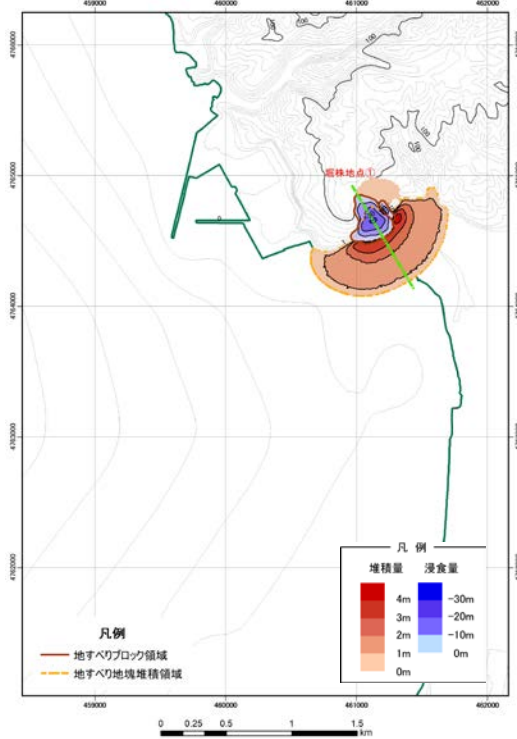
一部修正 (H27/5/15審査会合)



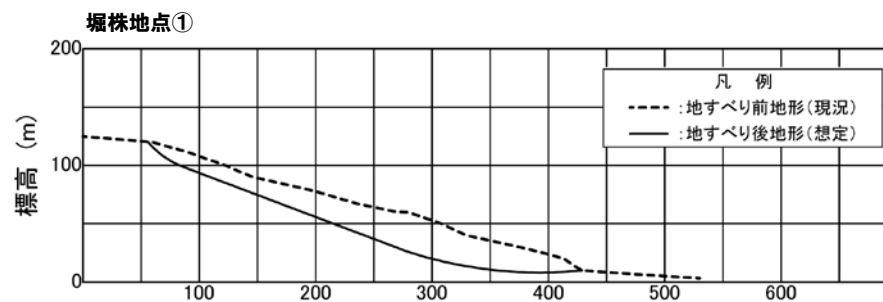
地すべり前地形



地すべり後地形 (10分後)



地すべり前後の地形変化量

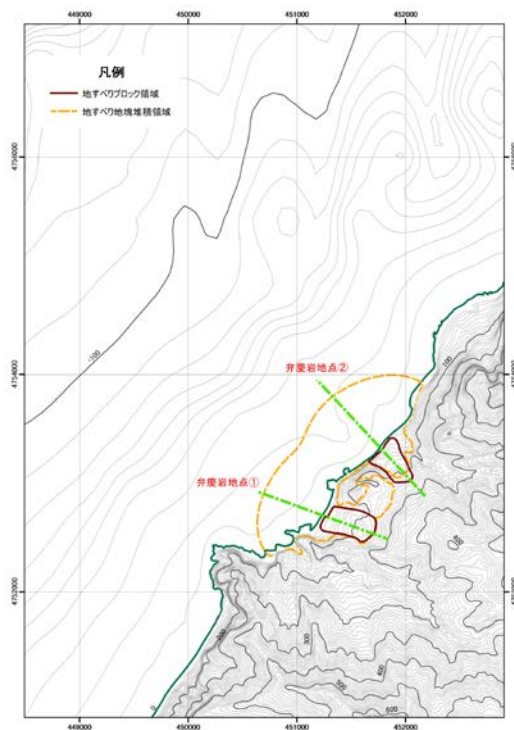


地すべり地形の断面形状

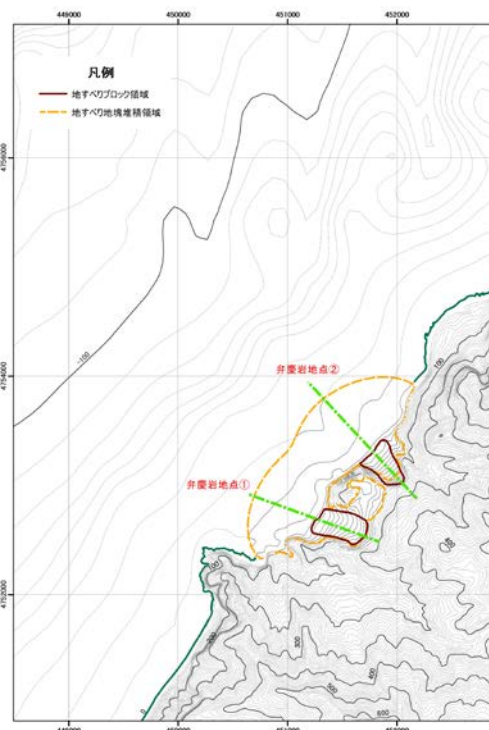
(5) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 弁慶岩

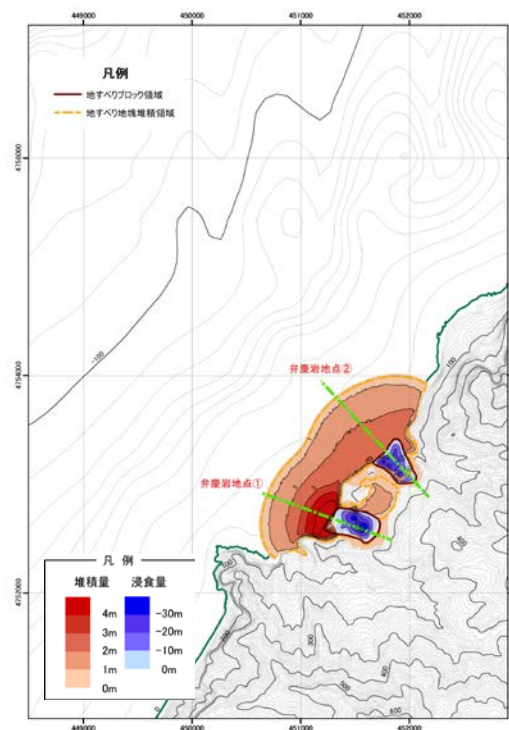
一部修正 (H27/5/15審査会合)



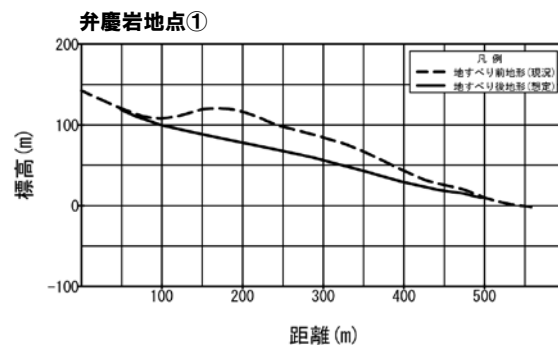
地すべり前地形



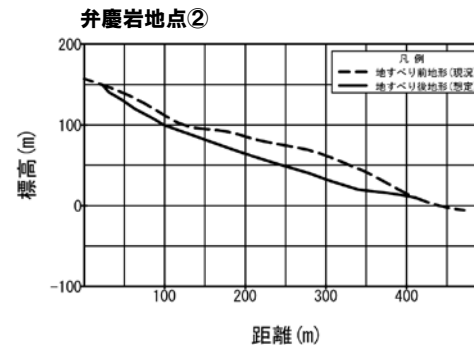
地すべり後地形 (10分後)



地すべり前後の地形変化量



地すべり地形の断面形状

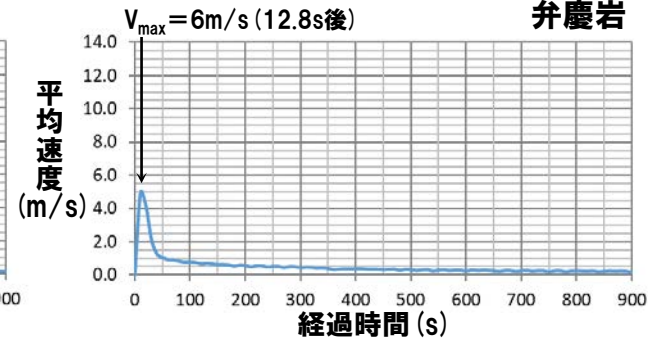
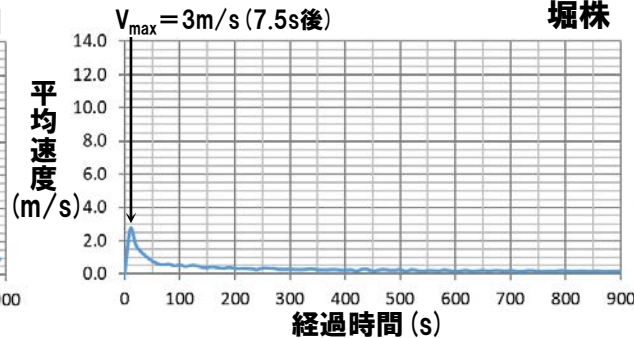
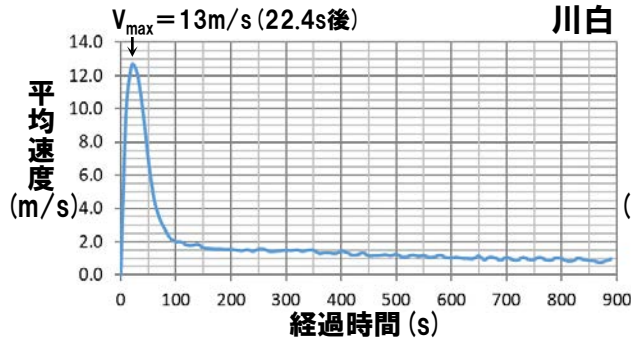
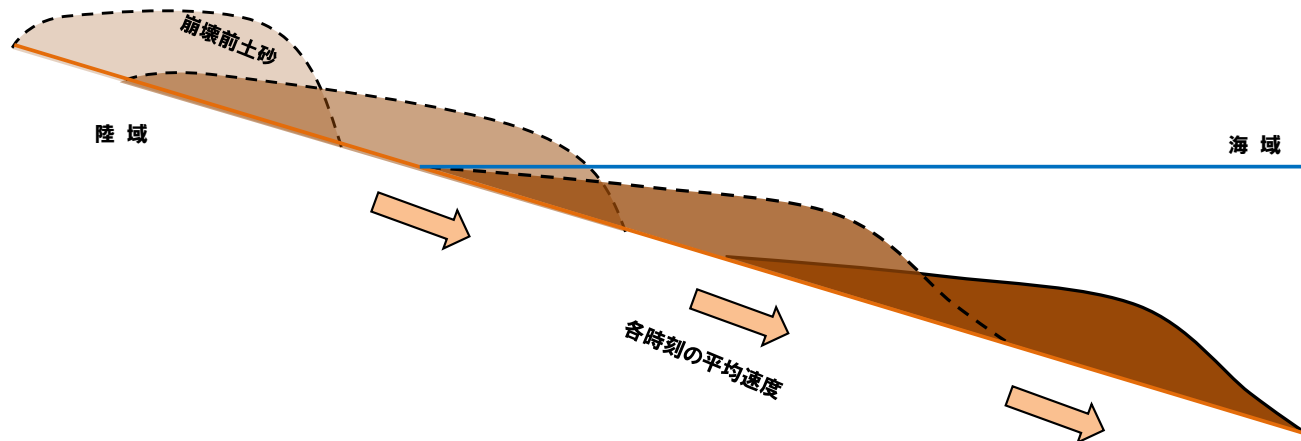


(5) パラメータの設定根拠

変動伝播速度

一部修正 (H27/8/21審査会合)

- 変動伝播速度は、TITAN2Dによる地すべりシミュレーションで得られる移動土塊の速度を入力値とする。
- 移動土塊の速度は、土塊全体の速度の平均値とし、崩壊開始から崩壊後地形としている崩壊10分後までの間における、各時刻での値を算出する。
- 水山ほか(1985)、道上ほか(1996)及び松村ほか(1997)では、土塊や土砂が湛水池に突入することで生じる波高は、その突入速度が速いほど、高くなるとされている。



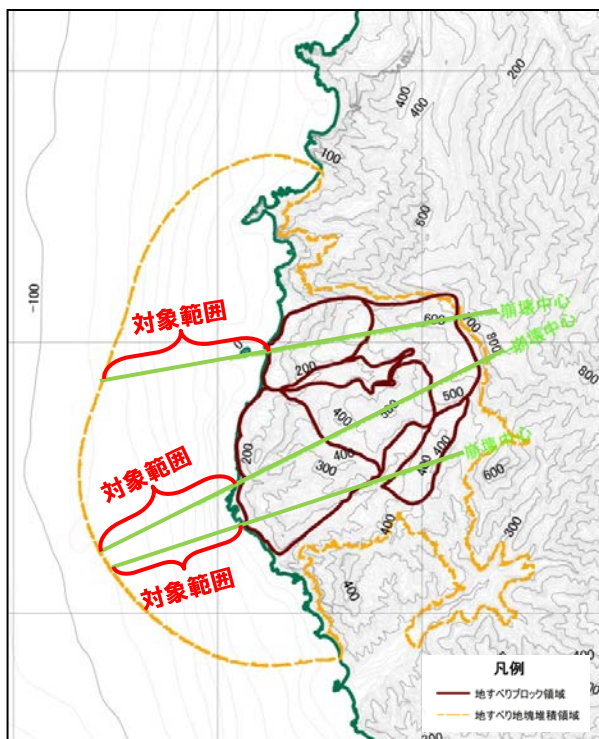
○以上より、変動伝播速度は、安全側の評価となる移動土塊の平均速度の最大値に設定した(川白:13m/s, 堀株:3m/s, 弁慶岩:6m/s)。

(5) パラメータの設定根拠

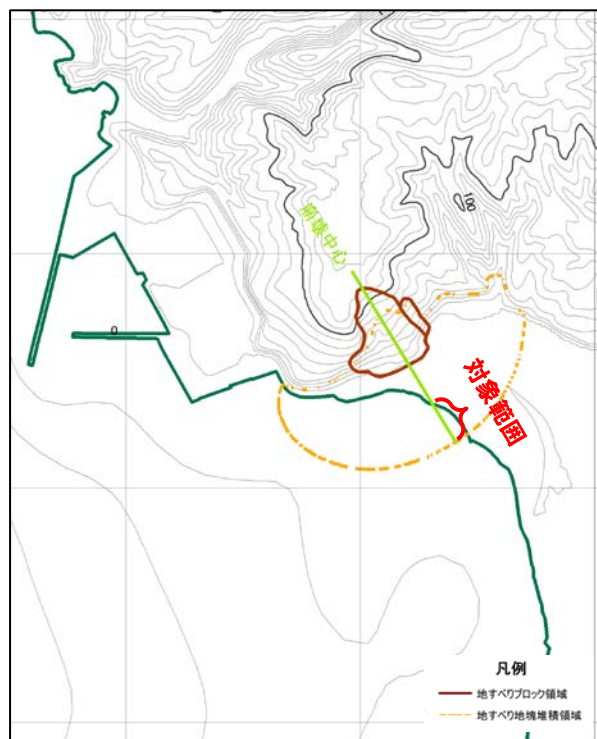
鉛直変位ライズタイム (1/3)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

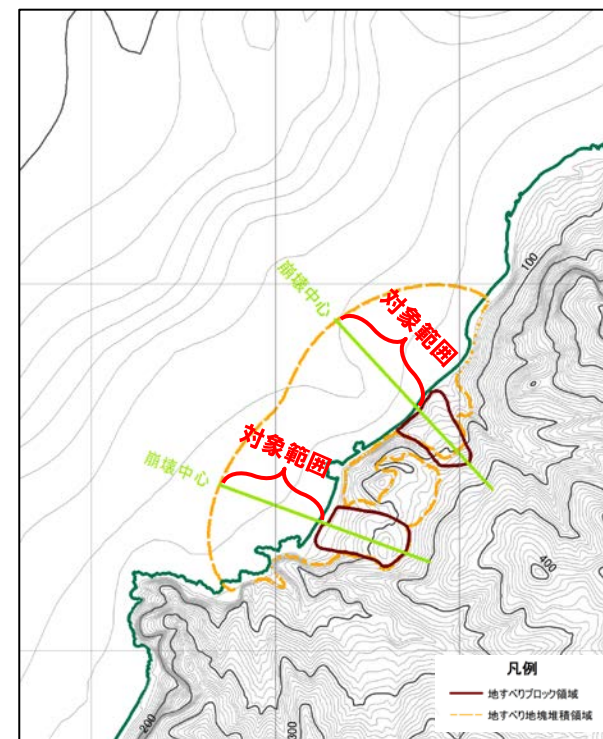
- 鉛直変位ライズタイムは、TITAN2Dによる地すべりシミュレーションにおける土塊の堆積変化について着目し、現象が開始してから概ね終息したと判断されるまでの時間を算出したうえで設定する。
- 土塊の堆積及び浸食の時間変化については、土塊の崩壊中心線を代表とする。
- 算出に用いる堆積変化の対象範囲は、崩壊中心線上で崩壊開始後10分までの海域の変化範囲とする。



川白



堀株



弁慶岩

(5) パラメータの設定根拠

鉛直変位ライズタイム (2/3)

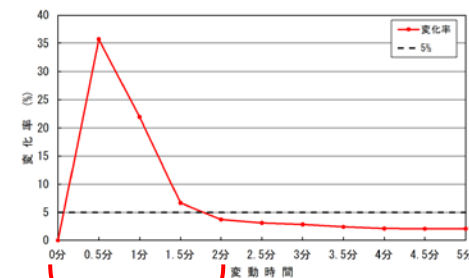
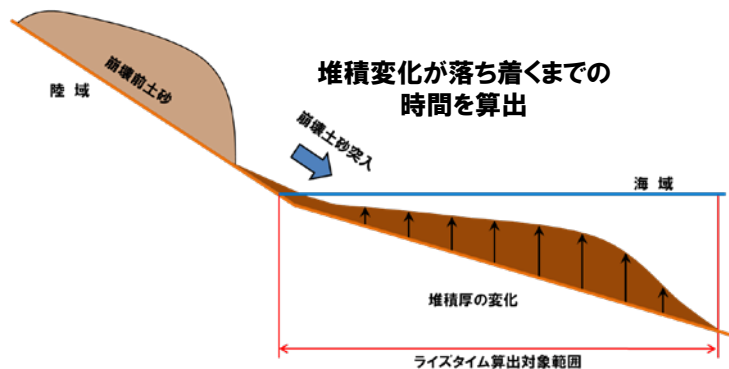
一部修正 (H27/8/21審査会合)

○地すべり現象が開始してから概ね終息したとの判断は、堆積変化の総量に対する各時刻間における変化率が5%未満となる時間として算出した。

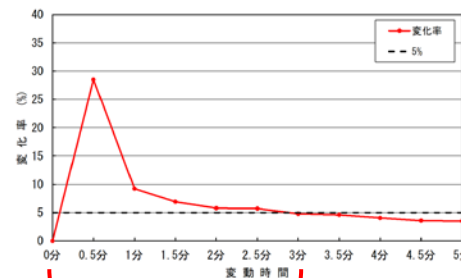
➢ 算出方法: 各時間の変化率 = (時間当たり変化量 ÷ 10分間の総変化量) × 100 (%)

○算出に用いる堆積変化の対象範囲は、崩壊中心線上で崩壊開始後10分までの海域の変化範囲とした。

○土砂の変化量は、対象範囲の平均値とし、堆積及び浸食を絶対値で評価した。

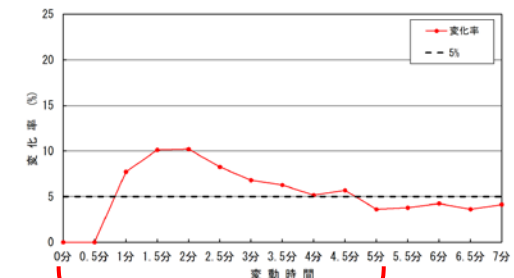


川白



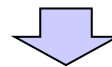
180s

弁慶岩



300s

堀株



○陸上地すべり（川白）のパラメータスタディ結果を踏まえ（次頁参照），鉛直変位ライズタイムは、安全側の評価となる平均堆積量の変化率が5%未満になるまでの時間から-60sとした時間に設定する（川白:60s, 弁慶岩:120s, 堀株:240s）。

(5) パラメータの設定根拠

鉛直変位ライズタイム (3/3)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

- 陸上地すべりに伴う津波及び岩盤崩壊に伴う津波のうち、最大ケースとなる川白を対象として検討した。
- 鉛直変位ライズタイムは、平均堆積量の変化率が5%未満になるまでの時間である120sを起点とし、±60sを変化させたパラメータスタディ結果より安全側の評価条件になるよう設定する。
- 鉛直変位ライズタイムを、60s、120s、180sに変動させたパラメータスタディを実施した。

【津波シミュレーション (kinematic landslideモデル)】

| 入力データ | 入力値 | 備考 |
|-----------------------|------------|---------------------------------|
| 計算時間間隔 Δt (s) | 0.1 | ○計算安定条件を満たすように設定した。 |
| 計算時間 (時間) | 3 | |
| 比高変化 (m) | 最大227 | ○TITAN2Dによる10分後の地形変化量から設定した。 |
| 鉛直変位ライズタイム (s) | 60,120,180 | ○パラメータスタディとして検討した。 |
| 変動伝播速度 (m/s) | 13 | ○TITAN2Dによる最大速度から安全側の評価として設定した。 |

陸上地すべり (川白) の数値シミュレーション結果

| 区分 | 陸上地すべり (川白) | | |
|------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|
| | 鉛直変位 ライズタイム 60s | 鉛直変位 ライズタイム 120s | 鉛直変位 ライズタイム 180s |
| | 評価値 | 評価値 | 評価値 |
| 防潮堤前面 (上昇側) | 4.92m | 3.12m | 2.43m |
| 3号炉 取水口 (上昇側) | 3.45m | 2.79m | 2.45m |
| 1, 2号炉 取水口 (上昇側) | 3.64m | 2.72m | 2.27m |
| 放水口 (上昇側) | 5.91m | 3.68m | 3.51m |
| 3号炉 取水口 (下降側) | 4.18m | 4.11m | 3.99m |
| 「貯留堰を 下回る時間」 | 38s | 66s | 25s |

※黄ハッチングは評価項目の最大ケースである。

○以上より、鉛直変位ライズタイムは、安全側の評価として平均堆積量の変化率が5%未満になるまでの時間から-60sとした時間に設定する。

(6) Kinematic landslideモデルと二層流モデルとの比較

Kinematic landslideモデルの評価

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○Kinematic landslideモデルが安全側の評価であることを確認する目的で、陸上地すべりに伴う津波のうち最大ケースとなる川白を対象に、二層流モデルによる津波の数値シミュレーションを実施した。

【津波シミュレーション（二層流モデル）】

| 入力データ | 入力値 | 備考 |
|-----------------------------------|--------------------|---|
| 計算時間間隔 Δt (s) | 0.1 | - |
| 計算時間 (時間) | 3 | - |
| 海水密度 (kg/m ³) | 1,030 | ○一般値を使用した。 |
| 崩壊物密度 (kg/m ³) | 2,000 | ○松本ほか (1998) に基づき設定した。 |
| 底面粗度係数 n (m ^{-1/3} ・s) | 上層:0.03 下層:0.40 | ○上層は、土木学会 (2002) に基づき設定した。 ○下層は、Kawamata et al. (2005) に基づき設定した。 |
| 界面抵抗係数 f_{int} | 0.0 | ○Kawamata et al. (2005) に基づき設定した。 |
| 渦動粘性係数 ν (m ² /s) | 下層:0.1 | ○Kawamata et al. (2005) に基づき設定した。 |

陸上地すべり（川白）の数値シミュレーション結果

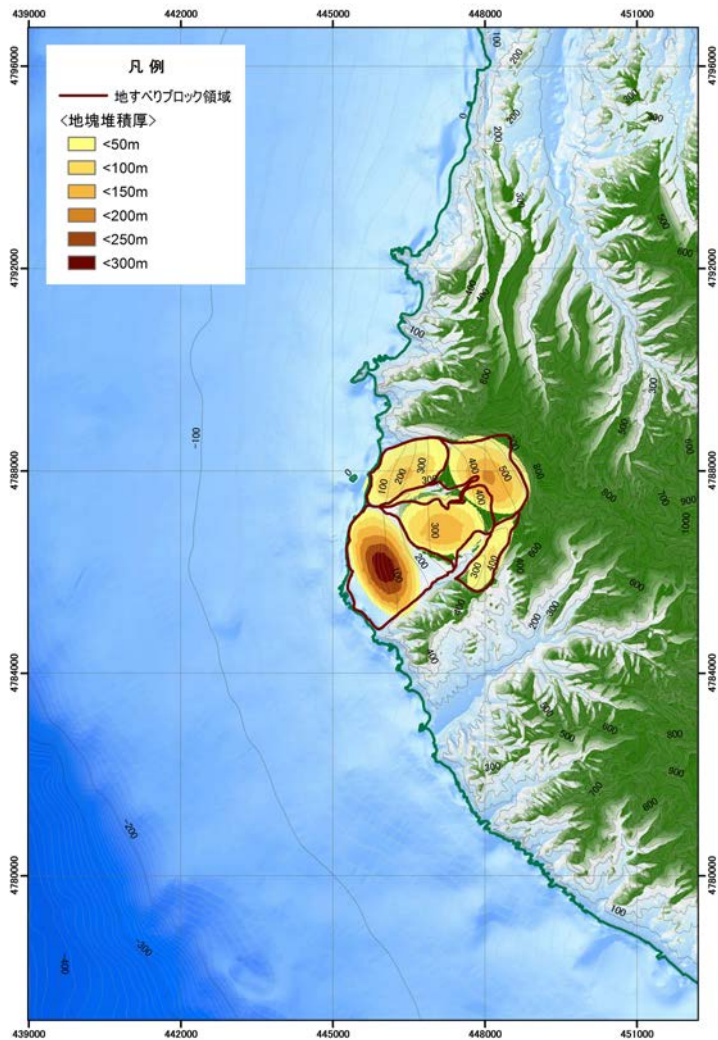
| 区分 | 陸上地すべり（川白） | |
|------------------------|---------------|---------------------------------------|
| | 二層流モデル 評価値 | 【参考】 Kinematic landslideモデル 評価値 |
| 防潮堤前面 (上昇側) | 4.15m | 4.92m |
| 3号炉 取水口 (上昇側) | 2.28m | 3.45m |
| 1, 2号炉 取水口 (上昇側) | 2.39m | 3.64m |
| 放水口 (上昇側) | 5.37m | 5.91m |
| 3号炉 取水口 (下降側) | 2.67m | 4.18m |
| 「貯留堰を 下回る時間」 | 0s | 38s |

○数値シミュレーション結果から、二層流モデルと比較して、Kinematic landslideモデルの方が評価上安全側である大きな値となることを確認した。

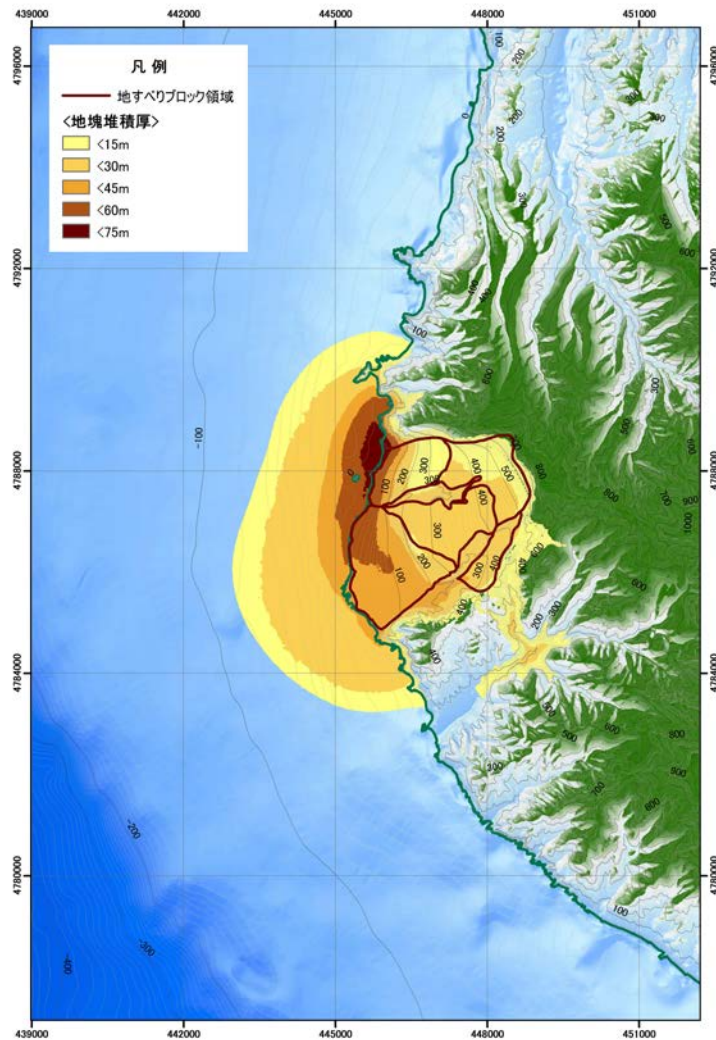
(7) 数値シミュレーション結果

川白（1/5）地すべりシミュレーション（1/3）

再掲（H27/8/21審査会合）



地すべり前



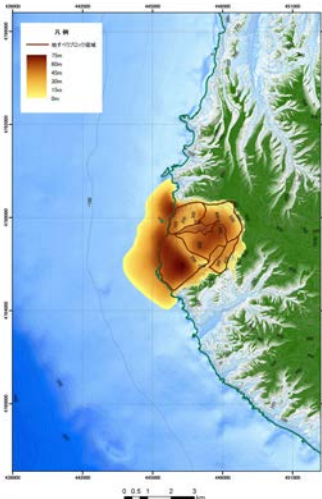
地すべり後（10分後）

(7) 数値シミュレーション結果

川白 (2/5) 地すべりシミュレーション (2/3)

再掲 (H27/8/21 審査会合)

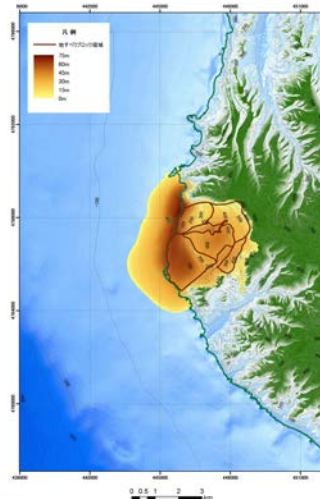
1分後



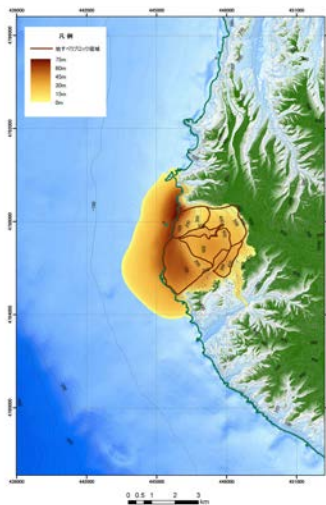
2分後



3分後



4分後



5分後

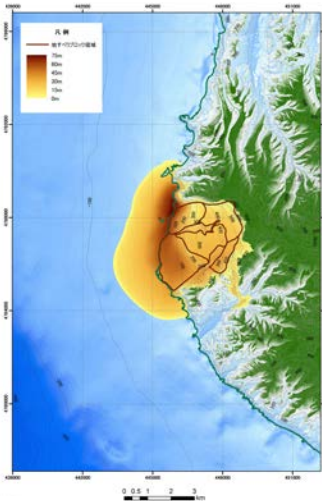


(7) 数値シミュレーション結果

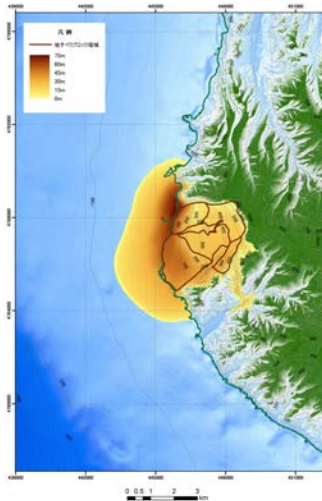
川白 (3/5) 地すべりシミュレーション (3/3)

再掲 (H27/8/21審査会合)

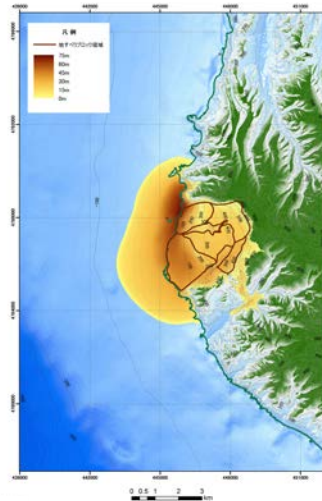
6分後



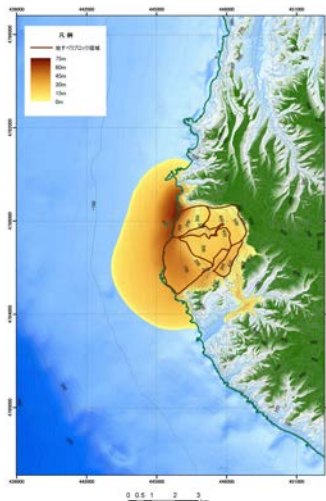
7分後



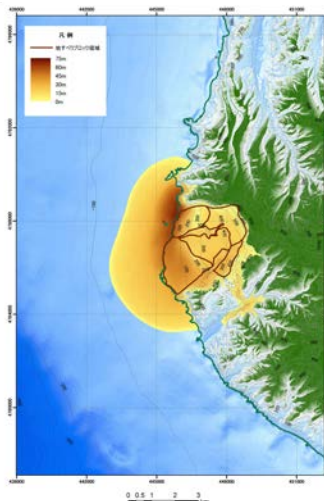
8分後



9分後

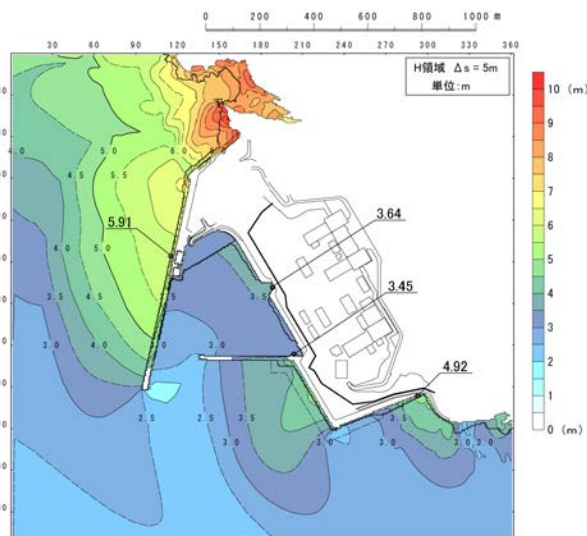


10分後

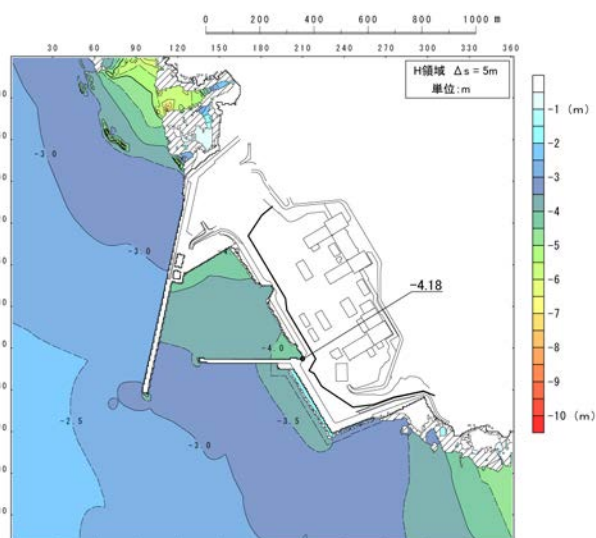


(7) 数値シミュレーション結果

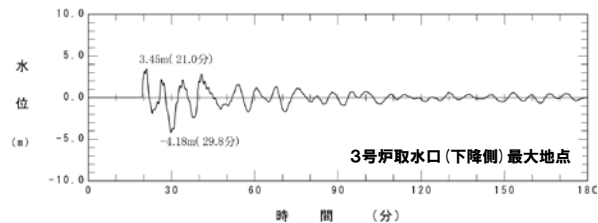
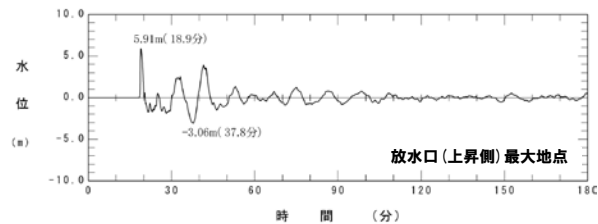
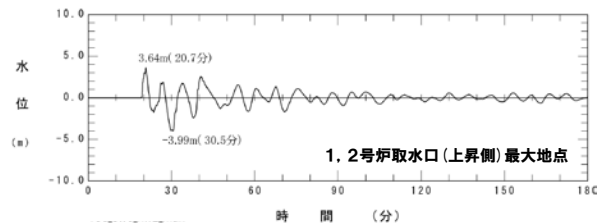
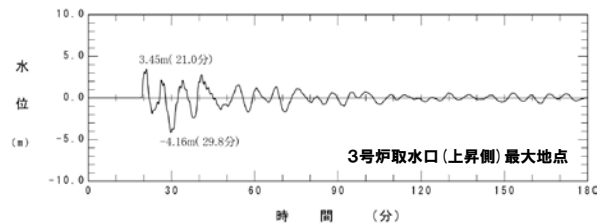
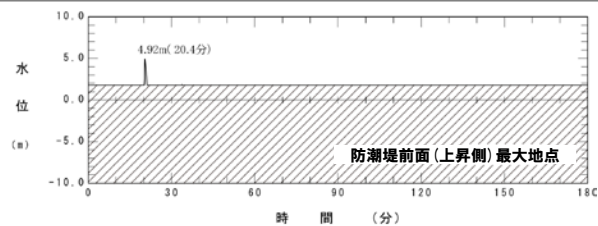
川白 (4/5) 最大水位分布・水位時刻歴波形



最大水位上昇量分布



最大水位下降量分布



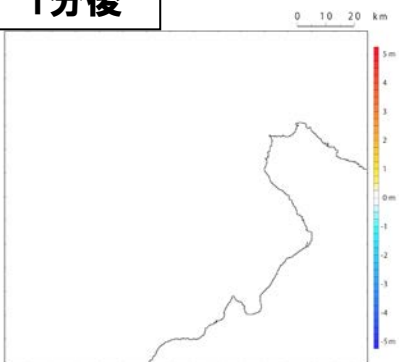
水位時刻歴波形

※水位時刻歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。

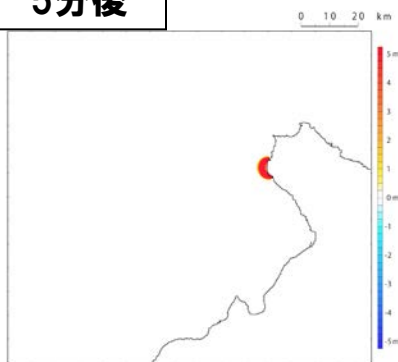
(7) 数値シミュレーション結果

川白 (5/5) 津波の伝播状況

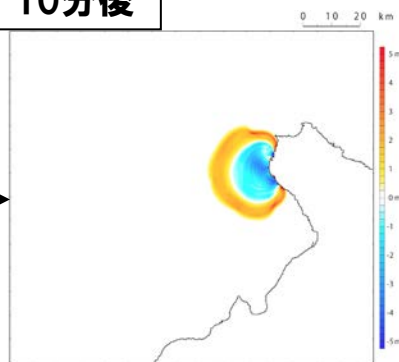
1分後



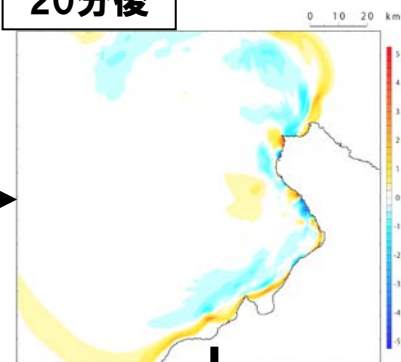
5分後



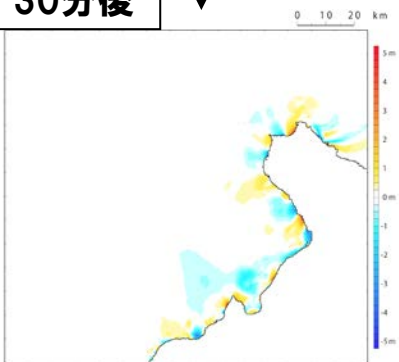
10分後



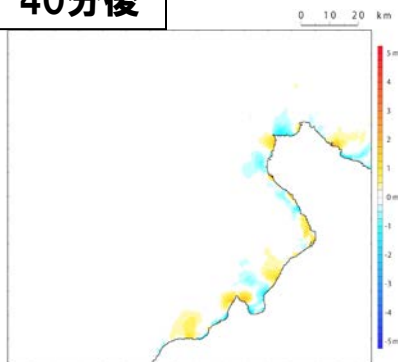
20分後



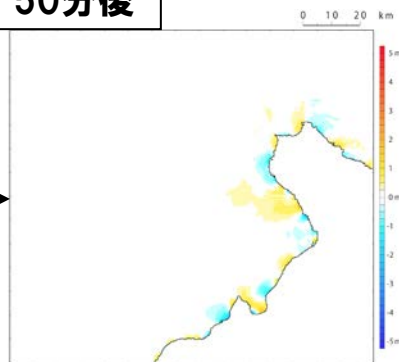
30分後



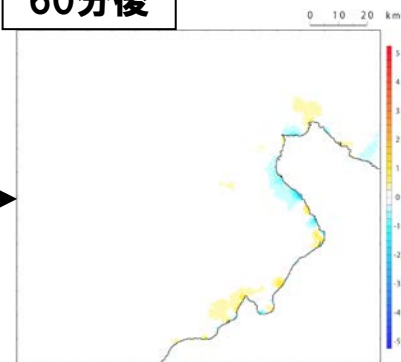
40分後



50分後



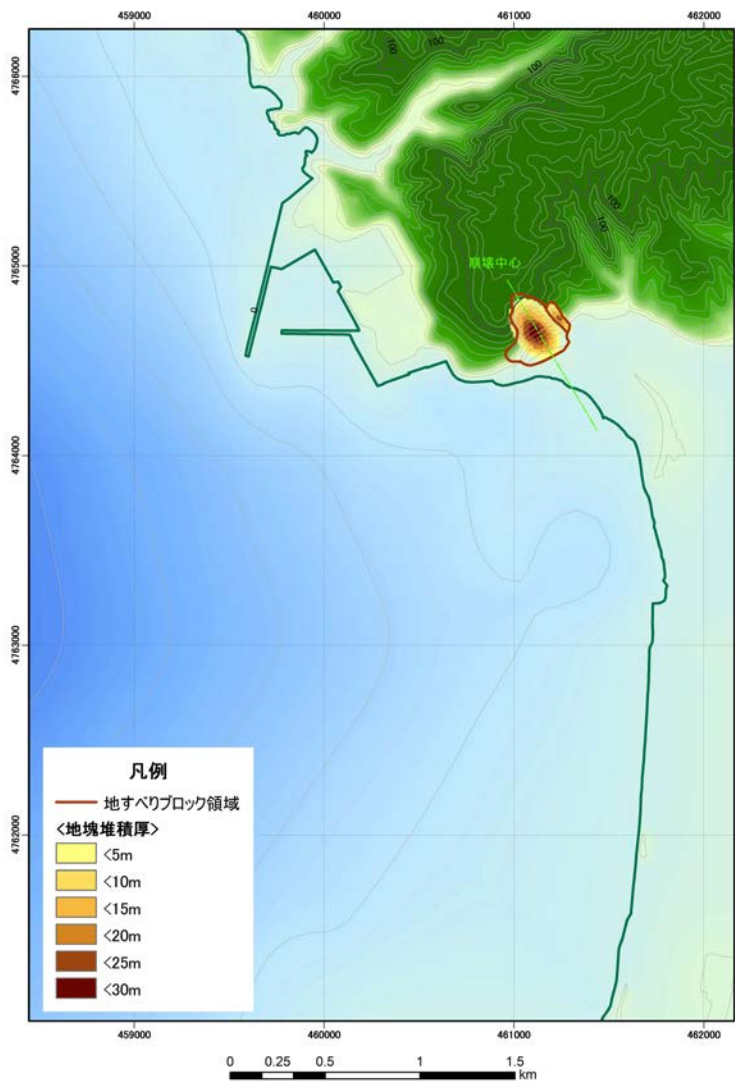
60分後



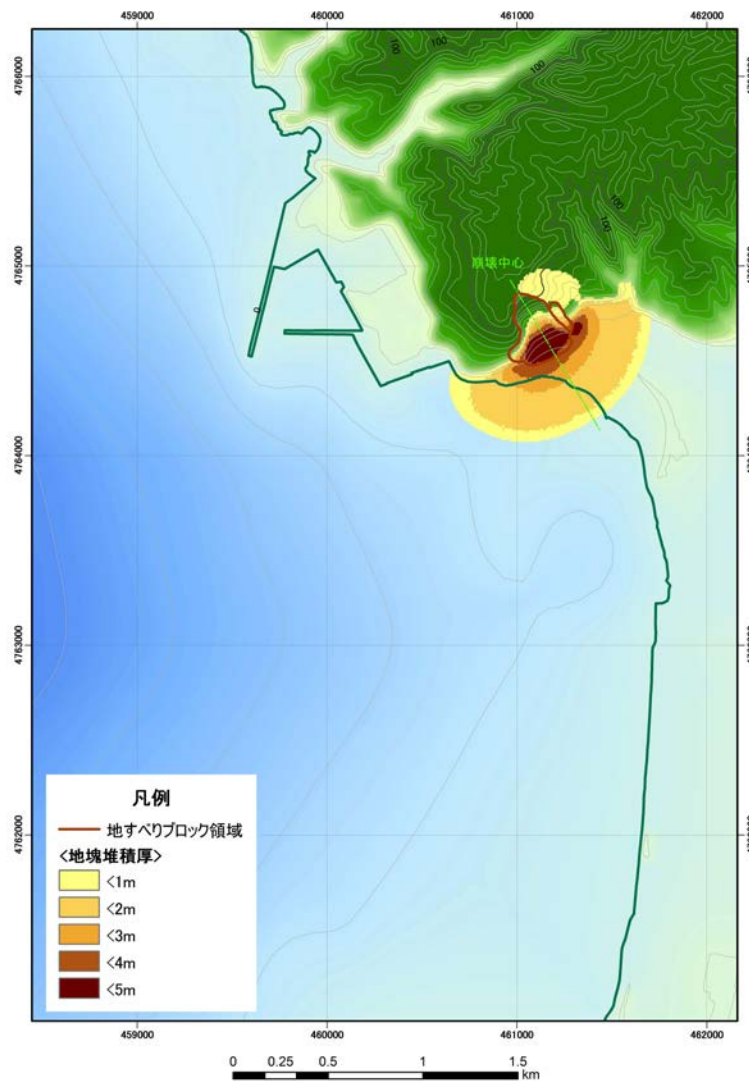
(7) 数値シミュレーション結果

堀株 (1/6) 地すべりシミュレーション (1/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)



地すべり前



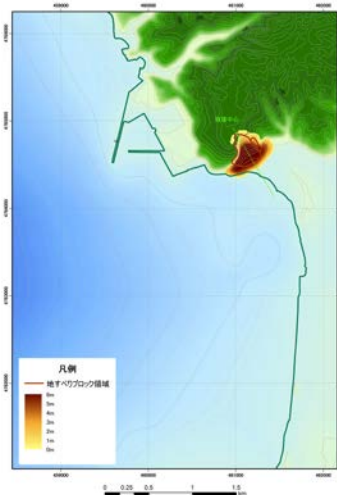
地すべり後 (10分後)

(7) 数値シミュレーション結果

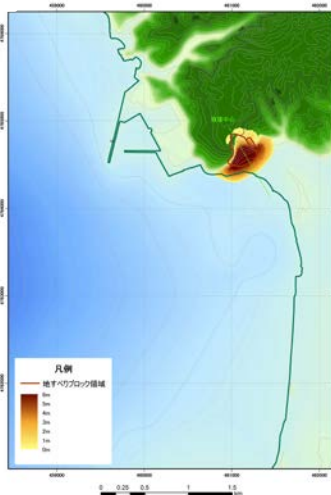
堀株 (2/6) 地すべりシミュレーション (2/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)

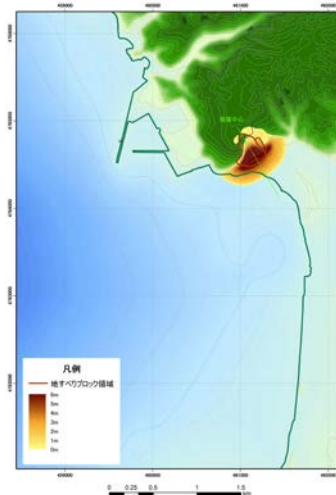
1分後



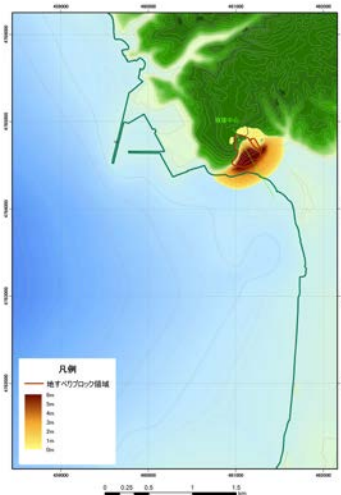
2分後



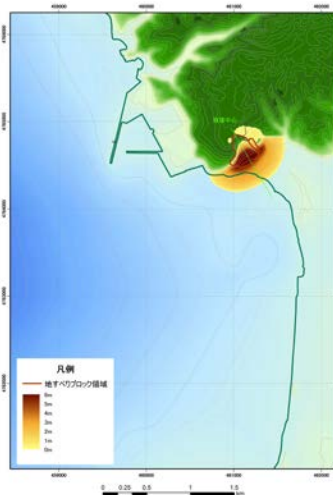
3分後



4分後



5分後

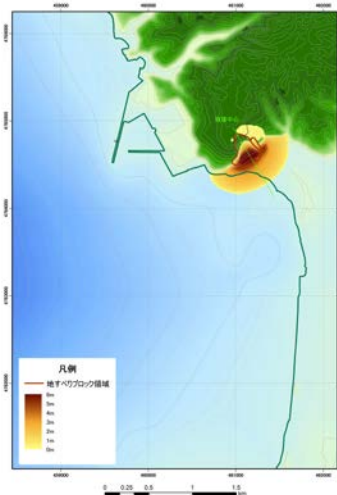


(7) 数値シミュレーション結果

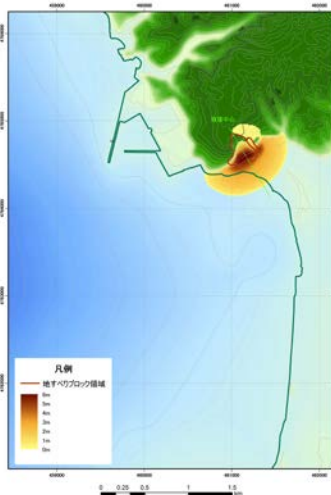
堀株 (3/6) 地すべりシミュレーション (3/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)

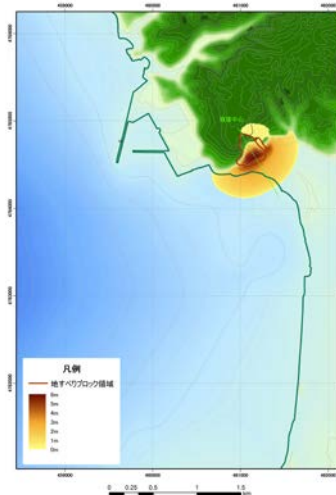
6分後



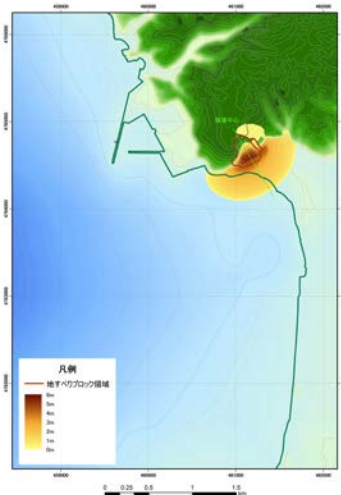
7分後



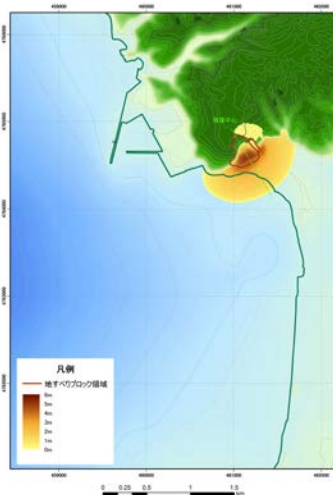
8分後



9分後

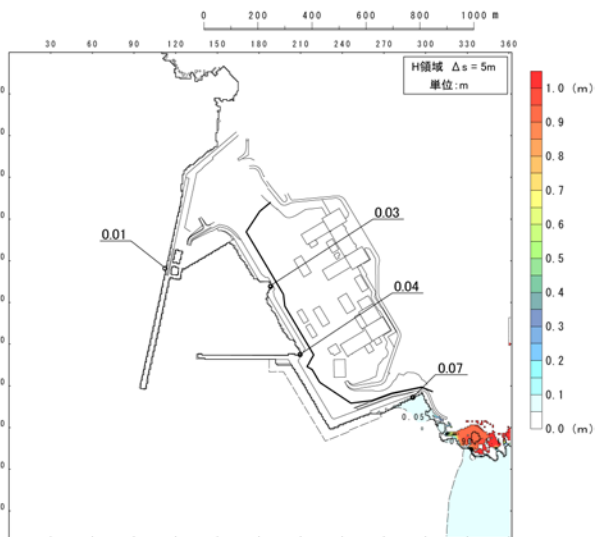


10分後

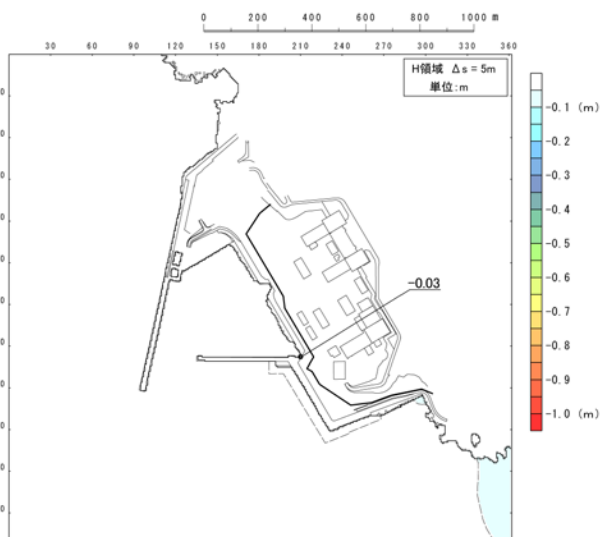


(7) 数値シミュレーション結果

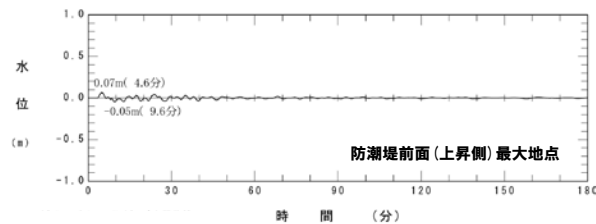
堀株 (4/6) 最大水位分布・水位時刻歴波形



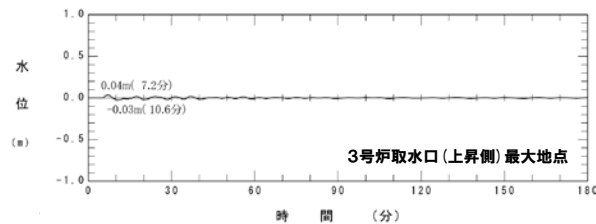
最大水位上昇量分布



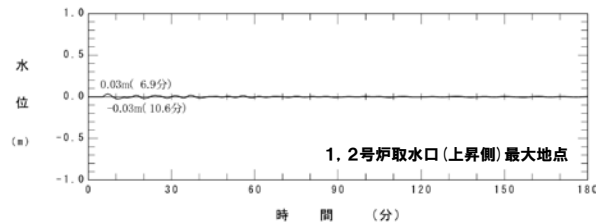
最大水位下降量分布



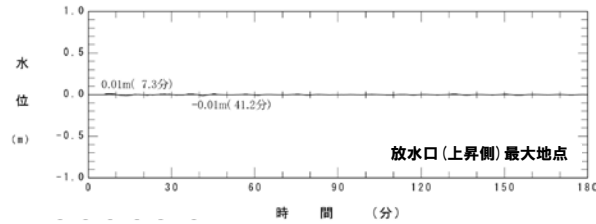
防潮堤前面(上昇側)最大地点



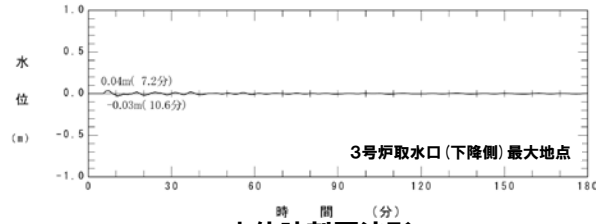
3号炉取水口(上昇側)最大地点



1, 2号炉取水口(上昇側)最大地点



放水口(上昇側)最大地点



3号炉取水口(下降側)最大地点

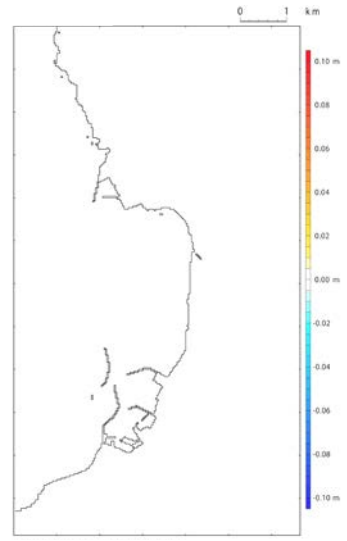
水位時刻歴波形

※水位時刻歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。

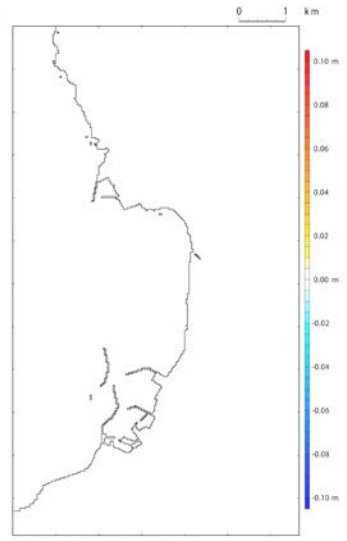
(7) 数値シミュレーション結果

堀株 (5/6) 津波の伝播状況 (1/2)

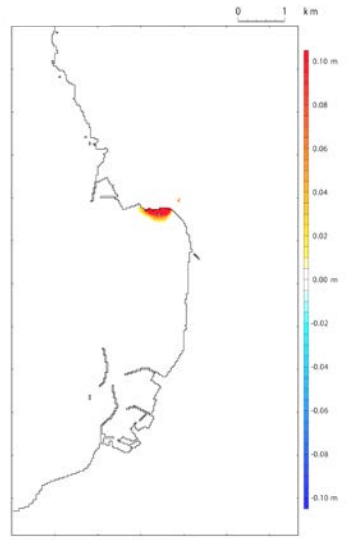
1分後



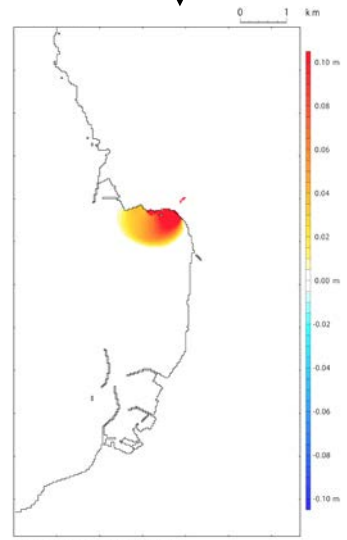
2分後



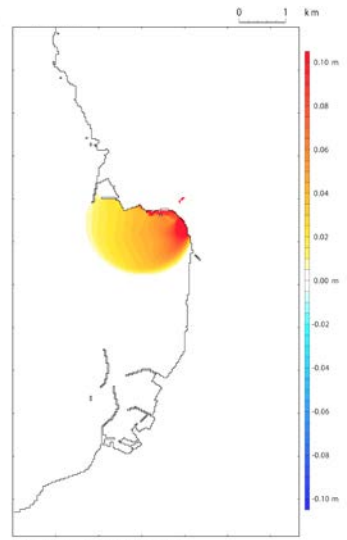
3分後



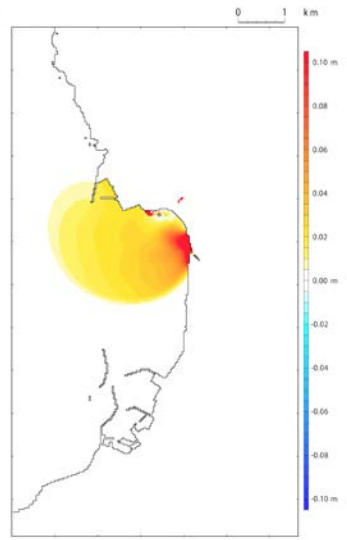
4分後



5分後



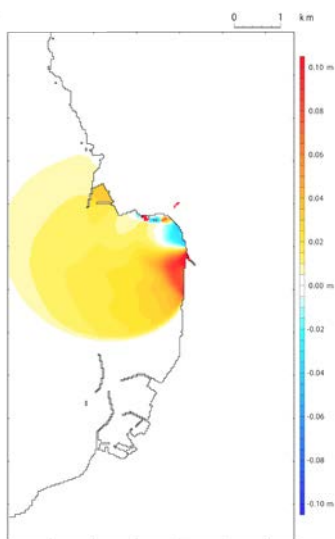
6分後



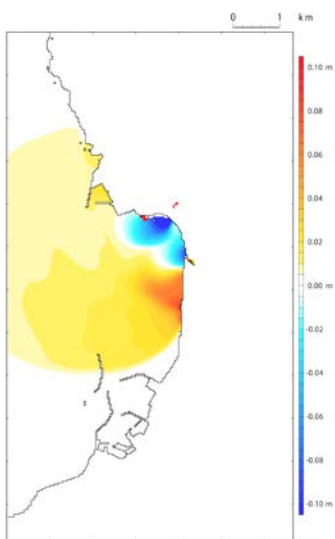
(7) 数値シミュレーション結果

堀株 (6/6) 津波の伝播状況 (2/2)

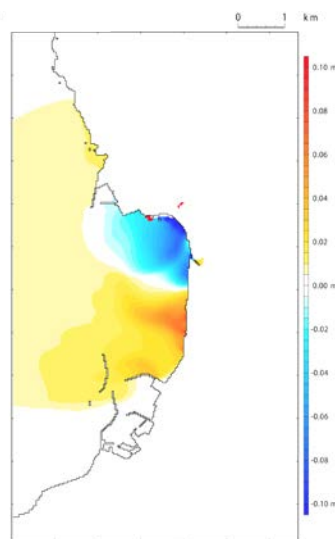
7分後



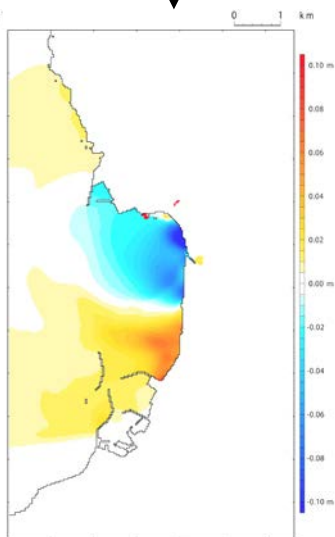
8分後



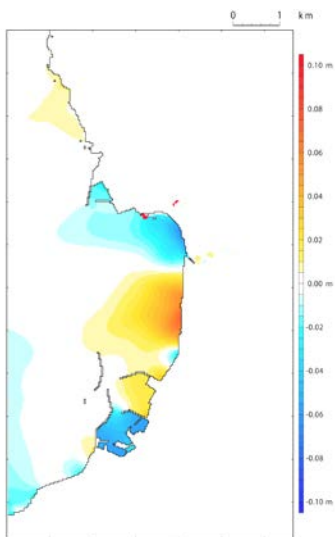
9分後



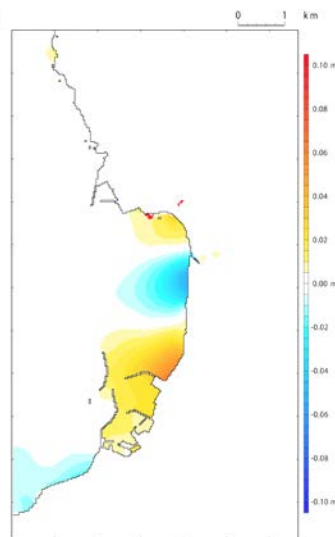
10分後



20分後



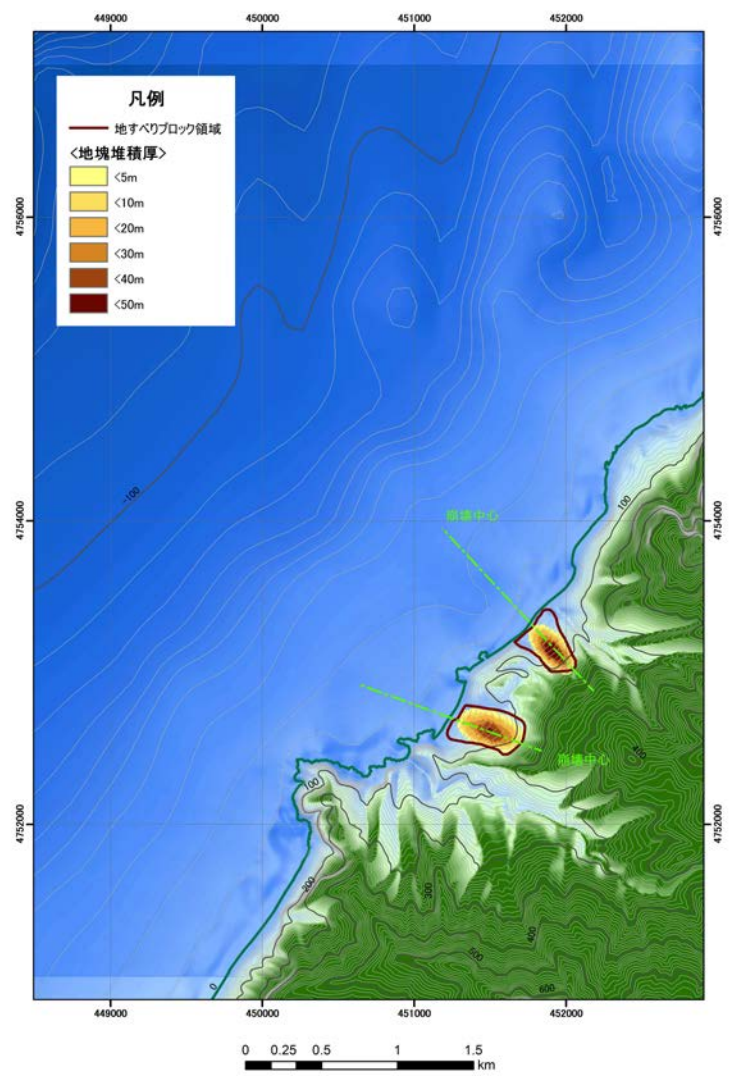
30分後



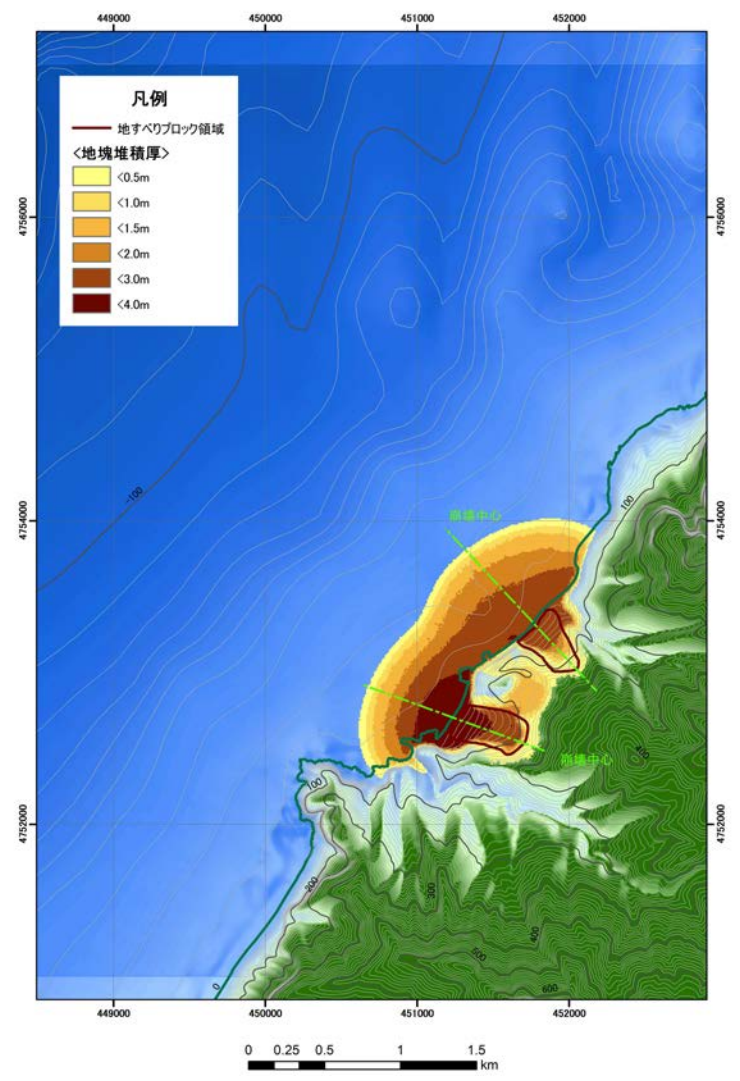
(7) 数値シミュレーション結果

弁慶岩（1/5） 地すべりシミュレーション（1/3）

再掲（H27/5/15審査会合）



地すべり前



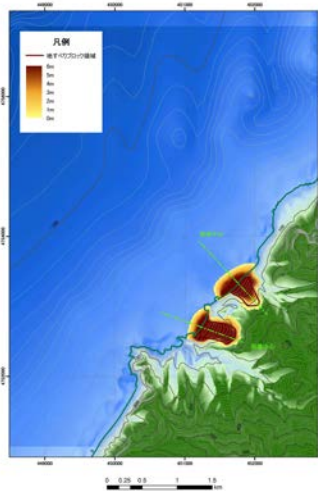
地すべり後（10分後）

(7) 数値シミュレーション結果

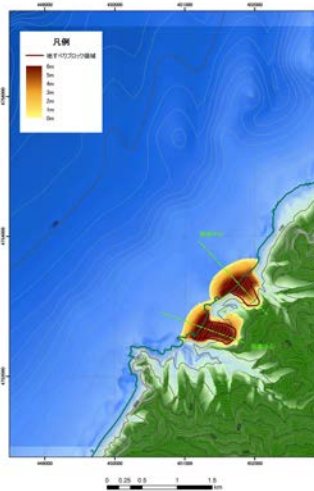
弁慶岩 (2/5) 地すべりシミュレーション (2/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)

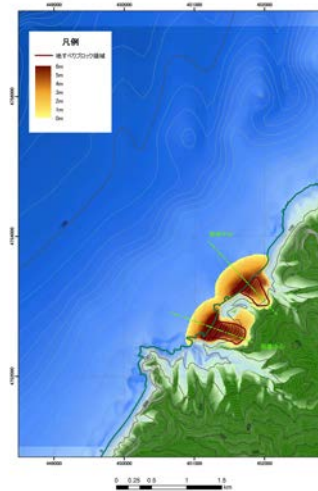
1分後



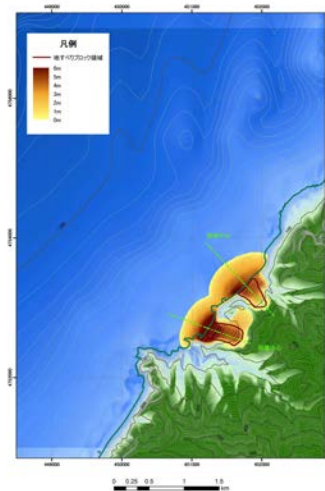
2分後



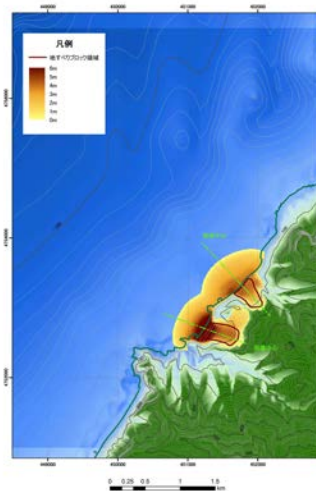
3分後



4分後



5分後

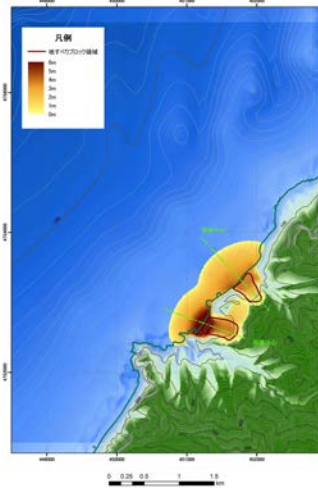


(7) 数値シミュレーション結果

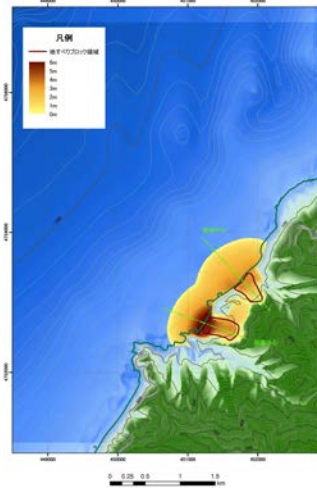
弁慶岩 (3/5) 地すべりシミュレーション (3/3)

再掲 (H27/5/15審査会合)

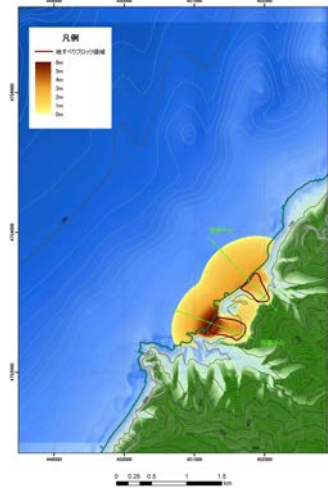
6分後



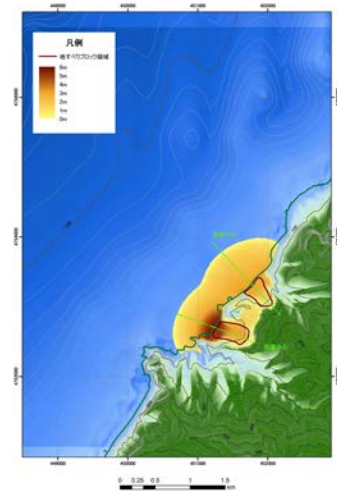
7分後



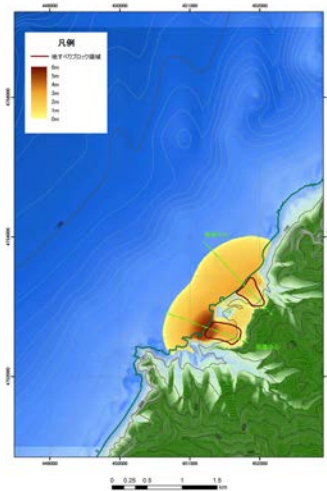
8分後



9分後

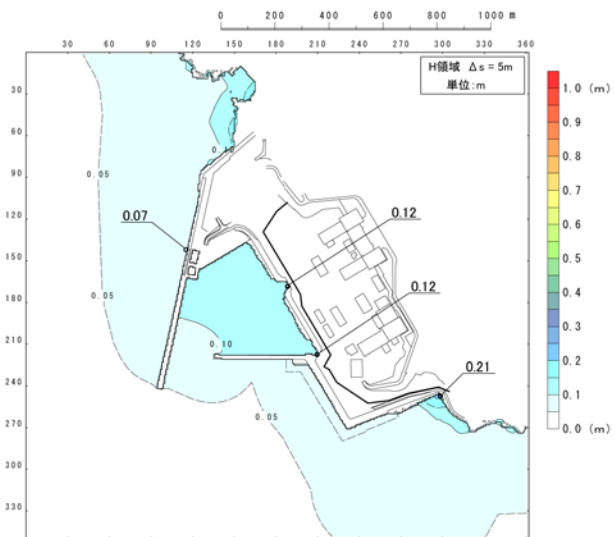


10分後

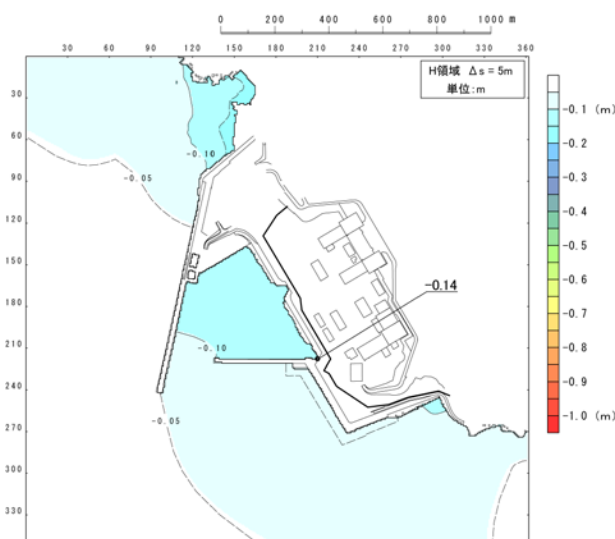


(7) 数値シミュレーション結果

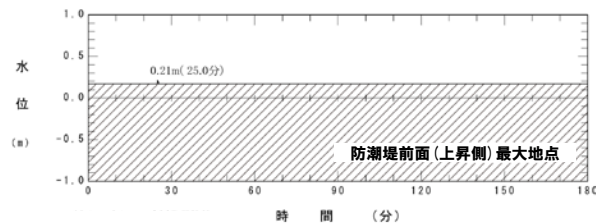
弁慶岩（4/5） 最大水位分布・水位時刻歴波形



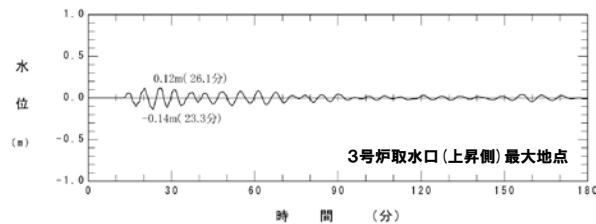
最大水位上昇量分布



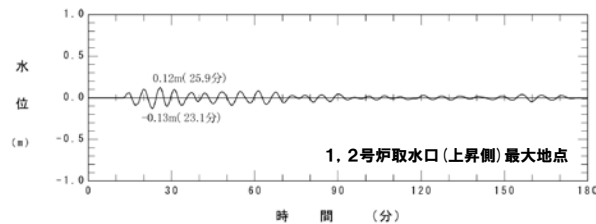
最大水位下降量分布



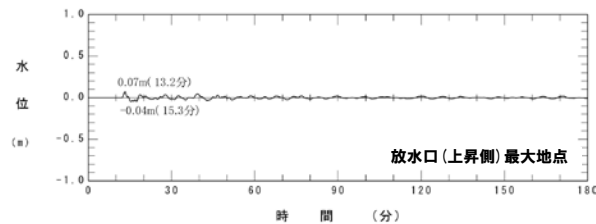
防潮堤前面（上昇側）最大地点



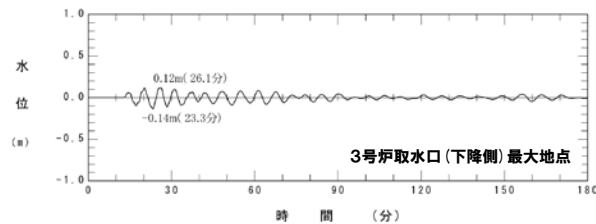
3号炉取水口（上昇側）最大地点



1, 2号炉取水口（上昇側）最大地点



放水口（上昇側）最大地点



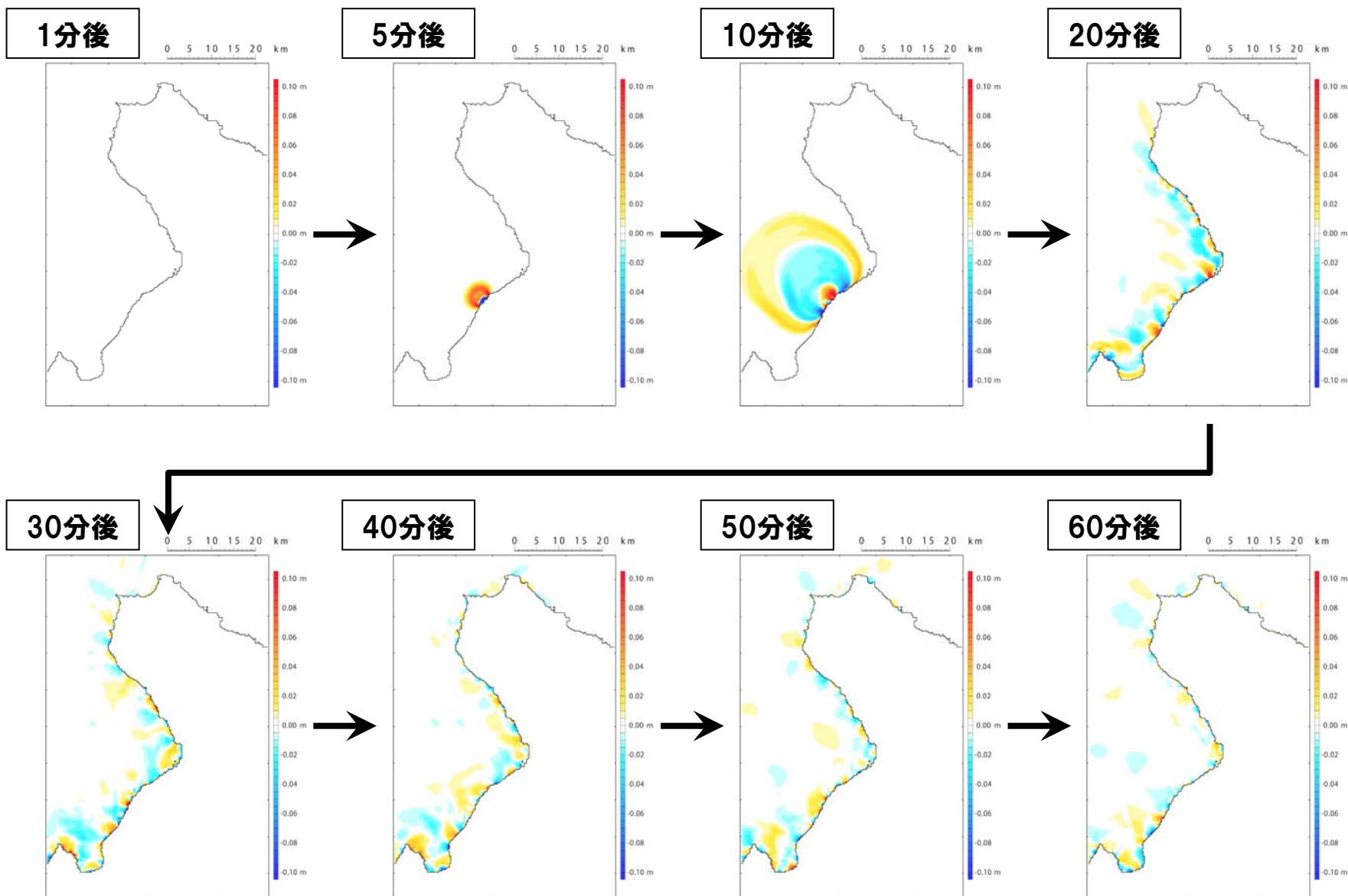
3号炉取水口（下降側）最大地点

水位時刻歴波形

※水位時刻歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。

(7) 数値シミュレーション結果

弁慶岩（5/5）津波の伝播状況



4. 4 陸上の斜面崩壊（岩盤崩壊）に伴う津波

| | |
|---|------------|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2. 1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2. 2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2. 3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3. 1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3. 2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4. 1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4. 2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4. 3 陸上の斜面崩壊（陸上地すべり）に伴う津波 | 154 |
| 4. 4 陸上の斜面崩壊（岩盤崩壊）に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5. 1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5. 2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5. 3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5. 4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5. 5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7. 1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7. 2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会（1/9）

一部修正（H27/5/15審査会合）

- 山田ほか（1971）による、崩壊と地すべりの定義は、以下のとおりである。
 - 崩壊：地形とすべり面の傾斜が急で、小規模で突発的に発生し、攪乱された土塊が急速に移動する現象である。
 - 地すべり：大規模な土塊が緩斜面を原型を保ちつつ緩慢な動きで継続的に滑動する現象である。
 - ✓ 崩壊：小規模で、突発的に発生し急速で移動する。
 - ✓ 地すべり：大規模で、緩慢な動きで継続的に移動する。
- 岩盤崩壊は、崩壊のうち岩盤斜面で発生するもので、移動する土塊が岩石を主とするものであり、一般的に岩盤崩壊は崩壊発生までの岩盤の変位量が小さく、発生した場合の変動が急激である。
 - 岩盤崩壊は、岩盤斜面で発生し、発生前の変位は小さく、変動は急激である。
- （北海道内の）岩盤崩壊の発生箇所は、急峻で比高の高い崖が存在する地域である。
- 岩盤崩壊の規模は、体積が $3,000\text{m}^3$ 以下のものが多く、層雲峡や豊浜トンネル及び第2白糸トンネルでは $10,000\sim 40,000\text{m}^3$ となっている。
- これに対し、地すべりの規模は体積が $30,000\sim 500,000\text{m}^3$ のものと $1,000,000\text{m}^3$ を超えるものが存在し、岩盤崩壊に比べて体積は1桁以上大きい。
 - 岩盤崩壊の規模は、地すべりと比べて、体積は1桁以上小さい。

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2/9) 岩盤崩壊の形態 (1/3)

一部修正 (H27/5/15審査会合)

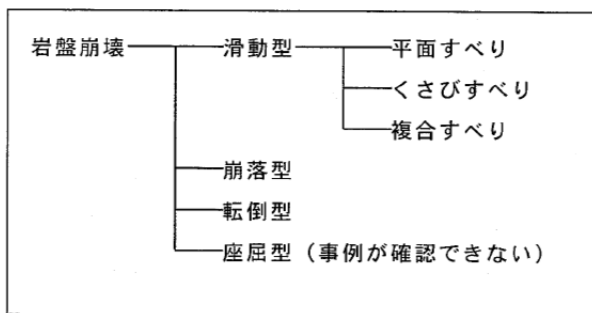
【崩壊形態】

○岩盤斜面変動の崩壊形態の分類を土木学会 (1997) を参考として取りまとめられている。

- ①滑動型 : 流れ盤となる分離面に規制されて、移動物質がすべり落ちる。
- ②崩落型～③転倒型 : 急傾斜の分離面に規制されて落下、若しくは、転倒する。
- ④座屈型 : 板状に分離した岩体が自重によって座屈して崩壊する。

○滑動型は、主崩壊面の性状によって更に区別されている。

- 平面すべり : 1枚、若しくは、2枚以上の分離面に規制されている。
- くさびすべり : 交差する2枚以上の分離面に規制されている。
- 複合すべり : 形態の異なる2枚以上の分離面に規制されている。



崩壊形態の分類

崩壊形態の模式図及び特徴

| 分類 | 模式図* | 特徴 |
|---------------|------|---|
| 平面すべり | | 流れ盤となる分離面に規制されて滑動する現象。平行する複数の分離面が流れ盤を形成して崩壊する場合もある。 |
| 滑動型 くさびすべり | | 交差する二つの分離面に規制されて滑動する現象。概ね両者の交線方向に滑動する。 |
| 複合すべり | | 形態の異なる複数の分離面に規制されて滑動する現象。 |
| 崩落型 | | 急傾斜の分離面に規制されて崩壊する現象のうち、岩盤が剥離して落下する現象。 |
| 転倒型 | | 急傾斜の分離面に規制されて崩壊する現象のうち、岩盤が重心移動により傾き転倒する現象。 |
| 座屈型 | | 板状に分離した岩体が自重によって、亀裂や劣化のある箇所で座屈し、折れ曲がるように全体的に崩壊する現象。 |

*複合すべりは土木学会 (1999) ²⁾を、平面すべり、くさびすべり、転倒および座屈はAndy. A (1992) ³⁾を引用した。

(1) 文献調査





北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(3/9) 岩盤崩壊の形態(2/3)

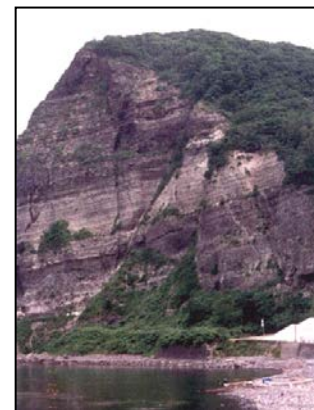
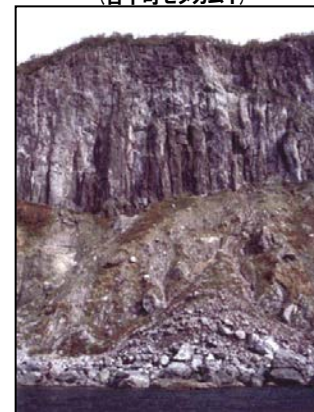
一部修正(H27/5/15審査会合)

【地質区分による分類】

- 岩盤崩壊と地質の関係を検討するために、岩石の物性や分離面の発達状況などの地質工学的特徴に着目した地質の区分を行っている。
- 急崖の地質区分を、火砕岩、溶岩、貫入岩及び新第三系堆積岩(碎屑岩)に区分している。
- 火砕岩と溶岩・貫入岩については、岩相が判別できる崖において露頭規模の特徴に着目し、それぞれ、層状火砕岩、塊状火砕岩、溶岩及び貫入岩に細区分している。

崩壊形態の模式図及び特徴

| 地質区分 | | 露頭規模の特徴 | 層相※ | 模式図 |
|--------------------|-----|---------------------------|-----------------------|---|
| 新第三系 および 第四系 | 火砕岩 | 層状 | ・複数の岩相により崖が形成される。 |  |
| | | 塊状 | ・概ね同一の岩相で崖が形成される。 |  |
| | 溶岩 | ・柱状節理・板状節理が発達する。 | 安山岩、デイサイト、玄武岩 |  |
| | 貫入岩 | ・柱状節理・板状節理の発達する薄い岩脈群からなる。 | デイサイト、安山岩、流紋岩、はんれい岩質岩 |  |
| | 堆積岩 | ・成層構造が発達する。 | 頁岩、泥岩、砂岩、礫岩 | |

層状火砕岩からなる急崖
(古平町セタカムイ)塊状火砕岩からなる急崖
(余別町来岸)主として溶岩からなる急崖
(下部は塊状火砕岩、島牧村茂津多)貫入岩からなる急崖
(神恵内村西の河原)

地質区分による代表事例

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(4/9) 岩盤崩壊の形態(3/3)

一部修正(H27/5/15審査会合)

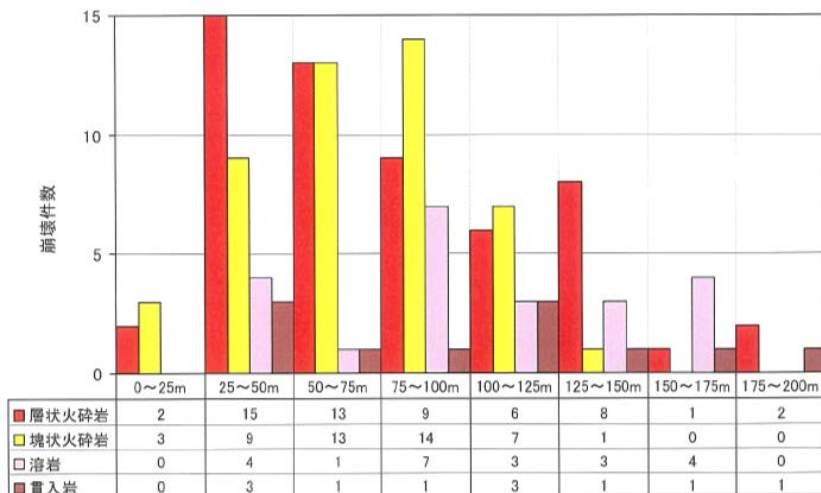
【斜面形状区分】

○(日本海沿岸域における)一連の高く急な海食崖の形状は、海食崖が後退していく過程における地質の強度や浸食作用の強弱があらわれたものであることから、海食崖の形状について、崖の比高、形態に着目した区分を行っている。

比高区分

○既往崩壊箇所について、急崖の比高を整理している。

- 崖の比高は200m以下である。
- さらに、火砕岩でも「層状」では25~50mに、「塊状」では50~100mに頻度の高いピークがあり、崩壊発生数の偏りが認められる。



崖の比高(m)

比高の頻度分布

形態区分

○形態区分に関しては、以下のように記載されている。

- 広域地形・地質調査の結果、急崖の断面形態は3種類(形態Ⅰ~Ⅲ)に分けられる。
 - ✓ 形態Ⅰ:活発な海食作用を受けている急崖
 - ✓ 形態Ⅱ:斜面脚部に崖錐が堆積し、この崖錐が斜面を波力より保護して海食が休止した状態の急崖
 - ✓ 形態Ⅲ:急崖は海食が停止してから長時間経過して斜面勾配は安定化し、植生が進入
- これらの形態は海食崖の安定化の過程を示し、「形態Ⅰ→形態Ⅱ→形態Ⅲ」と変遷していくものと考えられる。
- 安定化したと考えられる植生の繁茂した形態Ⅲの斜面勾配は、多くの場合60°以下である。
- 川本(1975)による数値解析では、均質な岩盤斜面内部に引張応力領域が現れるのが傾斜60°程度の斜面とされ、急傾斜になるほどその領域が大きくなるものとされている。
- これらのことから、斜面の安定勾配の目安として傾斜60°で急崖を区分した。

| 傾斜 | 傾斜 60° 以上 | | 傾斜 60° 未満 |
|-------|--|---|--|
| 形態区分 | I | II | III |
| 模式断面図 | | | |
| 記事 | <ul style="list-style-type: none"> ・崖脚部の崖錐は部分的で小規模。 ・壁面の植生はほとんど無い。 ・ノッチやオーバーハングが発達する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・崖脚部に厚い崖錐、一部では岩盤の緩斜面を持つ。 ・壁面の植生はほとんど無い。 ・植生は崖脚部の緩斜面に繁茂する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・斜面下部は厚い崖錐が堆積し、上部斜面は安定勾配化する。 ・多くの場合、崖表面には植生が繁茂する。 |

急崖の形態区分

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会（5/9）事例レビュー（1/2）

一部修正（H27/5/15審査会合）

【豊浜トンネル崩壊事例】

- 1996年2月10日午前8時10分頃、一般国道229号の豊浜トンネル古平側坑口付近で岩盤崩落が発生した。
- 崩壊に関わる取りまとめの概要は、以下のとおりとされている。

《地形・地質》

- 崩落発生箇所は新第三紀中新世の海底火山活動によって形成された火砕岩からなる急崖斜面で、分布がほぼ崩落箇所に限られる塊状で無層理の細粒火砕岩を主としており、顕在化した亀裂は少ない。
- 崩落壁面には、上部と左側に褐色を呈する風化部がある。この風化部は崩落前の斜面に存在していた亀裂に対応していると考えられる。
- 崩落後のボーリング調査により、積丹半島一帯にみられる広域割れ目系と方向性が一致する不連続な亀裂が、頻度は小さいながらも確認されている。
- 崩落箇所の岩石は工学的には比較的均質な軟岩で、スメクタイトを含む。
- 地下水は崩落壁面のつららの発生や、崩落後のボーリング調査時に被圧水として認められた。
- その後の研究では、崩落部周辺の壁面には、湧水点が15～20m程度の間隔で分布していること等が指摘されている。

《崩壊の規模と要因》

- 岩盤に内在する不連続な亀裂が進展し、互いに連続することによって、発生したものである。
- 亀裂の進展は浸食による応力解放及び地下水の浸透による風化により斜面表層部に達した亀裂が開口し、この亀裂と岩盤内部の不連続な亀裂に地下水の浸透による風化、自重と地下水圧などが作用し、進行していったものと考えられる。
- さらに、外気温の影響を受ける範囲の亀裂では、気温低下時の氷結圧及び岩盤の凍結融解による岩盤劣化があったものと考えられる。
- なお、崩壊面付近の最深凍結深は50～60cmと推定されている。



豊浜トンネル崩壊箇所全景

(北海道地すべり学会(2012)より引用)

崩壊規模

| | |
|--------|-----------------------|
| 最大高さ | 約70m |
| 最大幅 | 約50m |
| 最大厚さ | 約13m |
| 体積 | 約11,000m ³ |
| 垂直落下距離 | 約7m |

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会（6/9）事例レビュー（2/2）

一部修正（H27/5/15審査会合）

【第2白糸トンネル崩壊事例】

- 1997年8月25日午後2時30分頃、国道229号第2白糸トンネル南側坑口付近で岩盤崩落が発生し、その後、同年の8月28日午後1時30分頃に、第1回崩落部に隣接する斜面で2回目の崩落が発生した。
- 崩壊に関わる取りまとめの概要は以下のとおりとされている。

《地形・地質》

- 崩落箇所は斜面傾斜が垂直に近く、約150mもの標高差を持つ急峻な塔状岩体を形成している。
- 下部緩斜面との境界付近には窪地形が見られ、その上部斜面は一部オーバーハングを呈している。
- 地質は、主に新第三紀系の水冷破碎岩からなるが、岩相変化に富み構造も不規則である。
- 特に、岩体下部にはスメクタイトを含む変質の強いゾーンが分布する。
- 各地層の境界は、不規則ではあるが海側への流れ盤となっている。
- 崩壊面で観察される亀裂面は走向により2系統に大別され、いずれも風化により褐色化している。
- 崩落は、崩落面の両端部ではこれらの亀裂面に沿った形で発生しているものの、崩落岩体は単純にこれらの亀裂系で分離していない。
- さらに、崩落面にはこれら主要な面以外のものも一部に認められている。
- 岩体下部の亀裂部や中部層と下部層との境界部の一部で地下水の湧出が認められている。

《崩壊の規模と要因》

- オーバーハングを伴う塔状岩体において、岩相の不規則性、岩体背面に内在する亀裂等の存在、崩落岩体下部のスメクタイトを含む変質の強いゾーンの存在という複雑な地質環境下で、地下水による変質ゾーンの劣化の進行、岩体の自重、地下水、凍結融解等の影響による亀裂の長期的な進展などが複合的に作用して発生した。
- 1997年8月の豪雨が深く関与したものとされている。
- 北海道南西沖地震では震度5を記録し、当箇所と隣接する急崖斜面では岩盤崩落が発生しており、この地震は亀裂進展にある程度の影響を与えた可能性もある。
- 1997年8月3日から8月14日の降雨は、累積雨量で290mmに達し、その間、8月5日には島牧村木巻地区で、最大日雨量102mmを記録する豪雨となった。
- 室内岩石試験結果、崩壊面の中央付近での赤外線放射温度測定結果から明らかになった崩壊面中央付近での通水状況から、この降雨の影響により、崩落岩体の背面の亀裂が進展した可能性が高い。
- さらに、岩体下部では亀裂部などに地下水が供給され、変質ゾーン及び既存亀裂周辺で強度低下が発生したものと推測される。
- 降雨量と湧水量の関係や崩落直後の壁面が全面湿潤状態であったことなどから、崩落岩体は豪雨後も継続して岩盤中に浸透した地下水の影響を受けていたものと考えられる。
- こうした条件下にあって、崩落岩体背面の亀裂の進展や下部岩体の強度の低下状態は豪雨後も続き、降雨ピークの約3週間後の8月25日、第1回目の崩落岩体は全体的な安定を維持し得ず、落下するに至ったと判断される。



第1回崩落

第2回崩落

第2白糸トンネル崩壊箇所全景
（北海道地すべり学会（2012）より引用）

崩壊規模

| | 第1回崩落 | 第2回崩落 |
|------|-----------------------|-----------------------|
| 最大高さ | 約130m | 約80m |
| 最大幅 | 約70m | 約30m |
| 最大厚さ | 約20m | 約20m |
| 体積 | 約42,000m ³ | 約14,000m ³ |

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (7/9)

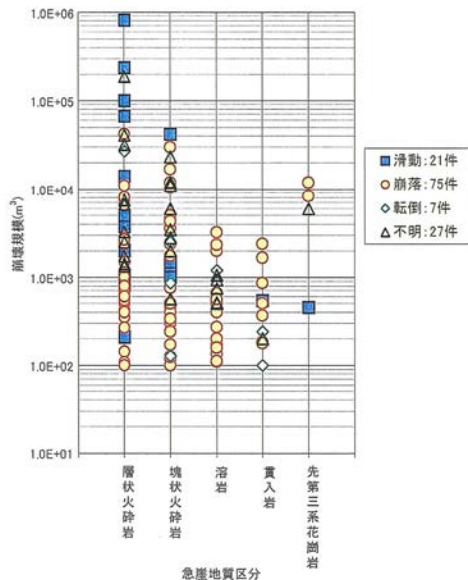
一部修正 (H27/5/15審査会合)

【地質と崩壊規模・形態】

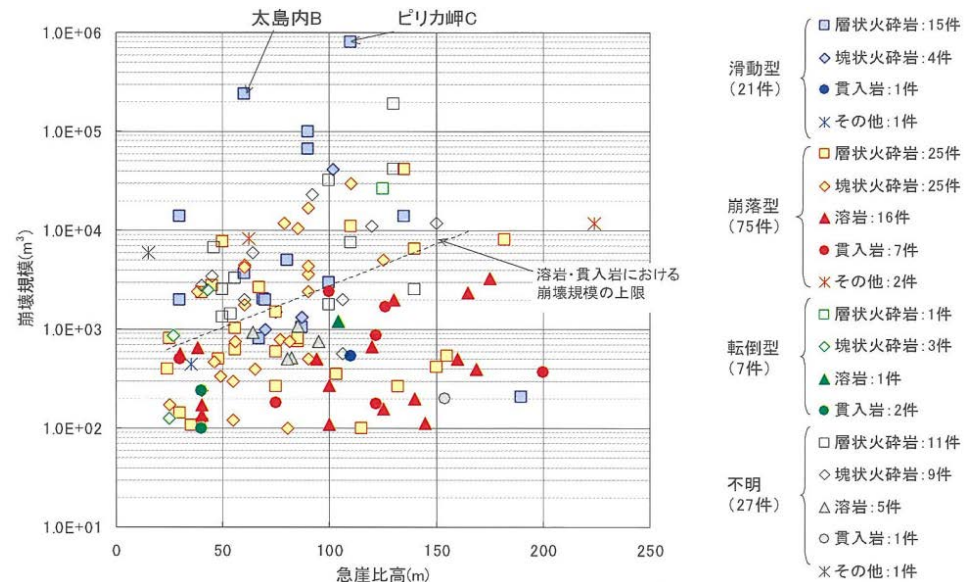
- 火砕岩は、溶岩・貫入岩体に比べて最大の崩壊規模が大きくなる傾向がある。
- 層状火砕岩では、滑動型の崩壊の発生件数が多く、それらは大規模な崩壊になる場合がある。
- 地質によって最大崩壊規模に差があるのは、それぞれの地質に発達する分離面の多少によるものと考えられる。
- 火砕岩での崩壊や、滑動型の崩壊が大規模崩壊になる場合が多い。
- 既往の崩壊規模は、最大でも $8.2 \times 10^5 \text{m}^3$ 程度（滑動型）である。

【急崖の比高と崩壊規模の関係】

- 急崖の比高の増加に伴い最大崩壊規模が増大する傾向がある。
- 溶岩・貫入岩と火砕岩の間には、最大崩壊規模に10倍程度の差がみられる（図中の黒破線）。
- 比高の増加に伴い最大崩壊規模は増大する傾向がある。
- 既往の崩壊における最大規模の比高は200m程度である。
- 既往の崩壊規模は、最大でも $8.2 \times 10^5 \text{m}^3$ 程度（滑動型）である。



地質と崩壊規模・形態の関係 (130件/141件)



急崖の比高と崩壊規模の関係 (130件/141件)

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (8/9)

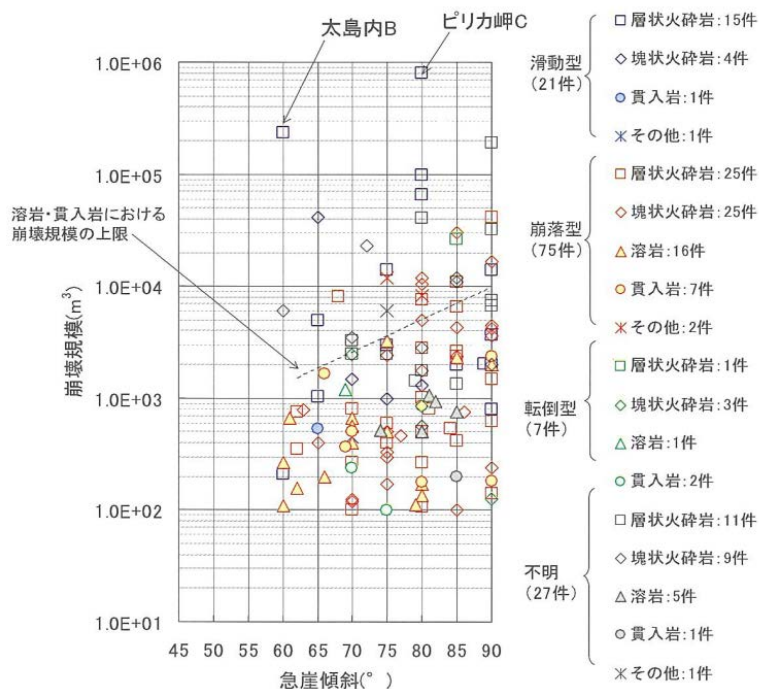
一部修正 (H27/5/15審査会合)

【急崖の傾斜と崩壊規模の関係】

- 斜面が急になるほど最大崩壊規模が増大する傾向にある。
- 主崩壊面が緩くなる場合のある滑動型の崩壊を除くとより明瞭になる。
- 傾斜の増加に伴い最大崩壊規模は増大する傾向がある。
- 既往の崩壊規模は、最大でも $8.2 \times 10^5 \text{m}^3$ 程度（滑動型）である。

【岩盤崩壊の規模と地形地質条件の関係】

- 傾斜 60° 未滴の形態IIIの急崖では 100m^3 以上の岩盤崩壊は認められなかった。
- 比高及び傾斜の増加にともなって最大崩壊規模が大きくなる傾向がある。
- 分離面密度の低い地質ほど最大崩壊規模が大きくなる傾向がある。



急崖の傾斜と崩壊規模の関係 (130件/141件)

| | | | | |
|--------|---------|--------|---|------|
| 最大崩壊規模 | | 小規模 | ↔ | 大規模 |
| 地形条件 | 比高 | 低 | ↔ | 高 |
| | 形態 | III | ↔ | I・II |
| 地質条件 | 地質区分 | 溶岩・貫入岩 | | 火砕岩 |
| | (分離面密度) | 高 | ↔ | 低 |

岩盤崩壊の規模と地形地質条件の関係

(1) 文献調査

北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (9/9)

一部修正 (H27/5/15審査会合)

○既往の崩壊事例に基づき、急崖における岩盤崩壊特性の1つである崩壊規模について着目し、比高、形態、地質区分の3要素を用いて各区間で起こり得る最大崩壊規模についての区分図(岩盤崩壊特性区分図)を作成している。

○区分図の作成に当たっては、急崖(形態Ⅰ・Ⅱ)については、比高及び地質区分と最大崩壊規模の関係に基づき、発生し得る最大崩壊規模を推定している。

○また、形態Ⅲの崖については、100m³以上の崩壊が発生していないことから、急崖比高や地質区分に左右されないものとして、いずれも100m³未満の崩壊規模を推定している。

○敷地周辺においては、大規模(10,000m³以上)な岩盤崩壊が推定される範囲が、14区間確認されている(右図A~N)。

形態Ⅰ・Ⅱ

| 地質区分 | 50m未満 | 50m以上 100m未満 | 100m以上 |
|--------|-------|-----------------|--------|
| 火砕岩 | 赤 | 赤 | 赤 |
| 溶岩・貫入岩 | 黄 | 黄 | 黄 |
| その他※ | 黄 | 黄 | 黄 |

形態Ⅲ

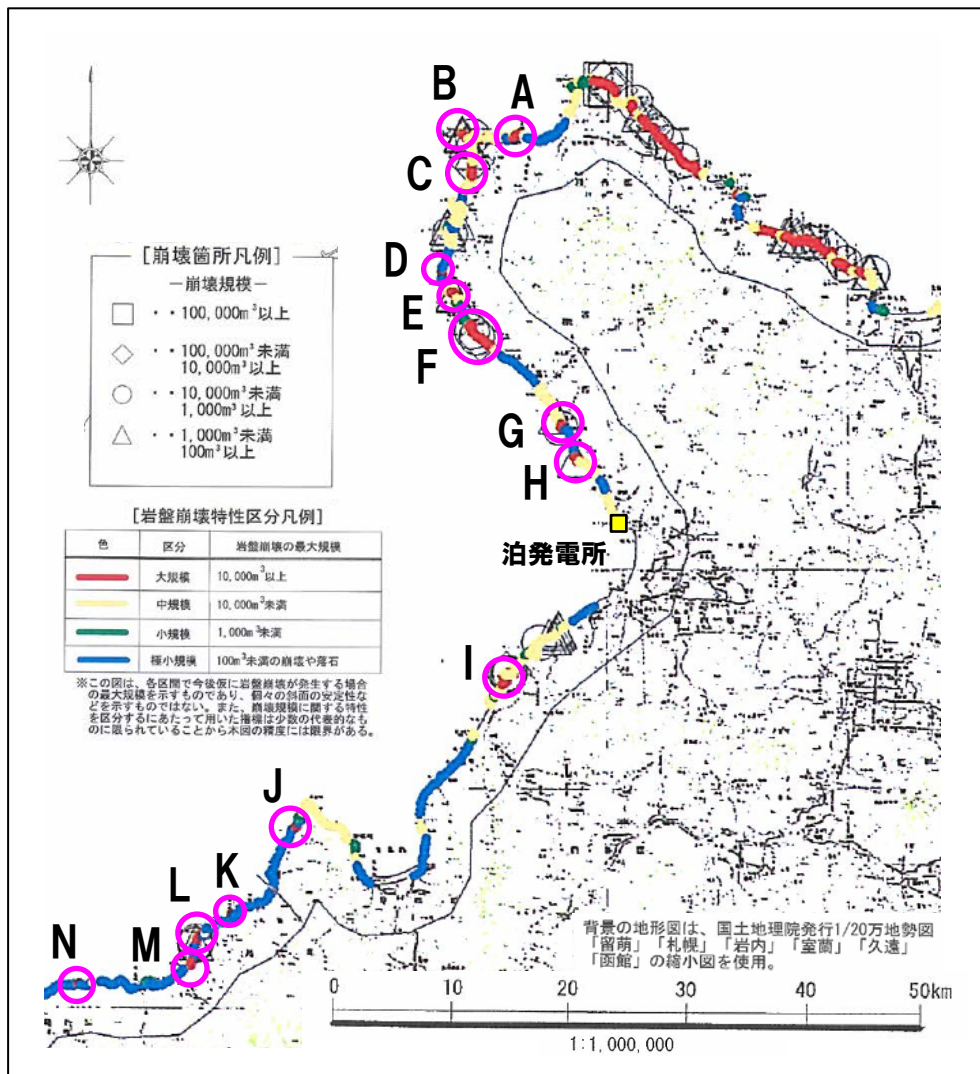
| 地質区分 | 50m未満 | 50m以上 100m未満 | 100m以上 |
|--------|-------|-----------------|--------|
| 火砕岩 | 青 | 青 | 青 |
| 溶岩・貫入岩 | 青 | 青 | 青 |
| その他※ | 青 | 青 | 青 |

凡例

| 色 | 区分 | 岩盤崩壊の最大規模 |
|---|------|----------------------------|
| 赤 | 大規模 | 10,000m ³ 以上 |
| 黄 | 中規模 | 10,000m ³ 未満 |
| 青 | 小規模 | 1,000m ³ 未満 |
| 青 | 極小規模 | 100m ³ 未満の崩壊や落石 |

※新第三系堆積岩および先第三系花崗岩・堆積岩に該当する。

岩盤崩壊特性区分



岩盤崩壊特性区分図

(北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)に一部加筆)

(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (1/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

【地形解析】

○地形判読の参考情報とするため、地形解析を行い急傾斜地を抽出した。

《抽出条件》

- 北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)を踏まえ※, 以下の条件に該当する急傾斜地を抽出した。

- ✓ 傾斜角60°以上
- ✓ 標高50m以上

※傾斜60°未満での岩盤崩壊は、確認されていない。

※大規模崩壊(10,000m³以上)の大部分は、比高50m以上で発生している。

《地形解析の対象範囲》

- 地形解析の対象範囲は、岩盤崩壊による津波の敷地への影響を考慮し、ピリカ岬から木巻岬までとした。
- 陸域については、海岸線から500mまでとした。

《地形解析に用いる地形》

- 地形解析に用いる地形は、国土地理院の基盤地図情報の数値標高モデルを用いた。

【地形判読】

- 地形解析により抽出した急傾斜地のうち、敷地への影響が大きいと考えられる地点について、地形判読を行い、急崖を含む尾根部から緩斜面部までを崩壊地形を設定した。

《地形判読の対象範囲》

- 地形判読の対象範囲は、以下を踏まえ、川白からピンノ岬付近までとした。
- ✓ 川白～ピリカ岬には、川白の地すべり規模を上回る急傾斜地はない。
- ✓ ピンノ岬付近～木巻岬には、ピンノ岬付近の地すべり規模を上回る急傾斜地はない。

《地形判読に用いる地形》

- 地形判読に用いる地形は、空中写真、国土地理院のDEMから作成した1/25,000地形図及び航空レーザー測量によるDEMから作成した1/2,500地形図を用いた。

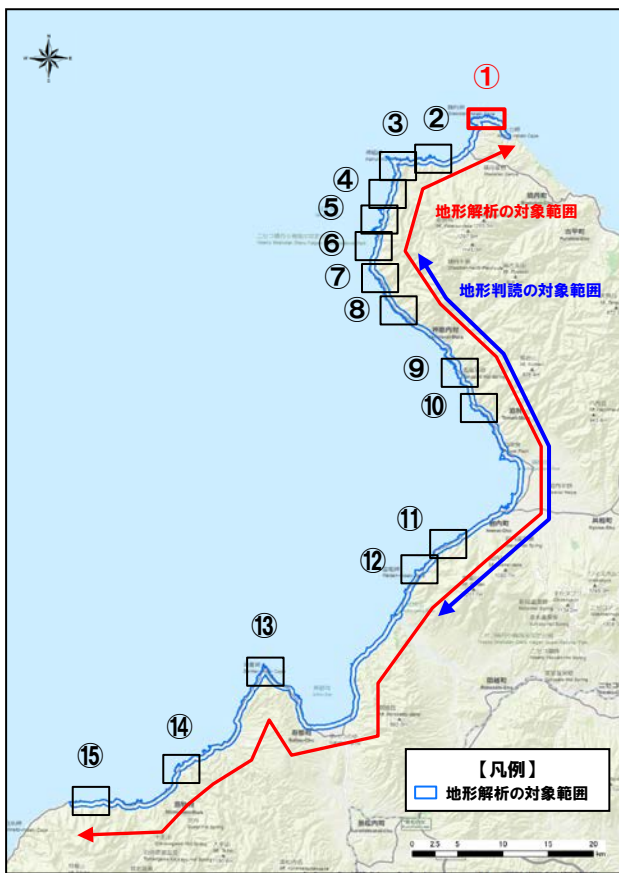


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (2/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

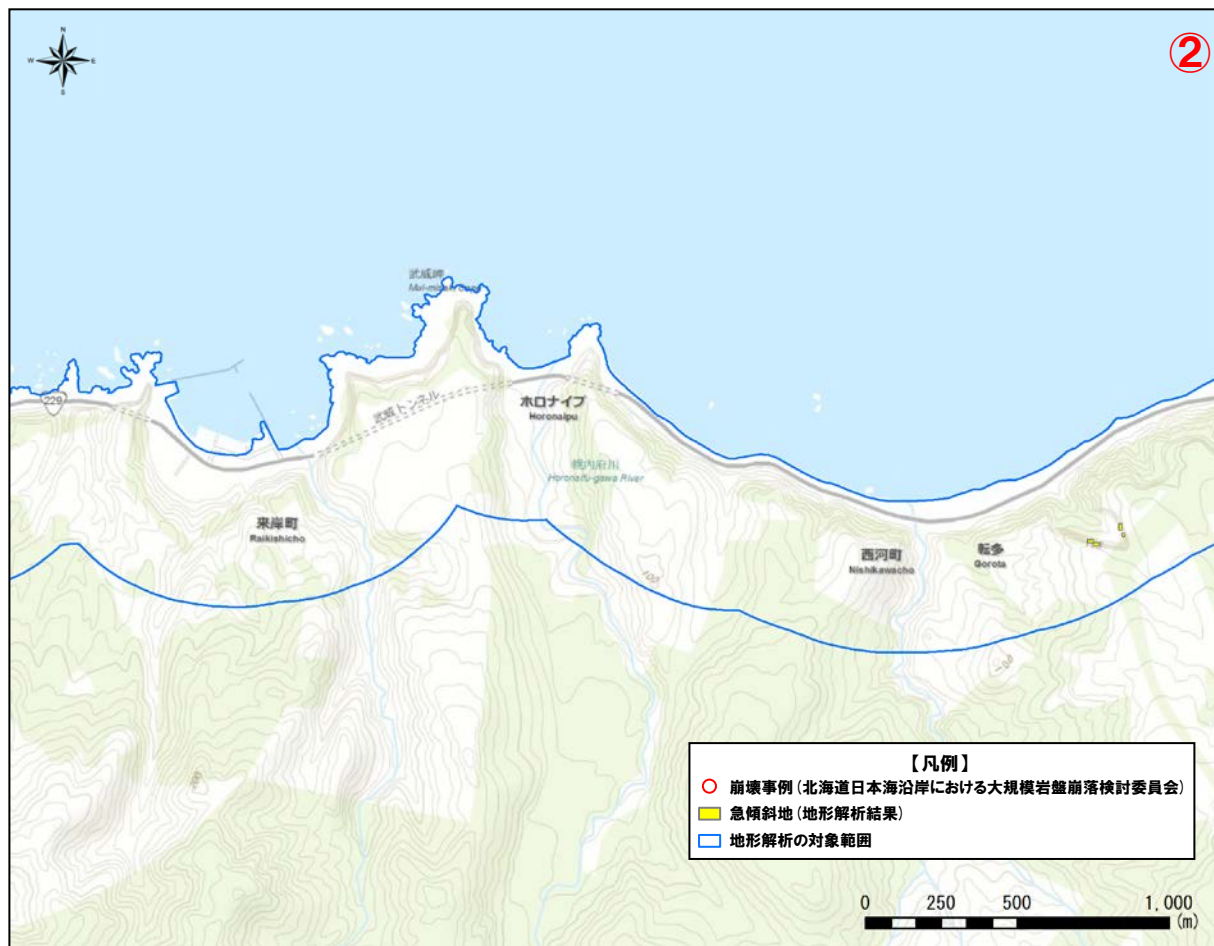
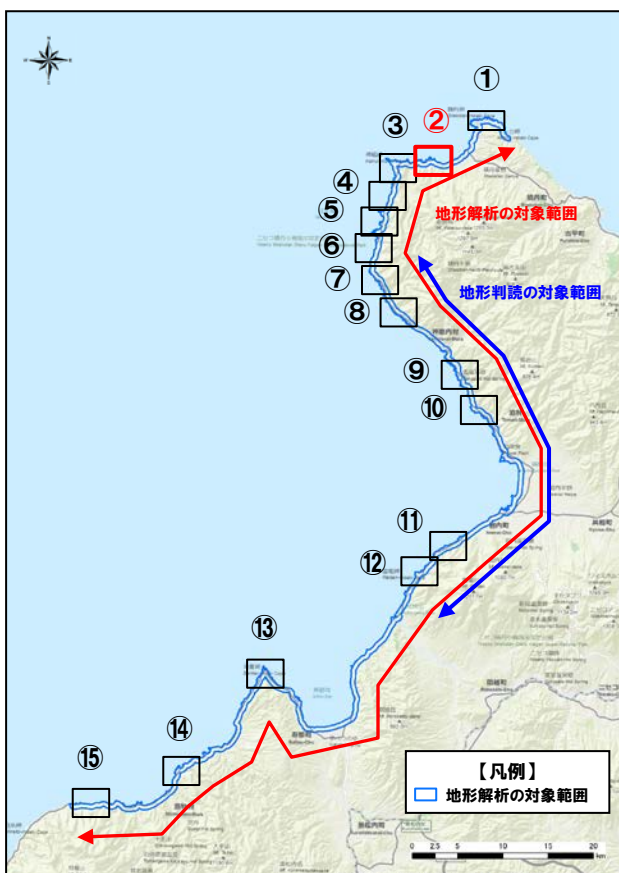


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (3/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

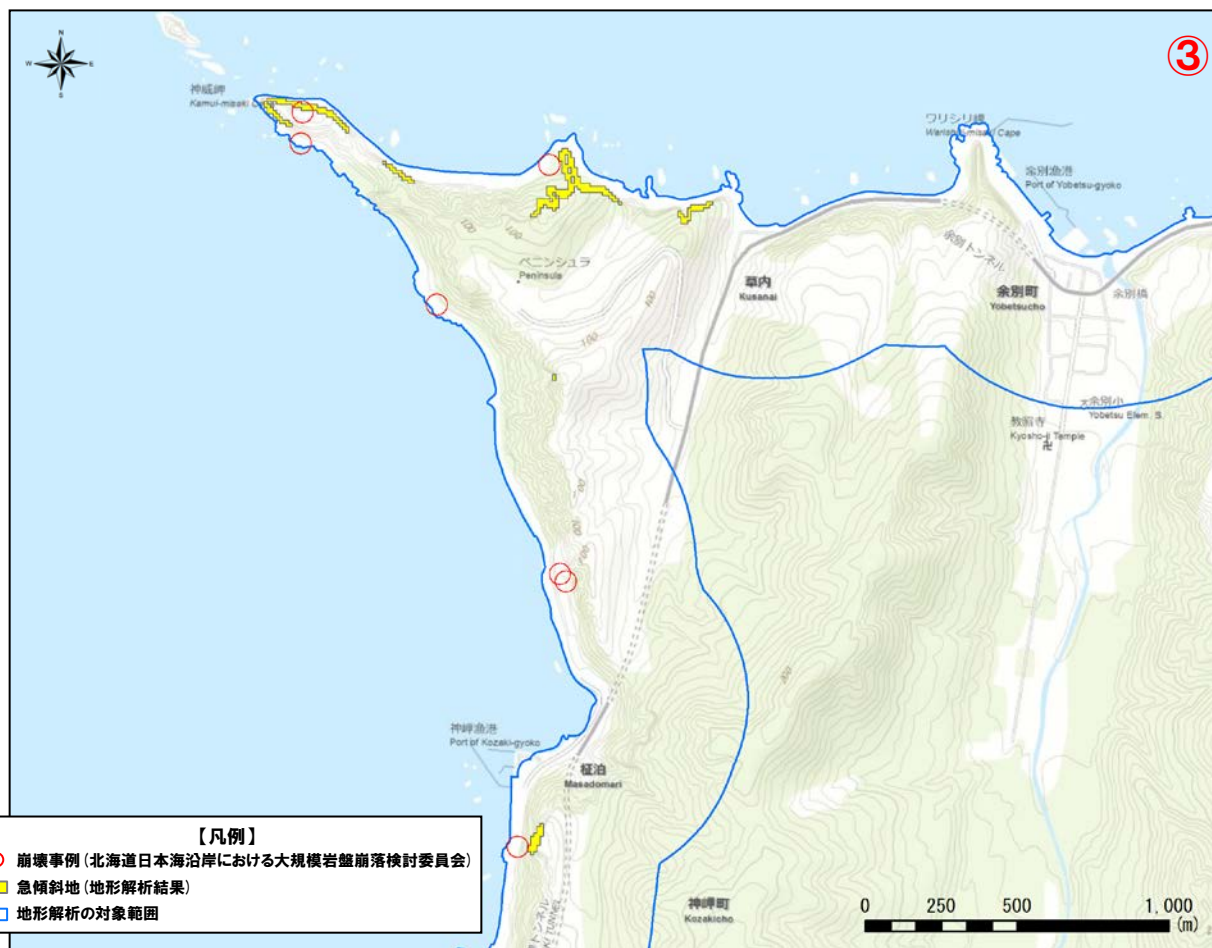
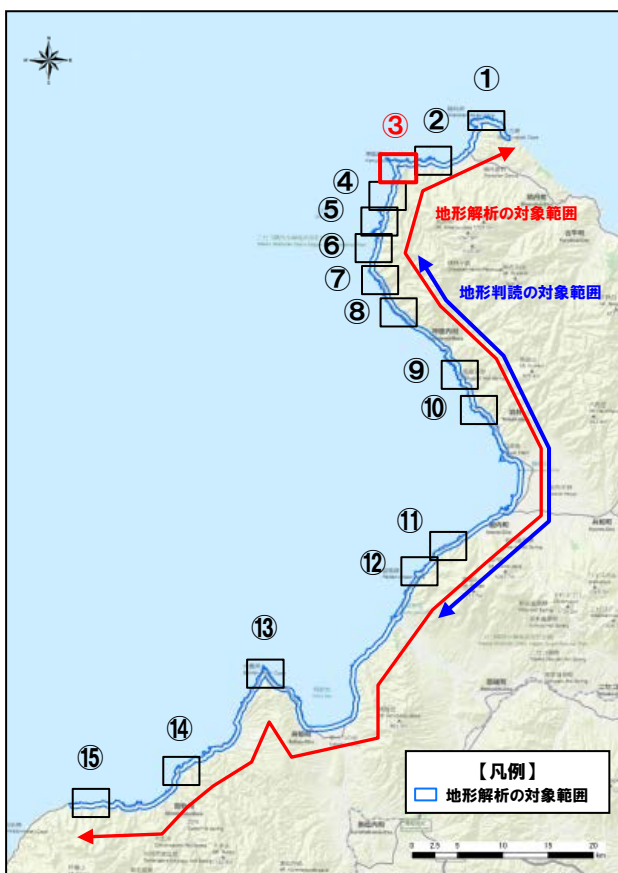


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (4/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下图に示す。

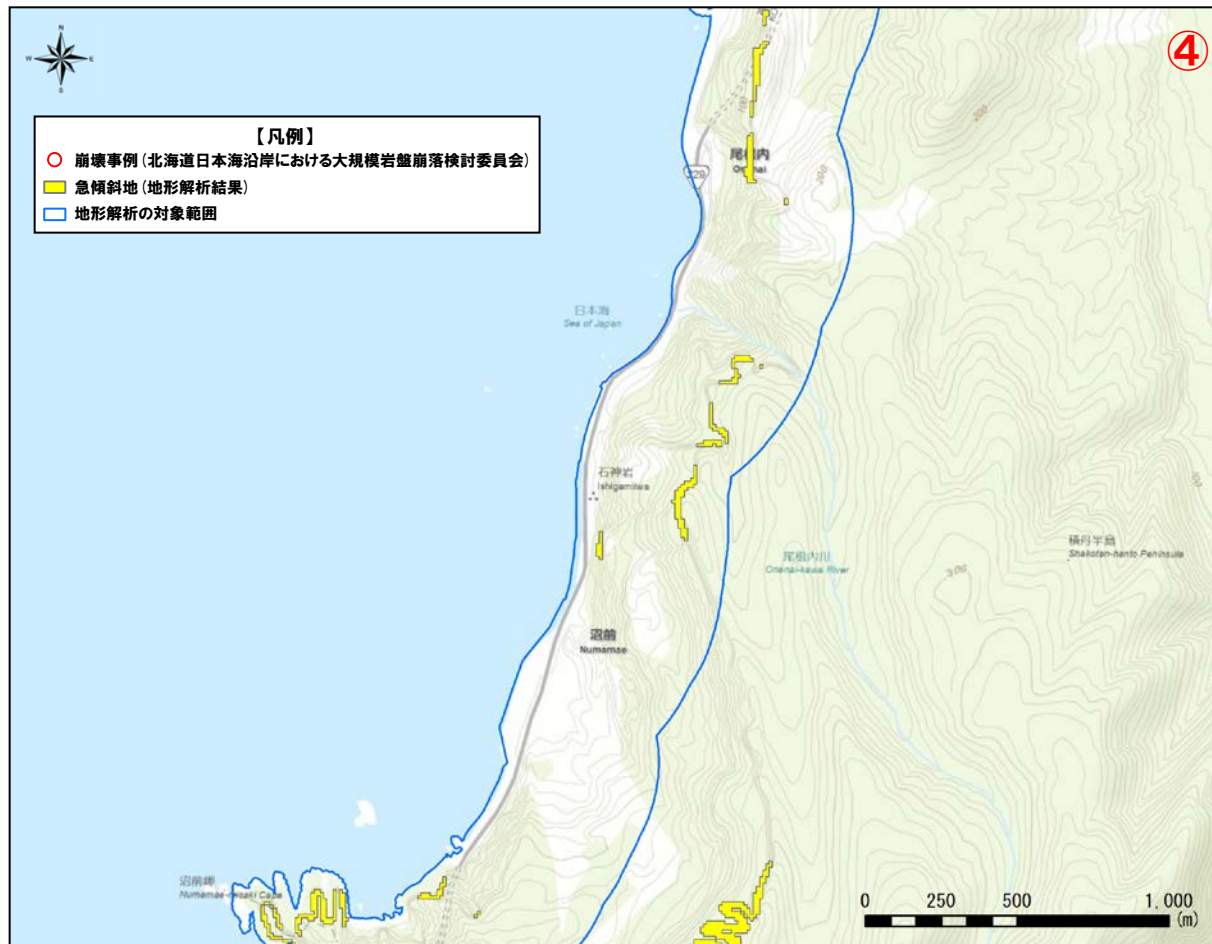
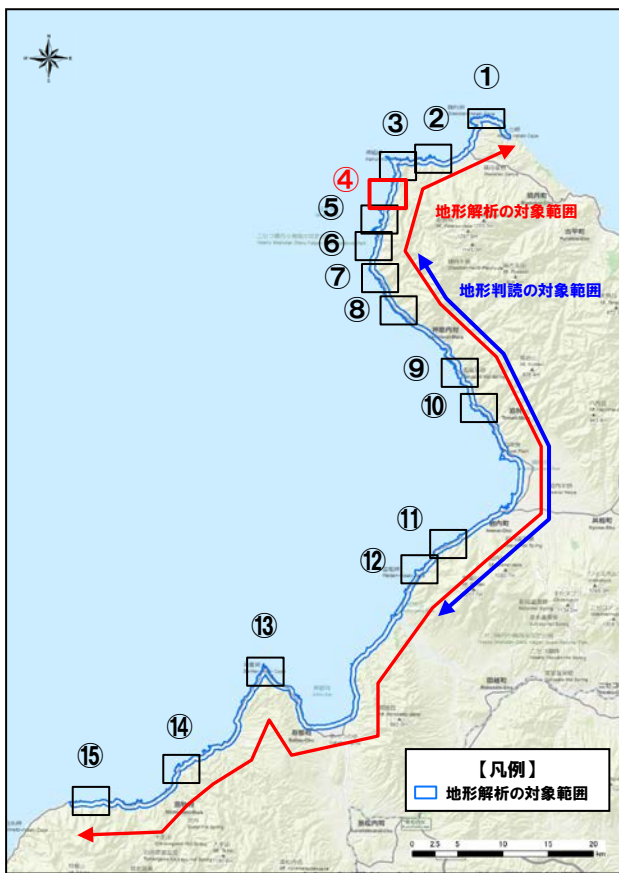


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (5/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

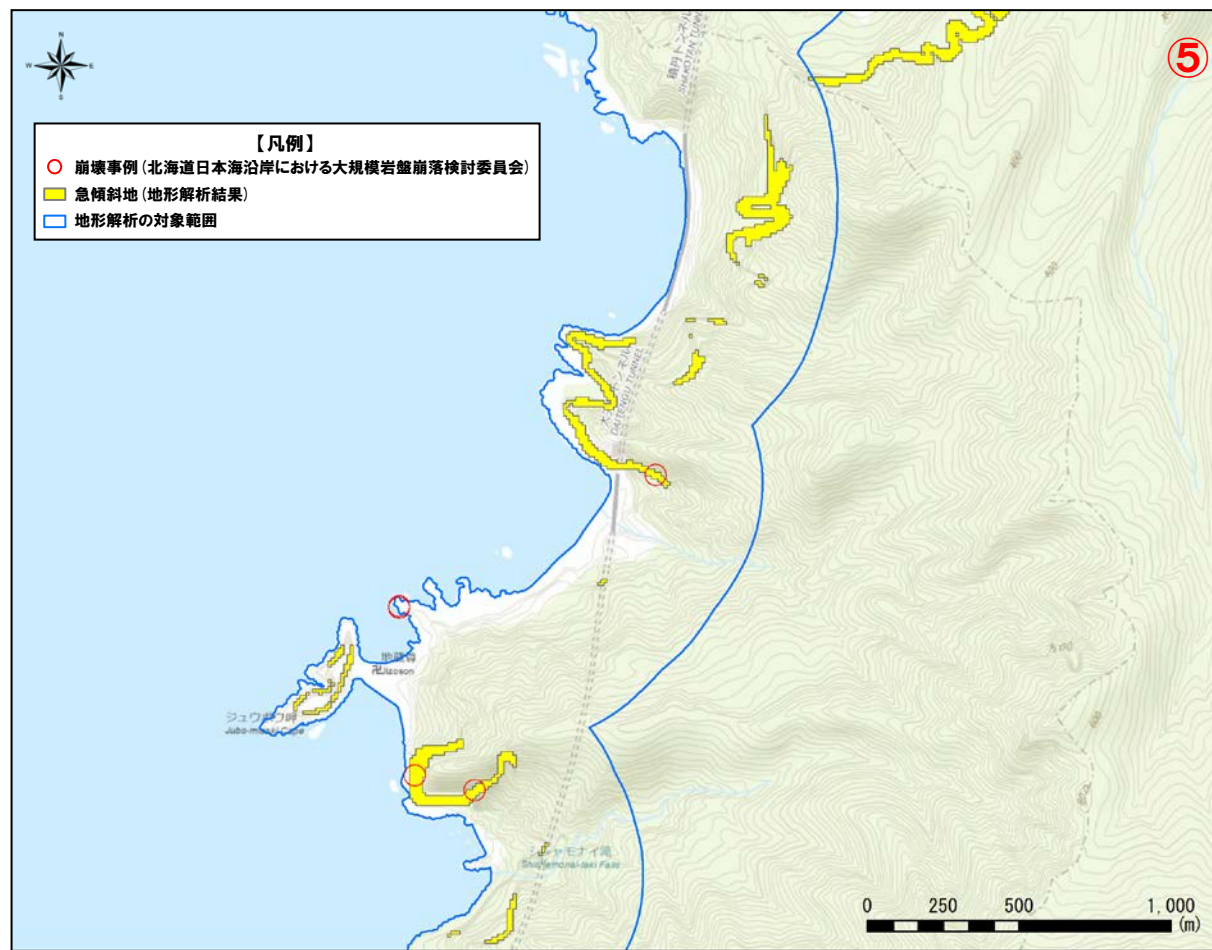
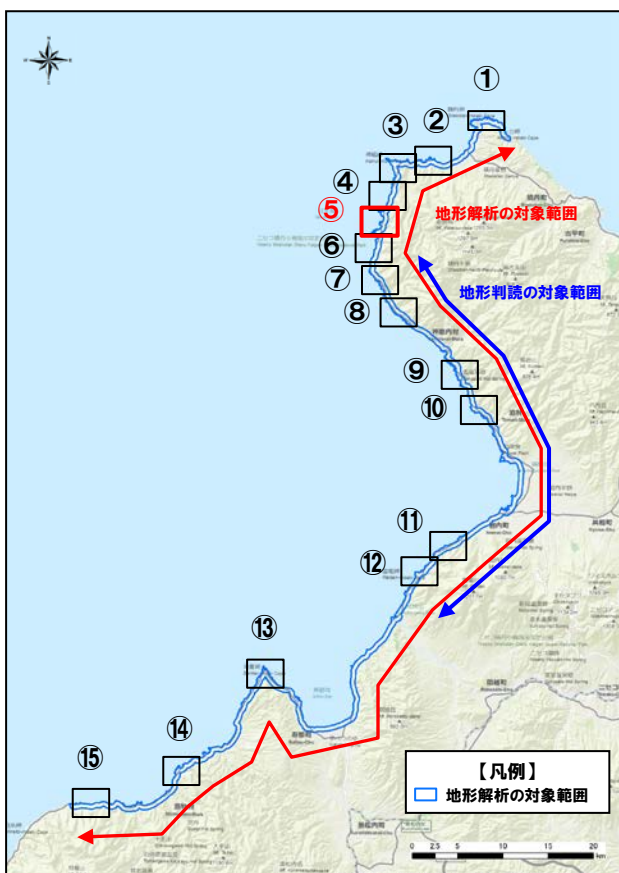


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (6/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

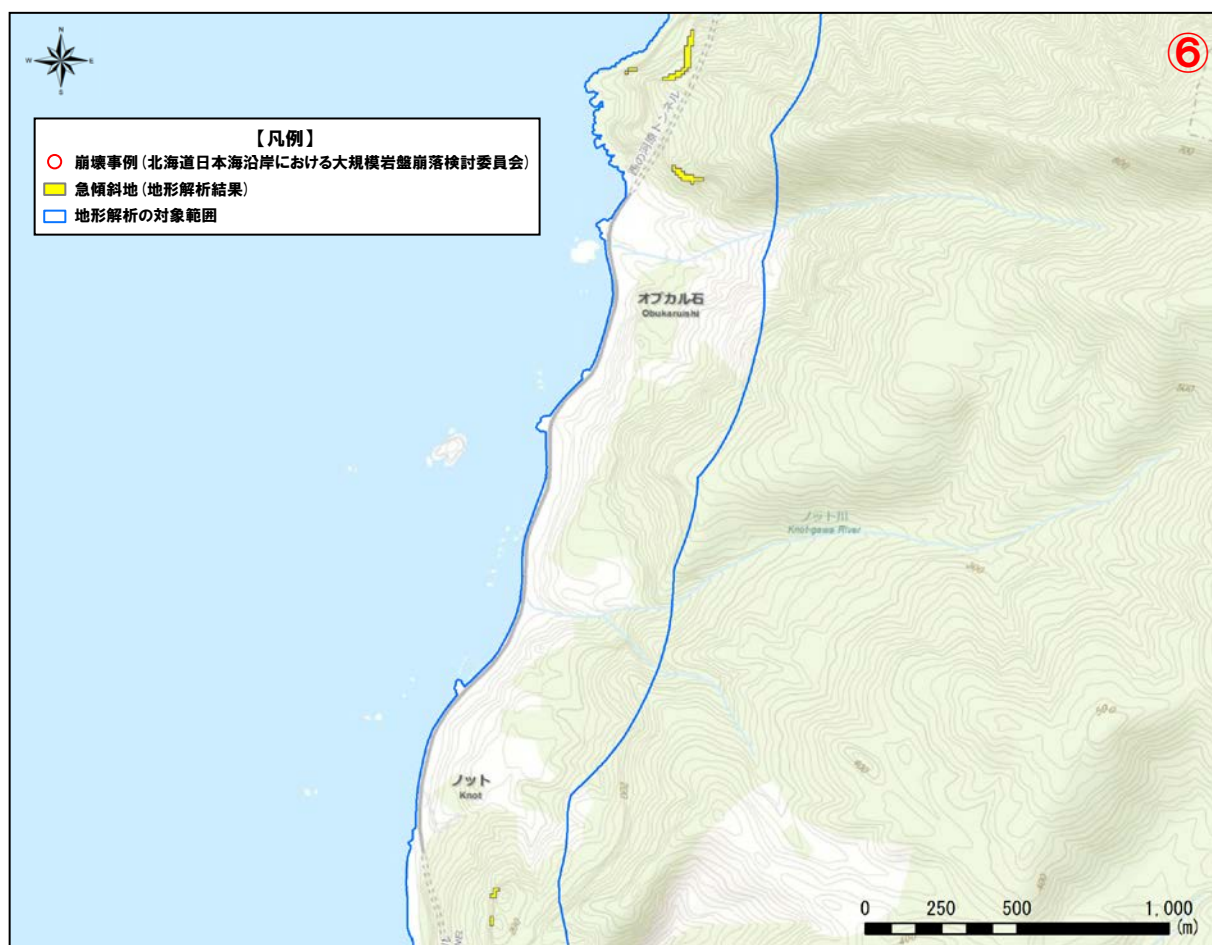
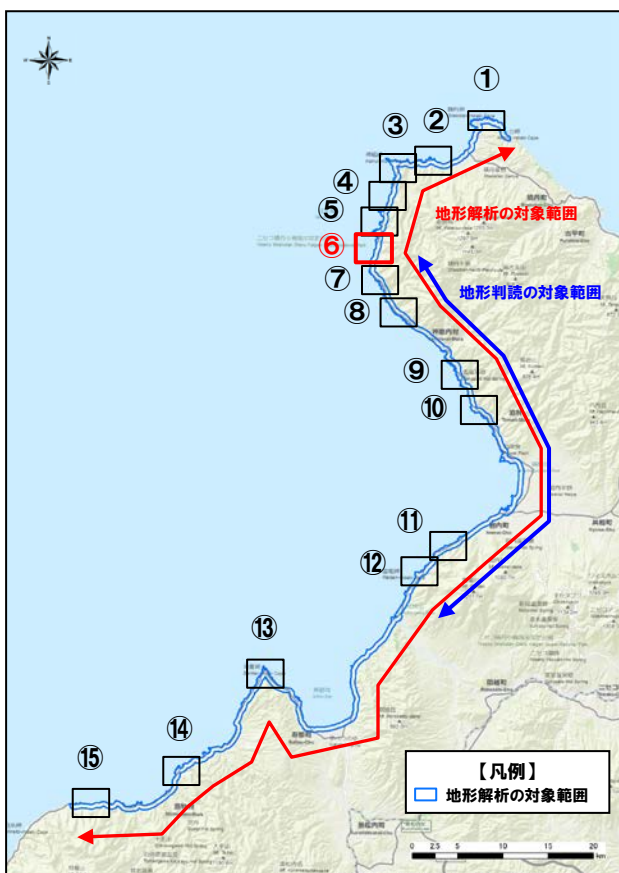


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (7/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

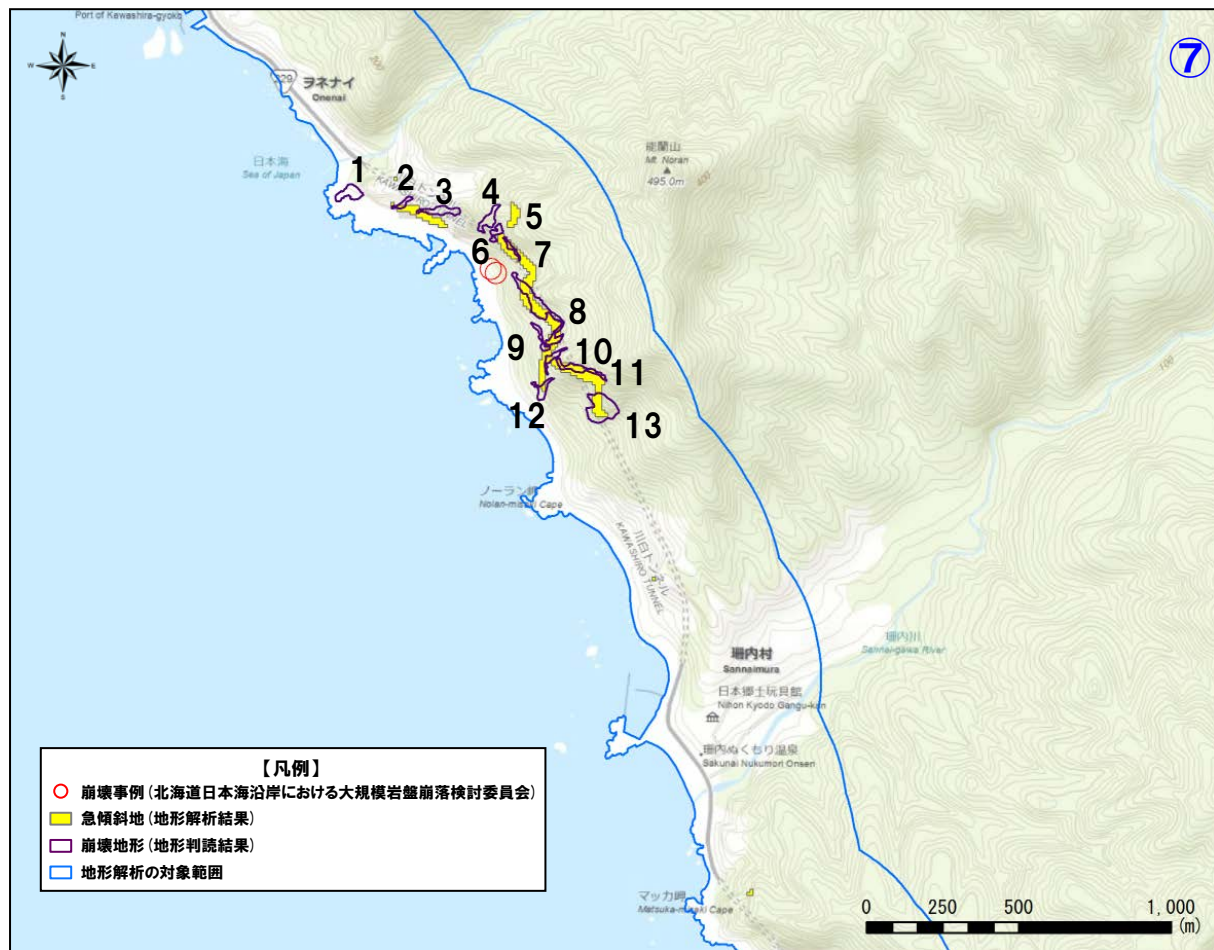
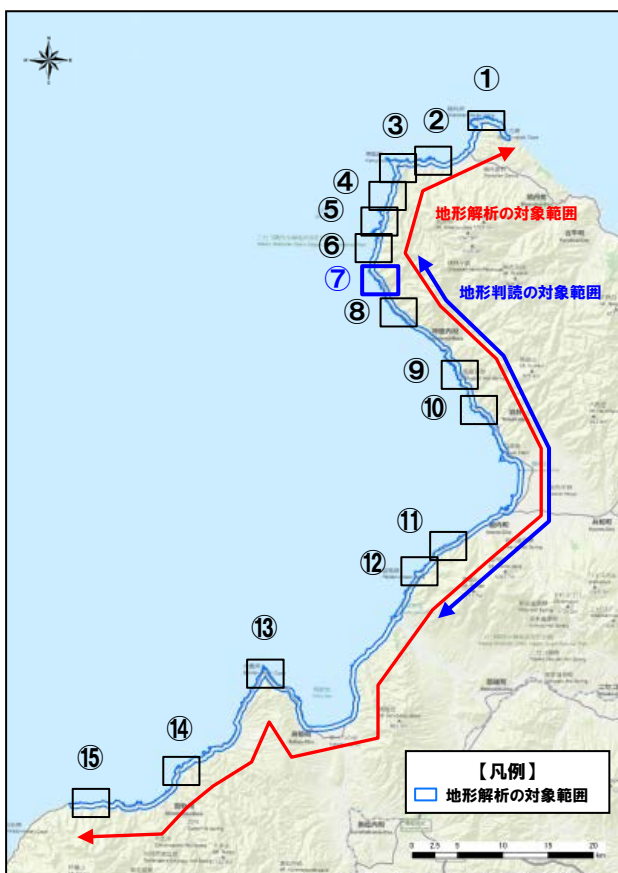


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (8/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下图に示す。

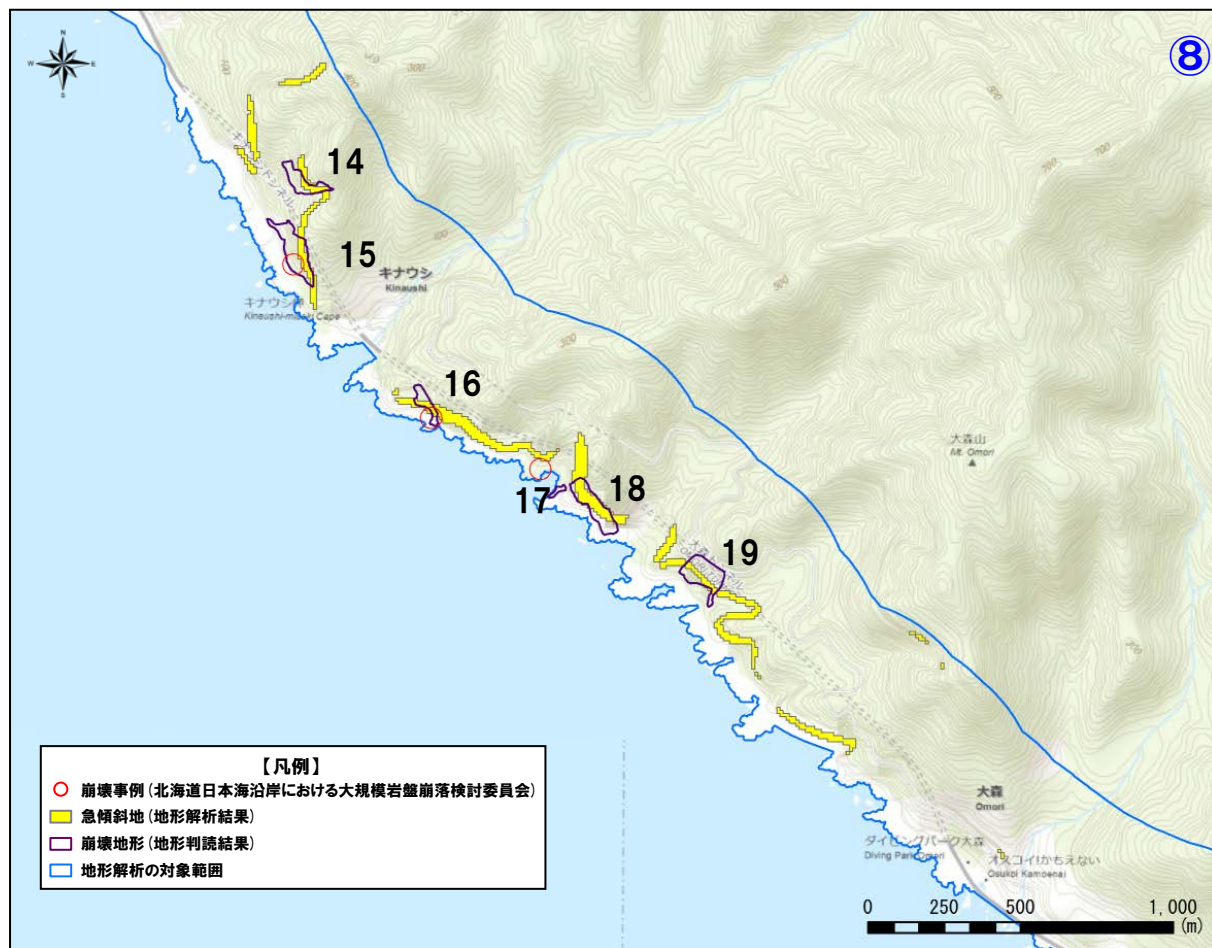
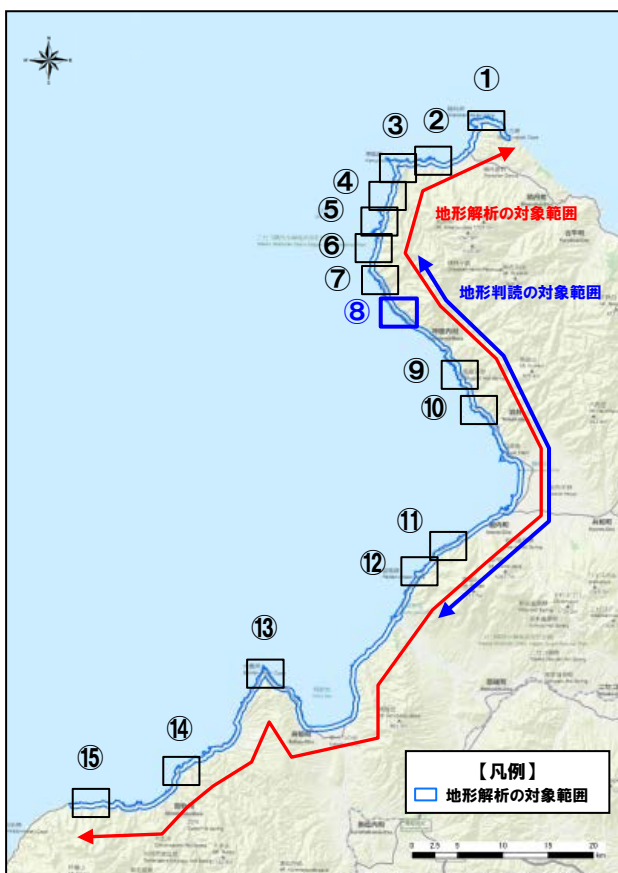


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (9/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

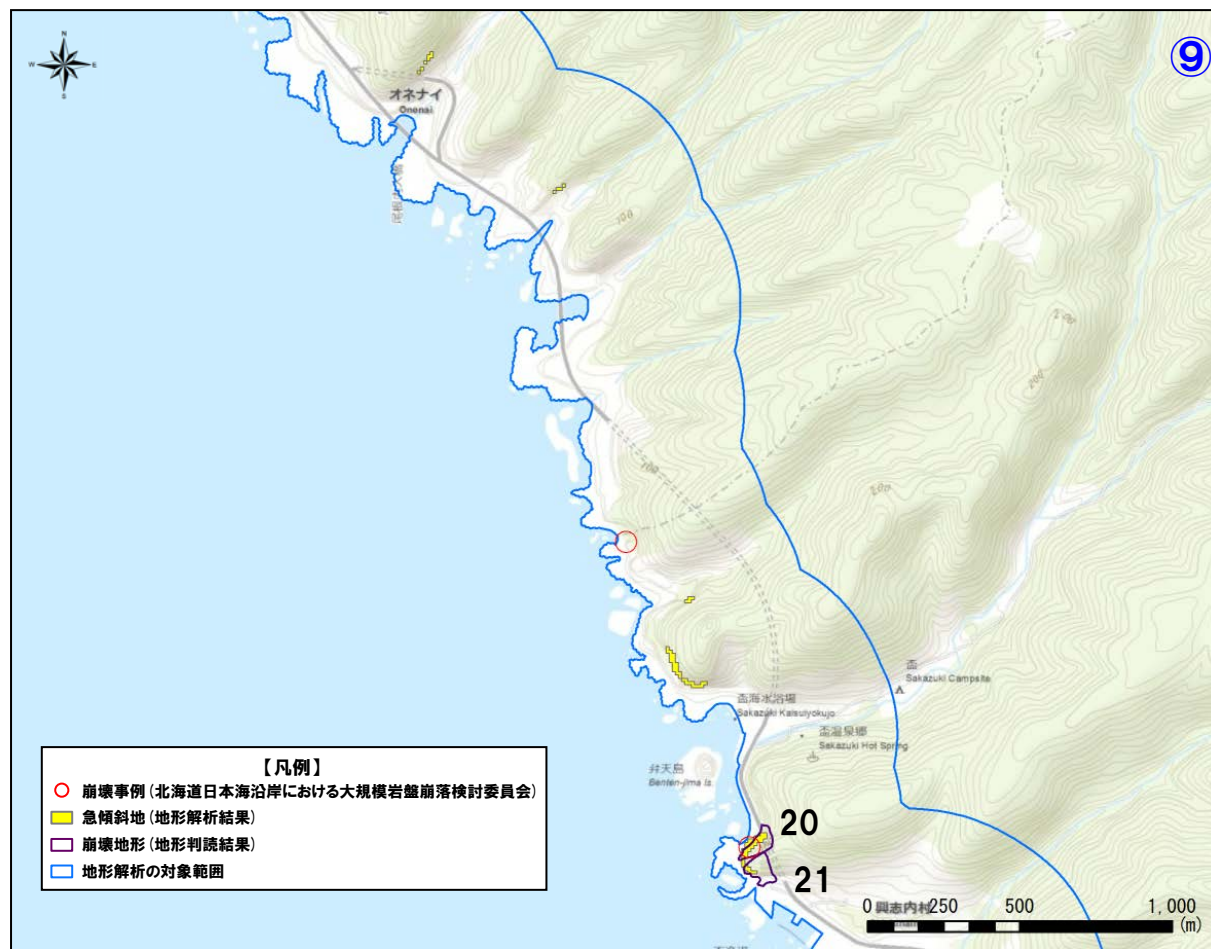
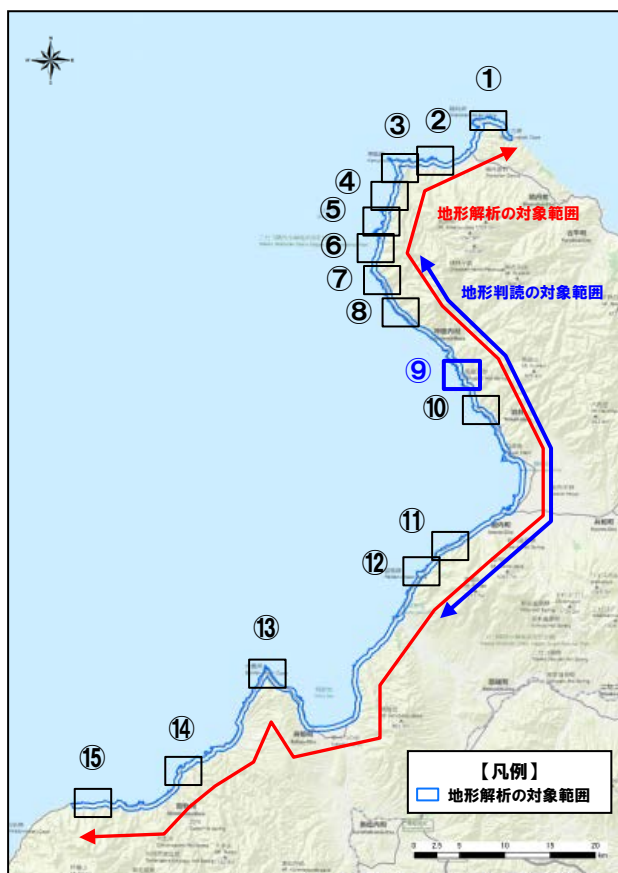


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (10/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

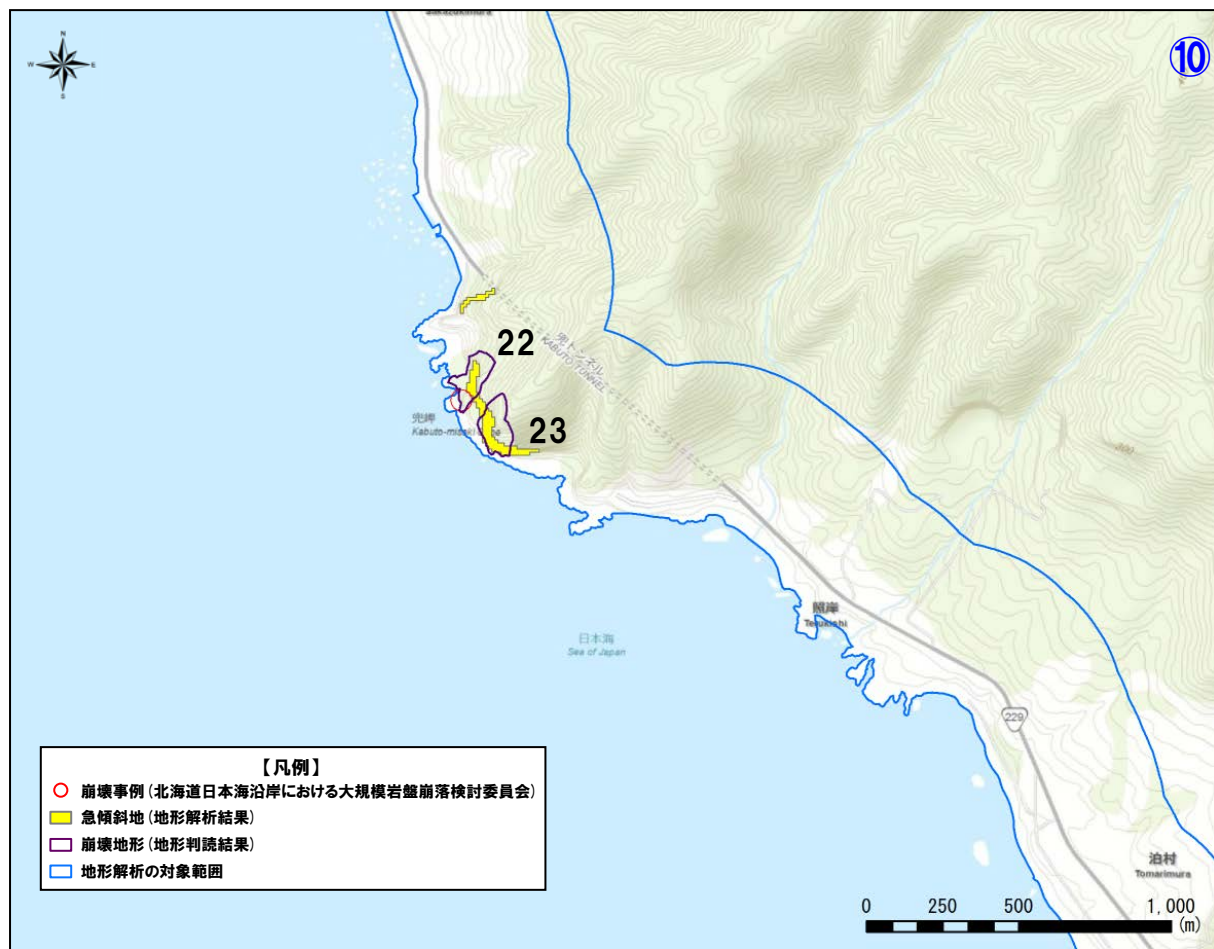
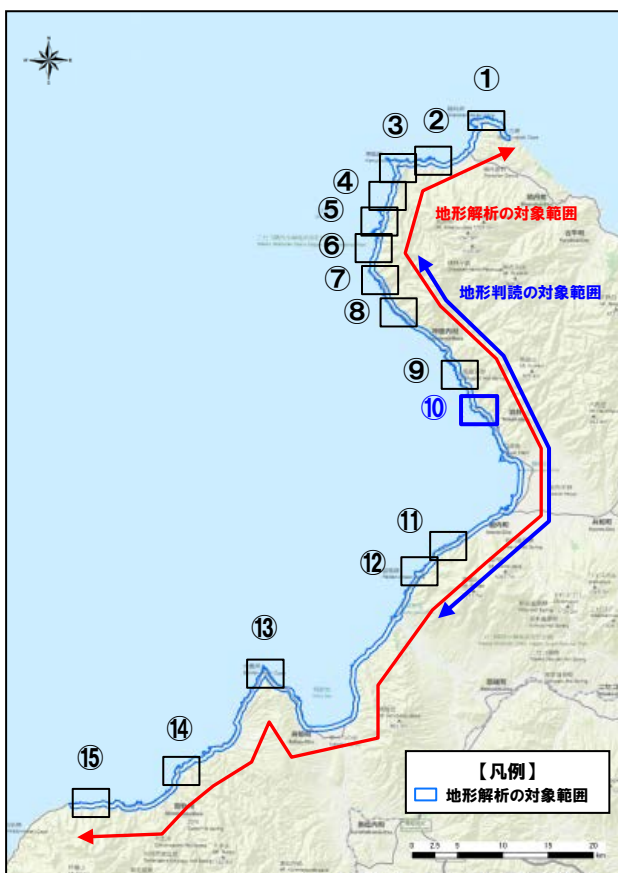


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (11/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

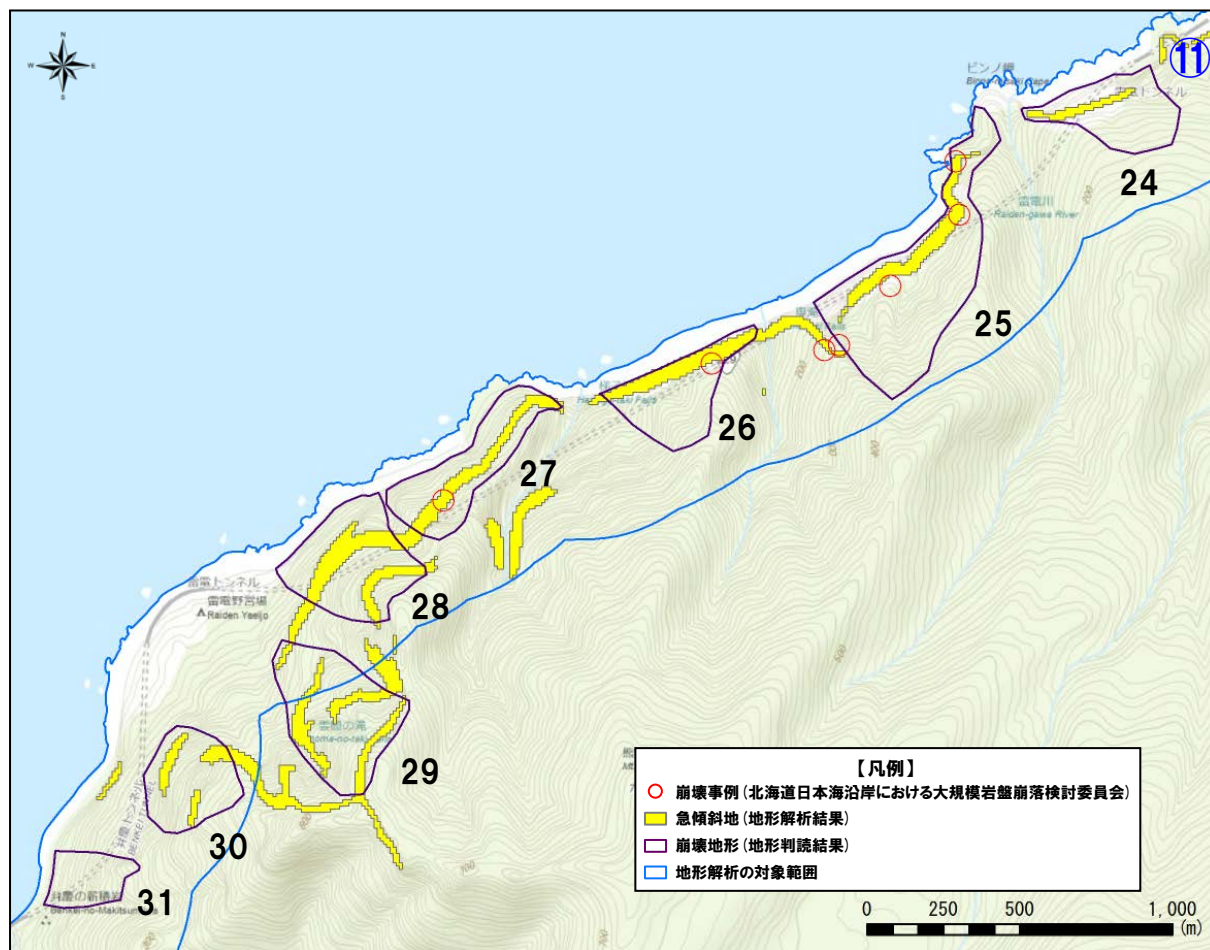
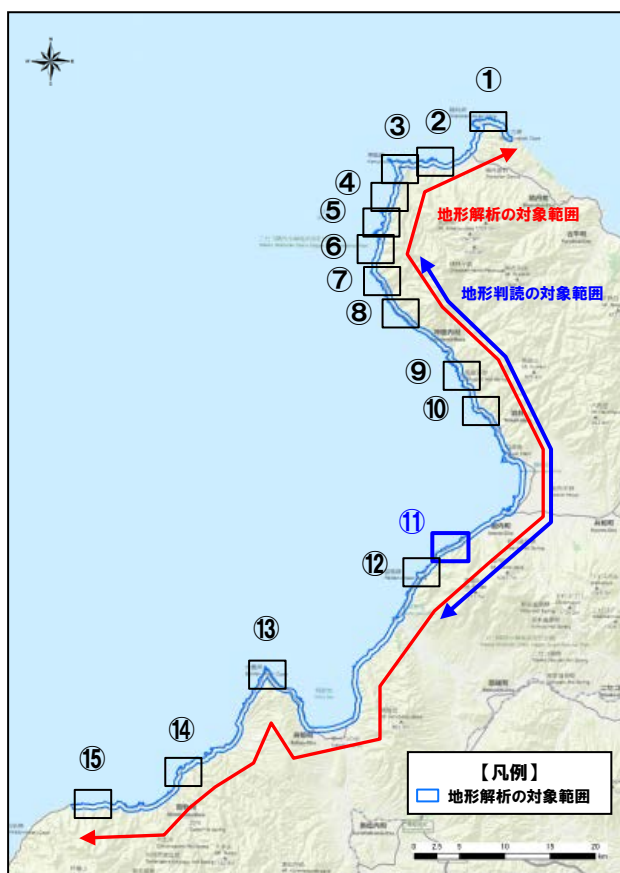


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (12/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」,「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下图に示す。

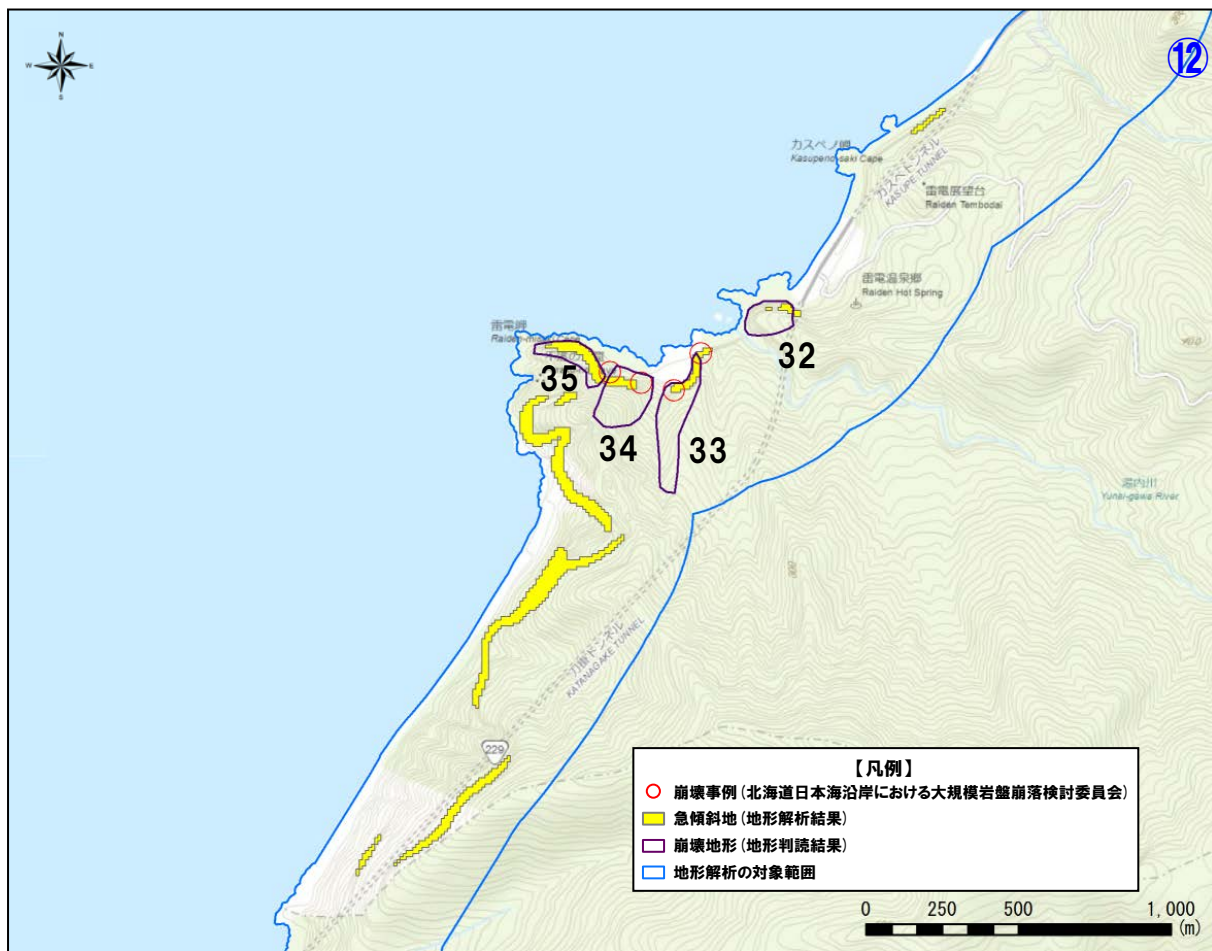
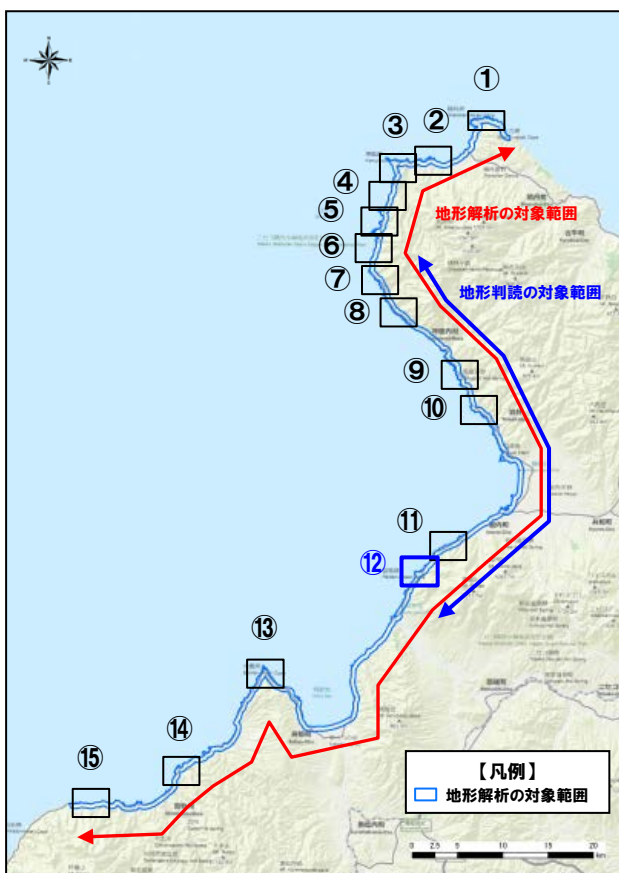


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (13/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

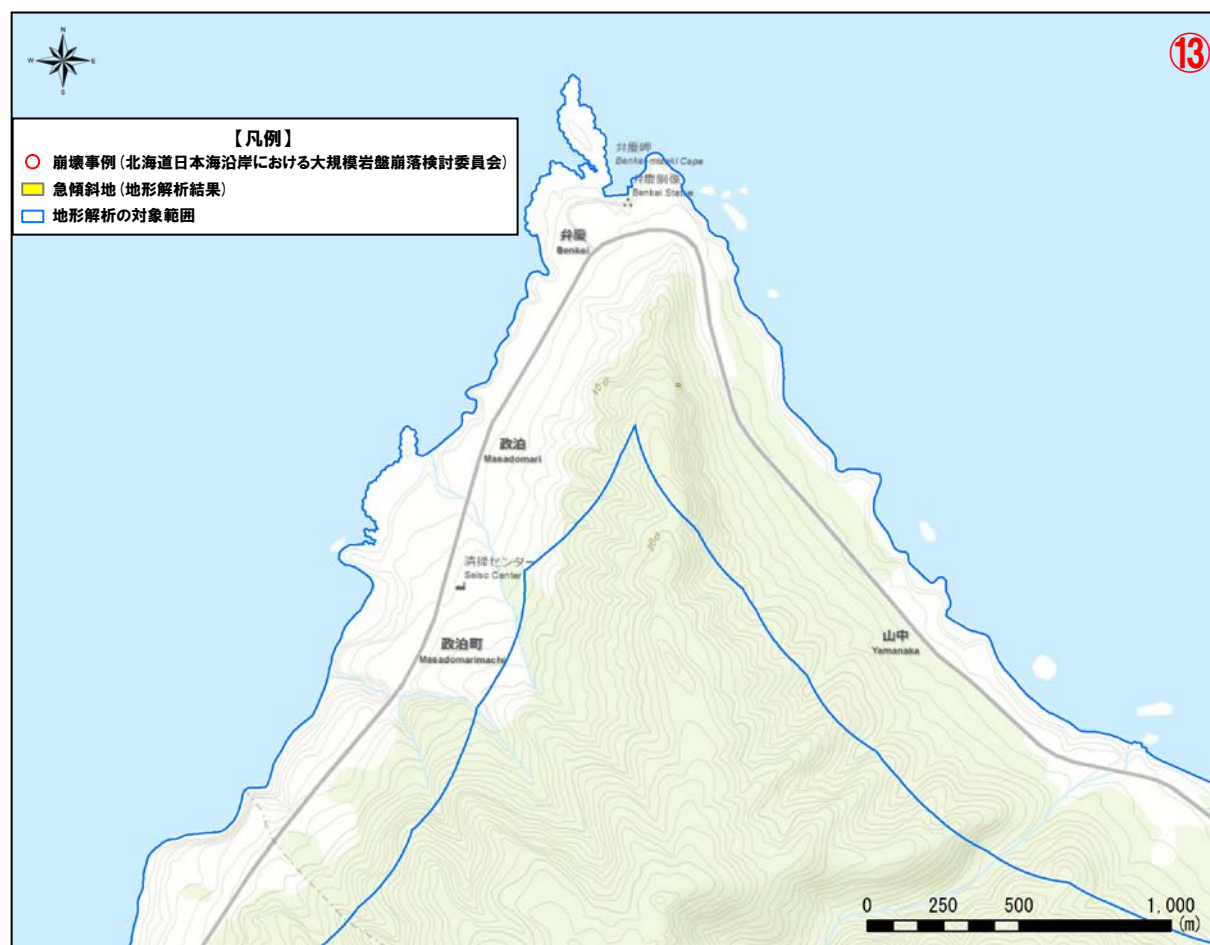
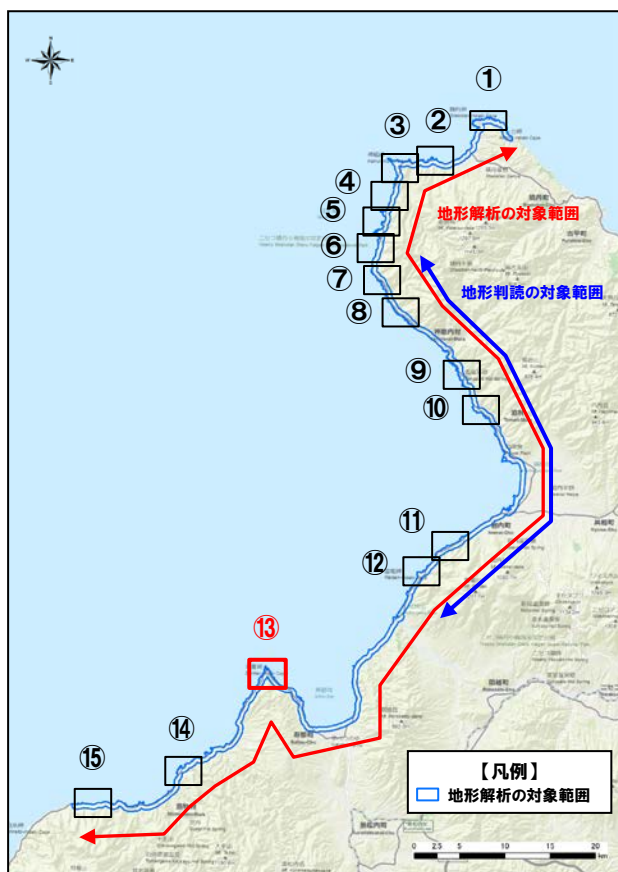


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (14/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

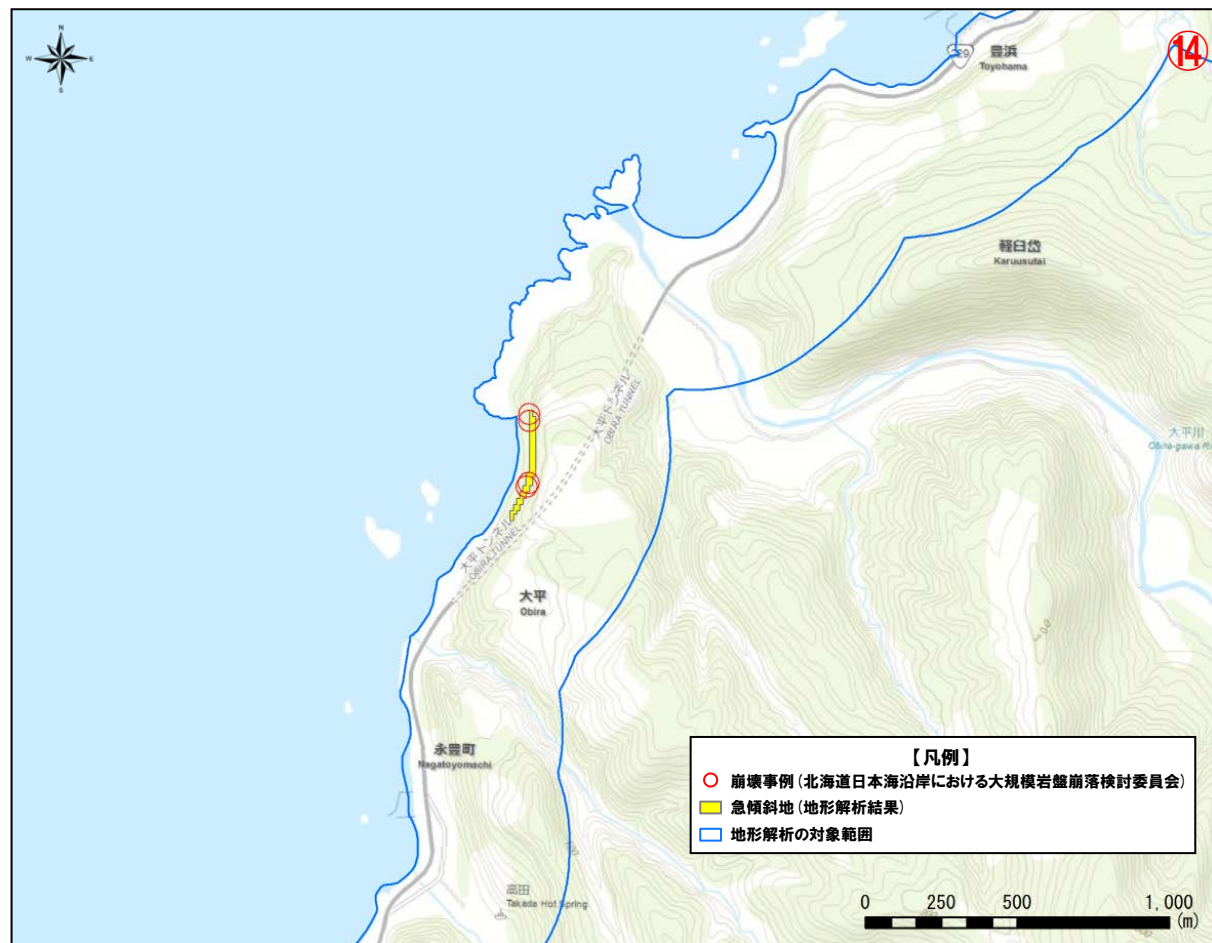
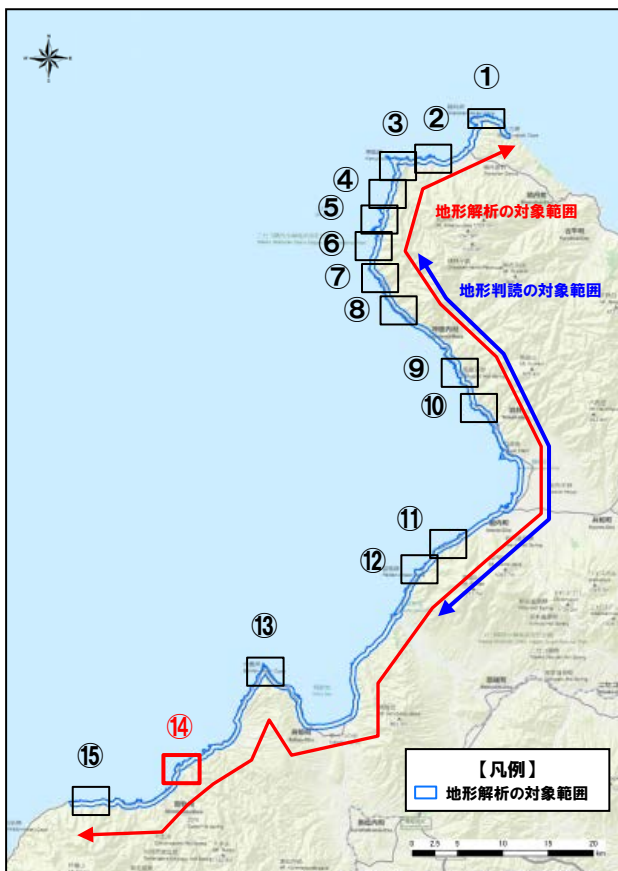


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (15/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。

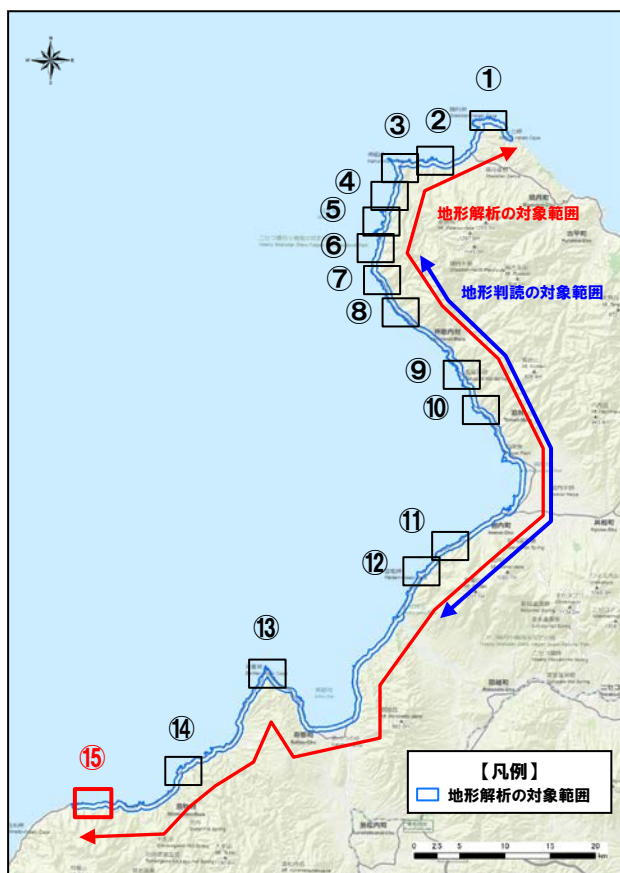


(2) 調査結果

地形解析・地形判読 (16/16)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

○「北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における崩壊事例」, 「地形解析より得られた急傾斜地」及び「地形判読より抽出した崩壊地形」の位置を下図に示す。



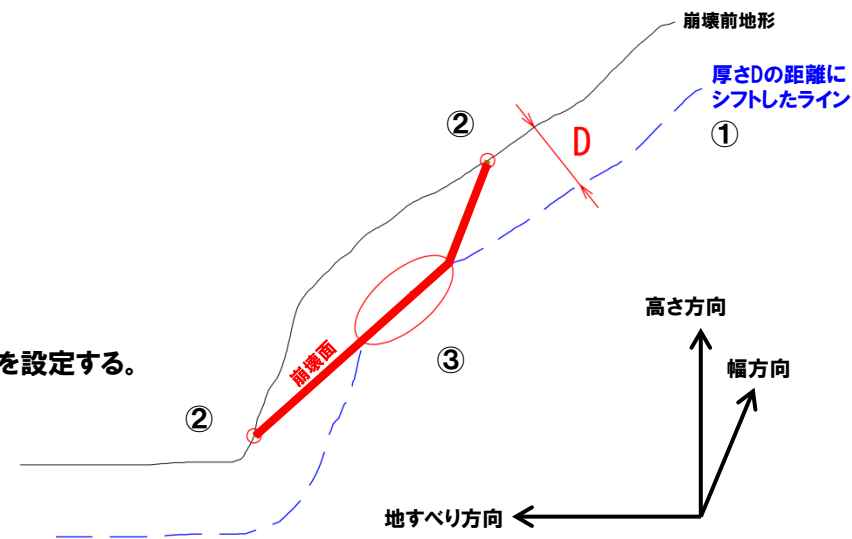
(3) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化（1/6）

一部修正（H27/8/21審査会合）

- 地形判読結果から、幅Wを設定した。
- 厚さDについては、北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会（2000）によると20m程度であるが、安全側の評価として、高速道路調査会（1985）を参考に、幅Wから算定した。
- 崩壊面形状については、設定した諸元から、下図の手順により設定した。

- ①崩壊前地形から厚さDの距離にシフトしたラインを設定する。
- ②崩壊地形の頭部境界点と末端部境界点を崩壊面の固定点とする。
- ③崩壊面を上記のラインに接するように設定する。
岩盤崩壊であることから、崩壊面は直線的な形状とする。
- ④断面形状に基づき、直線的な面の集合体からなるものとして、平面的な崩壊面形状を設定する。



崩壊面形状の設定方法

(3) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 (2/6)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

- 地すべりシミュレーションは、陸上の土砂の動きを時刻歴で解析することが可能なTITAN2Dを使用する。
- なお、北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000)における岩盤崩壊事例では、崩壊堆積物の到達距離は、ほぼ崩壊高さ以内であるが、TITAN2Dの結果による崩壊堆積物の到達距離は、崩壊高さの約2～3倍となり安全側の評価である。

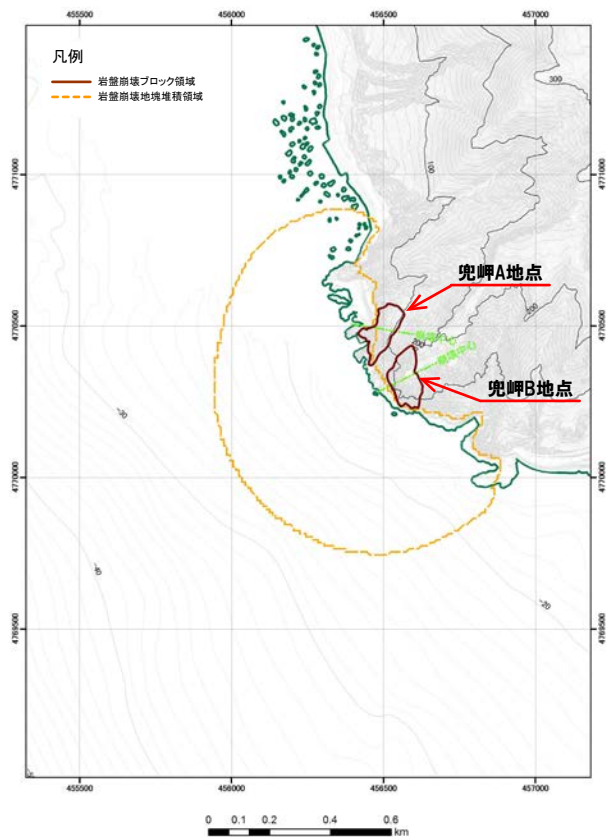
【地すべりシミュレーション (TITAN2D)】

| 入力データ | 入力値 | | 備考 |
|------------------------|------|--------|-----------------------|
| | 兜岬付近 | ピンノ岬付近 | |
| 内部摩擦角 ϕ_{int} (°) | 30.0 | 30.0 | ○陸上地すべりに伴う津波と同値に設定した。 |
| 底面摩擦角 ϕ_{bed} (°) | 20.3 | 15.6 | ○森脇(1987)より設定した。 |

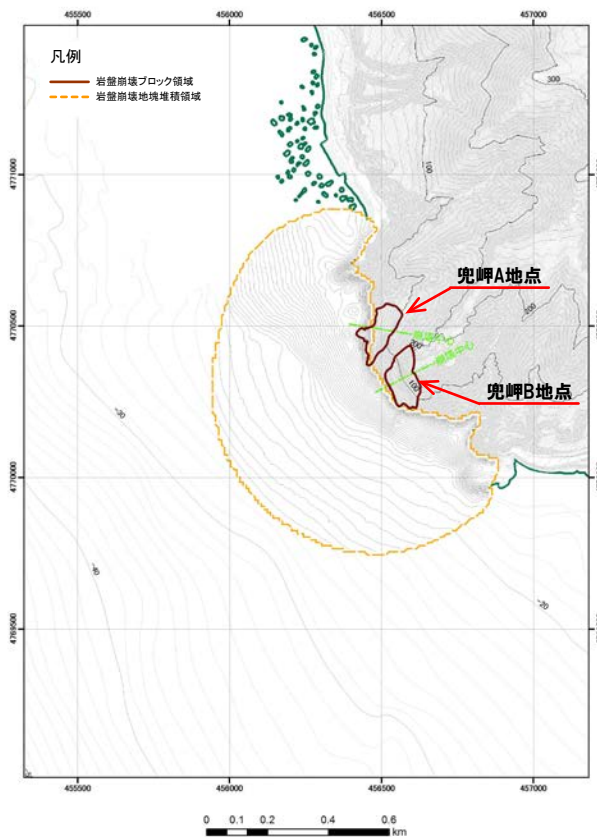
(3) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 (3/6) 兜岩付近 (1/2)

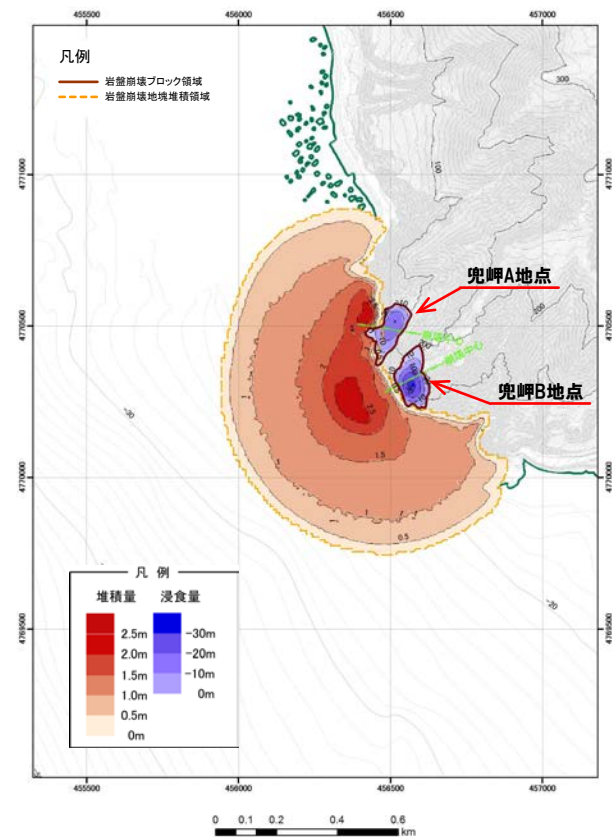
再掲 (H27/8/21 審査会合)



岩盤崩壊前地形



岩盤崩壊後地形 (10分後)

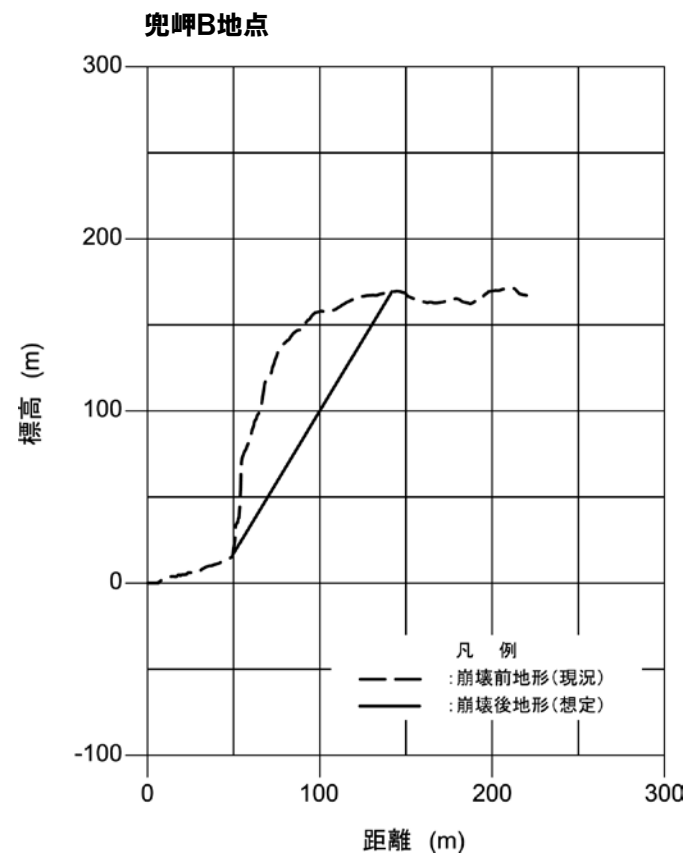
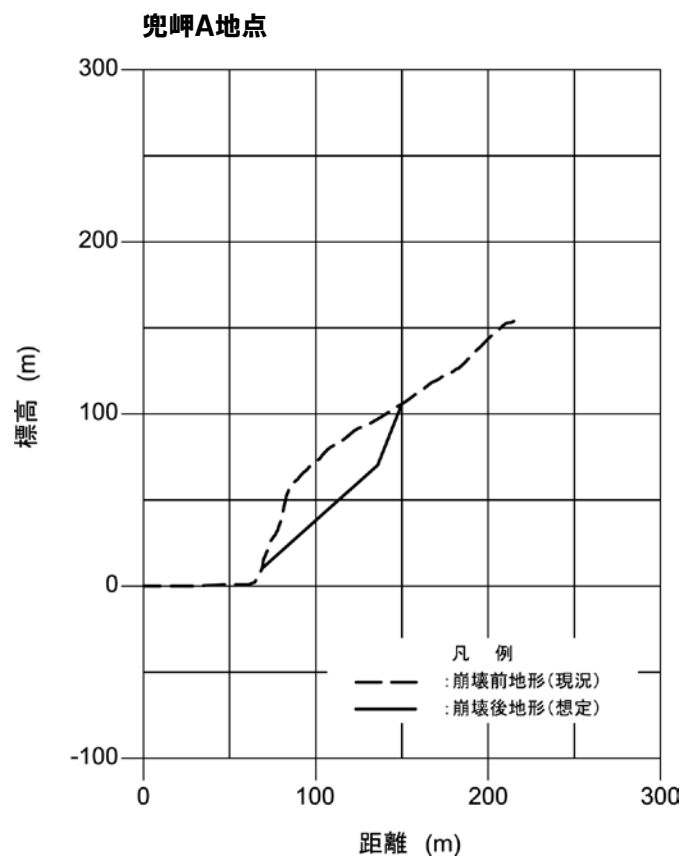


岩盤崩壊前後の地形変化量

(3) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化（4/6） 兜岩付近（2/2）

再掲（H27/8/21審査会合）

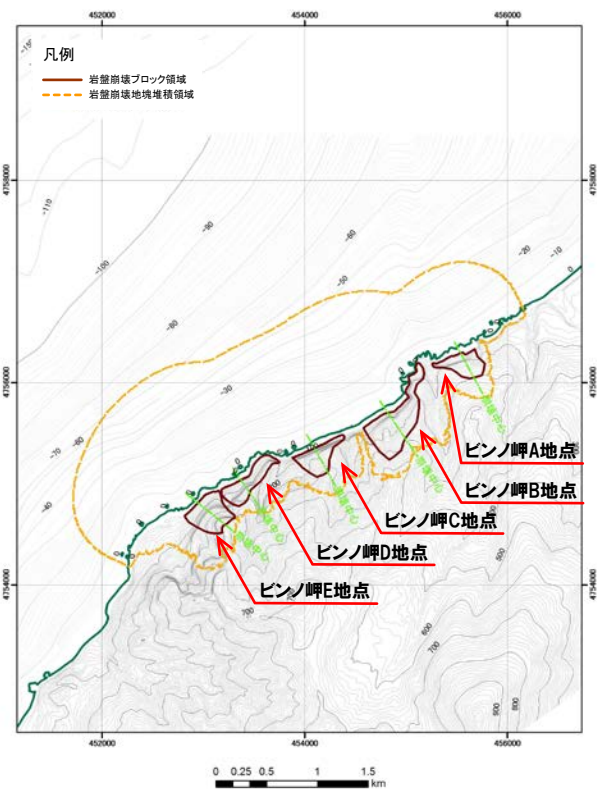


岩盤崩壊地形の断面形状

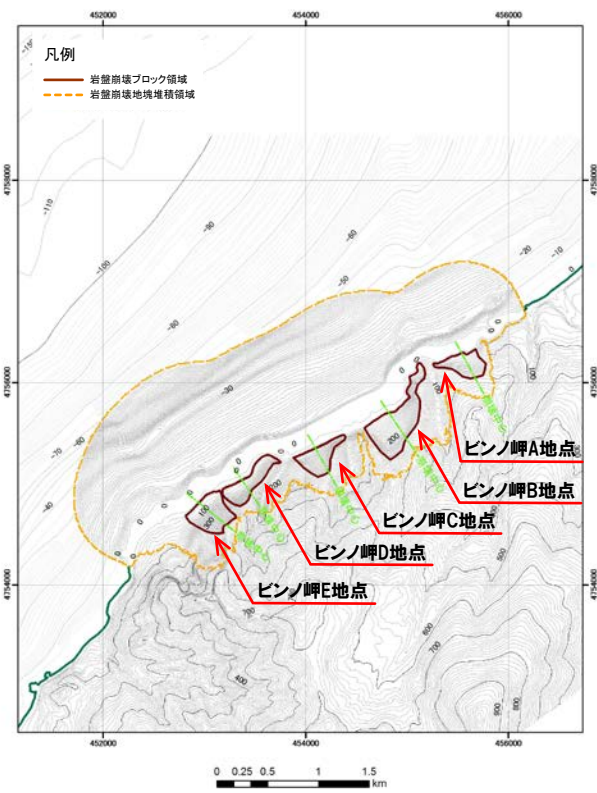
(3) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 (5/6) ビンノ岬付近 (1/2)

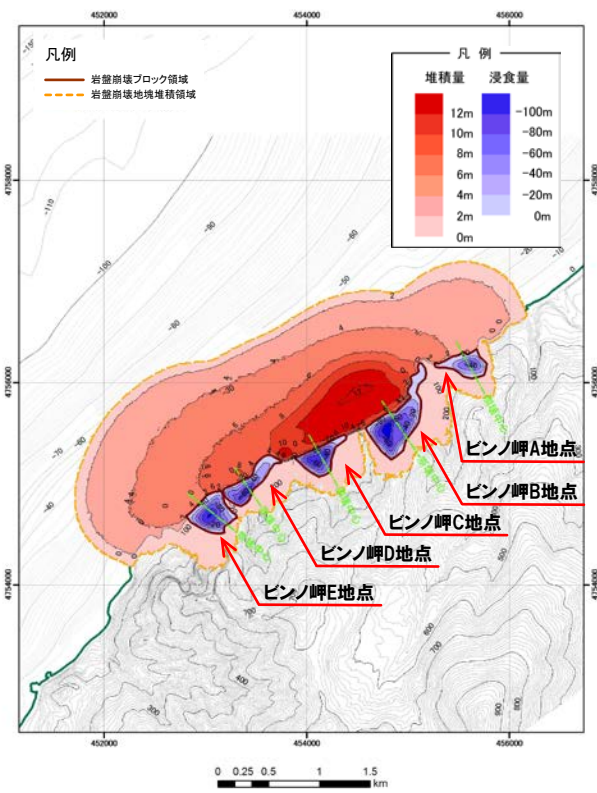
再掲 (H27/8/21 審査会合)



岩盤崩壊前地形



岩盤崩壊後地形 (10分後)

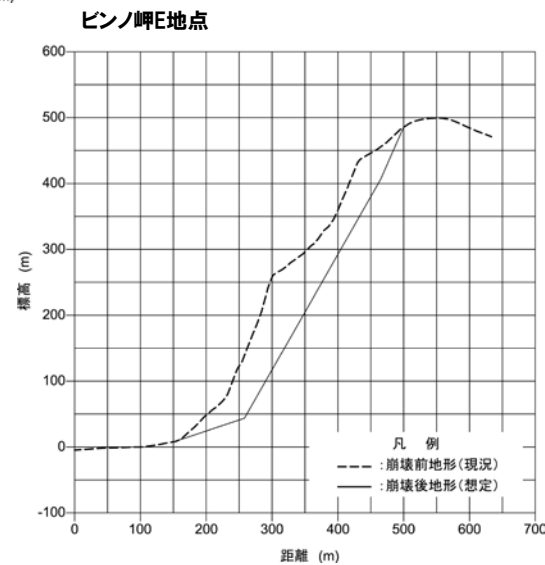
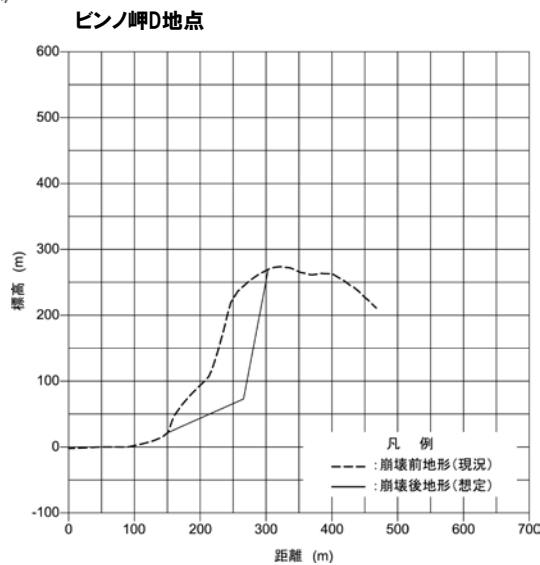
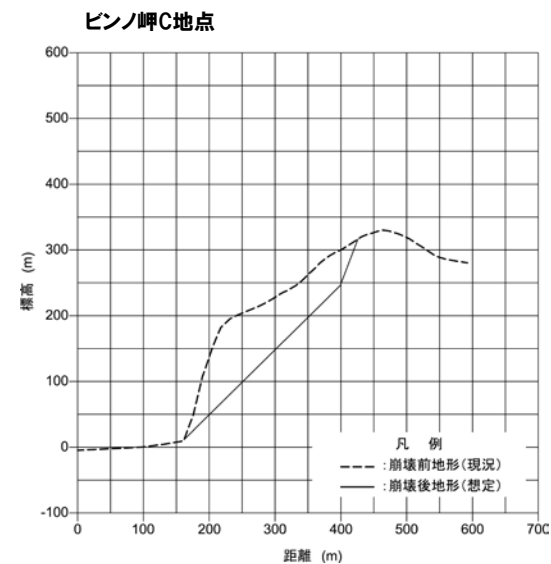
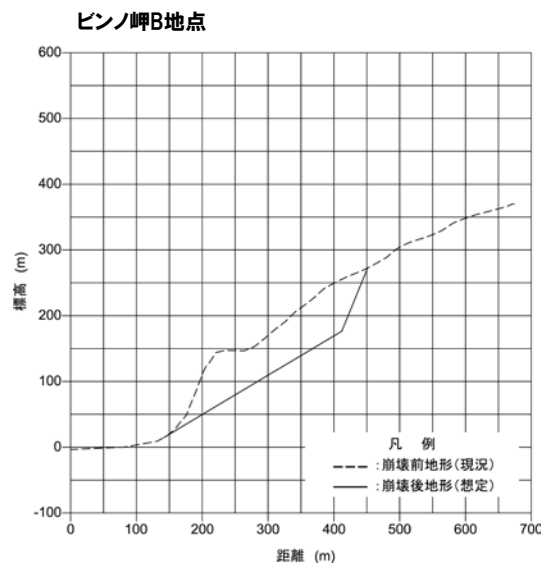
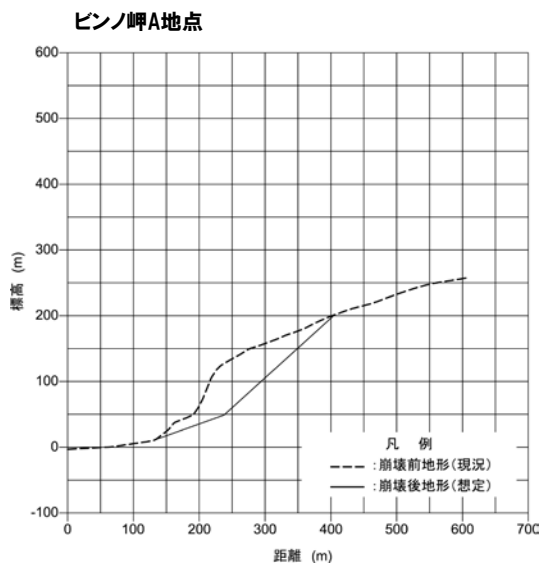


岩盤崩壊前後の地形変化量

(3) パラメータの設定根拠

地すべり地形のモデル化 (6/6) ビンノ岬付近 (2/2)

再掲 (H27/8/21審査会合)



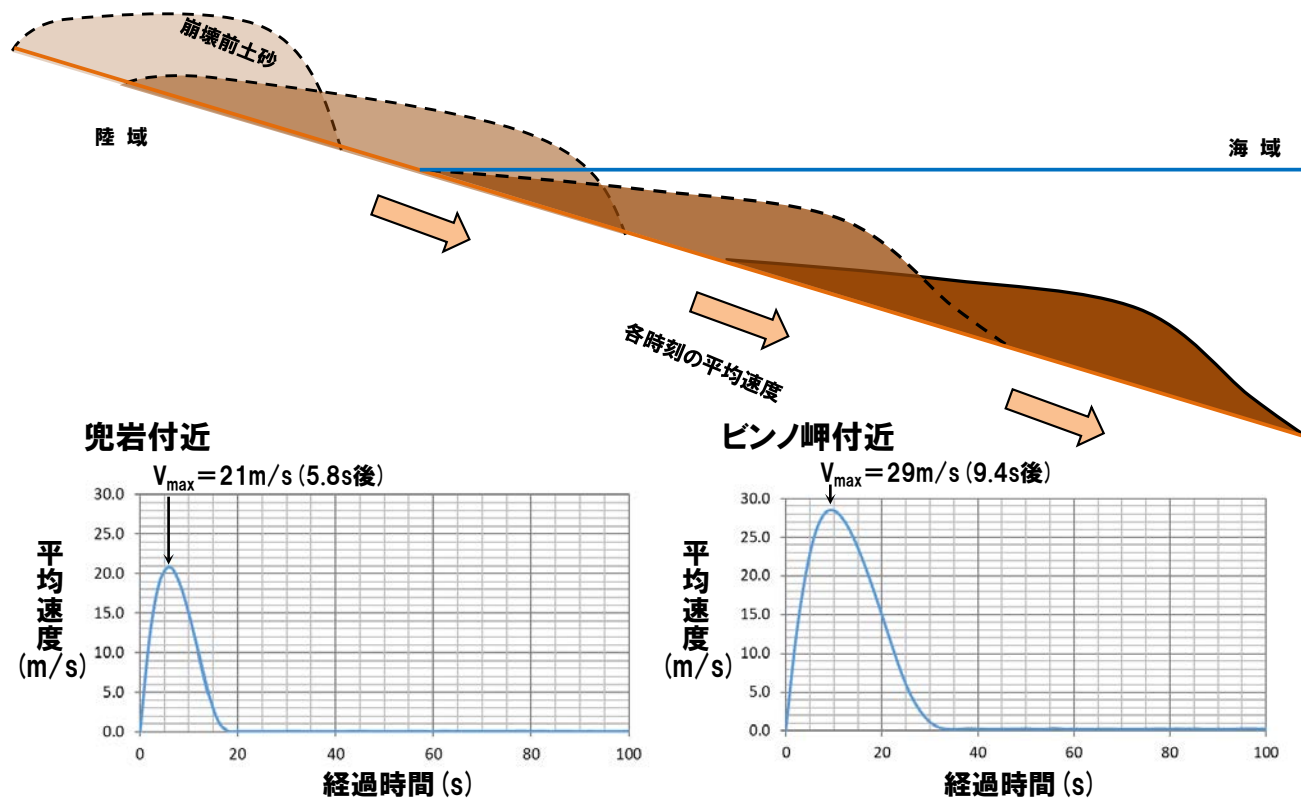
岩盤崩壊地形の断面形状

(3) パラメータの設定根拠

変動伝播速度

一部修正 (H27/8/21審査会合)

- 変動伝播速度は、TITAN2Dによる地すべりシミュレーションで得られる移動土塊の速度を入力値とする。
- 移動土塊の速度は、土塊全体の速度の平均値とし、崩壊開始から崩壊後地形としている崩壊10分後までの間における、各時刻での値を算出する。
- 水山ほか(1985)、道上ほか(1996)及び松村ほか(1997)では、土塊や土砂が湛水池に突入することで生じる波高は、その突入速度が速いほど、高くなるとされている。



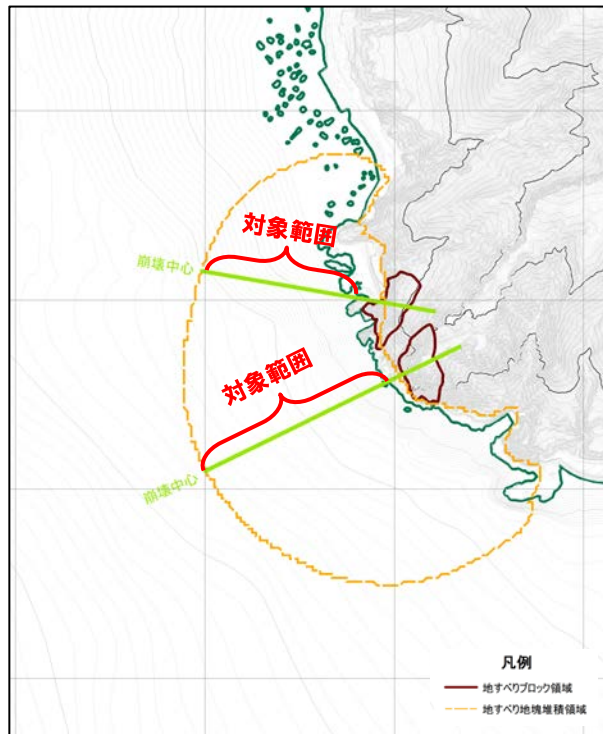
○以上より、変動伝播速度は、安全側の評価となる移動土塊の平均速度の最大値に設定した（兜岩付近：21m/s、ピンノ岬付近：29m/s）。

(3) パラメータの設定根拠

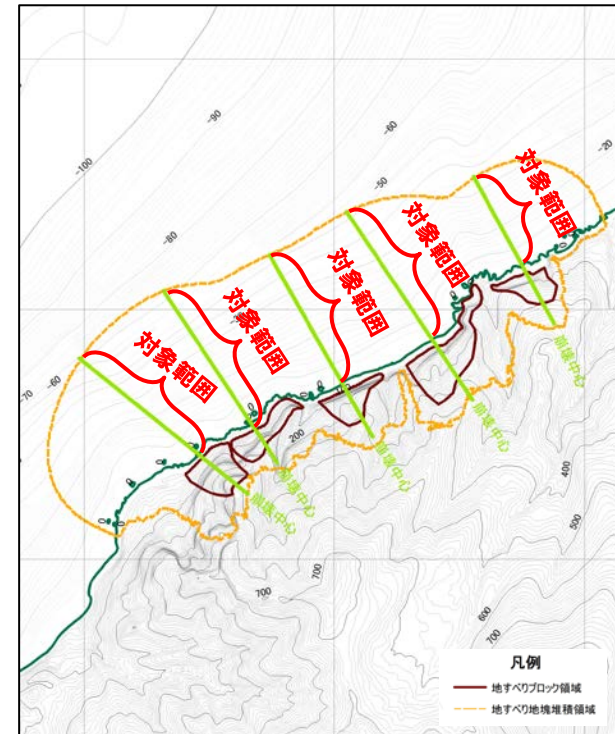
鉛直変位ライズタイム (1/2)

一部修正 (H27/8/21審査会合)

- 鉛直変位ライズタイムは、TITAN2Dによる地すべりシミュレーションにおける土塊の堆積変化について着目し、現象が開始してから概ね終息したと判断されるまでの時間を算出したうえで設定する。
- 土塊の堆積及び浸食の時間変化については、土塊の崩壊中心線を代表とする。
- 算出に用いる堆積変化の対象範囲は、崩壊中心線上で崩壊開始後10分までの海域の変化範囲とする。



兜岩付近



ビンノ岬付近

(3) パラメータの設定根拠

鉛直変位ライズタイム (2/2)

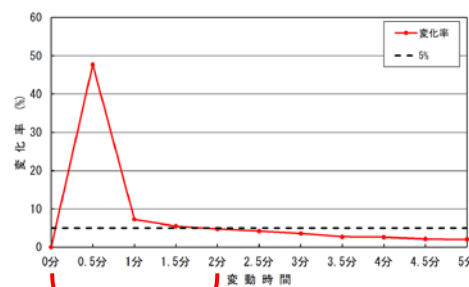
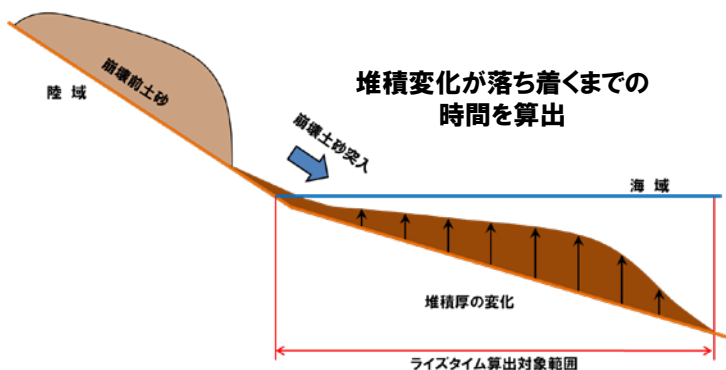
一部修正 (H27/8/21審査会合)

○地すべり現象が開始してから概ね終息したとの判断は、堆積変化の総量に対する各時刻間における変化率が5%未満となる時間として算出した。

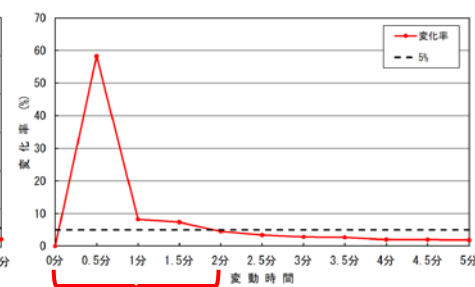
➢ 算出方法: 各時間の変化率 = (時間当たり変化量 ÷ 10分間の総変化量) × 100 (%)

○算出に用いる堆積変化の対象範囲は、崩壊中心線上で崩壊開始後10分までの海域の変化範囲とした。

○土砂の変化量は、対象範囲の平均値とし、堆積及び浸食を絶対値で評価した。

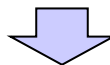


120s 兜岩付近



120s ピンノ岬付近

平均堆積量の変化率が5%未満になるまでの時間

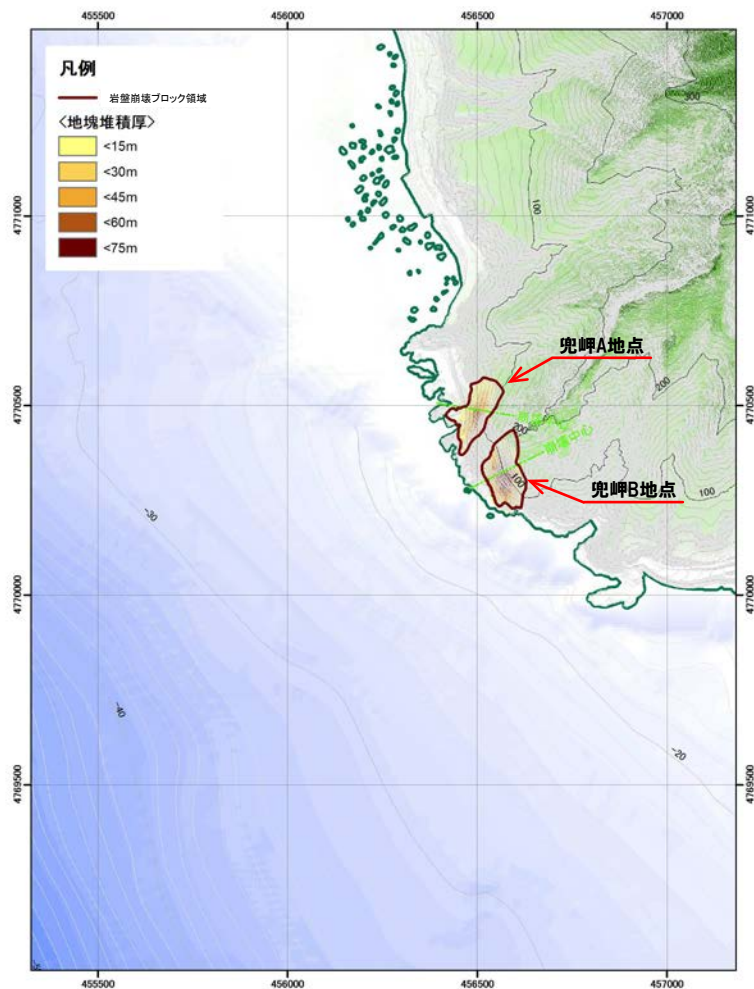


○陸上地すべり（川白）のパラメータスタディ結果を踏まえ、鉛直変位ライズタイムは、安全側の評価となる平均堆積量の変化率が5%未満になるまでの時間から-60sとした時間に設定する（兜岩付近:60s, ピンノ岬付近:60s）。

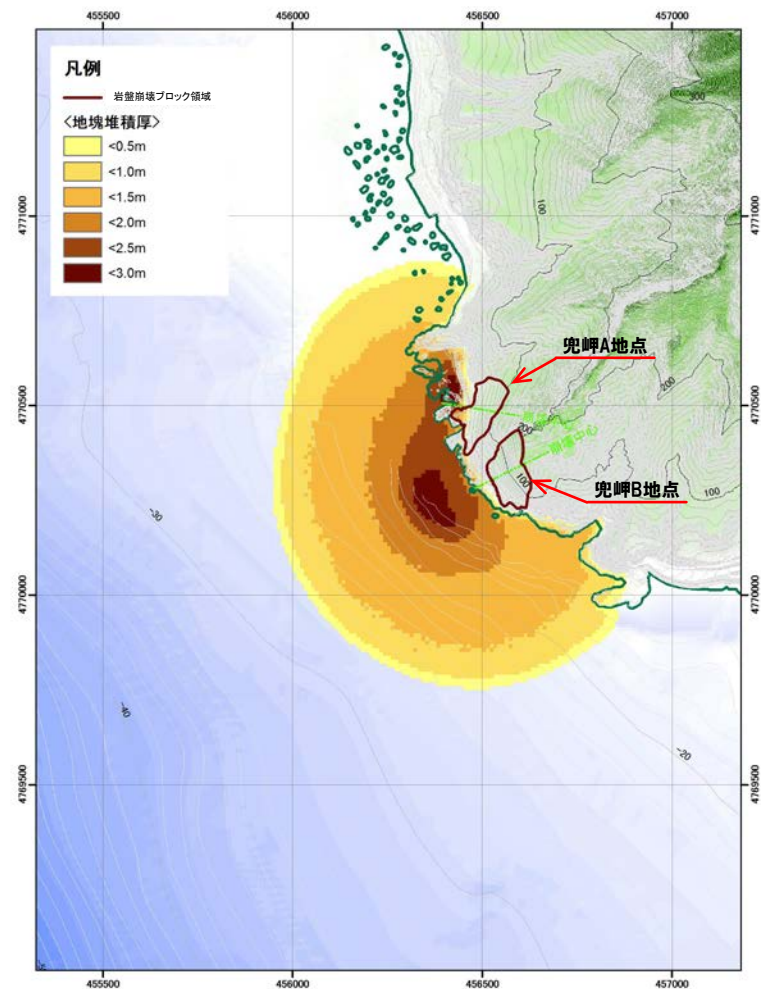
(4) 数値シミュレーション結果

兜岬付近（1/5） 地すべりシミュレーション（1/3）

再掲（H27/8/21審査会合）



岩盤崩壊前



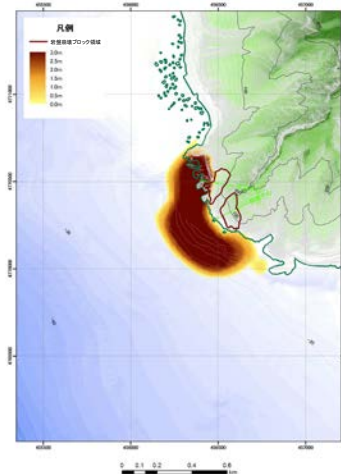
岩盤崩壊後（10分後）

(4) 数値シミュレーション結果

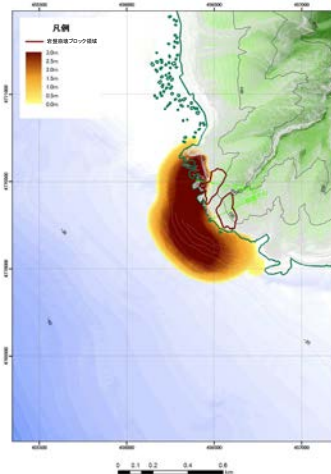
兜岬付近 (2/5) 地すべりシミュレーション (2/3)

再掲 (H27/8/21審査会合)

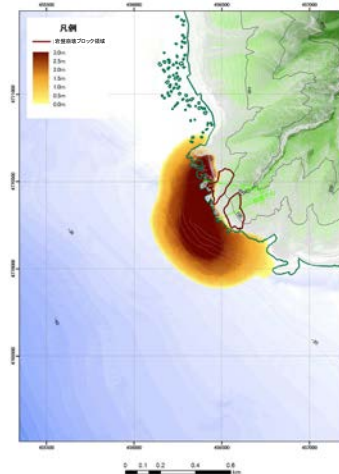
1分後



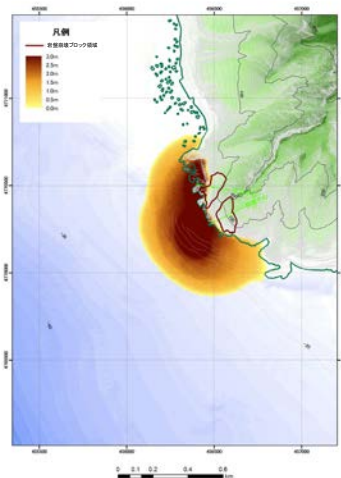
2分後



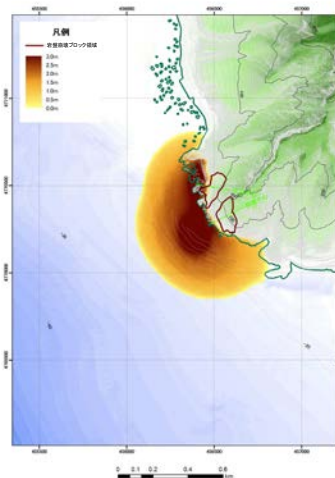
3分後



4分後



5分後

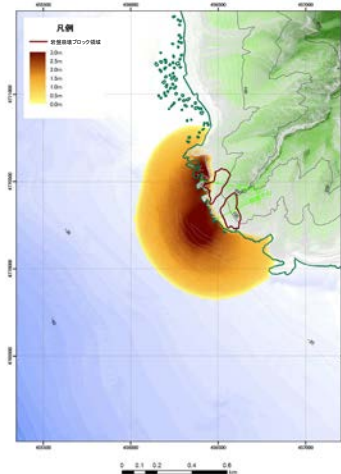


(4) 数値シミュレーション結果

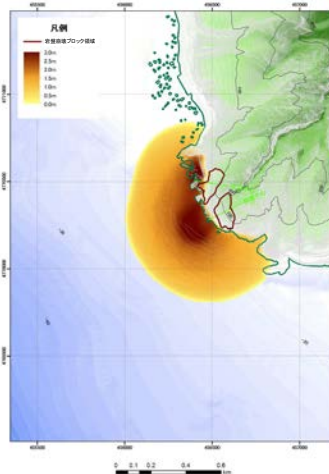
兜岬付近 (3/5) 地すべりシミュレーション (3/3)

再掲 (H27/8/21審査会合)

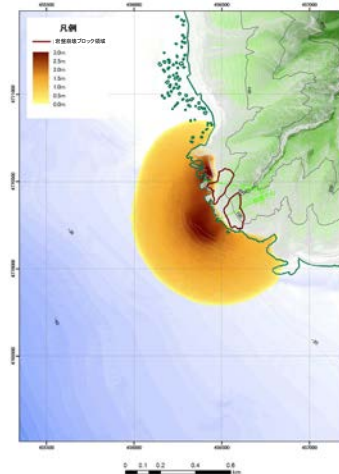
6分後



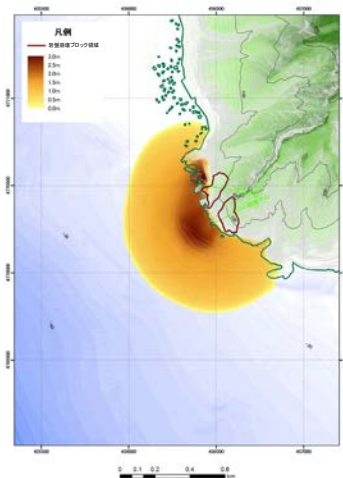
7分後



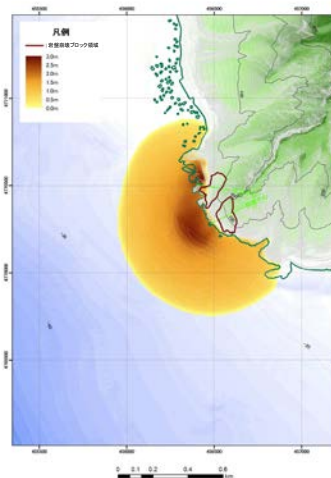
8分後



9分後

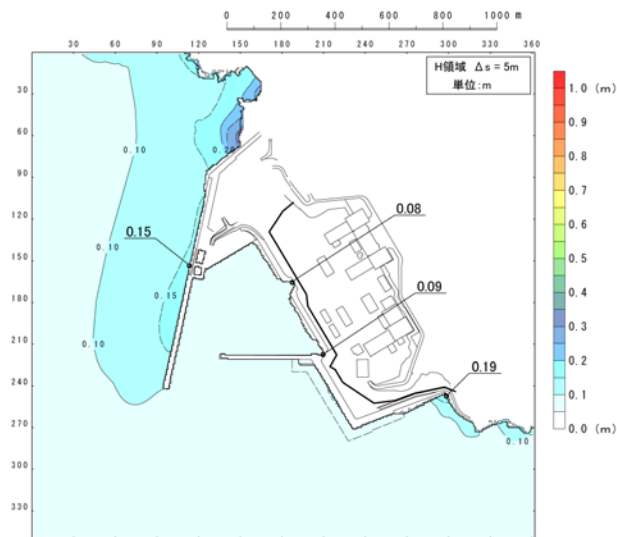


10分後

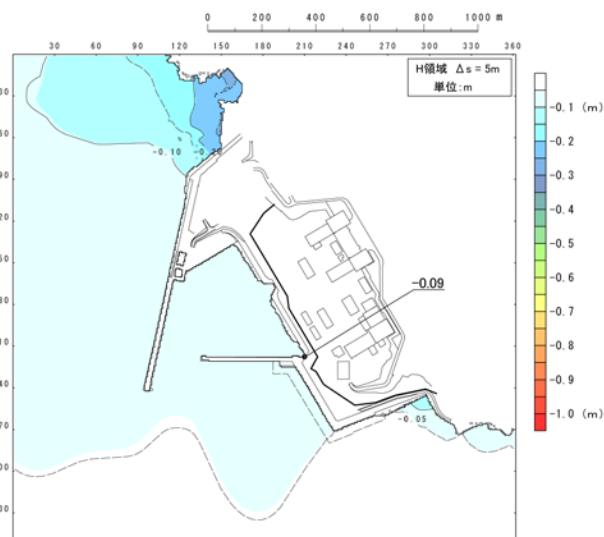


(4) 数値シミュレーション結果

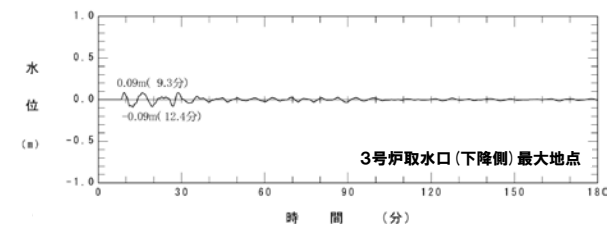
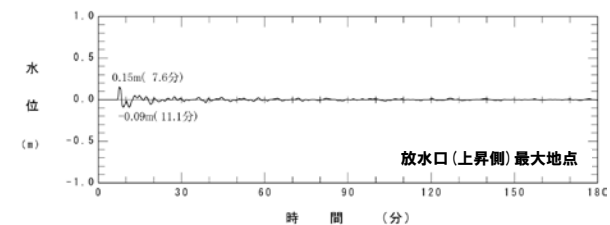
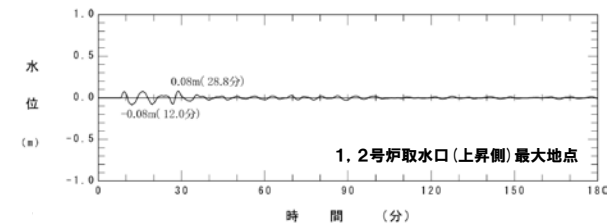
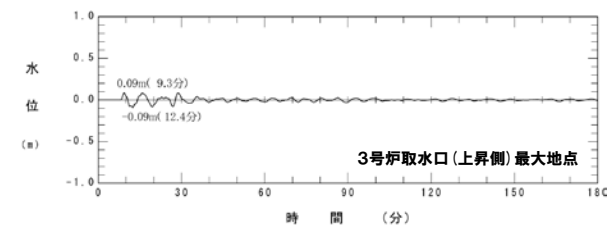
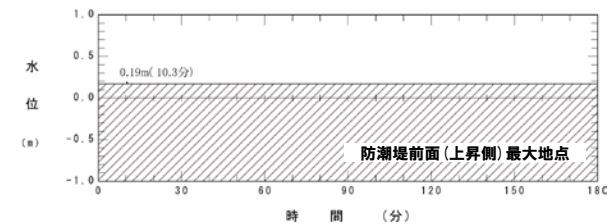
兜岬付近 (4/5) 最大水位分布・水位時刻歴波形



最大水位上昇量分布



最大水位下降量分布



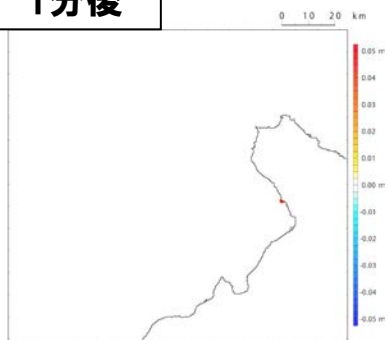
水位時刻歴波形

※水位時刻歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。

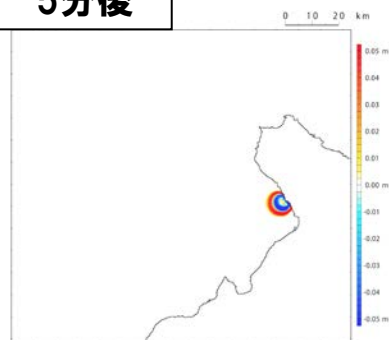
(4) 数値シミュレーション結果

兜岬付近 (5/5) 津波の伝播状況

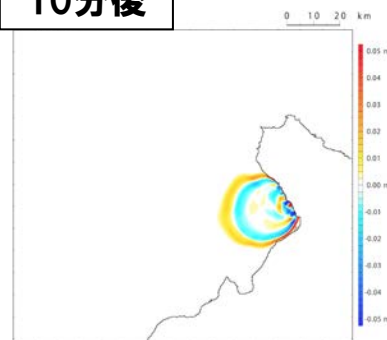
1分後



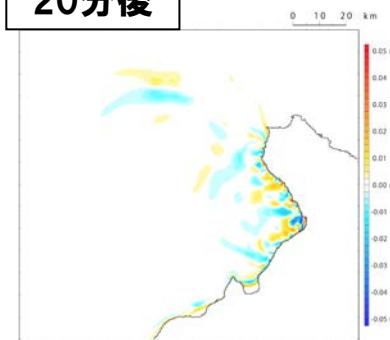
5分後



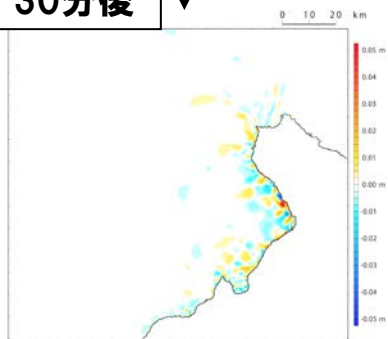
10分後



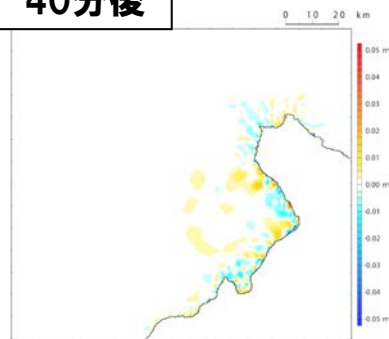
20分後



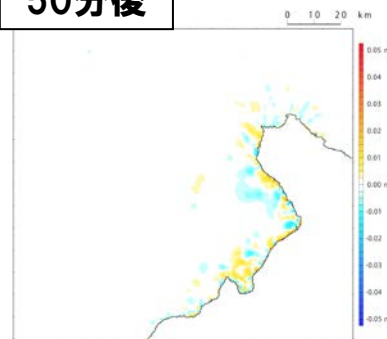
30分後



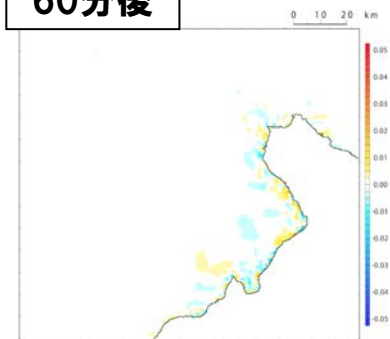
40分後



50分後



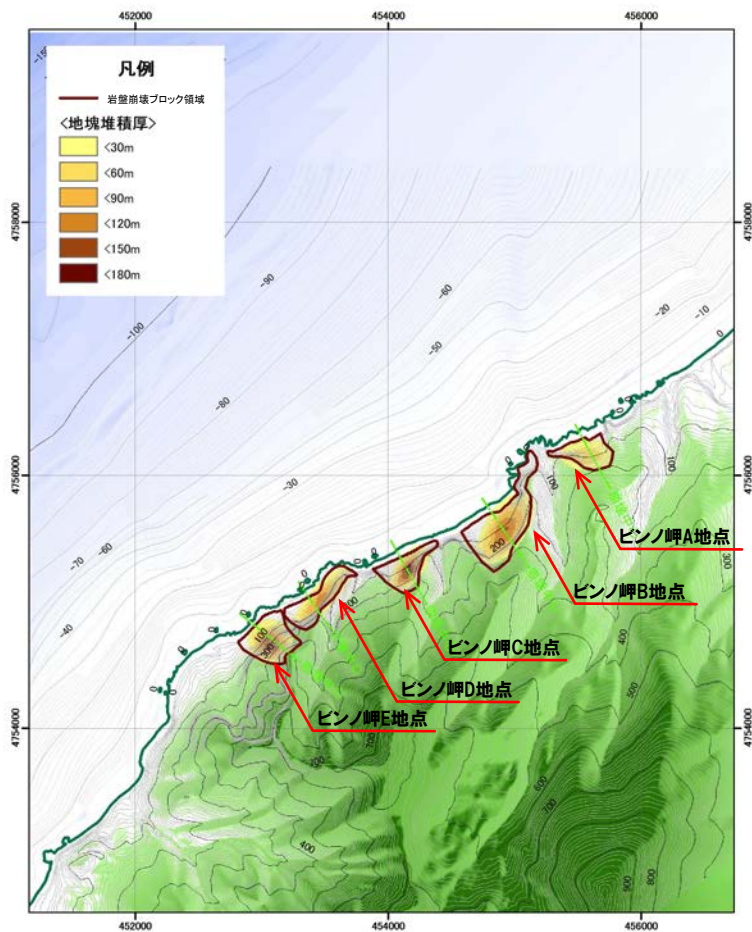
60分後



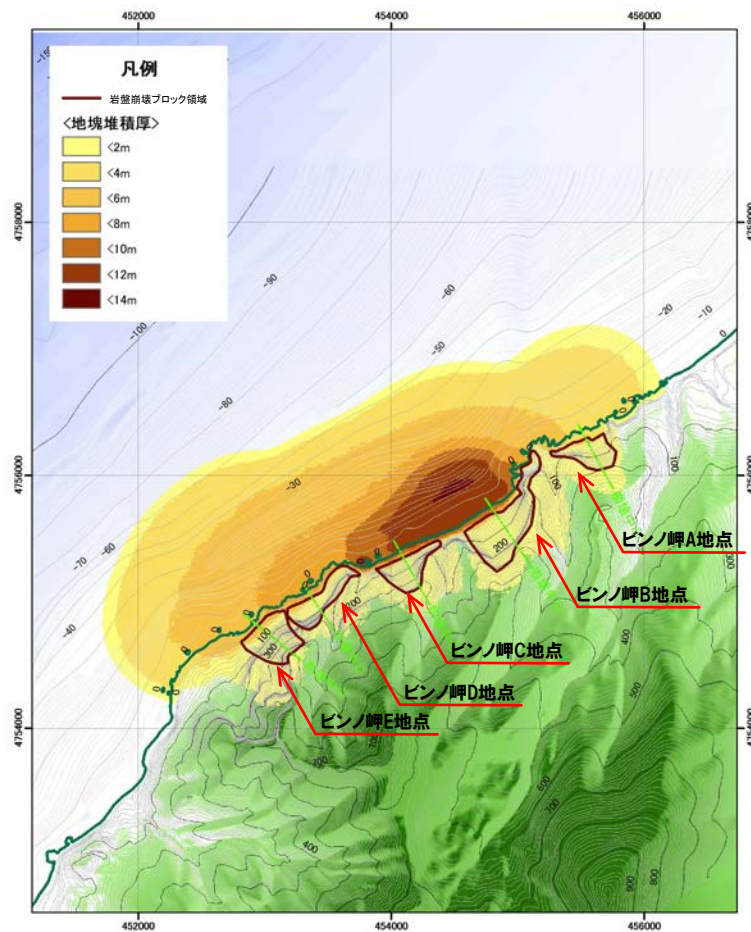
(4) 数値シミュレーション結果

ピンノ岬付近 (1/5) 地すべりシミュレーション (1/3)

再掲 (H27/8/21審査会合)



岩盤崩壊前



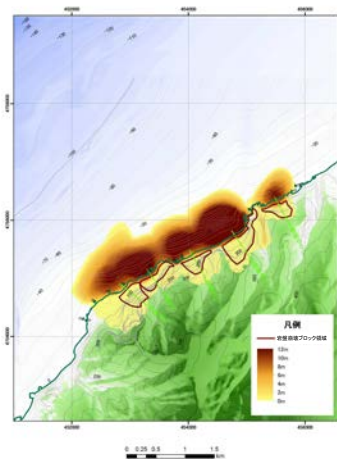
岩盤崩壊後 (10分後)

(4) 数値シミュレーション結果

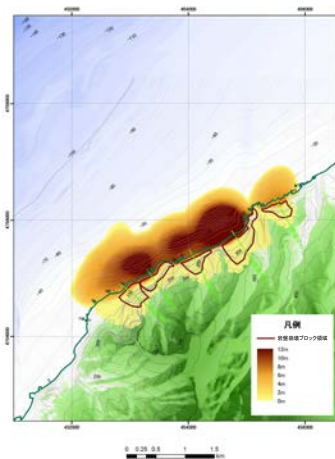
ピンノ岬付近 (2/5) 地すべりシミュレーション (2/3)

再掲 (H27/8/21 審査会合)

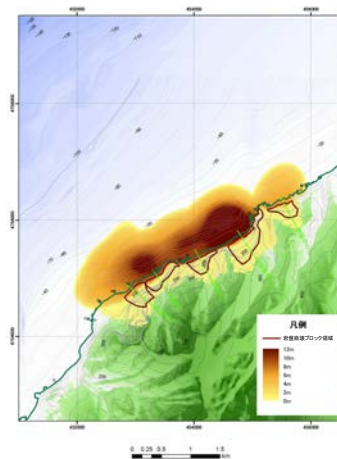
1分後



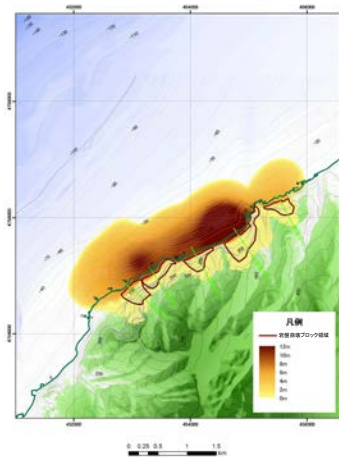
2分後



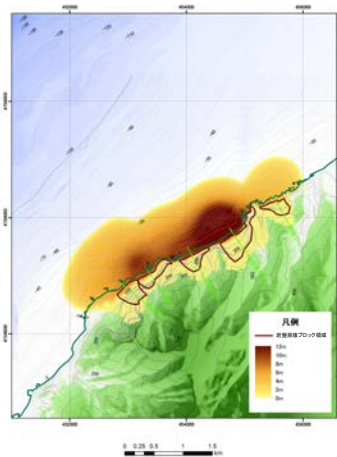
3分後



4分後



5分後

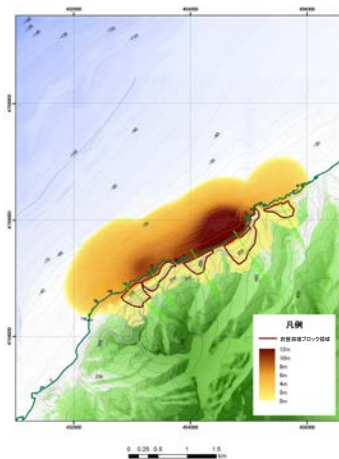


(4) 数値シミュレーション結果

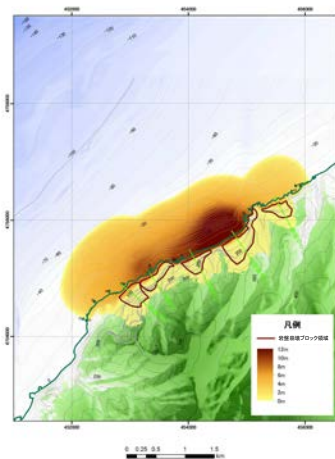
ピンノ岬付近 (3/5) 地すべりシミュレーション (3/3)

再掲 (H27/8/21 審査会合)

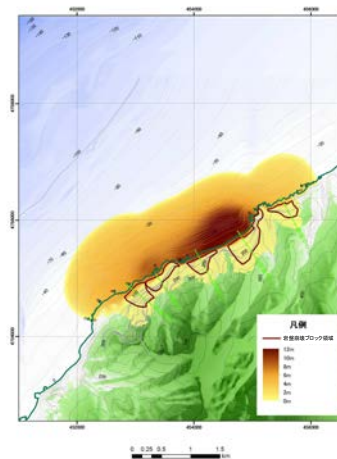
6分後



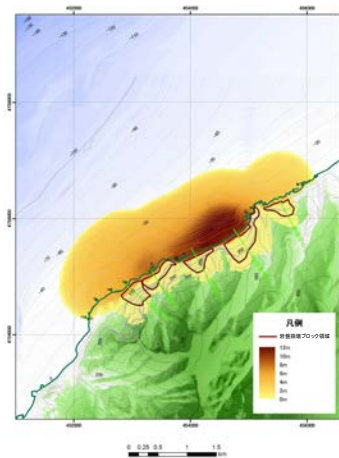
7分後



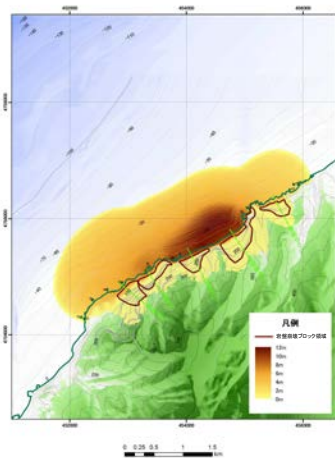
8分後



9分後

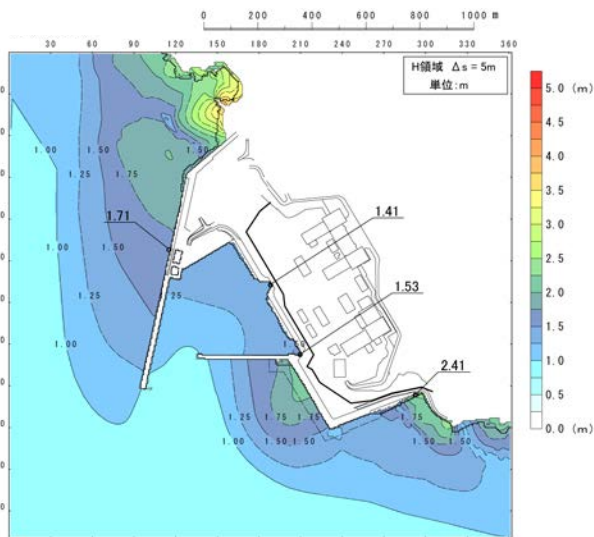


10分後

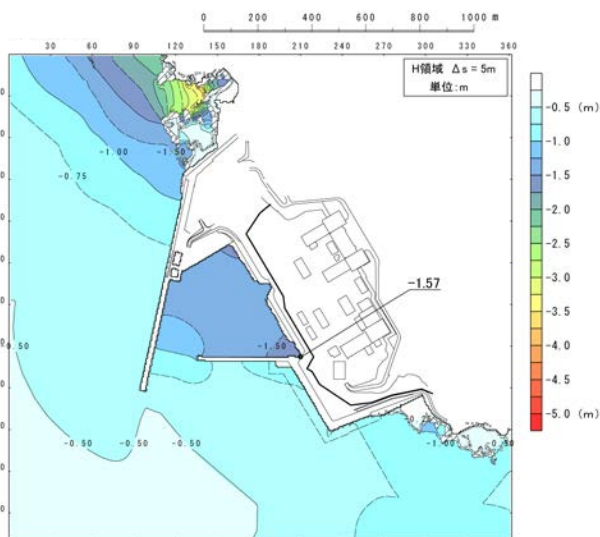


(4) 数値シミュレーション結果

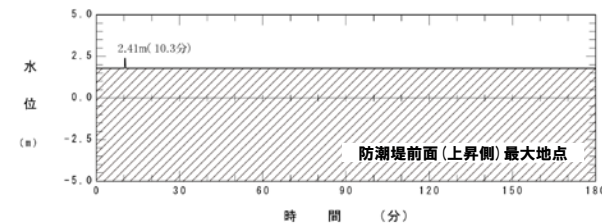
ピンノ岬付近 (4/5) 最大水位分布・水位時刻歴波形



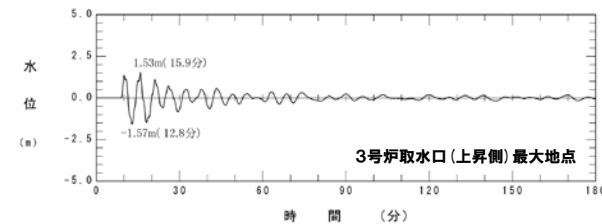
最大水位上昇量分布



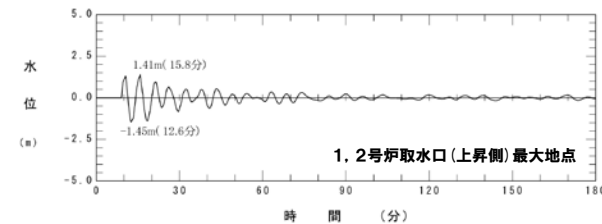
最大水位下降量分布



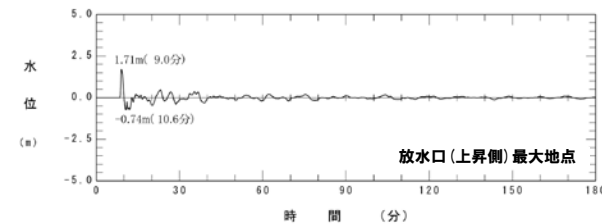
防潮堤前面 (上昇側) 最大地点



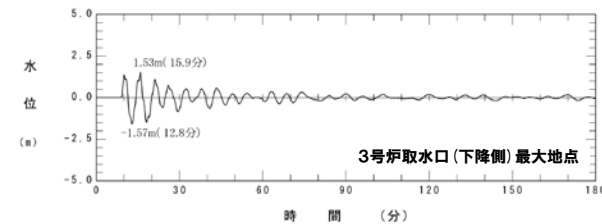
3号炉取水口 (上昇側) 最大地点



1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大地点



放水口 (上昇側) 最大地点



3号炉取水口 (下降側) 最大地点

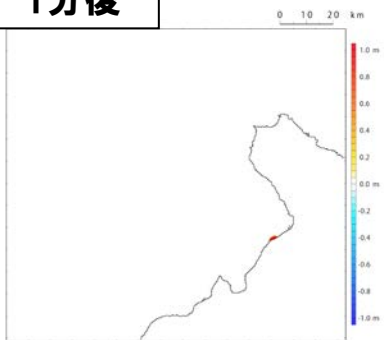
水位時刻歴波形

※水位時刻歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。

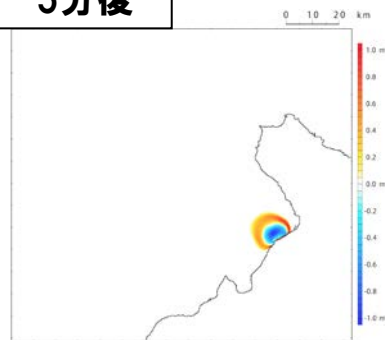
(4) 数値シミュレーション結果

ピンノ岬付近 (5/5) 津波の伝播状況

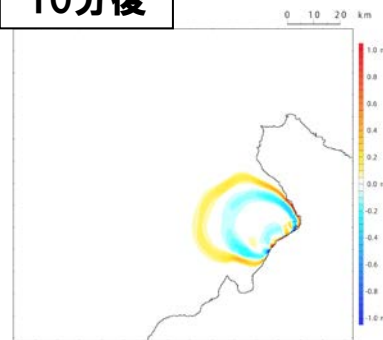
1分後



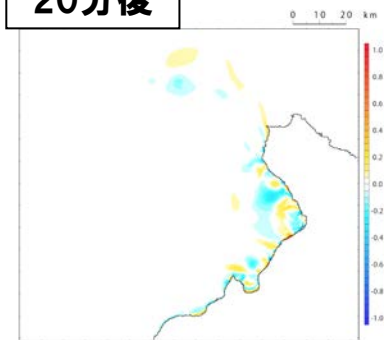
5分後



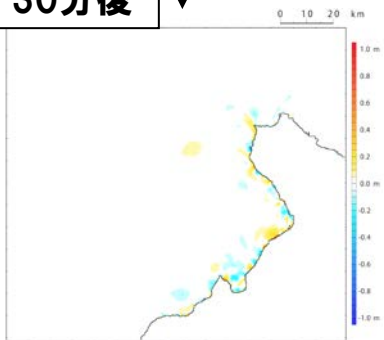
10分後



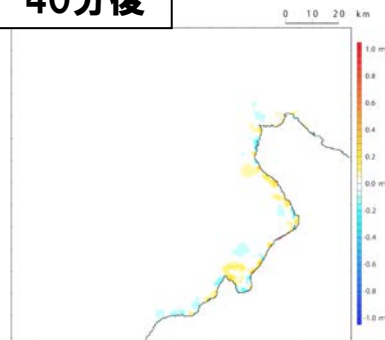
20分後



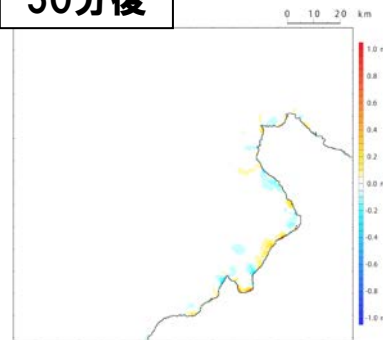
30分後



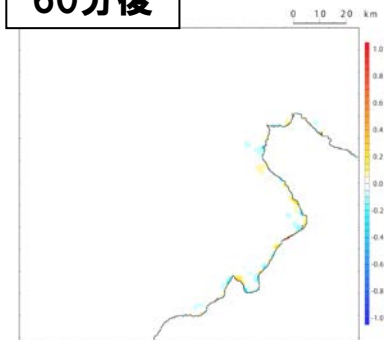
40分後



50分後



60分後



余白

5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ

| | |
|--|------------|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2.1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2.2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2.3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3.1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3.2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4.1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4.2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4.3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4.4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5.1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5.3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7.1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7.2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

5.1 解析実施ケース一覧

「5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)」解析実施ケース

【概略検討】

| 検討ケース | 地形モデル | 断層パラメータの概要 | | | | | 備考 | |
|---|--|------------|--------------|--------|----------|---------|----|-------------------|
| | | 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスぺリティ位置 | 断層面上縁深さ | | |
| 地震に伴う津波 「断層パターン」 「矩形モデル・くの字モデル」 「東西方向位置」 | 健全地形モデル 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | 断層パターン5 | 矩形モデル | 東へ30km | de | 5km | - | 詳細検討の検討対象ケースとして選定 |
| | | 断層パターン5 | くの字モデル | 東へ35km | | | - | 重ならないため対象外 |
| | | 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | | | - | 重ならないため対象外 |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | | | - | 重ならないため対象外 |
| | | 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | | | - | 詳細検討の検討対象ケースとして選定 |
| | | 断層パターン7 | くの字モデル | 東へ20km | | | - | 重ならないため対象外 |
| | | 断層パターン8 | 矩形モデル | 東へ15km | | | - | 重ならないため対象外 |
| | | 断層パターン8 | くの字モデル | 東へ20km | | | - | 重ならないため対象外 |

【詳細検討・組合せ評価】

| 検討ケース | 地形モデル | 断層パラメータの概要 | | | | | 備考 | |
|-----------------------|--|------------|--------------|--------|----------|---------|--------------------|---|
| | | 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスぺリティ位置 | 断層面上縁深さ | | |
| 地震に伴う津波 「アスぺリティ位置」 | 健全地形モデル 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | 断層パターン5 | 矩形モデル | 東へ30km | de | 5km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 |
| | | | | | de南へ10km | | - | |
| | | | | | de南へ20km | | - | |
| | | | | | de南へ30km | | - | |
| | | | | | ef | | - | |
| | | | | | de | | - | |
| 地震に伴う津波 「断層面上縁深さ」 | " | " | " | " | 0km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 | |
| | | | | | 3km | - | | |
| 組合せ評価 | " | " | " | " | 5km | - | | |
| | | | | | de南へ30km | 0km | 19s~116s | |
| 地震に伴う津波 「アスぺリティ位置」 | " | 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 |
| | | | | | de南へ10km | | - | |
| | | | | | de南へ20km | | - | |
| | | | | | de南へ30km | | - | |
| | | | | | ef | | - | |
| | | | | | de | | - | |
| 地震に伴う津波 「断層面上縁深さ」 | " | " | " | " | 0km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 | |
| | | | | | 3km | - | | |
| 組合せ評価 | " | " | " | " | 5km | - | | |
| | | | | | de南へ20km | 5km | 23s~135s | 防潮堤前面・3号炉取水口・1, 2号炉取水口・放水口の最大ケース 「貯留堰を下回る時間」最大ケース(防波堤の損傷を考慮した地形モデル②) |
| | | | | | de南へ30km | 5km | 23s~136s | 防潮堤前面・3号炉取水口・1, 2号炉取水口・放水口の最大ケース |

組合せ評価:3波源×4地形=計12ケース

【凡例】黄ハッチング:水位上昇側の組合せ評価における最大ケース 橙ハッチング:水位下降側の組合せ評価における最大ケース 薄い黄ハッチング:概略検討・詳細検討における選定ケース

5.1 解析実施ケース一覧

「5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の第1波の組合せ評価（西移動）」解析実施ケース

【概略検討】

| 検討ケース | 地形モデル | 断層パラメータの概要 | | | | | | 備考 |
|---|--|------------|--------------|--------|----------|---------|---------|-------------------|
| | | 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスペリティ位置 | 断層面上縁深さ | 組合せの時間差 | |
| 地震に伴う津波 概略検討 「断層パターン」 「矩形モデル・くの字モデル」 「東西方向位置」 | 健全地形モデル 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | 断層パターン5 | 矩形モデル | 西へ20km | de | 5km | - | 詳細検討の検討対象ケースとして選定 |
| | | 断層パターン5 | くの字モデル | 西へ10km | | | - | |
| | | 断層パターン6 | 矩形モデル | 西へ20km | | | - | |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | | | - | |
| | | 断層パターン7 | 矩形モデル | 西へ35km | | | - | |
| | | 断層パターン7 | くの字モデル | 西へ25km | | | - | |
| | | 断層パターン8 | 矩形モデル | 西へ35km | | | - | |
| | | 断層パターン8 | くの字モデル | 西へ25km | | | - | |

【詳細検討・組合せ評価】

| 検討ケース | 地形モデル | 断層パラメータの概要 | | | | | | 備考 |
|-------------------------------|--|------------|--------------|--------|----------|----------|--------------------|--------------------|
| | | 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスペリティ位置 | 断層面上縁深さ | 組合せの時間差 | |
| 地震に伴う津波 詳細検討 「アスペリティ位置」 | 健全地形モデル 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de | 5km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 |
| | | | | | de南へ10km | | - | |
| | | | | | de南へ20km | | - | |
| | | | | | de南へ30km | | - | |
| | | | | | ef | | - | |
| | | | | | de | | - | |
| 地震に伴う津波 詳細検討 「断層面上縁深さ」 | " | " | " | " | 0km | - | - | |
| | | | | | 3km | - | - | |
| | | | | | 5km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 | |
| | | | | | 組合せ評価 | de南へ20km | 5km | 29s~149s |
| 地震に伴う津波 詳細検討 「アスペリティ位置」 | " | 断層パターン7 | くの字モデル | 西へ25km | de | 5km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 |
| | | | | | de南へ10km | | - | |
| | | | | | de南へ20km | | - | |
| | | | | | de南へ30km | | - | |
| | | | | | ef | | - | |
| | | | | | de | | - | |
| 地震に伴う津波 詳細検討 「断層面上縁深さ」 | " | " | " | " | 0km | - | - | |
| | | | | | 3km | - | - | |
| | | | | | 5km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 | |
| | | | | | 組合せ評価 | de南へ20km | 5km | 36s~166s |
| 地震に伴う津波 詳細検討 「アスペリティ位置」 | " | 断層パターン8 | くの字モデル | 西へ25km | de | 5km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 |
| | | | | | de南へ10km | | - | |
| | | | | | de南へ20km | | - | |
| | | | | | de南へ30km | | - | |
| | | | | | ef | | - | |
| | | | | | de | | - | |
| 地震に伴う津波 詳細検討 「断層面上縁深さ」 | " | " | " | " | 0km | - | 組合せ評価の検討対象ケースとして選定 | |
| | | | | | 3km | - | - | |
| | | | | | 5km | - | - | |
| | | | | | 組合せ評価 | de南へ30km | 0km | 33s~148s |

組合せ評価:3波源×4地形=計12ケース

【凡例】 黄ハッチング: 水位上昇側の組合せ評価における最大ケース 橙ハッチング: 水位下降側の組合せ評価における最大ケース 薄黄ハッチング: 概略検討・詳細検討における選定ケース

5.1 解析実施ケース一覧

「5.3 水位が高い波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価」解析実施ケース

| 検討ケース | 地形モデル | 断層パラメータの概要 | | | | | | 備考 | | |
|-------|--------|-------------------|--------------|--------|----------|----------|---------|----------|----------------------|-------------------------------------|
| | | 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスベリティ位置 | 断層面上縁深さ | 組合せの時間差 | | | |
| 組合せ評価 | ケース① | 健全地形モデル | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de南へ20km | 5km | 23s~136s | 防潮堤前面の最大ケース(健全地形モデル) | |
| | ケース② | | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de北へ10km | 0km | 23s~134s | | |
| | ケース③ | | 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km | 22s~133s | | |
| | ケースI | | 断層パターン7 | くの字モデル | 基準 | de南へ20km | 5km | 29s~151s | | |
| | ケース⑤ | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de南へ20km | 5km | 23s~136s | | |
| | ケース⑥ | | 断層パターン5 | くの字モデル | 西へ55km | de南へ10km | 1km | 44s~172s | | |
| | ケース⑦ | | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de北へ10km | 0km | 23s~134s | | |
| | ケース⑧ | | 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km | 22s~133s | | |
| | ケースII | | 断層パターン7 | 矩形モデル | 基準 | de南へ20km | 1km | 27s~144s | | |
| | ケース⑩ | | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de南へ20km | 5km | 23s~136s | | |
| | ケース⑪ | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de北へ10km | 0km | 23s~134s | | |
| | ケース⑫ | | 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km | 22s~133s | | |
| | ケース⑭ | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | de南へ20km | 1km | 23s~134s | | |
| | ケース⑮ | | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de南へ20km | 4km | 23s~136s | | |
| | ケース⑯ | | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de南へ20km | 0km | 23s~136s | | |
| | ケース⑰ | | 断層パターン6 | くの字モデル | 東へ10km | de北へ10km | 0km | 23s~134s | | |
| | ケース⑱ | | 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 3km | 22s~133s | | 「貯留堰を下回る時間」最大ケース(防波堤の損傷を考慮した地形モデル③) |
| | ケースIII | | 断層パターン7 | くの字モデル | 東へ20km | de北へ10km | 2km | 23s~136s | | |

組合せ評価:計18ケース

5.1 解析実施ケース一覧

「5.3 水位が高い波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価」解析実施ケース

| 検討ケース | 地形モデル | 断層パラメータの概要 | | | | | | 備考 | |
|-------|--------------|-------------------|--------------|--------|----------|----------|---------|----------|--------------------------|
| | | 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスベリティ位置 | 断層面上縁深さ | 組合せの時間差 | | |
| 組合せ評価 | ケース①を対象にした検討 | 健全地形モデル | 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | de南へ20km | 5km | 23s~135s | 1, 2号炉取水口の最大ケース(健全地形モデル) |
| | | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ20km | 5km | 29s~149s | |
| | | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ20km | de南へ20km | 5km | 31s~156s | |
| | ケース⑤を対象にした検討 | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ25km | de南へ20km | 5km | 33s~159s | |
| | | | 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | de南へ20km | 5km | 23s~135s | |
| | ケース⑩を対象にした検討 | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ20km | 5km | 29s~149s | |
| | | | 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | de南へ20km | 5km | 23s~135s | |
| | | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ15km | de南へ20km | 5km | 30s~152s | |
| | ケース⑮を対象にした検討 | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | de南へ20km | 4km | 23s~135s | |
| | | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ20km | 4km | 29s~149s | |
| | | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ15km | de南へ20km | 4km | 30s~152s | |

組合せ評価: 計12ケース

5.1 解析実施ケース一覧

「5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価」解析実施ケース

| 検討ケース | 地形モデル | 断層パラメータの概要 | | | | | | 備考 |
|-------|-------------------|------------|--------------|--------|----------|---------|----------|-------------------------------------|
| | | 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスベリティ位置 | 断層面上縁深さ | 組合せの時間差 | |
| 組合せ評価 | 健全地形モデル | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 4km | 29s～149s | 茶津入構トンネルの最大ケース アクセスルートトンネルの最大ケース |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 5km | 29s～149s | |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ20km | 4km | 29s～149s | |
| | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 4km | 29s～149s | 茶津入構トンネルの最大ケース アクセスルートトンネルの最大ケース |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 5km | 29s～149s | |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ20km | 4km | 29s～149s | |
| | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 4km | 29s～149s | 茶津入構トンネルの最大ケース アクセスルートトンネルの最大ケース |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 5km | 29s～149s | |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ20km | 4km | 29s～149s | |
| | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 4km | 29s～149s | 茶津入構トンネルの最大ケース アクセスルートトンネルの最大ケース |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ10km | 5km | 29s～149s | |
| | | 断層パターン6 | くの字モデル | 西へ10km | de南へ20km | 4km | 29s～149s | |

組合せ評価：計12ケース

5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価

| | |
|--|------------|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2.1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2.2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2.3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3.1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3.2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4.1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4.2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4.3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4.4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5.1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5.3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7.1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7.2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(1/12) 健全地形モデル(1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|--------|--------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:5 ・波源位置:矩形モデル(東へ30km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km | 19 s ~ 116 s | 20 s | 9.19 m | 6.51 m | 6.52 m | 7.83 m | -6.55 m | 399 s | 10.77 m | 9.14 m |
| | | 25 s | 9.08 m | 6.53 m | 6.55 m | 7.52 m | -6.43 m | 398 s | 10.97 m | 9.45 m |
| | | 30 s | 8.95 m | 6.63 m | 6.59 m | 7.19 m | -6.40 m | 397 s | 11.09 m | 9.94 m |
| | | 35 s | 8.82 m | 6.69 m | 6.67 m | 6.76 m | -6.43 m | 395 s | 11.18 m | 10.18 m |
| | | 40 s | 8.95 m | 6.70 m | 6.86 m | 6.69 m | -6.46 m | 392 s | 11.37 m | 10.38 m |
| | | 45 s | 9.14 m | 6.74 m | 6.95 m | 7.08 m | -6.49 m | 389 s | 11.60 m | 10.33 m |
| | | 50 s | 9.14 m | 6.79 m | 6.94 m | 7.31 m | -6.51 m | 384 s | 11.78 m | 10.41 m |
| | | 55 s | 8.81 m | 6.76 m | 6.87 m | 7.34 m | -6.54 m | 378 s | 11.92 m | 10.47 m |
| | | 60 s | 8.48 m | 6.72 m | 6.81 m | 7.08 m | -6.56 m | 372 s | 12.04 m | 10.55 m |
| | | 65 s | 8.56 m | 6.72 m | 6.85 m | 6.69 m | -6.58 m | 365 s | 12.09 m | 10.85 m |
| | | 70 s | 8.67 m | 6.85 m | 7.03 m | 6.74 m | -6.59 m | 336 s | 12.05 m | 11.13 m |
| | | 75 s | 8.64 m | 6.88 m | 7.26 m | 6.99 m | -6.58 m | 332 s | 11.93 m | 11.45 m |
| | | 80 s | 8.53 m | 6.82 m | 7.39 m | 7.36 m | -6.48 m | 545 s | 11.79 m | 11.86 m |
| | | 85 s | 8.31 m | 6.89 m | 7.32 m | 7.69 m | -6.37 m | 549 s | 11.68 m | 12.14 m |
| | | 90 s | 8.01 m | 7.00 m | 7.22 m | 7.97 m | -6.29 m | 551 s | 11.64 m | 12.23 m |
| | | 95 s | 8.11 m | 7.08 m | 7.09 m | 8.30 m | -6.03 m | 553 s | 11.68 m | 12.25 m |
| 100 s | 8.61 m | 7.46 m | 7.17 m | 8.64 m | -5.79 m | 555 s | 11.94 m | 12.20 m | | |
| 105 s | 8.69 m | 7.70 m | 7.13 m | 8.94 m | -5.59 m | 557 s | 12.24 m | 12.22 m | | |
| 110 s | 8.53 m | 7.96 m | 7.09 m | 9.17 m | -5.62 m | 559 s | 12.45 m | 12.58 m | | |
| 115 s | 8.37 m | 8.16 m | 7.09 m | 9.09 m | -5.60 m | 561 s | 12.56 m | 13.03 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(2/12) 健全地形モデル(2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 135 s | 25 s | 11.38 m | 7.57 m | 7.59 m | 7.29 m | -9.63 m | 703 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 30 s | 11.39 m | 7.73 m | 7.60 m | 7.29 m | -9.65 m | 703 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 35 s | 11.39 m | 7.75 m | 7.60 m | 7.29 m | -9.67 m | 701 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 40 s | 11.41 m | 7.60 m | 7.70 m | 7.41 m | -9.69 m | 702 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 45 s | 11.44 m | 7.38 m | 7.71 m | 7.61 m | -9.70 m | 701 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 50 s | 11.51 m | 7.29 m | 7.89 m | 7.74 m | -9.72 m | 702 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 55 s | 11.77 m | 7.35 m | 7.91 m | 7.80 m | -9.73 m | 702 s | 11.67 m | 9.70 m |
| | | 60 s | 12.21 m | 7.60 m | 7.85 m | 7.77 m | -9.76 m | 703 s | 11.67 m | 10.03 m |
| | | 65 s | 12.57 m | 7.79 m | 8.13 m | 7.67 m | -9.79 m | 704 s | 11.67 m | 10.26 m |
| | | 70 s | 12.80 m | 7.96 m | 8.36 m | 7.56 m | -9.81 m | 702 s | 11.67 m | 10.53 m |
| | | 75 s | 12.90 m | 8.13 m | 8.45 m | 7.48 m | -9.79 m | 700 s | 11.67 m | 10.75 m |
| | | 80 s | 12.87 m | 8.30 m | 8.52 m | 7.41 m | -9.81 m | 700 s | 11.67 m | 10.95 m |
| | | 85 s | 12.70 m | 8.60 m | 8.41 m | 7.31 m | -9.83 m | 698 s | 11.67 m | 11.07 m |
| | | 90 s | 12.44 m | 8.98 m | 8.40 m | 7.29 m | -9.80 m | 698 s | 11.67 m | 11.17 m |
| | | 95 s | 12.13 m | 9.51 m | 8.54 m | 7.29 m | -9.75 m | 697 s | 11.67 m | 11.30 m |
| | | 100 s | 12.18 m | 9.89 m | 8.59 m | 7.36 m | -9.70 m | 695 s | 11.67 m | 11.36 m |
| | | 105 s | 12.00 m | 10.12 m | 8.78 m | 7.80 m | -9.69 m | 694 s | 11.67 m | 11.37 m |
| | | 110 s | 11.67 m | 10.16 m | 8.80 m | 8.32 m | -9.64 m | 693 s | 12.10 m | 11.36 m |
| 115 s | 11.19 m | 10.01 m | 8.73 m | 8.91 m | -9.62 m | 692 s | 12.46 m | 11.68 m | | |
| 120 s | 10.85 m | 9.77 m | 8.59 m | 9.59 m | -9.59 m | 690 s | 12.73 m | 12.48 m | | |
| 125 s | 11.05 m | 9.76 m | 8.44 m | 10.19 m | -9.57 m | 692 s | 12.93 m | 13.55 m | | |
| 130 s | 11.25 m | 9.52 m | 8.27 m | 10.48 m | -9.53 m | 695 s | 13.10 m | 14.07 m | | |
| 135 s | 11.43 m | 9.08 m | 8.11 m | 10.59 m | -9.45 m | 695 s | 13.26 m | 14.35 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(3/12) 健全地形モデル(3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 136 s | 25 s | 10.80 m | 7.39 m | 7.66 m | 6.97 m | -9.57 m | 642 s | 11.57 m | 9.40 m |
| | | 30 s | 10.69 m | 7.68 m | 7.66 m | 7.02 m | -9.57 m | 642 s | 11.57 m | 9.40 m |
| | | 35 s | 10.57 m | 7.87 m | 7.65 m | 7.13 m | -9.59 m | 693 s | 11.57 m | 9.40 m |
| | | 40 s | 10.50 m | 7.90 m | 7.64 m | 7.33 m | -9.59 m | 694 s | 11.57 m | 9.40 m |
| | | 45 s | 10.45 m | 7.79 m | 7.90 m | 7.54 m | -9.61 m | 695 s | 11.57 m | 9.50 m |
| | | 50 s | 10.50 m | 7.64 m | 8.12 m | 7.75 m | -9.63 m | 695 s | 11.57 m | 9.78 m |
| | | 55 s | 10.95 m | 7.44 m | 8.12 m | 7.89 m | -9.62 m | 695 s | 11.57 m | 9.92 m |
| | | 60 s | 11.35 m | 7.60 m | 8.11 m | 7.94 m | -9.61 m | 693 s | 11.57 m | 10.11 m |
| | | 65 s | 11.73 m | 7.79 m | 8.48 m | 7.89 m | -9.63 m | 695 s | 11.57 m | 10.48 m |
| | | 70 s | 12.05 m | 8.05 m | 8.84 m | 7.76 m | -9.66 m | 697 s | 11.57 m | 10.82 m |
| | | 75 s | 12.28 m | 8.31 m | 9.05 m | 7.62 m | -9.67 m | 693 s | 11.57 m | 11.09 m |
| | | 80 s | 12.39 m | 8.75 m | 9.11 m | 7.49 m | -9.67 m | 693 s | 11.57 m | 11.28 m |
| | | 85 s | 12.36 m | 9.16 m | 9.00 m | 7.41 m | -9.69 m | 693 s | 11.57 m | 11.46 m |
| | | 90 s | 12.21 m | 9.53 m | 8.86 m | 7.37 m | -9.67 m | 694 s | 11.57 m | 11.65 m |
| | | 95 s | 12.05 m | 9.86 m | 8.99 m | 7.37 m | -9.60 m | 693 s | 11.57 m | 11.86 m |
| | | 100 s | 12.26 m | 10.13 m | 9.06 m | 7.53 m | -9.50 m | 692 s | 11.57 m | 12.09 m |
| | | 105 s | 12.21 m | 10.39 m | 9.05 m | 8.01 m | -9.54 m | 691 s | 11.83 m | 12.20 m |
| | | 110 s | 11.95 m | 10.45 m | 9.05 m | 8.44 m | -9.44 m | 689 s | 12.24 m | 12.27 m |
| 115 s | 11.50 m | 10.35 m | 9.05 m | 9.01 m | -9.37 m | 687 s | 12.59 m | 12.38 m | | |
| 120 s | 11.07 m | 10.22 m | 8.95 m | 9.66 m | -9.33 m | 686 s | 12.82 m | 12.72 m | | |
| 125 s | 10.76 m | 10.06 m | 8.77 m | 10.35 m | -9.49 m | 685 s | 12.98 m | 13.46 m | | |
| 130 s | 10.34 m | 9.91 m | 8.67 m | 10.75 m | -9.21 m | 688 s | 13.12 m | 13.87 m | | |
| 135 s | 10.52 m | 9.49 m | 8.57 m | 10.91 m | -9.11 m | 694 s | 13.22 m | 14.01 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(4/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:5 ・波源位置:矩形モデル(東へ30km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km | 19 s ~ 116 s | 20 s | 9.13 m | 8.62 m | 8.59 m | 7.87 m | -9.59 m | 365 s | 10.08 m | 9.75 m |
| | | 25 s | 9.00 m | 8.47 m | 8.31 m | 7.58 m | -9.629 m | 359 s | 10.43 m | 9.99 m |
| | | 30 s | 9.57 m | 8.56 m | 8.11 m | 7.24 m | -9.634 m | 355 s | 10.65 m | 10.18 m |
| | | 35 s | 10.03 m | 8.69 m | 7.92 m | 6.84 m | -9.626 m | 350 s | 10.77 m | 10.39 m |
| | | 40 s | 10.15 m | 8.76 m | 7.96 m | 6.35 m | -9.53 m | 347 s | 10.82 m | 10.60 m |
| | | 45 s | 10.19 m | 8.81 m | 8.15 m | 5.91 m | -9.50 m | 392 s | 10.98 m | 10.78 m |
| | | 50 s | 10.27 m | 8.78 m | 8.34 m | 6.25 m | -9.58 m | 534 s | 11.20 m | 11.00 m |
| | | 55 s | 10.36 m | 8.79 m | 8.62 m | 6.49 m | -9.50 m | 539 s | 11.36 m | 11.21 m |
| | | 60 s | 10.27 m | 9.04 m | 8.70 m | 6.55 m | -9.41 m | 542 s | 11.49 m | 11.31 m |
| | | 65 s | 10.05 m | 9.28 m | 8.89 m | 6.42 m | -9.35 m | 547 s | 11.57 m | 11.37 m |
| | | 70 s | 10.16 m | 9.34 m | 9.20 m | 6.27 m | -9.24 m | 551 s | 11.56 m | 11.39 m |
| | | 75 s | 10.20 m | 9.28 m | 9.36 m | 6.53 m | -9.20 m | 553 s | 11.50 m | 11.41 m |
| | | 80 s | 10.27 m | 9.22 m | 9.35 m | 6.73 m | -9.10 m | 554 s | 11.45 m | 12.22 m |
| | | 85 s | 10.25 m | 9.65 m | 9.28 m | 7.01 m | -9.01 m | 554 s | 11.41 m | 12.76 m |
| | | 90 s | 10.42 m | 10.26 m | 9.08 m | 7.42 m | -9.01 m | 581 s | 11.38 m | 12.92 m |
| | | 95 s | 11.03 m | 10.64 m | 9.05 m | 7.84 m | -8.81 m | 614 s | 11.42 m | 12.90 m |
| 100 s | 11.66 m | 10.85 m | 9.30 m | 8.32 m | -8.65 m | 619 s | 11.67 m | 12.74 m | | |
| 105 s | 11.89 m | 10.86 m | 9.48 m | 8.57 m | -8.45 m | 623 s | 12.01 m | 12.56 m | | |
| 110 s | 11.74 m | 10.77 m | 9.53 m | 8.58 m | -8.31 m | 624 s | 12.25 m | 12.49 m | | |
| 115 s | 11.38 m | 10.60 m | 9.64 m | 8.31 m | -7.85 m | 626 s | 12.34 m | 12.90 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(5/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 135 s | 25 s | 10.59 m | 8.20 m | 7.93 m | 7.72 m | -12.29 m | 428 s | 10.86 m | 9.19 m |
| | | 30 s | 10.65 m | 8.56 m | 8.20 m | 7.72 m | -12.28 m | 428 s | 10.86 m | 9.19 m |
| | | 35 s | 10.71 m | 8.86 m | 8.45 m | 7.72 m | -12.26 m | 429 s | 10.86 m | 9.30 m |
| | | 40 s | 10.73 m | 9.41 m | 8.65 m | 7.72 m | -12.26 m | 429 s | 10.86 m | 9.55 m |
| | | 45 s | 10.75 m | 9.77 m | 8.81 m | 7.72 m | -12.23 m | 426 s | 10.86 m | 9.81 m |
| | | 50 s | 11.21 m | 9.95 m | 8.94 m | 7.72 m | -12.18 m | 423 s | 10.86 m | 10.07 m |
| | | 55 s | 11.76 m | 10.02 m | 9.08 m | 7.72 m | -12.17 m | 422 s | 10.86 m | 10.26 m |
| | | 60 s | 12.21 m | 10.01 m | 9.41 m | 7.72 m | -12.16 m | 421 s | 10.86 m | 10.44 m |
| | | 65 s | 12.60 m | 9.97 m | 10.10 m | 7.72 m | -12.15 m | 420 s | 10.86 m | 10.55 m |
| | | 70 s | 12.87 m | 10.58 m | 10.61 m | 7.72 m | -12.15 m | 420 s | 10.86 m | 10.71 m |
| | | 75 s | 13.04 m | 11.03 m | 10.94 m | 7.72 m | -12.15 m | 420 s | 10.86 m | 10.84 m |
| | | 80 s | 13.00 m | 11.35 m | 11.24 m | 7.72 m | -12.15 m | 424 s | 10.86 m | 11.01 m |
| | | 85 s | 12.79 m | 11.75 m | 11.45 m | 7.72 m | -12.16 m | 428 s | 10.86 m | 11.16 m |
| | | 90 s | 13.28 m | 12.16 m | 11.53 m | 7.72 m | -12.14 m | 433 s | 10.86 m | 11.23 m |
| | | 95 s | 13.89 m | 12.51 m | 11.60 m | 7.72 m | -12.11 m | 441 s | 10.86 m | 11.30 m |
| | | 100 s | 14.38 m | 12.81 m | 11.96 m | 7.72 m | -12.01 m | 443 s | 10.86 m | 11.25 m |
| | | 105 s | 15.10 m | 13.04 m | 12.43 m | 7.72 m | -11.95 m | 442 s | 10.94 m | 11.41 m |
| | | 110 s | 15.54 m | 13.14 m | 12.70 m | 7.72 m | -11.81 m | 440 s | 11.51 m | 11.43 m |
| 115 s | 15.65 m | 13.09 m | 12.74 m | 8.35 m | -11.66 m | 437 s | 12.02 m | 11.60 m | | |
| 120 s | 15.38 m | 12.84 m | 12.60 m | 9.31 m | -11.49 m | 434 s | 12.43 m | 12.67 m | | |
| 125 s | 14.78 m | 12.37 m | 12.39 m | 10.08 m | -11.41 m | 431 s | 12.75 m | 13.79 m | | |
| 130 s | 13.69 m | 11.94 m | 12.06 m | 10.49 m | -11.41 m | 427 s | 13.00 m | 14.34 m | | |
| 135 s | 12.50 m | 11.31 m | 11.56 m | 10.54 m | -11.41 m | 425 s | 13.23 m | 14.53 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(6/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 136 s | 25 s | 10.09 m | 7.68 m | 7.37 m | 7.44 m | -12.26 m | 429 s | 10.79 m | 8.89 m |
| | | 30 s | 10.09 m | 8.21 m | 7.51 m | 7.44 m | -12.24 m | 430 s | 10.79 m | 8.99 m |
| | | 35 s | 10.03 m | 8.65 m | 7.64 m | 7.44 m | -12.24 m | 430 s | 10.79 m | 9.13 m |
| | | 40 s | 10.00 m | 8.98 m | 7.93 m | 7.44 m | -12.23 m | 430 s | 10.79 m | 9.17 m |
| | | 45 s | 10.07 m | 9.32 m | 8.29 m | 7.44 m | -12.23 m | 430 s | 10.79 m | 9.48 m |
| | | 50 s | 10.63 m | 9.68 m | 8.57 m | 7.44 m | -12.21 m | 427 s | 10.79 m | 9.81 m |
| | | 55 s | 11.17 m | 9.86 m | 8.68 m | 7.44 m | -12.21 m | 424 s | 10.79 m | 10.13 m |
| | | 60 s | 11.56 m | 9.93 m | 8.90 m | 7.44 m | -12.18 m | 423 s | 10.79 m | 10.54 m |
| | | 65 s | 11.97 m | 9.92 m | 9.65 m | 7.44 m | -12.17 m | 423 s | 10.79 m | 10.89 m |
| | | 70 s | 12.36 m | 9.97 m | 10.23 m | 7.44 m | -12.15 m | 424 s | 10.79 m | 11.24 m |
| | | 75 s | 12.68 m | 10.58 m | 10.65 m | 7.44 m | -12.13 m | 426 s | 10.79 m | 11.55 m |
| | | 80 s | 12.88 m | 10.97 m | 10.93 m | 7.44 m | -12.09 m | 428 s | 10.79 m | 11.81 m |
| | | 85 s | 12.79 m | 11.29 m | 11.17 m | 7.44 m | -12.01 m | 431 s | 10.79 m | 11.97 m |
| | | 90 s | 12.65 m | 11.72 m | 11.27 m | 7.44 m | -11.95 m | 434 s | 10.79 m | 12.07 m |
| | | 95 s | 13.21 m | 12.15 m | 11.30 m | 7.44 m | -11.82 m | 439 s | 10.79 m | 12.24 m |
| | | 100 s | 13.85 m | 12.40 m | 11.50 m | 7.47 m | -11.52 m | 443 s | 10.79 m | 12.34 m |
| | | 105 s | 14.52 m | 12.63 m | 11.98 m | 7.68 m | -11.29 m | 444 s | 11.28 m | 12.32 m |
| | | 110 s | 15.08 m | 12.79 m | 12.35 m | 7.95 m | -11.14 m | 444 s | 11.79 m | 12.21 m |
| 115 s | 15.30 m | 12.78 m | 12.50 m | 8.50 m | -10.76 m | 443 s | 12.26 m | 12.19 m | | |
| 120 s | 15.20 m | 12.59 m | 12.45 m | 9.40 m | -10.89 m | 443 s | 12.62 m | 12.51 m | | |
| 125 s | 14.73 m | 12.25 m | 12.30 m | 10.24 m | -10.66 m | 444 s | 12.92 m | 13.44 m | | |
| 130 s | 13.77 m | 11.89 m | 12.02 m | 10.73 m | -10.68 m | 441 s | 13.17 m | 14.03 m | | |
| 135 s | 12.58 m | 11.31 m | 11.58 m | 10.84 m | -10.83 m | 544 s | 13.34 m | 14.24 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(7/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:5 ・波源位置:矩形モデル(東へ30km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km | 19 s ~ 116 s | 20 s | 9.32 m | 6.48 m | 7.19 m | 7.82 m | -8.90 m | 392 s | 10.71 m | 9.14 m |
| | | 25 s | 9.37 m | 6.56 m | 7.26 m | 7.52 m | -8.85 m | 394 s | 10.90 m | 9.46 m |
| | | 30 s | 9.39 m | 6.78 m | 7.37 m | 7.17 m | -8.83 m | 403 s | 11.03 m | 9.94 m |
| | | 35 s | 9.51 m | 6.95 m | 7.66 m | 6.76 m | -8.84 m | 415 s | 11.14 m | 10.17 m |
| | | 40 s | 9.60 m | 6.95 m | 7.89 m | 6.70 m | -8.79 m | 417 s | 11.34 m | 10.35 m |
| | | 45 s | 9.90 m | 6.84 m | 8.05 m | 7.09 m | -8.71 m | 417 s | 11.56 m | 10.44 m |
| | | 50 s | 9.98 m | 6.71 m | 8.16 m | 7.32 m | -8.61 m | 416 s | 11.75 m | 10.36 m |
| | | 55 s | 10.07 m | 6.86 m | 8.16 m | 7.35 m | -8.51 m | 414 s | 11.89 m | 10.40 m |
| | | 60 s | 10.10 m | 7.18 m | 8.09 m | 7.07 m | -8.40 m | 412 s | 12.01 m | 10.42 m |
| | | 65 s | 10.12 m | 7.43 m | 8.12 m | 6.74 m | -8.33 m | 560 s | 12.07 m | 10.67 m |
| | | 70 s | 10.14 m | 7.56 m | 8.33 m | 6.79 m | -8.23 m | 597 s | 12.04 m | 10.99 m |
| | | 75 s | 10.12 m | 7.81 m | 8.51 m | 7.03 m | -8.12 m | 600 s | 11.91 m | 11.30 m |
| | | 80 s | 10.13 m | 8.11 m | 8.57 m | 7.39 m | -7.97 m | 602 s | 11.77 m | 11.69 m |
| | | 85 s | 10.13 m | 8.33 m | 8.59 m | 7.72 m | -7.80 m | 619 s | 11.66 m | 11.90 m |
| | | 90 s | 10.16 m | 8.44 m | 8.54 m | 8.00 m | -7.67 m | 622 s | 11.63 m | 11.97 m |
| | | 95 s | 10.17 m | 8.55 m | 8.38 m | 8.34 m | -7.59 m | 622.6 s | 11.69 m | 12.03 m |
| 100 s | 10.18 m | 8.91 m | 8.07 m | 8.67 m | -7.45 m | 622.7 s | 11.94 m | 12.09 m | | |
| 105 s | 10.19 m | 9.27 m | 8.00 m | 8.96 m | -7.13 m | 622.8 s | 12.24 m | 12.19 m | | |
| 110 s | 10.19 m | 9.47 m | 8.00 m | 9.19 m | -6.84 m | 620 s | 12.47 m | 12.65 m | | |
| 115 s | 10.22 m | 9.43 m | 8.06 m | 9.09 m | -6.60 m | 619 s | 12.59 m | 13.13 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(8/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 135 s | 25 s | 11.40 m | 8.97 m | 8.91 m | 7.34 m | -11.20 m | 709 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 30 s | 11.44 m | 9.34 m | 9.35 m | 7.34 m | -11.20 m | 704 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 35 s | 11.38 m | 9.50 m | 9.92 m | 7.34 m | -11.18 m | 702 s | 11.67 m | 9.45 m |
| | | 40 s | 11.30 m | 9.40 m | 10.29 m | 7.41 m | -11.21 m | 722 s | 11.67 m | 9.77 m |
| | | 45 s | 11.24 m | 9.06 m | 10.43 m | 7.61 m | -11.223 m | 725 s | 11.67 m | 10.34 m |
| | | 50 s | 11.59 m | 8.77 m | 10.51 m | 7.74 m | -11.21 m | 726 s | 11.67 m | 10.55 m |
| | | 55 s | 11.93 m | 8.91 m | 10.74 m | 7.80 m | -11.216 m | 725 s | 11.67 m | 10.70 m |
| | | 60 s | 12.14 m | 9.14 m | 11.03 m | 7.77 m | -11.21 m | 724 s | 11.67 m | 10.84 m |
| | | 65 s | 12.24 m | 9.36 m | 11.30 m | 7.67 m | -11.20 m | 724 s | 11.67 m | 10.96 m |
| | | 70 s | 12.40 m | 9.63 m | 11.58 m | 7.56 m | -11.19 m | 724 s | 11.67 m | 11.08 m |
| | | 75 s | 12.77 m | 9.88 m | 11.83 m | 7.48 m | -11.18 m | 727 s | 11.67 m | 11.16 m |
| | | 80 s | 12.98 m | 10.19 m | 11.98 m | 7.39 m | -11.17 m | 728 s | 11.67 m | 11.19 m |
| | | 85 s | 12.99 m | 10.60 m | 12.01 m | 7.34 m | -11.15 m | 730 s | 11.67 m | 11.14 m |
| | | 90 s | 12.97 m | 10.96 m | 11.92 m | 7.34 m | -11.13 m | 732 s | 11.67 m | 11.21 m |
| | | 95 s | 13.02 m | 11.16 m | 11.92 m | 7.34 m | -11.11 m | 734 s | 11.67 m | 11.35 m |
| | | 100 s | 13.90 m | 11.35 m | 11.98 m | 7.34 m | -11.08 m | 734 s | 11.67 m | 11.45 m |
| | | 105 s | 14.58 m | 11.63 m | 11.97 m | 7.74 m | -11.06 m | 734 s | 11.67 m | 11.56 m |
| | | 110 s | 14.95 m | 11.80 m | 11.89 m | 8.26 m | -11.02 m | 735 s | 12.06 m | 11.64 m |
| 115 s | 14.98 m | 11.86 m | 11.76 m | 8.84 m | -10.95 m | 736 s | 12.41 m | 11.74 m | | |
| 120 s | 14.59 m | 11.85 m | 11.59 m | 9.51 m | -10.90 m | 737 s | 12.66 m | 12.46 m | | |
| 125 s | 13.82 m | 11.75 m | 11.37 m | 10.10 m | -10.82 m | 739 s | 12.85 m | 13.52 m | | |
| 130 s | 12.76 m | 11.38 m | 11.08 m | 10.39 m | -10.73 m | 741 s | 13.01 m | 14.05 m | | |
| 135 s | 11.35 m | 10.77 m | 10.62 m | 10.50 m | -10.77 m | 743 s | 13.16 m | 14.32 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(9/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|----------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 136 s | 25 s | 10.86 m | 8.00 m | 8.72 m | 7.02 m | -11.16 m | 710 s | 11.56 m | 9.39 m |
| | | 30 s | 10.69 m | 8.69 m | 9.03 m | 7.02 m | -11.17 m | 708 s | 11.56 m | 9.39 m |
| | | 35 s | 10.55 m | 9.15 m | 9.52 m | 7.12 m | -11.1859 m | 705 s | 11.56 m | 9.39 m |
| | | 40 s | 10.38 m | 9.34 m | 9.85 m | 7.32 m | -11.17 m | 702 s | 11.56 m | 9.39 m |
| | | 45 s | 10.73 m | 9.29 m | 10.14 m | 7.54 m | -11.17 m | 698 s | 11.56 m | 9.77 m |
| | | 50 s | 10.98 m | 9.03 m | 10.31 m | 7.74 m | -11.1853 m | 698 s | 11.56 m | 10.33 m |
| | | 55 s | 11.43 m | 8.94 m | 10.42 m | 7.89 m | -11.1863 m | 719 s | 11.56 m | 10.51 m |
| | | 60 s | 11.73 m | 9.14 m | 10.64 m | 7.93 m | -11.17 m | 717 s | 11.56 m | 10.66 m |
| | | 65 s | 11.93 m | 9.44 m | 10.88 m | 7.87 m | -11.16 m | 716 s | 11.56 m | 10.76 m |
| | | 70 s | 12.05 m | 9.74 m | 11.12 m | 7.75 m | -11.15 m | 715 s | 11.56 m | 10.86 m |
| | | 75 s | 12.16 m | 10.06 m | 11.41 m | 7.61 m | -11.14 m | 716 s | 11.56 m | 10.95 m |
| | | 80 s | 12.42 m | 10.38 m | 11.64 m | 7.48 m | -11.11 m | 720 s | 11.56 m | 11.13 m |
| | | 85 s | 12.54 m | 10.69 m | 11.72 m | 7.40 m | -11.08 m | 724 s | 11.56 m | 11.31 m |
| | | 90 s | 12.56 m | 11.03 m | 11.69 m | 7.36 m | -11.05 m | 728 s | 11.56 m | 11.49 m |
| | | 95 s | 12.73 m | 11.30 m | 11.65 m | 7.36 m | -11.00 m | 732 s | 11.56 m | 11.68 m |
| | | 100 s | 13.65 m | 11.45 m | 11.72 m | 7.48 m | -10.93 m | 733 s | 11.56 m | 11.92 m |
| | | 105 s | 14.35 m | 11.60 m | 11.77 m | 7.96 m | -10.88 m | 734 s | 11.78 m | 12.08 m |
| | | 110 s | 14.74 m | 11.72 m | 11.75 m | 8.39 m | -10.77 m | 735 s | 12.19 m | 12.19 m |
| | | 115 s | 14.78 m | 11.764 m | 11.67 m | 8.94 m | -10.70 m | 735 s | 12.54 m | 12.35 m |
| | | 120 s | 14.44 m | 11.761 m | 11.54 m | 9.61 m | -10.59 m | 735 s | 12.76 m | 12.72 m |
| 125 s | 13.75 m | 11.62 m | 11.36 m | 10.28 m | -10.41 m | 736 s | 12.93 m | 13.46 m | | |
| 130 s | 12.79 m | 11.25 m | 11.10 m | 10.67 m | -10.15 m | 737 s | 13.07 m | 13.87 m | | |
| 135 s | 11.55 m | 10.69 m | 10.68 m | 10.85 m | -9.87 m | 738 s | 13.18 m | 14.00 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(10/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:5 ・波源位置:矩形モデル(東へ30km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km | 19 s ~ 116 s | 20 s | 10.10 m | 8.15 m | 8.03 m | 7.83 m | -9.69 m | 765 s | 10.03 m | 10.12 m |
| | | 25 s | 9.99 m | 8.45 m | 7.87 m | 7.54 m | -9.76 m | 772 s | 10.33 m | 10.35 m |
| | | 30 s | 9.88 m | 8.80 m | 8.00 m | 7.20 m | -9.80 m | 776 s | 10.59 m | 10.54 m |
| | | 35 s | 9.81 m | 9.04 m | 8.25 m | 6.79 m | -9.85 m | 778.5 s | 10.71 m | 10.73 m |
| | | 40 s | 9.92 m | 9.24 m | 8.62 m | 6.29 m | -9.86 m | 779.1 s | 10.77 m | 10.95 m |
| | | 45 s | 10.01 m | 9.36 m | 8.85 m | 5.96 m | -9.913 m | 779.4 s | 10.88 m | 11.10 m |
| | | 50 s | 10.16 m | 9.43 m | 8.95 m | 6.18 m | -9.90 m | 776 s | 11.10 m | 11.31 m |
| | | 55 s | 10.19 m | 9.51 m | 8.96 m | 6.44 m | -9.89 m | 773 s | 11.27 m | 11.60 m |
| | | 60 s | 10.32 m | 9.50 m | 8.86 m | 6.51 m | -9.914 m | 771 s | 11.41 m | 11.73 m |
| | | 65 s | 10.42 m | 9.62 m | 8.60 m | 6.40 m | -9.85 m | 768 s | 11.51 m | 11.78 m |
| | | 70 s | 10.32 m | 9.52 m | 8.63 m | 6.23 m | -9.87 m | 761 s | 11.51 m | 11.81 m |
| | | 75 s | 10.29 m | 9.58 m | 8.91 m | 6.37 m | -9.81 m | 618 s | 11.47 m | 11.72 m |
| | | 80 s | 10.34 m | 9.56 m | 9.06 m | 6.56 m | -9.75 m | 623 s | 11.44 m | 12.15 m |
| | | 85 s | 10.32 m | 9.44 m | 9.14 m | 6.88 m | -9.65 m | 646 s | 11.42 m | 12.72 m |
| | | 90 s | 10.25 m | 9.77 m | 9.36 m | 7.29 m | -9.54 m | 646 s | 11.39 m | 12.94 m |
| | | 95 s | 10.47 m | 10.26 m | 9.15 m | 7.72 m | -9.46 m | 643 s | 11.42 m | 12.95 m |
| 100 s | 11.14 m | 10.67 m | 8.72 m | 8.19 m | -9.33 m | 642 s | 11.62 m | 12.77 m | | |
| 105 s | 11.68 m | 10.84 m | 9.18 m | 8.47 m | -9.06 m | 641 s | 11.92 m | 12.60 m | | |
| 110 s | 11.69 m | 10.77 m | 9.43 m | 8.42 m | -9.04 m | 640 s | 12.14 m | 12.53 m | | |
| 115 s | 11.52 m | 10.67 m | 9.55 m | 8.13 m | -8.80 m | 639 s | 12.23 m | 12.91 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価 (東移動)

組合せ評価結果 (11/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 135 s | 25 s | 10.75 m | 7.80 m | 7.59 m | 7.79 m | -12.04 m | 796 s | 10.87 m | 9.17 m |
| | | 30 s | 10.75 m | 8.15 m | 7.91 m | 7.79 m | -12.02 m | 791 s | 10.87 m | 9.17 m |
| | | 35 s | 10.79 m | 8.46 m | 8.11 m | 7.79 m | -12.02 m | 785 s | 10.87 m | 9.45 m |
| | | 40 s | 10.86 m | 8.96 m | 8.20 m | 7.79 m | -12.06 m | 777 s | 10.87 m | 9.74 m |
| | | 45 s | 10.89 m | 9.26 m | 8.36 m | 7.79 m | -12.07 m | 769 s | 10.87 m | 10.00 m |
| | | 50 s | 11.34 m | 9.48 m | 8.48 m | 7.79 m | -12.103 m | 762 s | 10.87 m | 10.22 m |
| | | 55 s | 12.05 m | 9.59 m | 8.67 m | 7.79 m | -12.05 m | 753 s | 10.87 m | 10.44 m |
| | | 60 s | 12.56 m | 9.61 m | 9.10 m | 7.79 m | -12.101 m | 745 s | 10.87 m | 10.63 m |
| | | 65 s | 12.97 m | 9.73 m | 10.07 m | 7.79 m | -12.03 m | 737 s | 10.87 m | 10.74 m |
| | | 70 s | 13.19 m | 9.88 m | 10.80 m | 7.79 m | -12.03 m | 792 s | 10.87 m | 10.90 m |
| | | 75 s | 13.31 m | 10.45 m | 11.13 m | 7.79 m | -12.03 m | 790 s | 10.87 m | 11.03 m |
| | | 80 s | 13.24 m | 10.84 m | 11.09 m | 7.79 m | -12.03 m | 844 s | 10.87 m | 11.20 m |
| | | 85 s | 12.99 m | 11.22 m | 10.78 m | 7.79 m | -12.03 m | 843 s | 10.87 m | 11.31 m |
| | | 90 s | 12.87 m | 11.89 m | 10.39 m | 7.79 m | -12.03 m | 841 s | 10.87 m | 11.33 m |
| | | 95 s | 13.71 m | 12.43 m | 10.48 m | 7.79 m | -12.03 m | 839 s | 10.87 m | 11.27 m |
| | | 100 s | 14.89 m | 12.71 m | 10.74 m | 7.79 m | -12.03 m | 836 s | 10.87 m | 11.35 m |
| | | 105 s | 15.55 m | 12.85 m | 10.99 m | 7.79 m | -12.03 m | 833 s | 10.87 m | 11.49 m |
| | | 110 s | 15.68 m | 12.89 m | 11.27 m | 7.79 m | -12.03 m | 831 s | 11.20 m | 11.54 m |
| 115 s | 15.51 m | 12.79 m | 11.43 m | 8.08 m | -12.01 m | 828 s | 11.68 m | 11.66 m | | |
| 120 s | 15.06 m | 12.50 m | 11.41 m | 9.03 m | -11.65 m | 825 s | 12.05 m | 12.45 m | | |
| 125 s | 14.38 m | 12.23 m | 11.27 m | 9.84 m | -11.61 m | 821 s | 12.37 m | 13.64 m | | |
| 130 s | 13.50 m | 11.92 m | 11.02 m | 10.29 m | -11.60 m | 818 s | 12.62 m | 14.18 m | | |
| 135 s | 12.47 m | 11.50 m | 10.73 m | 10.35 m | -11.70 m | 815 s | 12.83 m | 14.36 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

組合せ評価結果(12/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 136 s | 25 s | 10.11 m | 7.83 m | 7.21 m | 7.52 m | -11.90 m | 792 s | 10.79 m | 8.88 m |
| | | 30 s | 10.14 m | 7.99 m | 7.54 m | 7.52 m | -11.89 m | 781 s | 10.79 m | 8.97 m |
| | | 35 s | 10.14 m | 8.39 m | 8.02 m | 7.52 m | -11.89 m | 769 s | 10.79 m | 9.12 m |
| | | 40 s | 10.10 m | 8.72 m | 8.35 m | 7.52 m | -11.88 m | 759 s | 10.79 m | 9.15 m |
| | | 45 s | 10.05 m | 9.01 m | 8.52 m | 7.52 m | -11.85 m | 428 s | 10.79 m | 9.38 m |
| | | 50 s | 10.49 m | 9.30 m | 8.58 m | 7.52 m | -11.86 m | 425 s | 10.79 m | 9.67 m |
| | | 55 s | 11.14 m | 9.61 m | 8.58 m | 7.52 m | -11.86 m | 420 s | 10.79 m | 10.00 m |
| | | 60 s | 11.63 m | 9.87 m | 8.66 m | 7.52 m | -11.88 m | 414 s | 10.79 m | 10.36 m |
| | | 65 s | 12.10 m | 10.03 m | 9.26 m | 7.52 m | -12.04 m | 458 s | 10.79 m | 10.71 m |
| | | 70 s | 12.51 m | 10.13 m | 10.21 m | 7.52 m | -12.05 m | 462 s | 10.79 m | 11.00 m |
| | | 75 s | 12.78 m | 10.23 m | 10.81 m | 7.52 m | -12.03 m | 464 s | 10.79 m | 11.26 m |
| | | 80 s | 12.93 m | 10.58 m | 11.03 m | 7.52 m | -12.03 m | 464 s | 10.79 m | 11.49 m |
| | | 85 s | 12.85 m | 10.98 m | 10.92 m | 7.52 m | -12.03 m | 464 s | 10.79 m | 11.68 m |
| | | 90 s | 12.63 m | 11.60 m | 10.58 m | 7.52 m | -12.04 m | 462 s | 10.79 m | 11.80 m |
| | | 95 s | 13.31 m | 12.30 m | 10.34 m | 7.52 m | -11.96 m | 513 s | 10.79 m | 11.95 m |
| | | 100 s | 14.52 m | 12.66 m | 10.62 m | 7.52 m | -11.80 m | 511 s | 10.79 m | 12.04 m |
| | | 105 s | 15.31 m | 12.82 m | 10.92 m | 7.52 m | -11.58 m | 508 s | 11.05 m | 12.13 m |
| | | 110 s | 15.58 m | 12.89 m | 11.24 m | 7.71 m | -11.29 m | 503 s | 11.56 m | 12.11 m |
| 115 s | 15.46 m | 12.77 m | 11.44 m | 8.24 m | -11.10 m | 498 s | 12.02 m | 12.13 m | | |
| 120 s | 15.05 m | 12.52 m | 11.50 m | 9.14 m | -10.76 m | 492 s | 12.35 m | 12.49 m | | |
| 125 s | 14.39 m | 12.20 m | 11.43 m | 10.02 m | -10.68 m | 486 s | 12.66 m | 13.38 m | | |
| 130 s | 13.50 m | 11.95 m | 11.22 m | 10.54 m | -10.71 m | 480 s | 12.92 m | 13.92 m | | |
| 135 s | 12.53 m | 11.56 m | 10.85 m | 10.66 m | -10.78 m | 474 s | 13.11 m | 14.11 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(1) 地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)

「5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)」の最大ケース

○「5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の第2波の組合せ評価(東移動)」の最大ケースは、以下のとおりである。

| 評価項目・影響確認地点 | 健全地形モデル | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | |
|------------------|----------------|---|-------------------|---|-------------------|---|-------------------|---|
| | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 |
| 防潮堤前面(上昇側) | 12.90m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:75s | 15.65m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:115s | 14.98m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:115s | 15.68m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:110s |
| 3号炉取水口(上昇側) | 10.45m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:110s | 13.14m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:110s | 11.86m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:115s | 12.89m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:110s |
| 1,2号炉取水口(上昇側) | 9.11m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:80s | 12.74m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:115s | 12.01m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:85s | 11.50m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:120s |
| 放水口(上昇側) | 10.91m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 10.84m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 10.85m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 10.66m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s |
| 3号炉取水口(下降側) | 9.83m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:85s | 12.29m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:25s | 11.22m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:45s | 12.10m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:50s |
| 「貯留堰を下回る時間」 | 704s | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:65s | 626s | ・断層パターン:5 ・波源位置:矩形モデル(東へ30km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km ・組合せの時間差:115s | 743s | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 844s | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:80s |
| 茶津入構トンネル(上昇側) | 13.26m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 13.34m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 13.18m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 13.11m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s |
| アクセスルートトンネル(上昇側) | 14.35m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 14.53m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 14.32m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 14.36m | ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s |

余白

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価 (西移動)

組合せ評価結果 (1/12) 健全地形モデル (1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|----------|--------|-----------|----------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.28 m | 8.29 m | 8.60 m | 10.28 m | -7.79 m | 712 s | 18.28 m | 14.54 m |
| | | 35 s | 12.46 m | 8.07 m | 8.45 m | 10.36 m | -7.81 m | 709 s | 17.79 m | 14.65 m |
| | | 40 s | 12.64 m | 8.21 m | 8.30 m | 10.42 m | -7.85 m | 706 s | 18.03 m | 14.81 m |
| | | 45 s | 12.79 m | 8.30 m | 8.14 m | 10.447 m | -7.88 m | 705 s | 17.60 m | 14.94 m |
| | | 50 s | 12.92 m | 8.36 m | 8.04 m | 10.446 m | -7.91 m | 704 s | 17.44 m | 14.981 m |
| | | 55 s | 13.00 m | 8.38 m | 7.94 m | 10.42 m | -7.92 m | 702 s | 17.18 m | 14.978 m |
| | | 60 s | 13.047 m | 8.33 m | 7.87 m | 10.37 m | -7.94 m | 701 s | 16.71 m | 14.91 m |
| | | 65 s | 13.049 m | 8.23 m | 7.85 m | 10.42 m | -7.95 m | 694 s | 16.41 m | 14.74 m |
| | | 70 s | 13.00 m | 8.21 m | 7.87 m | 10.450 m | -7.94 m | 686 s | 16.06 m | 14.52 m |
| | | 75 s | 12.86 m | 8.22 m | 7.87 m | 10.39 m | -7.92 m | 675 s | 15.65 m | 14.28 m |
| | | 80 s | 12.59 m | 8.22 m | 7.88 m | 10.21 m | -7.90 m | 690 s | 15.28 m | 14.09 m |
| | | 85 s | 12.14 m | 8.20 m | 7.88 m | 9.95 m | -7.85 m | 686 s | 15.01 m | 13.67 m |
| | | 90 s | 11.57 m | 8.18 m | 7.86 m | 9.78 m | -7.78 m | 679 s | 14.56 m | 13.31 m |
| | | 95 s | 11.04 m | 8.15 m | 7.80 m | 9.72 m | -7.70 m | 679 s | 13.88 m | 12.89 m |
| | | 100 s | 10.52 m | 8.12 m | 7.86 m | 9.71 m | -7.81 m | 678 s | 13.18 m | 12.29 m |
| | | 105 s | 9.90 m | 8.07 m | 7.91 m | 9.77 m | -7.76 m | 676 s | 12.36 m | 11.61 m |
| | | 110 s | 9.76 m | 7.97 m | 7.90 m | 9.71 m | -7.72 m | 675 s | 11.81 m | 11.08 m |
| | | 115 s | 8.88 m | 7.87 m | 7.87 m | 9.46 m | -7.81 m | 673 s | 11.91 m | 10.77 m |
| | | 120 s | 9.06 m | 7.75 m | 7.83 m | 9.02 m | -7.80 m | 669 s | 11.98 m | 10.55 m |
| | | 125 s | 9.39 m | 7.66 m | 7.79 m | 8.69 m | -7.85 m | 665 s | 12.06 m | 10.54 m |
| 130 s | 9.76 m | 7.61 m | 7.76 m | 8.48 m | -7.93 m | 659 s | 12.07 m | 10.53 m | | |
| 135 s | 10.16 m | 7.58 m | 7.74 m | 8.26 m | -8.03 m | 648 s | 12.13 m | 10.52 m | | |
| 140 s | 10.53 m | 7.54 m | 7.65 m | 8.06 m | -8.10 m | 643 s | 12.13 m | 10.46 m | | |
| 145 s | 10.79 m | 7.49 m | 7.55 m | 7.97 m | -8.17 m | 640 s | 12.09 m | 10.41 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)

組合せ評価結果(2/12) 健全地形モデル(2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|----------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 36 s ~ 166 s | 40 s | 10.53 m | 7.04 m | 6.81 m | 10.42 m | -7.17 m | 683 s | 17.95 m | 14.33 m |
| | | 45 s | 10.58 m | 7.01 m | 6.80 m | 10.28 m | -7.26 m | 681 s | 18.01 m | 14.31 m |
| | | 50 s | 10.64 m | 6.96 m | 6.79 m | 10.15 m | -7.27 m | 681 s | 18.03 m | 14.27 m |
| | | 55 s | 10.73 m | 6.88 m | 6.78 m | 10.02 m | -7.28 m | 680 s | 18.02 m | 14.22 m |
| | | 60 s | 10.81 m | 6.78 m | 6.76 m | 9.87 m | -7.37 m | 679 s | 17.96 m | 14.11 m |
| | | 65 s | 10.88 m | 6.73 m | 6.73 m | 9.74 m | -7.49 m | 679 s | 17.83 m | 13.81 m |
| | | 70 s | 10.93 m | 6.74 m | 6.72 m | 9.58 m | -7.61 m | 679 s | 17.65 m | 13.46 m |
| | | 75 s | 10.93 m | 6.80 m | 6.73 m | 9.44 m | -7.68 m | 678 s | 17.35 m | 13.32 m |
| | | 80 s | 10.936 m | 6.83 m | 6.86 m | 9.33 m | -7.76 m | 678 s | 16.92 m | 13.22 m |
| | | 85 s | 10.937 m | 6.81 m | 6.99 m | 9.21 m | -7.76 m | 678 s | 16.44 m | 12.86 m |
| | | 90 s | 10.936 m | 6.77 m | 7.07 m | 9.06 m | -7.88 m | 678 s | 16.00 m | 12.67 m |
| | | 95 s | 10.93 m | 6.82 m | 7.12 m | 8.92 m | -7.99 m | 677 s | 15.58 m | 12.68 m |
| | | 100 s | 10.93 m | 6.95 m | 7.07 m | 8.82 m | -8.07 m | 677 s | 15.34 m | 13.03 m |
| | | 105 s | 10.93 m | 7.14 m | 7.10 m | 8.74 m | -8.14 m | 677 s | 15.07 m | 13.30 m |
| | | 110 s | 10.93 m | 7.35 m | 7.12 m | 8.70 m | -8.21 m | 677 s | 14.65 m | 13.32 m |
| | | 115 s | 10.93 m | 7.55 m | 7.12 m | 9.12 m | -8.27 m | 677 s | 14.04 m | 13.32 m |
| | | 120 s | 10.93 m | 7.68 m | 7.17 m | 9.50 m | -8.32 m | 677 s | 13.58 m | 13.22 m |
| | | 125 s | 10.92 m | 7.72 m | 7.19 m | 9.80 m | -8.37 m | 677 s | 13.10 m | 13.30 m |
| | | 130 s | 10.85 m | 7.66 m | 7.10 m | 10.03 m | -8.42 m | 676 s | 12.60 m | 13.32 m |
| | | 135 s | 10.69 m | 7.55 m | 6.97 m | 10.13 m | -8.46 m | 676 s | 12.23 m | 13.32 m |
| 140 s | 10.53 m | 7.34 m | 6.85 m | 10.04 m | -8.49 m | 676 s | 11.90 m | 13.32 m | | |
| 145 s | 10.38 m | 7.16 m | 6.83 m | 9.70 m | -8.60 m | 676 s | 11.53 m | 13.17 m | | |
| 150 s | 9.92 m | 7.10 m | 6.70 m | 9.60 m | -8.65 m | 677 s | 11.19 m | 12.87 m | | |
| 155 s | 9.86 m | 7.03 m | 6.67 m | 9.51 m | -8.69 m | 677 s | 10.96 m | 12.59 m | | |
| 160 s | 8.93 m | 6.87 m | 6.62 m | 9.47 m | -8.71 m | 677 s | 10.93 m | 12.20 m | | |
| 165 s | 8.95 m | 6.87 m | 6.42 m | 9.63 m | -8.73 m | 677 s | 10.93 m | 11.68 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価 (西移動)

組合せ評価結果 (3/12) 健全地形モデル (3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|----------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:8 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km | 33 s ~ 148 s | 35 s | 10.46 m | 6.36 m | 6.05 m | 10.20 m | -4.33 m | 103 s | 14.07 m | 12.60 m |
| | | 40 s | 10.469 m | 6.43 m | 6.08 m | 10.27 m | -4.41 m | 103 s | 14.22 m | 12.75 m |
| | | 45 s | 10.468 m | 6.49 m | 6.12 m | 10.30 m | -4.50 m | 609 s | 14.43 m | 12.85 m |
| | | 50 s | 10.46 m | 6.54 m | 6.16 m | 10.29 m | -4.61 m | 611 s | 14.62 m | 12.96 m |
| | | 55 s | 10.44 m | 6.58 m | 6.21 m | 10.22 m | -4.74 m | 612 s | 14.95 m | 13.01 m |
| | | 60 s | 10.39 m | 6.62 m | 6.25 m | 10.07 m | -4.83 m | 614 s | 14.99 m | 13.08 m |
| | | 65 s | 10.27 m | 6.636 m | 6.28 m | 9.84 m | -4.89 m | 617 s | 15.13 m | 13.11 m |
| | | 70 s | 10.09 m | 6.642 m | 6.29 m | 9.48 m | -4.97 m | 619 s | 15.19 m | 13.10 m |
| | | 75 s | 9.68 m | 6.63 m | 6.24 m | 9.27 m | -5.03 m | 620 s | 15.21 m | 13.01 m |
| | | 80 s | 9.14 m | 6.59 m | 6.13 m | 8.92 m | -5.08 m | 621 s | 15.22 m | 12.74 m |
| | | 85 s | 8.52 m | 6.48 m | 5.96 m | 8.37 m | -5.11 m | 622 s | 15.19 m | 12.28 m |
| | | 90 s | 7.74 m | 6.35 m | 5.82 m | 7.94 m | -5.14 m | 623 s | 15.05 m | 11.50 m |
| | | 95 s | 7.24 m | 6.20 m | 5.70 m | 7.60 m | -5.15 m | 624 s | 14.74 m | 10.90 m |
| | | 100 s | 6.99 m | 5.96 m | 5.66 m | 7.17 m | -5.16 m | 624.61 s | 14.37 m | 10.56 m |
| | | 105 s | 6.85 m | 5.84 m | 5.69 m | 6.91 m | -5.16 m | 624.62 s | 13.97 m | 10.42 m |
| | | 110 s | 6.78 m | 5.96 m | 5.62 m | 6.78 m | -5.14 m | 624 s | 13.43 m | 10.64 m |
| | | 115 s | 6.74 m | 6.11 m | 5.63 m | 6.69 m | -5.10 m | 624 s | 12.87 m | 11.33 m |
| | | 120 s | 9.82 m | 6.22 m | 5.67 m | 6.70 m | -5.05 m | 623 s | 12.25 m | 12.04 m |
| 125 s | 9.83 m | 6.29 m | 5.68 m | 6.72 m | -5.09 m | 621 s | 11.91 m | 12.51 m | | |
| 130 s | 9.83 m | 6.36 m | 5.68 m | 7.02 m | -5.13 m | 469 s | 11.63 m | 12.91 m | | |
| 135 s | 9.84 m | 6.48 m | 5.80 m | 7.48 m | -5.17 m | 471 s | 11.21 m | 13.149 m | | |
| 140 s | 9.83 m | 6.56 m | 5.88 m | 7.85 m | -5.22 m | 472 s | 10.78 m | 13.155 m | | |
| 145 s | 9.82 m | 6.48 m | 5.79 m | 8.12 m | -5.24 m | 473 s | 10.09 m | 13.14 m | | |

※黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価 (西移動)

組合せ評価結果 (4/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (西へ10km) ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層面上縁深さ: 5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.60 m | 10.99 m | 10.13 m | 9.46 m | -9.78 m | 681 s | 17.55 m | 14.41 m |
| | | 35 s | 11.79 m | 11.02 m | 10.18 m | 9.59 m | -9.79 m | 681 s | 17.51 m | 14.52 m |
| | | 40 s | 11.98 m | 11.01 m | 10.22 m | 9.70 m | -9.88 m | 681 s | 17.45 m | 14.65 m |
| | | 45 s | 12.16 m | 10.99 m | 10.23 m | 9.76 m | -9.84 m | 681 s | 17.36 m | 14.78 m |
| | | 50 s | 12.33 m | 10.93 m | 10.20 m | 9.80 m | -9.86 m | 680 s | 17.18 m | 14.831 m |
| | | 55 s | 12.46 m | 10.83 m | 10.13 m | 9.80 m | -9.87 m | 679 s | 16.78 m | 14.832 m |
| | | 60 s | 12.56 m | 10.69 m | 10.02 m | 9.79 m | -9.89 m | 676 s | 16.57 m | 14.78 m |
| | | 65 s | 12.60 m | 10.49 m | 9.87 m | 9.80 m | -9.88 m | 676 s | 16.25 m | 14.68 m |
| | | 70 s | 12.59 m | 10.25 m | 9.74 m | 9.874 m | -9.88 m | 679 s | 15.89 m | 14.53 m |
| | | 75 s | 12.48 m | 9.95 m | 9.63 m | 9.869 m | -9.87 m | 681 s | 15.55 m | 14.35 m |
| | | 80 s | 12.25 m | 9.67 m | 9.47 m | 9.74 m | -9.86 m | 682.4 s | 15.25 m | 14.12 m |
| | | 85 s | 11.87 m | 9.40 m | 9.21 m | 9.54 m | -9.87 m | 681.6 s | 15.02 m | 13.66 m |
| | | 90 s | 11.38 m | 9.12 m | 8.89 m | 9.37 m | -9.87 m | 680 s | 14.53 m | 13.30 m |
| | | 95 s | 10.91 m | 8.74 m | 8.55 m | 9.26 m | -9.85 m | 678 s | 13.87 m | 12.90 m |
| | | 100 s | 10.48 m | 8.73 m | 8.58 m | 9.29 m | -9.91 m | 675 s | 13.24 m | 12.31 m |
| | | 105 s | 9.96 m | 8.76 m | 8.61 m | 9.45 m | -9.88 m | 671 s | 12.51 m | 11.67 m |
| | | 110 s | 9.90 m | 8.75 m | 8.65 m | 9.51 m | -9.83 m | 668 s | 11.65 m | 11.16 m |
| | | 115 s | 9.91 m | 8.72 m | 8.72 m | 9.34 m | -9.79 m | 663 s | 11.48 m | 10.84 m |
| | | 120 s | 9.95 m | 8.67 m | 8.78 m | 8.88 m | -9.75 m | 659 s | 11.52 m | 10.65 m |
| | | 125 s | 9.98 m | 8.62 m | 8.89 m | 8.47 m | -9.71 m | 656 s | 11.58 m | 10.45 m |
| 130 s | 10.04 m | 8.56 m | 8.92 m | 8.21 m | -9.67 m | 649 s | 11.62 m | 10.29 m | | |
| 135 s | 10.37 m | 8.45 m | 8.93 m | 7.98 m | -9.60 m | 631 s | 11.60 m | 10.30 m | | |
| 140 s | 10.72 m | 8.37 m | 9.00 m | 7.74 m | -9.56 m | 618 s | 11.61 m | 10.27 m | | |
| 145 s | 10.93 m | 8.48 m | 9.11 m | 7.56 m | -9.46 m | 611 s | 11.52 m | 10.37 m | | |

※黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)

組合せ評価結果(5/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 36 s ~ 166 s | 40 s | 13.05 m | 11.75 m | 10.28 m | 9.41 m | -8.95 m | 697.6 s | 16.97 m | 14.26 m |
| | | 45 s | 12.80 m | 11.66 m | 10.12 m | 9.20 m | -8.95 m | 698.4 s | 17.20 m | 14.24 m |
| | | 50 s | 12.38 m | 11.52 m | 10.00 m | 8.98 m | -9.04 m | 697.8 s | 17.27 m | 14.19 m |
| | | 55 s | 11.90 m | 11.31 m | 9.88 m | 8.83 m | -8.95 m | 697 s | 17.17 m | 14.13 m |
| | | 60 s | 11.48 m | 11.06 m | 9.79 m | 8.72 m | -9.02 m | 695 s | 16.89 m | 14.00 m |
| | | 65 s | 11.17 m | 10.86 m | 9.77 m | 8.63 m | -9.07 m | 693 s | 16.69 m | 13.68 m |
| | | 70 s | 10.83 m | 10.63 m | 9.86 m | 8.52 m | -9.11 m | 691 s | 16.31 m | 13.27 m |
| | | 75 s | 10.59 m | 10.40 m | 9.90 m | 8.46 m | -9.16 m | 689 s | 16.12 m | 13.05 m |
| | | 80 s | 10.49 m | 10.13 m | 9.78 m | 8.51 m | -9.23 m | 688 s | 15.87 m | 12.87 m |
| | | 85 s | 10.49 m | 9.88 m | 9.57 m | 8.45 m | -9.29 m | 687 s | 15.51 m | 12.57 m |
| | | 90 s | 10.49 m | 9.75 m | 9.43 m | 8.21 m | -9.42 m | 685 s | 15.27 m | 12.44 m |
| | | 95 s | 10.50 m | 9.59 m | 9.32 m | 8.14 m | -9.58 m | 684 s | 15.11 m | 12.42 m |
| | | 100 s | 10.52 m | 9.41 m | 9.23 m | 8.18 m | -9.65 m | 682 s | 14.78 m | 12.70 m |
| | | 105 s | 10.57 m | 9.20 m | 9.11 m | 8.37 m | -9.76 m | 679 s | 14.42 m | 13.10 m |
| | | 110 s | 10.64 m | 9.05 m | 9.05 m | 8.72 m | -9.98 m | 678 s | 13.96 m | 13.19 m |
| | | 115 s | 10.73 m | 9.01 m | 8.80 m | 9.10 m | -10.17 m | 675 s | 13.63 m | 13.17 m |
| | | 120 s | 10.84 m | 8.91 m | 8.48 m | 9.43 m | -10.34 m | 672 s | 13.34 m | 13.24 m |
| | | 125 s | 10.90 m | 8.71 m | 8.17 m | 9.72 m | -10.43 m | 668 s | 12.89 m | 13.32 m |
| | | 130 s | 10.89 m | 8.46 m | 7.82 m | 9.98 m | -10.60 m | 663 s | 12.74 m | 13.53 m |
| | | 135 s | 10.83 m | 8.21 m | 7.77 m | 10.14 m | -10.69 m | 659 s | 12.74 m | 13.71 m |
| 140 s | 10.69 m | 8.06 m | 7.54 m | 10.07 m | -10.88 m | 654 s | 12.61 m | 13.78 m | | |
| 145 s | 10.53 m | 7.94 m | 7.41 m | 9.68 m | -11.09 m | 650 s | 12.32 m | 13.68 m | | |
| 150 s | 10.38 m | 7.76 m | 7.31 m | 9.42 m | -11.11 m | 646 s | 12.06 m | 13.45 m | | |
| 155 s | 9.90 m | 7.62 m | 7.15 m | 9.26 m | -11.11 m | 643 s | 11.84 m | 13.24 m | | |
| 160 s | 9.91 m | 7.54 m | 7.12 m | 9.19 m | -11.19 m | 641 s | 11.67 m | 12.81 m | | |
| 165 s | 9.93 m | 7.59 m | 7.12 m | 9.04 m | -11.27 m | 637 s | 11.54 m | 12.23 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)

組合せ評価結果(6/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|----------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:8 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km | 33 s ~ 148 s | 35 s | 13.08 m | 11.465 m | 10.58 m | 9.94 m | -5.23 m | 583 s | 13.25 m | 12.67 m |
| | | 40 s | 13.09 m | 11.472 m | 10.62 m | 10.01 m | -5.29 m | 584 s | 13.45 m | 12.81 m |
| | | 45 s | 13.06 m | 11.46 m | 10.659 m | 10.05 m | -5.33 m | 585 s | 13.61 m | 12.92 m |
| | | 50 s | 13.05 m | 11.44 m | 10.65 m | 10.03 m | -5.37 m | 620 s | 13.74 m | 13.00 m |
| | | 55 s | 13.01 m | 11.41 m | 10.665 m | 9.96 m | -5.42 m | 623 s | 13.84 m | 13.08 m |
| | | 60 s | 12.94 m | 11.36 m | 10.61 m | 9.77 m | -5.43 m | 627 s | 13.92 m | 13.13 m |
| | | 65 s | 12.82 m | 11.28 m | 10.53 m | 9.42 m | -5.44 m | 630 s | 13.96 m | 13.15 m |
| | | 70 s | 12.61 m | 11.13 m | 10.36 m | 8.84 m | -5.44 m | 634 s | 14.02 m | 13.12 m |
| | | 75 s | 12.24 m | 10.90 m | 10.06 m | 7.98 m | -5.42 m | 636 s | 14.03 m | 13.00 m |
| | | 80 s | 11.41 m | 10.43 m | 9.50 m | 7.13 m | -5.43 m | 637 s | 13.98 m | 12.67 m |
| | | 85 s | 10.67 m | 9.71 m | 8.69 m | 6.80 m | -5.47 m | 638 s | 13.87 m | 12.12 m |
| | | 90 s | 10.23 m | 8.93 m | 8.17 m | 6.68 m | -5.61 m | 639.01 s | 13.69 m | 11.21 m |
| | | 95 s | 9.29 m | 8.56 m | 8.19 m | 6.81 m | -5.71 m | 639.04 s | 13.45 m | 10.40 m |
| | | 100 s | 8.71 m | 8.29 m | 7.87 m | 6.90 m | -5.83 m | 636 s | 13.18 m | 10.06 m |
| | | 105 s | 8.42 m | 8.20 m | 7.57 m | 6.84 m | -6.00 m | 635 s | 12.84 m | 9.91 m |
| | | 110 s | 8.26 m | 8.14 m | 7.39 m | 6.67 m | -6.21 m | 634 s | 12.42 m | 10.31 m |
| | | 115 s | 8.35 m | 8.11 m | 7.24 m | 6.59 m | -6.38 m | 634 s | 11.92 m | 10.88 m |
| | | 120 s | 8.24 m | 8.10 m | 7.23 m | 6.68 m | -6.56 m | 633 s | 11.46 m | 11.56 m |
| 125 s | 8.12 m | 8.09 m | 7.21 m | 6.95 m | -6.86 m | 631 s | 11.28 m | 12.03 m | | |
| 130 s | 8.12 m | 8.09 m | 7.15 m | 7.30 m | -6.84 m | 628 s | 11.01 m | 12.48 m | | |
| 135 s | 9.82 m | 8.09 m | 7.10 m | 7.59 m | -6.99 m | 604 s | 10.79 m | 12.94 m | | |
| 140 s | 9.83 m | 8.09 m | 7.10 m | 7.79 m | -7.06 m | 600 s | 10.49 m | 13.30 m | | |
| 145 s | 9.82 m | 8.09 m | 7.10 m | 7.94 m | -7.19 m | 599 s | 10.26 m | 13.55 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)

組合せ評価結果(7/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|-----------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.26 m | 9.37 m | 9.71 m | 10.26 m | -9.36 m | 719.1 s | 17.83 m | 14.53 m |
| | | 35 s | 12.45 m | 9.14 m | 9.56 m | 10.35 m | -9.39 m | 718.8 s | 18.08 m | 14.66 m |
| | | 40 s | 12.62 m | 9.16 m | 9.41 m | 10.40 m | -9.42 m | 718 s | 17.70 m | 14.80 m |
| | | 45 s | 12.77 m | 9.17 m | 9.32 m | 10.4297 m | -9.45 m | 716 s | 17.58 m | 14.92 m |
| | | 50 s | 12.89 m | 9.14 m | 9.26 m | 10.4280 m | -9.48 m | 715 s | 17.42 m | 14.9725 m |
| | | 55 s | 12.98 m | 9.05 m | 9.34 m | 10.40 m | -9.49 m | 714 s | 17.15 m | 14.9717 m |
| | | 60 s | 13.03 m | 8.94 m | 9.59 m | 10.35 m | -9.49 m | 713 s | 16.69 m | 14.90 m |
| | | 65 s | 13.02 m | 9.00 m | 9.77 m | 10.40 m | -9.51 m | 712 s | 16.37 m | 14.72 m |
| | | 70 s | 12.98 m | 9.06 m | 9.91 m | 10.4301 m | -9.51 m | 711 s | 16.03 m | 14.51 m |
| | | 75 s | 12.83 m | 9.13 m | 10.02 m | 10.37 m | -9.530 m | 709 s | 15.62 m | 14.27 m |
| | | 80 s | 12.55 m | 9.24 m | 10.12 m | 10.19 m | -9.526 m | 708 s | 15.25 m | 14.08 m |
| | | 85 s | 12.11 m | 9.33 m | 10.20 m | 9.93 m | -9.52 m | 706 s | 15.04 m | 13.66 m |
| | | 90 s | 11.54 m | 9.391 m | 10.26 m | 9.77 m | -9.51 m | 704 s | 14.53 m | 13.30 m |
| | | 95 s | 11.44 m | 9.389 m | 10.33 m | 9.71 m | -9.51 m | 703 s | 13.85 m | 12.88 m |
| | | 100 s | 11.45 m | 9.33 m | 10.39 m | 9.73 m | -9.50 m | 701 s | 13.16 m | 12.28 m |
| | | 105 s | 11.42 m | 9.23 m | 10.42 m | 9.80 m | -9.49 m | 700 s | 12.34 m | 11.59 m |
| | | 110 s | 11.37 m | 9.12 m | 10.39 m | 9.74 m | -9.48 m | 698 s | 12.03 m | 11.07 m |
| | | 115 s | 11.28 m | 8.99 m | 10.33 m | 9.49 m | -9.45 m | 697 s | 12.11 m | 10.77 m |
| | | 120 s | 11.18 m | 8.82 m | 10.23 m | 9.06 m | -9.41 m | 696 s | 12.18 m | 10.61 m |
| | | 125 s | 11.11 m | 8.65 m | 10.13 m | 8.74 m | -9.35 m | 695 s | 12.24 m | 10.60 m |
| 130 s | 11.04 m | 8.64 m | 10.03 m | 8.53 m | -9.30 m | 693 s | 12.27 m | 10.60 m | | |
| 135 s | 11.01 m | 8.70 m | 9.98 m | 8.32 m | -9.23 m | 690 s | 12.34 m | 10.60 m | | |
| 140 s | 11.03 m | 8.74 m | 9.99 m | 8.13 m | -9.13 m | 679 s | 12.33 m | 10.55 m | | |
| 145 s | 11.06 m | 8.76 m | 10.06 m | 8.04 m | -9.16 m | 661 s | 12.33 m | 10.50 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)

組合せ評価結果(8/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスル ート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|---------------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 36 s ~ 166 s | 40 s | 10.53 m | 7.91 m | 7.97 m | 10.42 m | -7.97 m | 707 s | 17.95 m | 14.33 m |
| | | 45 s | 10.58 m | 7.78 m | 8.05 m | 10.28 m | -8.07 m | 706 s | 18.01 m | 14.31 m |
| | | 50 s | 10.64 m | 7.59 m | 8.06 m | 10.15 m | -8.16 m | 705 s | 18.03 m | 14.27 m |
| | | 55 s | 10.73 m | 7.41 m | 8.02 m | 10.02 m | -8.24 m | 705 s | 18.02 m | 14.22 m |
| | | 60 s | 10.81 m | 7.37 m | 7.96 m | 9.87 m | -8.32 m | 704 s | 17.96 m | 14.11 m |
| | | 65 s | 10.88 m | 7.37 m | 7.95 m | 9.74 m | -8.35 m | 703 s | 17.83 m | 13.81 m |
| | | 70 s | 10.93 m | 7.35 m | 8.02 m | 9.58 m | -8.40 m | 703 s | 17.65 m | 13.46 m |
| | | 75 s | 10.93 m | 7.37 m | 8.03 m | 9.44 m | -8.46 m | 703 s | 17.36 m | 13.32 m |
| | | 80 s | 10.93 m | 7.36 m | 8.01 m | 9.33 m | -8.58 m | 702 s | 16.93 m | 13.22 m |
| | | 85 s | 10.94 m | 7.54 m | 7.97 m | 9.21 m | -8.65 m | 701 s | 16.44 m | 12.86 m |
| | | 90 s | 10.93 m | 7.77 m | 7.90 m | 9.05 m | -8.72 m | 699 s | 16.00 m | 12.67 m |
| | | 95 s | 10.93 m | 7.99 m | 7.90 m | 8.91 m | -8.76 m | 698 s | 15.58 m | 12.68 m |
| | | 100 s | 10.93 m | 8.18 m | 7.93 m | 8.82 m | -8.82 m | 697 s | 15.34 m | 13.03 m |
| | | 105 s | 10.93 m | 8.34 m | 7.96 m | 8.73 m | -8.90 m | 696 s | 15.06 m | 13.30 m |
| | | 110 s | 10.93 m | 8.49 m | 7.92 m | 8.68 m | -9.06 m | 696 s | 14.66 m | 13.32 m |
| | | 115 s | 10.93 m | 8.59 m | 7.79 m | 9.10 m | -9.10 m | 696 s | 14.03 m | 13.32 m |
| | | 120 s | 10.92 m | 8.55 m | 7.68 m | 9.47 m | -9.20 m | 696 s | 13.57 m | 13.22 m |
| | | 125 s | 10.91 m | 8.33 m | 7.60 m | 9.77 m | -9.30 m | 696 s | 13.09 m | 13.29 m |
| | | 130 s | 10.83 m | 8.33 m | 7.44 m | 9.99 m | -9.39 m | 697 s | 12.59 m | 13.32 m |
| | | 135 s | 10.69 m | 8.56 m | 7.46 m | 10.11 m | -9.47 m | 697 s | 12.22 m | 13.32 m |
| 140 s | 10.53 m | 8.75 m | 7.56 m | 10.04 m | -9.56 m | 697 s | 11.88 m | 13.32 m | | |
| 145 s | 10.38 m | 8.85 m | 7.65 m | 9.67 m | -9.63 m | 697 s | 11.52 m | 13.16 m | | |
| 150 s | 9.91 m | 8.81 m | 7.74 m | 9.56 m | -9.74 m | 698 s | 11.18 m | 12.87 m | | |
| 155 s | 9.86 m | 8.59 m | 7.82 m | 9.47 m | -9.82 m | 698 s | 10.94 m | 12.60 m | | |
| 160 s | 9.09 m | 8.26 m | 7.82 m | 9.47 m | -9.88 m | 699 s | 10.93 m | 12.20 m | | |
| 165 s | 9.12 m | 8.03 m | 7.71 m | 9.65 m | -9.94 m | 701 s | 10.93 m | 11.65 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価 (西移動)

組合せ評価結果 (9/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|--------|--------|--------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン: 8 ・波源位置: <の字モデル (西へ25km) ・アスペリティ位置: de南へ30km ・断層面上縁深さ: 0km | 33 s ~ 148 s | 35 s | 9.36 m | 7.78 m | 6.66 m | 10.20 m | -4.79 m | 652 s | 14.07 m | 12.60 m |
| | | 40 s | 9.37 m | 7.77 m | 6.71 m | 10.27 m | -4.82 m | 654 s | 14.22 m | 12.75 m |
| | | 45 s | 9.36 m | 7.75 m | 6.72 m | 10.30 m | -4.85 m | 656 s | 14.43 m | 12.86 m |
| | | 50 s | 9.33 m | 7.74 m | 6.72 m | 10.29 m | -4.90 m | 658 s | 14.62 m | 12.96 m |
| | | 55 s | 9.27 m | 7.70 m | 6.69 m | 10.22 m | -4.98 m | 660 s | 14.78 m | 13.01 m |
| | | 60 s | 9.17 m | 7.67 m | 6.85 m | 10.07 m | -5.03 m | 661 s | 14.99 m | 13.08 m |
| | | 65 s | 9.02 m | 7.60 m | 7.02 m | 9.84 m | -5.08 m | 662 s | 15.13 m | 13.11 m |
| | | 70 s | 8.74 m | 7.65 m | 7.16 m | 9.48 m | -5.13 m | 663 s | 15.19 m | 13.10 m |
| | | 75 s | 8.57 m | 7.79 m | 7.28 m | 9.27 m | -5.20 m | 663 s | 15.215 m | 13.01 m |
| | | 80 s | 8.69 m | 7.86 m | 7.34 m | 8.92 m | -5.27 m | 664 s | 15.220 m | 12.76 m |
| | | 85 s | 8.71 m | 7.85 m | 7.38 m | 8.37 m | -5.36 m | 665 s | 15.20 m | 12.28 m |
| | | 90 s | 8.62 m | 7.78 m | 7.44 m | 7.95 m | -5.45 m | 665.7 s | 15.05 m | 11.50 m |
| | | 95 s | 8.45 m | 7.65 m | 7.53 m | 7.60 m | -5.53 m | 666.2 s | 14.74 m | 10.90 m |
| | | 100 s | 8.08 m | 7.57 m | 7.67 m | 7.17 m | -5.62 m | 666.4 s | 14.37 m | 10.56 m |
| | | 105 s | 7.99 m | 7.50 m | 7.80 m | 6.91 m | -5.71 m | 666.1 s | 13.97 m | 10.42 m |
| | | 110 s | 8.07 m | 7.37 m | 7.86 m | 6.78 m | -5.79 m | 665.7 s | 13.44 m | 10.65 m |
| | | 115 s | 8.03 m | 7.41 m | 7.84 m | 6.69 m | -5.85 m | 665 s | 12.88 m | 11.33 m |
| | | 120 s | 9.82 m | 7.47 m | 7.72 m | 6.69 m | -5.91 m | 663 s | 12.26 m | 12.04 m |
| 125 s | 9.83 m | 7.58 m | 7.54 m | 6.70 m | -5.98 m | 656 s | 11.91 m | 12.52 m | | |
| 130 s | 9.83 m | 7.74 m | 7.34m | 6.99 m | -6.04 m | 638 s | 11.63 m | 12.91 m | | |
| 135 s | 9.84 m | 7.87 m | 7.14 m | 7.45 m | -6.19 m | 636 s | 11.20 m | 13.148 m | | |
| 140 s | 9.83 m | 7.86 m | 6.97 m | 7.81 m | -6.34 m | 636 s | 10.78 m | 13.154 m | | |
| 145 s | 9.82 m | 7.70 m | 6.82 m | 8.07 m | -6.50 m | 637 s | 10.08 m | 13.13 m | | |

※黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)

組合せ評価結果(10/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(1/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|----------|----------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.65 m | 11.12 m | 10.41 m | 9.50 m | -9.90 m | 693 s | 17.58 m | 14.43 m |
| | | 35 s | 11.82 m | 11.140 m | 10.39 m | 9.64 m | -9.94 m | 709 s | 17.54 m | 14.53 m |
| | | 40 s | 12.01 m | 11.142 m | 10.33 m | 9.75 m | -10.02 m | 712 s | 17.48 m | 14.67 m |
| | | 45 s | 12.20 m | 11.12 m | 10.25 m | 9.82 m | -10.09 m | 713 s | 17.40 m | 14.79 m |
| | | 50 s | 12.37 m | 11.06 m | 10.21 m | 9.86 m | -10.11 m | 714.51 s | 17.22 m | 14.84 m |
| | | 55 s | 12.51 m | 10.94 m | 10.13 m | 9.87 m | -10.12 m | 715.46 s | 16.83 m | 14.86 m |
| | | 60 s | 12.61 m | 10.79 m | 10.00 m | 9.86 m | -10.15 m | 714.99 s | 16.61 m | 14.80 m |
| | | 65 s | 12.665 m | 10.58 m | 9.89 m | 9.86 m | -10.16 m | 714 s | 16.30 m | 14.71 m |
| | | 70 s | 12.659 m | 10.34 m | 9.85 m | 9.95 m | -10.16 m | 712 s | 15.96 m | 14.56 m |
| | | 75 s | 12.56 m | 10.13 m | 9.74 m | 9.94 m | -10.18 m | 709 s | 15.61 m | 14.38 m |
| | | 80 s | 12.34 m | 9.91 m | 9.48 m | 9.82 m | -10.17 m | 706 s | 15.30 m | 14.13 m |
| | | 85 s | 11.97 m | 9.69 m | 9.16 m | 9.62 m | -10.18 m | 701 s | 14.99 m | 13.70 m |
| | | 90 s | 11.47 m | 9.35 m | 8.85 m | 9.43 m | -10.17 m | 639 s | 14.54 m | 13.35 m |
| | | 95 s | 11.02 m | 8.97 m | 8.52 m | 9.35 m | -10.19 m | 636 s | 13.97 m | 12.95 m |
| | | 100 s | 10.55 m | 8.57 m | 8.22 m | 9.36 m | -10.18 m | 628 s | 13.33 m | 12.36 m |
| | | 105 s | 10.24 m | 8.22 m | 8.03 m | 9.51 m | -10.17 m | 619 s | 12.58 m | 11.72 m |
| | | 110 s | 9.77 m | 8.15 m | 7.92 m | 9.57 m | -10.16 m | 557 s | 11.78 m | 11.21 m |
| | | 115 s | 9.11 m | 8.14 m | 7.83 m | 9.42 m | -10.12 m | 558 s | 11.82 m | 10.88 m |
| | | 120 s | 9.37 m | 7.92 m | 7.45 m | 8.96 m | -10.08 m | 560 s | 11.88 m | 10.70 m |
| | | 125 s | 9.76 m | 7.85 m | 7.55 m | 8.56 m | -10.03 m | 562 s | 11.92 m | 10.49 m |
| 130 s | 10.20 m | 7.61 m | 7.81 m | 8.31 m | -9.97 m | 564 s | 11.93 m | 10.47 m | | |
| 135 s | 10.61 m | 7.55 m | 8.04 m | 8.10 m | -9.93 m | 569 s | 11.93 m | 10.45 m | | |
| 140 s | 11.00 m | 7.47 m | 8.19 m | 7.89 m | -9.81 m | 603 s | 11.92 m | 10.42 m | | |
| 145 s | 11.29 m | 7.55 m | 8.27 m | 7.74 m | -9.71 m | 598 s | 11.87 m | 10.40 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価 (西移動)

組合せ評価結果 (11/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (2/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 36 s ~ 166 s | 40 s | 13.13 m | 11.97 m | 10.07 m | 9.41 m | -9.66 m | 700.9 s | 16.96 m | 14.26 m |
| | | 45 s | 13.05 m | 11.95 m | 10.11 m | 9.19 m | -9.67 m | 700.6 s | 17.20 m | 14.24 m |
| | | 50 s | 12.88 m | 11.88 m | 10.11 m | 8.98 m | -9.73 m | 699 s | 17.24 m | 14.19 m |
| | | 55 s | 12.58 m | 11.72 m | 10.07 m | 8.83 m | -9.75 m | 699 s | 17.15 m | 14.13 m |
| | | 60 s | 12.23 m | 11.49 m | 10.00 m | 8.72 m | -9.79 m | 697 s | 16.89 m | 14.00 m |
| | | 65 s | 11.82 m | 11.22 m | 9.91 m | 8.63 m | -9.80 m | 695 s | 16.69 m | 13.68 m |
| | | 70 s | 11.30 m | 10.89 m | 9.93 m | 8.53 m | -9.81 m | 694 s | 16.31 m | 13.27 m |
| | | 75 s | 10.82 m | 10.59 m | 10.10 m | 8.52 m | -9.83 m | 692 s | 16.12 m | 13.05 m |
| | | 80 s | 10.56 m | 10.31 m | 10.18 m | 8.58 m | -9.88 m | 690 s | 15.87 m | 12.87 m |
| | | 85 s | 10.57 m | 10.09 m | 10.12 m | 8.51 m | -9.94 m | 690 s | 15.51 m | 12.58 m |
| | | 90 s | 10.65 m | 9.90 m | 9.93 m | 8.28 m | -10.01 m | 690 s | 15.27 m | 12.45 m |
| | | 95 s | 10.69 m | 9.79 m | 9.65 m | 8.15 m | -10.17 m | 689 s | 15.12 m | 12.43 m |
| | | 100 s | 10.62 m | 9.67 m | 9.32 m | 8.19 m | -10.29 m | 686 s | 14.80 m | 12.71 m |
| | | 105 s | 10.57 m | 9.51 m | 9.23 m | 8.47 m | -10.37 m | 684 s | 14.44 m | 13.11 m |
| | | 110 s | 10.63 m | 9.43 m | 9.29 m | 8.78 m | -10.48 m | 680 s | 13.98 m | 13.20 m |
| | | 115 s | 10.72 m | 9.46 m | 9.31 m | 9.15 m | -10.60 m | 674 s | 13.64 m | 13.18 m |
| | | 120 s | 10.83 m | 9.41 m | 9.10 m | 9.49 m | -10.71 m | 666 s | 13.34 m | 13.23 m |
| | | 125 s | 10.88 m | 9.23 m | 8.80 m | 9.78 m | -10.78 m | 660 s | 12.89 m | 13.32 m |
| | | 130 s | 10.89 m | 8.98 m | 8.58 m | 10.04 m | -10.87 m | 654 s | 12.71 m | 13.51 m |
| | | 135 s | 10.83 m | 8.77 m | 8.26 m | 10.21 m | -10.98 m | 650 s | 12.71 m | 13.67 m |
| 140 s | 10.70 m | 8.66 m | 8.14 m | 10.17 m | -11.06 m | 646 s | 12.57 m | 13.74 m | | |
| 145 s | 10.55 m | 8.50 m | 7.89 m | 9.80 m | -11.12 m | 643 s | 12.33 m | 13.66 m | | |
| 150 s | 10.40 m | 8.21 m | 7.62 m | 9.53 m | -11.17 m | 640 s | 12.12 m | 13.47 m | | |
| 155 s | 9.91 m | 7.92 m | 7.53 m | 9.38 m | -11.21 m | 693 s | 11.94 m | 13.32 m | | |
| 160 s | 9.85 m | 7.71 m | 7.51 m | 9.33 m | -11.23 m | 695 s | 11.79 m | 12.92 m | | |
| 165 s | 9.17 m | 7.64 m | 7.45 m | 9.20 m | -11.26 m | 695 s | 11.67 m | 12.36 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価 (西移動)

組合せ評価結果 (12/12) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (3/3)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|--------|----------|----------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン: 8 ・波源位置: <の字モデル (西へ25km) ・アスペリティ位置: de南へ30km ・断層面上縁深さ: 0km | 33 s ~ 148 s | 35 s | 11.623 m | 10.660 m | 10.19 m | 9.93 m | -6.66 m | 595 s | 13.22 m | 12.66 m |
| | | 40 s | 11.625 m | 10.657 m | 10.22 m | 10.01 m | -6.69 m | 595 s | 13.43 m | 12.80 m |
| | | 45 s | 11.60 m | 10.63 m | 10.239 m | 10.04 m | -6.73 m | 597 s | 13.59 m | 12.91 m |
| | | 50 s | 11.57 m | 10.59 m | 10.236 m | 10.03 m | -6.82 m | 601 s | 13.72 m | 13.00 m |
| | | 55 s | 11.52 m | 10.55 m | 10.22 m | 9.94 m | -6.88 m | 603 s | 13.82 m | 13.07 m |
| | | 60 s | 11.47 m | 10.49 m | 10.17 m | 9.76 m | -6.94 m | 607 s | 13.90 m | 13.13 m |
| | | 65 s | 11.36 m | 10.41 m | 10.06 m | 9.41 m | -6.97 m | 610 s | 13.95 m | 13.14 m |
| | | 70 s | 11.17 m | 10.33 m | 9.84 m | 8.82 m | -6.92 m | 613 s | 13.99 m | 13.11 m |
| | | 75 s | 11.06 m | 10.31 m | 9.44 m | 7.95 m | -6.87 m | 615 s | 14.01 m | 12.99 m |
| | | 80 s | 10.96 m | 10.23 m | 9.28 m | 7.10 m | -6.85 m | 621 s | 13.96 m | 12.66 m |
| | | 85 s | 10.70 m | 10.16 m | 9.18 m | 6.78 m | -6.83 m | 626 s | 13.86 m | 12.11 m |
| | | 90 s | 10.35 m | 9.96 m | 9.08 m | 6.67 m | -6.94 m | 635 s | 13.67 m | 11.19 m |
| | | 95 s | 9.92 m | 9.50 m | 8.92 m | 6.84 m | -6.91 m | 641 s | 13.43 m | 10.40 m |
| | | 100 s | 9.47 m | 8.64 m | 8.84 m | 7.00 m | -6.94 m | 642 s | 13.17 m | 10.06 m |
| | | 105 s | 9.45 m | 8.36 m | 8.77 m | 6.99 m | -7.06 m | 642 s | 12.83 m | 9.90 m |
| | | 110 s | 9.17 m | 8.00 m | 8.54 m | 6.87 m | -7.17 m | 655.7 s | 12.41 m | 10.32 m |
| | | 115 s | 9.25 m | 8.07 m | 8.21 m | 6.78 m | -7.32 m | 656.1 s | 11.91 m | 10.90 m |
| | | 120 s | 9.23 m | 7.85 m | 8.05 m | 6.86 m | -7.52 m | 655 s | 11.49 m | 11.57 m |
| | | 125 s | 9.09 m | 8.02 m | 8.07 m | 7.11 m | -7.84 m | 654 s | 11.31 m | 12.04 m |
| | | 130 s | 8.80 m | 8.12 m | 8.09 m | 7.46 m | -8.21 m | 652 s | 11.04 m | 12.48 m |
| 135 s | 9.82 m | 8.12 m | 8.23 m | 7.76 m | -8.20 m | 649 s | 10.79 m | 12.93 m | | |
| 140 s | 9.82 m | 8.08 m | 8.19 m | 7.97 m | -8.45 m | 644 s | 10.43 m | 13.30 m | | |
| 145 s | 9.82 m | 8.17 m | 7.75 m | 8.13 m | -8.71 m | 639 s | 10.10 m | 13.47 m | | |

※黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)

「5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)」の最大ケース

○「5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の第1波の組合せ評価(西移動)」の最大ケースは、以下のとおりである。

| 評価項目・影響確認地点 | 健全地形モデル | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | |
|------------------|----------------|--|-------------------|--|-------------------|--|-------------------|--|
| | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 |
| 防潮堤前面(上昇側) | 13.05m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:65s | 13.09m | ・断層パターン:8 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:0km ・組合せの時間差:40s | 13.03m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:60s | 13.13m | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:40s |
| 3号炉取水口(上昇側) | 8.38m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:55s | 11.75m | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:40s | 9.39m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:90s | 11.97m | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:40s |
| 1,2号炉取水口(上昇側) | 8.60m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 10.66m | ・断層パターン:8 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ30km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:55s | 10.42m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:105s | 10.41m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s |
| 放水口(上昇側) | 10.45m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:70s | 10.14m | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 10.43m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:70s | 10.21m | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s |
| 3号炉取水口(下降側) | 8.73m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:165s | 11.27m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:165s | 9.94m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:165s | 11.26m (参考値) | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:165s |
| 「貯留堰を下回る時間」 | 712s | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 698s | ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:45s | 719s | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 715s | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:55s |
| 茶津入構トンネル(上昇側) | 18.28m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 17.55m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 18.08m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:35s | 17.58m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s |
| アクセスルートトンネル(上昇側) | 14.98m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:50s | 14.83m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:55s | 14.97m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:50s | 14.86m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:55s |

5.3 水位が高い波源の組合せ評価

| | |
|--|------------|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2.1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2.2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2.3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3.1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3.2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4.1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4.2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4.3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4.4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5.1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5.3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7.1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7.2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果 (1/18) ケース① 健全地形モデル (1/4)

一部修正 (R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース① ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 136 s | 23 s | 11.41 m | 8.705 m | 8.74 m | 9.11 m | -8.57 m | 673 s | 13.161 m | 11.38 m |
| | | 25 s | 11.49 m | 8.712 m | 8.70 m | 9.03 m | -8.62 m | 672 s | 13.14 m | 11.36 m |
| | | 30 s | 11.66 m | 8.713 m | 8.59 m | 8.88 m | -8.65 m | 669 s | 13.156 m | 11.36 m |
| | | 35 s | 11.78 m | 8.714 m | 8.46 m | 8.83 m | -8.76 m | 667 s | 13.13 m | 11.35 m |
| | | 40 s | 11.81 m | 8.68 m | 8.31 m | 8.75 m | -8.82 m | 666 s | 13.09 m | 11.27 m |
| | | 45 s | 11.72 m | 8.61 m | 8.15 m | 8.63 m | -8.89 m | 665 s | 12.97 m | 11.22 m |
| | | 50 s | 11.50 m | 8.50 m | 8.08 m | 8.52 m | -8.94 m | 665 s | 12.86 m | 11.20 m |
| | | 55 s | 11.16 m | 8.37 m | 8.11 m | 8.43 m | -8.97 m | 664 s | 12.74 m | 11.17 m |
| | | 60 s | 10.67 m | 8.23 m | 8.11 m | 8.32 m | -9.01 m | 664 s | 12.60 m | 11.16 m |
| | | 65 s | 10.86 m | 8.12 m | 8.12 m | 8.17 m | -9.04 m | 662 s | 12.44 m | 11.09 m |
| | | 70 s | 11.43 m | 8.04 m | 8.24 m | 7.99 m | -9.08 m | 660 s | 12.22 m | 10.97 m |
| | | 75 s | 11.91 m | 7.96 m | 8.28 m | 7.97 m | -9.11 m | 657 s | 12.22 m | 10.86 m |
| | | 80 s | 12.28 m | 7.87 m | 8.26 m | 7.98 m | -9.14 m | 656 s | 12.22 m | 10.80 m |
| | | 85 s | 12.53 m | 7.77 m | 8.20 m | 7.96 m | -9.16 m | 654 s | 12.22 m | 10.75 m |
| | | 90 s | 12.65 m | 7.70 m | 8.08 m | 7.89 m | -9.18 m | 654 s | 12.22 m | 10.73 m |
| | | 92 s | 12.66 m | 7.67 m | 8.02 m | 7.86 m | -9.19 m | 654 s | 12.22 m | 10.73 m |
| | | 95 s | 12.68 m | 7.69 m | 7.92 m | 7.82 m | -9.19 m | 654 s | 12.22 m | 10.73 m |
| | | 100 s | 12.79 m | 7.67 m | 7.76 m | 7.73 m | -9.21 m | 653 s | 12.22 m | 10.73 m |
| | | 105 s | 13.03 m | 7.63 m | 7.78 m | 7.71 m | -9.22 m | 652 s | 12.22 m | 10.73 m |
| | | 110 s | 13.36 m | 7.51 m | 7.82 m | 7.71 m | -9.24 m | 650 s | 12.22 m | 10.73 m |
| 115 s | 13.44 m | 7.54 m | 7.84 m | 7.71 m | -9.24 m | 648 s | 12.22 m | 10.73 m | | |
| 120 s | 13.11 m | 7.63 m | 7.85 m | 7.71 m | -9.25 m | 646 s | 12.22 m | 10.80 m | | |
| 125 s | 12.70 m | 7.70 m | 7.91 m | 7.80 m | -9.26 m | 644 s | 12.22 m | 10.93 m | | |
| 130 s | 12.32 m | 7.85 m | 8.18 m | 7.83 m | -9.267 m | 642 s | 12.22 m | 11.04 m | | |
| 135 s | 11.91 m | 7.79 m | 8.57 m | 7.78 m | -9.270 m | 640 s | 12.22 m | 11.13 m | | |
| 136 s | 11.83 m | 7.76 m | 8.64 m | 7.76 m | -9.268 m | 640 s | 12.22 m | 11.14 m | | |

※黄ハッチング: ケース①のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果 (2/18) ケース② 健全地形モデル (2/4)

一部修正 (R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース② ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de北へ10km ・断層面上縁深さ:0km | 23 s ~ 134 s | 23 s | 10.25 m | 6.88 m | 7.07 m | 9.21 m | -8.40 m | 609 s | 13.64 m | 11.74 m |
| | | 25 s | 10.25 m | 6.83 m | 7.03 m | 9.16 m | -8.30 m | 609.6 s | 13.63 m | 11.84 m |
| | | 30 s | 10.24 m | 6.68 m | 6.94 m | 9.05 m | -8.33 m | 610.3 s | 13.65 m | 12.00 m |
| | | 35 s | 9.95 m | 6.55 m | 6.82 m | 8.98 m | -8.35 m | 609 s | 13.58 m | 12.107 m |
| | | 40 s | 10.20 m | 6.50 m | 6.67 m | 8.89 m | -8.36 m | 606 s | 13.50 m | 12.111 m |
| | | 45 s | 10.36 m | 6.53 m | 6.48 m | 8.80 m | -8.39 m | 605 s | 13.38 m | 12.00 m |
| | | 50 s | 10.43 m | 6.56 m | 6.47 m | 8.68 m | -8.41 m | 604 s | 13.26 m | 11.90 m |
| | | 55 s | 10.52 m | 6.56 m | 6.48 m | 8.53 m | -8.43 m | 603 s | 13.14 m | 11.82 m |
| | | 60 s | 10.41 m | 6.51 m | 6.49 m | 8.41 m | -8.45 m | 602 s | 12.99 m | 11.68 m |
| | | 65 s | 10.20 m | 6.42 m | 6.48 m | 8.37 m | -8.49 m | 603 s | 12.84 m | 11.46 m |
| | | 70 s | 9.95 m | 6.34 m | 6.43 m | 8.32 m | -8.53 m | 603 s | 12.64 m | 11.19 m |
| | | 75 s | 9.67 m | 6.29 m | 6.35 m | 8.29 m | -8.58 m | 603 s | 12.27 m | 10.83 m |
| | | 80 s | 9.31 m | 6.24 m | 6.30 m | 8.27 m | -8.60 m | 603 s | 12.00 m | 10.62 m |
| | | 85 s | 8.97 m | 6.20 m | 6.27 m | 8.27 m | -8.61 m | 602 s | 11.74 m | 10.57 m |
| | | 90 s | 9.30 m | 6.15 m | 6.24 m | 8.25 m | -8.63 m | 601 s | 11.30 m | 10.51 m |
| | | 95 s | 9.46 m | 6.10 m | 6.27 m | 8.25 m | -8.64 m | 600 s | 11.01 m | 10.39 m |
| | | 100 s | 9.60 m | 6.11 m | 6.32 m | 8.24 m | -8.63 m | 598 s | 10.74 m | 10.87 m |
| | | 105 s | 9.68 m | 6.15 m | 6.34 m | 8.22 m | -8.63 m | 595 s | 10.70 m | 11.51 m |
| | | 110 s | 9.93 m | 6.20 m | 6.36 m | 8.20 m | -8.61 m | 591 s | 10.70 m | 11.88 m |
| | | 115 s | 10.06 m | 6.20 m | 6.37 m | 8.14 m | -8.61 m | 588 s | 10.70 m | 12.03 m |
| 120 s | 10.23 m | 6.22 m | 6.38 m | 8.10 m | -8.59 m | 586 s | 10.70 m | 12.02 m | | |
| 125 s | 10.42 m | 6.45 m | 6.38 m | 7.98 m | -8.59 m | 585 s | 10.70 m | 11.87 m | | |
| 130 s | 10.64 m | 6.58 m | 6.40 m | 7.91 m | -8.59 m | 584 s | 10.70 m | 11.56 m | | |
| 134 s | 10.69 m | 6.67 m | 6.39 m | 7.90 m | -8.60 m | 584 s | 10.70 m | 11.24 m | | |

※黄ハッチング: ケース②のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果 (3/18) ケース③ 健全地形モデル (3/4)

一部修正 (R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース③ ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスベリティ位置:de ・断層面上縁深さ:5km | 22 s ~ 133 s | 22 s | 9.99 m | 6.76 m | 6.89 m | 7.60 m | -9.76 m | 586 s | 11.07 m | 9.81 m |
| | | 25 s | 9.98 m | 6.89 m | 6.87 m | 7.57 m | -9.75 m | 584 s | 11.07 m | 9.81 m |
| | | 30 s | 9.98 m | 7.19 m | 6.84 m | 7.68 m | -9.74 m | 583 s | 11.07 m | 9.83 m |
| | | 35 s | 10.00 m | 7.41 m | 6.91 m | 7.76 m | -9.74 m | 583 s | 11.07 m | 9.86 m |
| | | 40 s | 10.00 m | 7.55 m | 7.11 m | 7.81 m | -9.74 m | 583 s | 11.07 m | 9.89 m |
| | | 45 s | 9.98 m | 7.50 m | 7.42 m | 7.84 m | -9.74 m | 583 s | 11.07 m | 9.94 m |
| | | 50 s | 9.90 m | 7.36 m | 7.59 m | 7.96 m | -9.75 m | 586 s | 11.07 m | 9.97 m |
| | | 55 s | 10.34 m | 7.16 m | 7.68 m | 8.06 m | -9.76 m | 592 s | 11.07 m | 10.02 m |
| | | 60 s | 10.72 m | 7.04 m | 7.76 m | 8.04 m | -9.77 m | 607 s | 11.07 m | 10.21 m |
| | | 65 s | 11.09 m | 7.15 m | 7.81 m | 8.08 m | -9.77 m | 611 s | 11.07 m | 10.38 m |
| | | 70 s | 11.41 m | 7.38 m | 8.13 m | 8.11 m | -9.79 m | 612 s | 11.07 m | 10.52 m |
| | | 75 s | 11.71 m | 7.56 m | 8.28 m | 8.15 m | -9.81 m | 615 s | 11.07 m | 10.68 m |
| | | 80 s | 11.94 m | 7.72 m | 8.42 m | 8.17 m | -9.82 m | 712.5 s | 11.07 m | 10.80 m |
| | | 85 s | 12.04 m | 7.94 m | 8.41 m | 8.21 m | -9.85 m | 711.7 s | 11.07 m | 10.91 m |
| | | 90 s | 11.99 m | 8.30 m | 8.32 m | 8.25 m | -9.89 m | 628 s | 11.07 m | 11.02 m |
| | | 93 s | 11.89 m | 8.53 m | 8.20 m | 8.28 m | -9.90 m | 628 s | 11.07 m | 11.11 m |
| | | 95 s | 11.80 m | 8.67 m | 8.19 m | 8.32 m | -9.91 m | 629 s | 11.07 m | 11.14 m |
| | | 100 s | 11.46 m | 9.17 m | 8.15 m | 8.42 m | -9.941 m | 631 s | 11.07 m | 11.39 m |
| | | 105 s | 11.01 m | 9.44 m | 8.40 m | 8.53 m | -9.939 m | 633 s | 11.07 m | 11.58 m |
| | | 110 s | 10.88 m | 9.51 m | 8.59 m | 8.59 m | -9.90 m | 632 s | 11.07 m | 11.80 m |
| 115 s | 10.72 m | 9.41 m | 8.64 m | 8.71 m | -9.90 m | 634 s | 11.07 m | 11.97 m | | |
| 120 s | 10.66 m | 9.17 m | 8.58 m | 8.81 m | -9.91 m | 704 s | 11.07 m | 12.22 m | | |
| 125 s | 10.77 m | 9.02 m | 8.42 m | 9.50 m | -9.90 m | 705 s | 11.11 m | 12.42 m | | |
| 130 s | 10.86 m | 8.69 m | 8.17 m | 9.93 m | -9.91 m | 702 s | 11.27 m | 12.75 m | | |
| 133 s | 10.92 m | 8.42 m | 7.94 m | 10.04 m | -9.90 m | 700 s | 11.34 m | 12.99 m | | |

※黄ハッチング: ケース③のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果 (4/18) ケース I 健全地形モデル (4/4)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|--------|----------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース I ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(基準) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 151 s | 30 s | 10.18 m | 7.375 m | 6.741 m | 10.28 m | -9.10 m | 684 s | 11.4556 m | 11.86 m |
| | | 35 s | 10.36 m | 7.369 m | 6.740 m | 10.11 m | -9.13 m | 685 s | 11.4555 m | 11.94 m |
| | | 40 s | 10.37 m | 7.33 m | 6.73 m | 9.87 m | -9.16 m | 686 s | 11.4554 m | 12.22 m |
| | | 45 s | 10.34 m | 7.29 m | 6.61 m | 9.62 m | -9.19 m | 687 s | 11.4554 m | 12.65 m |
| | | 50 s | 10.38 m | 7.25 m | 6.42 m | 9.46 m | -9.23 m | 688 s | 11.4554 m | 13.27 m |
| | | 55 s | 10.40 m | 7.23 m | 6.24 m | 9.34 m | -9.28 m | 690 s | 11.4554 m | 13.61 m |
| | | 60 s | 10.426 m | 7.16 m | 6.24 m | 9.23 m | -9.33 m | 691 s | 11.4554 m | 13.74 m |
| | | 65 s | 10.430 m | 6.99 m | 6.27 m | 9.08 m | -9.39 m | 693 s | 11.4554 m | 13.69 m |
| | | 70 s | 10.429 m | 6.75 m | 6.27 m | 8.92 m | -9.43 m | 695 s | 11.4554 m | 13.52 m |
| | | 75 s | 10.40 m | 6.39 m | 6.28 m | 8.86 m | -9.45 m | 696 s | 11.4554 m | 13.18 m |
| | | 80 s | 10.40 m | 6.30 m | 6.27 m | 8.72 m | -9.457 m | 698 s | 11.4554 m | 12.67 m |
| | | 85 s | 10.37 m | 6.31 m | 6.27 m | 8.33 m | -9.458 m | 699 s | 11.4554 m | 11.98 m |
| | | 90 s | 10.34 m | 6.34 m | 6.28 m | 7.69 m | -9.45 m | 700 s | 11.4554 m | 10.97 m |
| | | 95 s | 10.16 m | 6.36 m | 6.28 m | 6.92 m | -9.44 m | 702 s | 11.4554 m | 9.69 m |
| | | 100 s | 10.06 m | 6.34 m | 6.28 m | 6.43 m | -9.42 m | 705 s | 11.4554 m | 9.43 m |
| | | 105 s | 10.01 m | 6.32 m | 6.28 m | 6.43 m | -9.40 m | 707 s | 11.4554 m | 9.43 m |
| | | 110 s | 9.98 m | 6.30 m | 6.28 m | 6.43 m | -9.38 m | 709 s | 11.4554 m | 9.43 m |
| | | 115 s | 9.82 m | 6.28 m | 6.30 m | 6.43 m | -9.36 m | 710 s | 11.4554 m | 9.43 m |
| | | 120 s | 9.75 m | 6.31 m | 6.34 m | 6.43 m | -9.33 m | 710 s | 11.4554 m | 9.43 m |
| | | 125 s | 9.69 m | 6.36 m | 6.40 m | 6.43 m | -9.33 m | 709 s | 11.4554 m | 9.43 m |
| 130 s | 9.58 m | 6.40 m | 6.43 m | 6.43 m | -9.34 m | 708 s | 11.4554 m | 9.43 m | | |
| 135 s | 9.44 m | 6.41 m | 6.46 m | 6.43 m | -9.36 m | 707 s | 11.4554 m | 9.43 m | | |
| 140 s | 9.59 m | 6.45 m | 6.46 m | 6.43 m | -9.385 m | 707 s | 11.4554 m | 9.43 m | | |
| 145 s | 9.77 m | 6.46 m | 6.46 m | 6.43 m | -9.425 m | 708 s | 11.4554 m | 9.43 m | | |
| 150 s | 9.96 m | 6.46 m | 6.46 m | 6.43 m | -9.45 m | 715 s | 11.4554 m | 9.43 m | | |

※黄ハッチング: ケース I のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(5/18) ケース⑤ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(1/5)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑤ ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 136 s | 23 s | 11.47 m | 9.29 m | 10.15 m | 8.85 m | -9.89 m | 660 s | 12.22 m | 11.01 m |
| | | 25 s | 11.53 m | 9.44 m | 10.21 m | 8.72 m | -9.86 m | 658 s | 12.23 m | 10.99 m |
| | | 27 s | 11.58 m | 9.57 m | 10.26 m | 8.61 m | -9.81 m | 653 s | 12.26 m | 10.95 m |
| | | 30 s | 11.60 m | 9.75 m | 10.35 m | 8.47 m | -9.74 m | 649 s | 12.25 m | 10.91 m |
| | | 32 s | 11.65 m | 9.87 m | 10.42 m | 8.41 m | -9.71 m | 645 s | 12.382 m | 10.91 m |
| | | 35 s | 11.65 m | 10.03 m | 10.52 m | 8.35 m | -9.71 m | 639 s | 12.381 m | 10.87 m |
| | | 40 s | 11.57 m | 10.24 m | 10.69 m | 8.25 m | -9.73 m | 630 s | 12.25 m | 11.08 m |
| | | 45 s | 11.36 m | 10.35 m | 10.90 m | 8.08 m | -9.94 m | 659 s | 12.18 m | 11.27 m |
| | | 50 s | 11.74 m | 10.36 m | 11.13 m | 7.91 m | -10.14 m | 659 s | 12.09 m | 11.313 m |
| | | 55 s | 12.09 m | 10.26 m | 11.36 m | 7.80 m | -9.98 m | 657 s | 12.04 m | 11.307 m |
| | | 60 s | 12.29 m | 10.11 m | 11.51 m | 7.70 m | -10.15 m | 655 s | 11.93 m | 11.28 m |
| | | 65 s | 12.38 m | 10.06 m | 11.56 m | 7.65 m | -10.35 m | 652 s | 11.86 m | 11.26 m |
| | | 70 s | 12.29 m | 10.02 m | 11.49 m | 7.65 m | -10.48 m | 651 s | 11.86 m | 11.18 m |
| | | 75 s | 12.08 m | 9.97 m | 11.35 m | 7.65 m | -10.59 m | 651 s | 11.86 m | 11.00 m |
| | | 80 s | 11.93 m | 9.89 m | 11.15 m | 7.65 m | -10.60 m | 650 s | 11.86 m | 10.76 m |
| | | 85 s | 12.16 m | 9.79 m | 10.89 m | 7.65 m | -10.70 m | 650 s | 11.86 m | 10.52 m |
| | | 90 s | 12.31 m | 9.64 m | 10.58 m | 7.65 m | -10.84 m | 651 s | 11.86 m | 10.52 m |
| | | 95 s | 12.41 m | 9.34 m | 10.20 m | 7.65 m | -10.98 m | 653 s | 11.86 m | 10.52 m |
| | | 100 s | 12.89 m | 8.90 m | 9.78 m | 7.65 m | -11.15 m | 652 s | 11.86 m | 10.52 m |
| | | 105 s | 13.31 m | 8.36 m | 9.33 m | 7.65 m | -11.26 m | 650 s | 11.86 m | 10.52 m |
| 110 s | 13.589 m | 8.19 m | 8.91 m | 7.65 m | -11.33 m | 648 s | 11.86 m | 10.71 m | | |
| 115 s | 13.586 m | 8.38 m | 8.72 m | 7.65 m | -11.37 m | 646 s | 11.86 m | 10.87 m | | |
| 120 s | 13.42 m | 8.48 m | 8.61 m | 7.65 m | -11.43 m | 645 s | 11.86 m | 10.99 m | | |
| 125 s | 13.17 m | 8.50 m | 8.41 m | 7.65 m | -11.47 m | 645 s | 11.86 m | 11.09 m | | |
| 130 s | 12.83 m | 8.45 m | 8.07 m | 7.65 m | -11.49 m | 646 s | 11.86 m | 11.11 m | | |
| 135 s | 12.43 m | 8.32 m | 8.06 m | 7.65 m | -11.522 m | 645 s | 11.86 m | 11.10 m | | |
| 136 s | 12.35 m | 8.28 m | 8.04 m | 7.65 m | -11.519 m | 645 s | 11.86 m | 11.09 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑤のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(6/18) ケース⑥ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(2/5)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|--------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑥ ・断層パターン:1 ・波源位置:くの字モデル(西へ移動) ・アスベリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:1km | 44 s ~ 172 s | 45 s | 8.33 m | 8.23 m | 5.96 m | 5.28 m | -8.62 m | 135 s | 9.71 m | 12.64 m |
| | | 50 s | 8.28 m | 8.18 m | 5.96 m | 5.32 m | -8.56 m | 134 s | 9.74 m | 12.53 m |
| | | 55 s | 8.18 m | 8.06 m | 5.97 m | 5.30 m | -8.48 m | 133 s | 9.75 m | 12.44 m |
| | | 60 s | 8.08 m | 7.96 m | 5.97 m | 5.38 m | -8.41 m | 131 s | 9.75 m | 12.22 m |
| | | 65 s | 7.97 m | 7.84 m | 5.97 m | 5.36 m | -8.33 m | 130 s | 9.755 m | 12.04 m |
| | | 67 s | 7.83 m | 7.71 m | 5.97 m | 5.40 m | -8.30 m | 129 s | 9.75 m | 11.98 m |
| | | 70 s | 7.74 m | 7.64 m | 5.97 m | 5.39 m | -8.25 m | 127 s | 9.75 m | 11.83 m |
| | | 75 s | 7.61 m | 7.54 m | 5.98 m | 5.33 m | -8.15 m | 125 s | 9.75 m | 11.65 m |
| | | 80 s | 7.55 m | 7.49 m | 5.99 m | 5.26 m | -8.04 m | 122 s | 9.74 m | 11.40 m |
| | | 82 s | 7.51 m | 7.46 m | 6.01 m | 5.27 m | -7.99 m | 120 s | 9.74 m | 11.36 m |
| | | 85 s | 7.50 m | 7.47 m | 6.06 m | 5.23 m | -7.92 m | 118 s | 9.74 m | 11.20 m |
| | | 90 s | 7.51 m | 7.47 m | 6.21 m | 5.24 m | -7.78 m | 113 s | 9.74 m | 10.92 m |
| | | 95 s | 7.52 m | 7.48 m | 6.29 m | 5.24 m | -7.60 m | 306 s | 9.74 m | 10.63 m |
| | | 100 s | 7.58 m | 7.52 m | 6.36 m | 5.25 m | -7.74 m | 308 s | 9.74 m | 10.44 m |
| | | 105 s | 7.69 m | 7.59 m | 6.43 m | 5.26 m | -7.66 m | 364 s | 9.761 m | 10.42 m |
| | | 110 s | 7.75 m | 7.64 m | 6.41 m | 5.27 m | -7.69 m | 637 s | 9.75 m | 10.39 m |
| | | 115 s | 7.87 m | 7.75 m | 6.45 m | 5.28 m | -7.43 m | 642 s | 9.75 m | 10.40 m |
| | | 120 s | 7.97 m | 7.85 m | 6.39 m | 5.30 m | -7.23 m | 644 s | 9.72 m | 10.41 m |
| | | 125 s | 8.02 m | 7.90 m | 6.17 m | 5.31 m | -6.91 m | 644 s | 9.63 m | 10.40 m |
| | | 130 s | 8.14 m | 8.02 m | 6.20 m | 5.33 m | -6.82 m | 642 s | 9.59 m | 10.39 m |
| 135 s | 8.25 m | 8.14 m | 6.19 m | 5.35 m | -6.89 m | 638 s | 9.47 m | 10.38 m | | |
| 140 s | 8.33 m | 8.22 m | 6.21 m | 5.37 m | -6.65 m | 578 s | 9.19 m | 10.37 m | | |
| 145 s | 8.36 m | 8.26 m | 6.28 m | 5.40 m | -6.47 m | 575 s | 8.95 m | 10.32 m | | |
| 150 s | 8.38 m | 8.27 m | 6.41 m | 5.43 m | -6.29 m | 605 s | 8.72 m | 10.28 m | | |
| 155 s | 8.31 m | 8.19 m | 6.50 m | 5.47 m | -6.22 m | 635 s | 8.82 m | 10.15 m | | |
| 160 s | 8.23 m | 8.11 m | 6.50 m | 5.51 m | -6.25 m | 668 s | 8.87 m | 10.06 m | | |
| 165 s | 8.05 m | 7.95 m | 6.49 m | 5.57 m | -6.17 m | 673 s | 9.01 m | 10.15 m | | |
| 170 s | 7.89 m | 7.82 m | 6.61 m | 5.63 m | -6.02 m | 676 s | 9.34 m | 10.25 m | | |
| 172 s | 7.74 m | 7.71 m | 6.64 m | 5.65 m | -5.96 m | 677 s | 9.53 m | 10.29 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑥のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース(T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース(T_p)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース(T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(7/18) ケース⑦ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(3/5)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑦ ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de北へ10km ・断層面上縁深さ:0km | 23 s ~ 134 s | 23 s | 9.82 m | 7.97 m | 8.49 m | 8.80 m | -10.58 m | 536 s | 13.0184 m | 11.88 m |
| | | 25 s | 9.81 m | 7.982 m | 8.57 m | 8.71 m | -10.62 m | 535 s | 13.01 m | 11.98 m |
| | | 30 s | 9.80 m | 7.980 m | 8.77 m | 8.53 m | -10.73 m | 581 s | 13.0179 m | 12.11 m |
| | | 35 s | 9.92 m | 7.95 m | 8.90 m | 8.47 m | -10.88 m | 588 s | 12.90 m | 12.15 m |
| | | 40 s | 10.10 m | 7.88 m | 8.89 m | 8.40 m | -10.96 m | 593 s | 12.80 m | 12.13 m |
| | | 45 s | 10.21 m | 7.79 m | 8.79 m | 8.34 m | -11.01 m | 598 s | 12.69 m | 12.03 m |
| | | 50 s | 10.29 m | 7.69 m | 8.61 m | 8.24 m | -11.04 m | 601 s | 12.40 m | 11.91 m |
| | | 55 s | 10.28 m | 7.67 m | 8.41 m | 8.14 m | -11.06 m | 604 s | 12.22 m | 11.78 m |
| | | 60 s | 10.13 m | 7.72 m | 8.33 m | 8.04 m | -11.10 m | 607 s | 12.03 m | 11.70 m |
| | | 65 s | 9.86 m | 7.73 m | 8.52 m | 7.98 m | -11.10 m | 610 s | 11.84 m | 11.56 m |
| | | 70 s | 9.45 m | 7.68 m | 8.66 m | 7.92 m | -11.10 m | 612 s | 11.62 m | 11.32 m |
| | | 75 s | 9.29 m | 7.57 m | 8.68 m | 7.99 m | -11.10 m | 613 s | 11.37 m | 10.98 m |
| | | 80 s | 9.24 m | 7.37 m | 8.66 m | 8.06 m | -11.18 m | 614 s | 11.14 m | 10.67 m |
| | | 85 s | 9.21 m | 7.33 m | 8.59 m | 8.10 m | -11.22 m | 616 s | 10.85 m | 10.44 m |
| | | 90 s | 9.40 m | 7.28 m | 8.40 m | 8.08 m | -11.28 m | 617 s | 10.61 m | 10.33 m |
| | | 95 s | 9.60 m | 7.25 m | 8.22 m | 7.98 m | -11.31 m | 617 s | 10.27 m | 10.46 m |
| | | 100 s | 9.62 m | 7.48 m | 8.10 m | 7.90 m | -11.31 m | 617 s | 10.21 m | 10.95 m |
| | | 105 s | 9.80 m | 7.71 m | 7.95 m | 7.88 m | -11.34 m | 618 s | 10.21 m | 11.57 m |
| | | 110 s | 10.22 m | 7.84 m | 7.67 m | 7.81 m | -11.36 m | 617 s | 10.21 m | 11.89 m |
| | | 115 s | 10.65 m | 7.88 m | 7.72 m | 7.74 m | -11.37 m | 616 s | 10.21 m | 12.01 m |
| 120 s | 11.18 m | 7.85 m | 7.81 m | 7.64 m | -11.40 m | 616 s | 10.21 m | 11.93 m | | |
| 125 s | 11.46 m | 7.76 m | 7.73 m | 7.52 m | -11.41 m | 614 s | 10.21 m | 11.71 m | | |
| 130 s | 11.42 m | 7.60 m | 7.49 m | 7.52 m | -11.44 m | 613 s | 10.21 m | 11.37 m | | |
| 134 s | 11.27 m | 7.42 m | 7.19 m | 7.50 m | -11.45 m | 611 s | 10.21 m | 11.03 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑦のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_p)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(8/18) ケース⑧ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(4/5)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑧ ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスベリティ位置:de ・断層面上縁深さ:5km | 22 s ~ 133 s | 30 s | 9.74 m | 7.62 m | 7.21 m | 6.96 m | -12.34 m | 433 s | 10.25 m | 10.18 m |
| | | 35 s | 9.25 m | 8.18 m | 7.35 m | 6.96 m | -12.35 m | 434 s | 10.25 m | 10.30 m |
| | | 40 s | 9.05 m | 8.62 m | 7.50 m | 6.96 m | -12.36 m | 433 s | 10.25 m | 10.49 m |
| | | 45 s | 9.36 m | 8.96 m | 7.64 m | 6.96 m | -12.34 m | 431 s | 10.25 m | 10.71 m |
| | | 50 s | 9.92 m | 9.35 m | 7.87 m | 7.11 m | -12.35 m | 430 s | 10.25 m | 10.89 m |
| | | 55 s | 10.46 m | 9.68 m | 8.10 m | 7.27 m | -12.34 m | 426 s | 10.25 m | 10.99 m |
| | | 60 s | 10.83 m | 9.81 m | 8.21 m | 7.29 m | -12.31 m | 423 s | 10.25 m | 11.18 m |
| | | 65 s | 11.19 m | 9.79 m | 8.45 m | 7.19 m | -12.27 m | 420 s | 10.25 m | 11.35 m |
| | | 70 s | 11.64 m | 9.63 m | 9.16 m | 7.00 m | -12.30 m | 419 s | 10.25 m | 11.40 m |
| | | 75 s | 12.05 m | 9.46 m | 9.77 m | 7.04 m | -12.23 m | 415 s | 10.25 m | 11.51 m |
| | | 80 s | 12.36 m | 10.05 m | 10.11 m | 7.11 m | -12.16 m | 410 s | 10.25 m | 11.63 m |
| | | 85 s | 12.50 m | 10.46 m | 10.38 m | 7.17 m | -12.16 m | 405 s | 10.25 m | 11.65 m |
| | | 90 s | 12.42 m | 10.85 m | 10.60 m | 7.23 m | -12.16 m | 400 s | 10.25 m | 11.71 m |
| | | 95 s | 12.15 m | 11.28 m | 10.67 m | 7.30 m | -12.15 m | 456 s | 10.25 m | 11.86 m |
| | | 100 s | 12.61 m | 11.64 m | 10.75 m | 7.36 m | -12.15 m | 460.7 s | 10.25 m | 11.99 m |
| | | 105 s | 13.23 m | 11.79 m | 11.18 m | 7.44 m | -12.13 m | 461.1 s | 10.25 m | 12.14 m |
| | | 108 s | 13.65 m | 11.81 m | 11.44 m | 7.48 m | -12.11 m | 460.6 s | 10.25 m | 12.30 m |
| | | 110 s | 13.86 m | 11.82 m | 11.62 m | 7.51 m | -12.10 m | 460 s | 10.25 m | 12.38 m |
| | | 115 s | 14.11 m | 11.77 m | 11.84 m | 7.62 m | -12.04 m | 459 s | 10.35 m | 12.58 m |
| | | 120 s | 13.91 m | 11.60 m | 11.83 m | 8.44 m | -12.03 m | 457 s | 10.79 m | 12.81 m |
| 125 s | 13.22 m | 11.31 m | 11.60 m | 9.29 m | -11.99 m | 454 s | 11.04 m | 12.97 m | | |
| 127 s | 12.80 m | 11.14 m | 11.45 m | 9.55 m | -11.95 m | 452 s | 11.17 m | 12.99 m | | |
| 130 s | 12.32 m | 10.83 m | 11.18 m | 9.84 m | -11.87 m | 450 s | 11.32 m | 13.07 m | | |
| 133 s | 11.92 m | 10.48 m | 10.84 m | 9.97 m | -11.77 m | 449 s | 11.46 m | 13.20 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑧のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果 (9/18) ケースII 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (5/5)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|----------|-----------|----------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケースII ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(基準) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:1km | 27 s ~ 144 s | 30 s | 10.04 m | 7.65 m | 6.43 m | 7.0083 m | -11.53 m | 653 s | 9.91 m | 10.95 m |
| | | 35 s | 9.98 m | 7.76 m | 6.45 m | 7.0082 m | -11.64 m | 650 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 40 s | 9.97 m | 7.79 m | 6.65 m | 7.0081 m | -11.68 m | 646 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 45 s | 9.96 m | 7.81 m | 6.72 m | 7.0081 m | -11.73 m | 643 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 50 s | 9.93 m | 7.77 m | 6.70 m | 7.0081 m | -11.75 m | 639 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 55 s | 9.89 m | 7.59 m | 6.61 m | 7.0080 m | -11.76 m | 634 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 60 s | 9.82 m | 7.26 m | 6.43 m | 7.0080 m | -11.78 m | 630 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 65 s | 9.64 m | 7.03 m | 6.43 m | 7.0080 m | -11.79 m | 626 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 70 s | 9.53 m | 7.03 m | 6.43 m | 7.0080 m | -11.80 m | 623 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 75 s | 9.52 m | 7.03 m | 6.43 m | 7.0080 m | -11.80 m | 619 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 80 s | 9.61 m | 7.03 m | 6.43 m | 7.0080 m | -11.79 m | 614 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 85 s | 9.63 m | 7.03 m | 6.43 m | 7.0080 m | -11.81 m | 610 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 90 s | 9.74 m | 7.03 m | 6.58 m | 7.0080 m | -11.83 m | 390 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 95 s | 9.74 m | 7.03 m | 6.65 m | 7.0080 m | -11.87 m | 394 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 100 s | 9.69 m | 7.03 m | 6.54 m | 7.0080 m | -11.88 m | 398 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 105 s | 9.77 m | 7.03 m | 6.52 m | 7.0080 m | -11.89 m | 401 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 110 s | 9.78 m | 7.25 m | 6.80 m | 7.0080 m | -11.896 m | 404 s | 9.91 m | 9.02 m |
| | | 115 s | 9.64 m | 7.34 m | 7.07 m | 7.0080 m | -11.901 m | 406 s | 9.91 m | 9.02 m |
| 120 s | 9.47 m | 7.49 m | 7.36 m | 7.0080 m | -11.900 m | 408 s | 9.91 m | 9.02 m | | |
| 125 s | 9.37 m | 7.75 m | 7.57 m | 7.0080 m | -11.903 m | 409 s | 9.91 m | 9.02 m | | |
| 130 s | 9.16 m | 7.99 m | 7.83 m | 7.0080 m | -11.89 m | 409 s | 9.91 m | 9.02 m | | |
| 135 s | 8.90 m | 8.12 m | 8.07 m | 7.0080 m | -11.87 m | 409 s | 9.91 m | 9.15 m | | |
| 140 s | 8.88 m | 8.23 m | 8.20 m | 7.0080 m | -11.85 m | 408 s | 9.91 m | 9.42 m | | |

※黄ハッチング: ケースIIのうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(10/18) ケース⑩ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(1/3)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑩ ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 136 s | 23 s | 12.55 m | 9.63 m | 11.35 m | 9.16 m | -9.62 m | 702 s | 13.27 m | 11.38 m |
| | | 24 s | 12.55 m | 9.65 m | 11.36 m | 9.12 m | -9.61 m | 701 s | 13.26 m | 11.37 m |
| | | 25 s | 12.55 m | 9.66 m | 11.37 m | 9.08 m | -9.58 m | 700 s | 13.25 m | 11.34 m |
| | | 30 s | 12.54 m | 9.71 m | 11.42 m | 8.93 m | -9.49 m | 692 s | 13.28 m | 11.36 m |
| | | 35 s | 12.53 m | 9.755 m | 11.49 m | 8.88 m | -9.50 m | 689 s | 13.27 m | 11.32 m |
| | | 40 s | 12.48 m | 9.764 m | 11.55 m | 8.80 m | -9.46 m | 684 s | 13.22 m | 11.27 m |
| | | 45 s | 12.49 m | 9.72 m | 11.57 m | 8.68 m | -9.59 m | 679 s | 13.10 m | 11.23 m |
| | | 50 s | 12.38 m | 9.64 m | 11.51 m | 8.57 m | -9.70 m | 676 s | 13.00 m | 11.21 m |
| | | 55 s | 12.19 m | 9.64 m | 11.41 m | 8.48 m | -9.79 m | 670 s | 12.89 m | 11.23 m |
| | | 60 s | 11.92 m | 9.63 m | 11.27 m | 8.38 m | -9.76 m | 665 s | 12.70 m | 11.22 m |
| | | 65 s | 11.76 m | 9.59 m | 11.06 m | 8.23 m | -9.83 m | 661 s | 12.55 m | 11.16 m |
| | | 70 s | 11.67 m | 9.50 m | 10.78 m | 8.03 m | -9.95 m | 659 s | 12.24 m | 11.03 m |
| | | 75 s | 12.15 m | 9.36 m | 10.45 m | 7.92 m | -10.09 m | 659 s | 12.21 m | 10.88 m |
| | | 80 s | 12.40 m | 9.13 m | 10.06 m | 7.93 m | -10.13 m | 659 s | 12.21 m | 10.82 m |
| | | 85 s | 12.64 m | 8.77 m | 9.62 m | 7.92 m | -10.21 m | 658 s | 12.21 m | 10.76 m |
| | | 90 s | 12.70 m | 8.38 m | 9.35 m | 7.88 m | -10.26 m | 655 s | 12.21 m | 10.72 m |
| | | 95 s | 12.67 m | 8.18 m | 9.23 m | 7.81 m | -10.30 m | 651 s | 12.21 m | 10.72 m |
| | | 100 s | 12.72 m | 8.07 m | 9.13 m | 7.75 m | -10.37 m | 645 s | 12.21 m | 10.72 m |
| | | 105 s | 13.06 m | 7.94 m | 9.07 m | 7.69 m | -10.41 m | 641 s | 12.21 m | 10.72 m |
| | | 110 s | 13.41 m | 7.80 m | 9.01 m | 7.69 m | -10.44 m | 637 s | 12.21 m | 10.72 m |
| 115 s | 13.55 m | 7.85 m | 8.98 m | 7.69 m | -10.47 m | 635 s | 12.21 m | 10.86 m | | |
| 120 s | 13.38 m | 7.95 m | 9.02 m | 7.69 m | -10.51 m | 632 s | 12.21 m | 10.97 m | | |
| 125 s | 12.92 m | 7.99 m | 9.08 m | 7.75 m | -10.54 m | 629 s | 12.21 m | 11.04 m | | |
| 130 s | 12.48 m | 8.01 m | 9.17 m | 7.77 m | -10.57 m | 627 s | 12.21 m | 11.13 m | | |
| 135 s | 12.02 m | 8.00 m | 9.24 m | 7.72 m | -10.58 m | 624 s | 12.21 m | 11.21 m | | |
| 136 s | 11.93 m | 7.99 m | 9.29 m | 7.70 m | -10.57 m | 624 s | 12.21 m | 11.22 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑩のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(11/18) ケース⑪ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(2/3)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑪ ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de北へ10km ・断層面上縁深さ:0km | 23 s ~ 134 s | 23 s | 10.29 m | 7.65 m | 8.86 m | 9.25 m | -9.68 m | 588 s | 13.897 m | 11.79 m |
| | | 25 s | 10.29 m | 7.58 m | 8.86 m | 9.21 m | -9.70 m | 587 s | 13.88 m | 11.89 m |
| | | 30 s | 10.27 m | 7.39 m | 8.89 m | 9.08 m | -9.73 m | 589 s | 13.900 m | 12.05 m |
| | | 35 s | 10.25 m | 7.34 m | 8.97 m | 9.00 m | -9.76 m | 591 s | 13.81 m | 12.14 m |
| | | 40 s | 10.24 m | 7.38 m | 9.05 m | 8.92 m | -9.80 m | 592 s | 13.72 m | 12.16 m |
| | | 45 s | 10.02 m | 7.39 m | 9.11 m | 8.84 m | -9.83 m | 593 s | 13.62 m | 12.05 m |
| | | 50 s | 10.04 m | 7.33 m | 9.12 m | 8.73 m | -9.86 m | 593.8 s | 13.48 m | 11.97 m |
| | | 55 s | 10.04 m | 7.19 m | 9.13 m | 8.60 m | -9.89 m | 594.2 s | 13.32 m | 11.88 m |
| | | 60 s | 10.03 m | 7.02 m | 9.11 m | 8.46 m | -9.90 m | 593.6 s | 13.17 m | 11.76 m |
| | | 65 s | 10.00 m | 7.02 m | 8.99 m | 8.42 m | -9.91 m | 592 s | 13.01 m | 11.55 m |
| | | 70 s | 9.93 m | 6.93 m | 8.82 m | 8.41 m | -9.94 m | 590 s | 12.84 m | 11.26 m |
| | | 75 s | 9.85 m | 6.88 m | 8.57 m | 8.35 m | -9.95 m | 588 s | 12.59 m | 10.92 m |
| | | 80 s | 9.78 m | 6.92 m | 8.24 m | 8.34 m | -9.99 m | 588 s | 12.17 m | 10.66 m |
| | | 85 s | 9.39 m | 6.93 m | 7.90 m | 8.32 m | -10.02 m | 588 s | 11.83 m | 10.58 m |
| | | 90 s | 9.46 m | 6.96 m | 7.85 m | 8.30 m | -10.04 m | 587 s | 11.45 m | 10.52 m |
| | | 95 s | 9.53 m | 6.93 m | 7.90 m | 8.27 m | -10.07 m | 586 s | 11.15 m | 10.42 m |
| | | 100 s | 9.61 m | 6.91 m | 7.95 m | 8.24 m | -10.11 m | 586 s | 10.82 m | 10.96 m |
| | | 104 s | 9.64 m | 6.94 m | 8.04 m | 8.22 m | -10.14 m | 586 s | 10.70 m | 11.50 m |
| | | 105 s | 9.65 m | 6.91 m | 8.06 m | 8.21 m | -10.15 m | 586 s | 10.70 m | 11.62 m |
| | | 110 s | 9.74 m | 6.92 m | 8.13 m | 8.16 m | -10.16 m | 586 s | 10.70 m | 12.00 m |
| 115 s | 9.89 m | 6.91 m | 8.21 m | 8.09 m | -10.14 m | 582 s | 10.70 m | 12.14 m | | |
| 120 s | 10.27 m | 6.90 m | 8.30 m | 8.03 m | -10.17 m | 580 s | 10.70 m | 12.11 m | | |
| 125 s | 10.51 m | 6.91 m | 8.38 m | 8.00 m | -10.20 m | 578 s | 10.70 m | 11.93 m | | |
| 130 s | 10.83 m | 6.91 m | 8.42 m | 7.93 m | -10.22 m | 576 s | 10.70 m | 11.61 m | | |
| 134 s | 10.94 m | 6.98 m | 8.43 m | 7.91 m | -10.23 m | 573 s | 10.70 m | 11.27 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑪のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(12/18) ケース⑫ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(3/3)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|-----------|---------|-----------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑫ ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de ・断層面上縁深さ:5km | 22 s ~ 133 s | 25 s | 9.86 m | 6.98 m | 7.44 m | 7.59 m | -11.20 m | 680 s | 11.07 m | 9.75 m |
| | | 30 s | 9.64 m | 7.60 m | 8.08 m | 7.64 m | -11.22 m | 679 s | 11.07 m | 9.80 m |
| | | 35 s | 9.72 m | 8.16 m | 8.67 m | 7.70 m | -11.24 m | 676 s | 11.07 m | 9.85 m |
| | | 40 s | 9.73 m | 8.55 m | 9.15 m | 7.74 m | -11.26 m | 674 s | 11.07 m | 9.89 m |
| | | 45 s | 9.92 m | 8.72 m | 9.47 m | 7.78 m | -11.27 m | 671 s | 11.07 m | 9.91 m |
| | | 50 s | 10.28 m | 8.66 m | 9.85 m | 7.96 m | -11.26 m | 671 s | 11.07 m | 10.01 m |
| | | 55 s | 10.55 m | 8.46 m | 10.00 m | 8.06 m | -11.24 m | 671 s | 11.07 m | 10.08 m |
| | | 60 s | 10.76 m | 8.43 m | 10.09 m | 8.04 m | -11.24 m | 672 s | 11.07 m | 10.28 m |
| | | 65 s | 10.92 m | 8.65 m | 10.26 m | 8.01 m | -11.25 m | 675 s | 11.07 m | 10.42 m |
| | | 70 s | 11.15 m | 8.93 m | 10.46 m | 8.04 m | -11.24 m | 675 s | 11.07 m | 10.54 m |
| | | 75 s | 11.33 m | 9.21 m | 10.68 m | 8.06 m | -11.25 m | 678 s | 11.07 m | 10.71 m |
| | | 80 s | 11.41 m | 9.45 m | 10.87 m | 8.09 m | -11.26 m | 682 s | 11.07 m | 10.85 m |
| | | 85 s | 11.47 m | 9.74 m | 10.99 m | 8.14 m | -11.26 m | 684 s | 11.07 m | 10.94 m |
| | | 90 s | 11.43 m | 10.01 m | 11.02 m | 8.21 m | -11.28 m | 682 s | 11.07 m | 11.05 m |
| | | 94 s | 11.46 m | 10.35 m | 10.99 m | 8.25 m | -11.2871 m | 682 s | 11.07 m | 11.13 m |
| | | 95 s | 11.46 m | 10.41 m | 10.98 m | 8.26 m | -11.2866 m | 682 s | 11.07 m | 11.16 m |
| | | 100 s | 12.22 m | 10.66 m | 11.03 m | 8.36 m | -11.27 m | 682 s | 11.07 m | 11.44 m |
| | | 105 s | 12.97 m | 10.81 m | 11.12 m | 8.47 m | -11.26 m | 683 s | 11.07 m | 11.66 m |
| | | 110 s | 13.33 m | 10.91 m | 11.14 m | 8.53 m | -11.26 m | 724 s | 11.07 m | 11.89 m |
| | | 113 s | 13.35 m | 10.9290 m | 11.09 m | 8.59 m | -11.24 m | 725 s | 11.07 m | 12.00 m |
| 115 s | 13.27 m | 10.9292 m | 11.05 m | 8.63 m | -11.24 m | 724 s | 11.07 m | 12.06 m | | |
| 120 s | 12.74 m | 10.84 m | 10.88 m | 8.75 m | -11.23 m | 724 s | 11.07 m | 12.25 m | | |
| 125 s | 11.94 m | 10.55 m | 10.62 m | 9.41 m | -11.22 m | 723 s | 11.08 m | 12.48 m | | |
| 126 s | 11.76 m | 10.47 m | 10.55 m | 9.51 m | -11.21 m | 724 s | 11.09 m | 12.53 m | | |
| 129 s | 11.43 m | 10.21 m | 10.31 m | 9.77 m | -11.21 m | 724 s | 11.19 m | 12.74 m | | |
| 130 s | 11.32 m | 10.11 m | 10.22 m | 9.82 m | -11.20 m | 724 s | 11.21 m | 12.78 m | | |
| 133 s | 10.78 m | 9.77 m | 9.83 m | 9.94 m | -11.16 m | 728 s | 11.28 m | 13.04 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑫のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース(T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース(T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース(T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(13/18) ケース⑭ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(1/6)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|---------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑭ ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:1km | 23 s ~ 134 s | 23 s | 10.75 m | 8.40 m | 8.75 m | 7.30 m | -9.22 m | 666 s | 11.27 m | 10.60 m |
| | | 25 s | 10.59 m | 8.41 m | 8.68 m | 7.18 m | -9.27 m | 665 s | 11.24 m | 10.48 m |
| | | 30 s | 10.22 m | 8.39 m | 8.50 m | 7.18 m | -9.35 m | 660 s | 11.14 m | 10.15 m |
| | | 35 s | 10.13 m | 8.32 m | 8.37 m | 7.18 m | -9.43 m | 657 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 40 s | 10.58 m | 8.20 m | 8.41 m | 7.18 m | -9.55 m | 656 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 45 s | 10.61 m | 8.11 m | 8.56 m | 7.18 m | -9.67 m | 671 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 50 s | 10.64 m | 8.01 m | 8.69 m | 7.18 m | -9.83 m | 674 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 55 s | 10.65 m | 7.96 m | 8.76 m | 7.18 m | -10.02 m | 674 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 60 s | 11.20 m | 7.89 m | 8.65 m | 7.18 m | -10.21 m | 672 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 65 s | 11.77 m | 7.74 m | 8.30 m | 7.18 m | -10.41 m | 671 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 70 s | 12.23 m | 7.51 m | 7.72 m | 7.18 m | -10.57 m | 669 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 75 s | 12.57 m | 7.70 m | 7.41 m | 7.18 m | -10.71 m | 815 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 80 s | 12.77 m | 7.90 m | 7.41 m | 7.18 m | -10.82 m | 818 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 85 s | 12.87 m | 8.07 m | 7.46 m | 7.18 m | -10.88 m | 819 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 90 s | 12.84 m | 8.15 m | 7.48 m | 7.18 m | -10.94 m | 818 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 95 s | 12.69 m | 8.14 m | 7.42 m | 7.18 m | -10.99 m | 815 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 100 s | 12.35 m | 8.07 m | 7.41 m | 7.18 m | -11.01 m | 811 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 105 s | 11.89 m | 7.95 m | 7.41 m | 7.18 m | -11.01 m | 805 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 110 s | 11.28 m | 7.72 m | 7.41 m | 7.18 m | -11.01 m | 656 s | 11.14 m | 10.07 m |
| | | 115 s | 10.58 m | 8.10 m | 7.74 m | 7.18 m | -11.04 m | 651 s | 11.14 m | 10.07 m |
| 120 s | 9.91 m | 9.11 m | 8.35 m | 7.18 m | -11.06 m | 646 s | 11.14 m | 10.07 m | | |
| 125 s | 10.55 m | 10.20 m | 8.62 m | 7.18 m | -11.24 m | 636 s | 11.51 m | 10.07 m | | |
| 130 s | 11.71 m | 11.01 m | 8.60 m | 7.18 m | -11.23 m | 628 s | 12.07 m | 10.69 m | | |
| 134 s | 12.45 m | 11.51 m | 8.74 m | 7.46 m | -11.29 m | 621 s | 12.42 m | 11.07 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑭のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(14/18) ケース⑮ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(2/6)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑮ ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km | 23 s ~ 136 s | 23 s | 12.23 m | 8.17 m | 8.63 m | 8.69 m | -9.99 m | 709 s | 12.65 m | 11.10 m |
| | | 25 s | 12.37 m | 8.31 m | 8.64 m | 8.58 m | -9.96 m | 709 s | 12.70 m | 11.08 m |
| | | 30 s | 12.61 m | 8.80 m | 8.79 m | 8.39 m | -9.89 m | 709 s | 12.69 m | 11.02 m |
| | | 35 s | 12.71 m | 9.21 m | 8.867 m | 8.33 m | -9.85 m | 705 s | 12.67 m | 10.94 m |
| | | 40 s | 12.56 m | 9.50 m | 8.8725 m | 8.24 m | -9.72 m | 777 s | 12.62 m | 11.04 m |
| | | 42 s | 12.48 m | 9.56 m | 8.8717 m | 8.19 m | -9.68 m | 778 s | 12.60 m | 11.12 m |
| | | 45 s | 12.32 m | 9.57 m | 8.82 m | 8.11 m | -9.67 m | 778 s | 12.55 m | 11.14 m |
| | | 50 s | 11.93 m | 9.53 m | 8.71 m | 7.98 m | -9.70 m | 777 s | 12.50 m | 11.16 m |
| | | 55 s | 11.45 m | 9.34 m | 8.52 m | 7.87 m | -9.87 m | 775 s | 12.29 m | 11.17 m |
| | | 60 s | 10.85 m | 9.16 m | 8.65 m | 7.77 m | -9.98 m | 773 s | 12.17 m | 11.14 m |
| | | 65 s | 10.58 m | 8.95 m | 8.72 m | 7.67 m | -10.09 m | 660 s | 12.04 m | 11.07 m |
| | | 70 s | 11.17 m | 8.77 m | 8.68 m | 7.67 m | -10.20 m | 662 s | 11.89 m | 10.90 m |
| | | 75 s | 11.48 m | 8.70 m | 8.53 m | 7.67 m | -10.29 m | 664 s | 11.89 m | 10.78 m |
| | | 80 s | 11.89 m | 8.62 m | 8.30 m | 7.67 m | -10.37 m | 672 s | 11.89 m | 10.69 m |
| | | 85 s | 12.07 m | 8.51 m | 8.04 m | 7.67 m | -10.50 m | 676 s | 11.89 m | 10.61 m |
| | | 90 s | 12.16 m | 8.39 m | 7.95 m | 7.67 m | -10.66 m | 679 s | 11.89 m | 10.61 m |
| | | 95 s | 12.29 m | 8.21 m | 7.95 m | 7.67 m | -10.84 m | 679 s | 11.89 m | 10.61 m |
| | | 100 s | 12.73 m | 7.96 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.03 m | 678 s | 11.89 m | 10.61 m |
| 105 s | 13.22 m | 7.78 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.24 m | 826 s | 11.89 m | 10.61 m | | |
| 110 s | 13.48 m | 8.08 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.37 m | 829 s | 11.89 m | 10.61 m | | |
| 115 s | 13.45 m | 8.33 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.45 m | 830 s | 11.89 m | 10.61 m | | |
| 120 s | 13.21 m | 8.45 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.50 m | 831.0 s | 11.89 m | 10.83 m | | |
| 125 s | 12.95 m | 8.51 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.55 m | 831.4 s | 11.89 m | 10.93 m | | |
| 130 s | 12.59 m | 8.50 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.57 m | 829 s | 11.89 m | 11.05 m | | |
| 135 s | 12.20 m | 8.43 m | 7.95 m | 7.67 m | -11.56 m | 666 s | 11.89 m | 11.09 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑮のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(15/18) ケース⑬ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(3/6)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑬ ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:0km | 23 s ~ 136 s | 23 s | 12.09 m | 9.41 m | 9.38 m | 7.42 m | -8.86 m | 681 s | 12.16 m | 11.14 m |
| | | 25 s | 12.02 m | 9.49 m | 9.37 m | 7.37 m | -8.87 m | 757 s | 12.15 m | 11.14 m |
| | | 30 s | 11.71 m | 9.65 m | 9.26 m | 7.37 m | -9.04 m | 761 s | 12.10 m | 11.15 m |
| | | 35 s | 11.39 m | 9.71 m | 9.04 m | 7.37 m | -9.18 m | 767 s | 12.04 m | 11.19 m |
| | | 40 s | 11.20 m | 9.68 m | 8.81 m | 7.37 m | -9.45 m | 770 s | 11.97 m | 11.20 m |
| | | 45 s | 10.85 m | 9.53 m | 8.63 m | 7.37 m | -9.36 m | 770 s | 11.89 m | 11.23 m |
| | | 50 s | 10.56 m | 9.21 m | 8.40 m | 7.37 m | -9.51 m | 771 s | 11.79 m | 11.24 m |
| | | 55 s | 10.38 m | 8.86 m | 8.18 m | 7.37 m | -9.57 m | 773 s | 11.72 m | 11.29 m |
| | | 60 s | 10.26 m | 8.41 m | 8.29 m | 7.37 m | -9.68 m | 834 s | 11.72 m | 11.33 m |
| | | 65 s | 10.09 m | 8.31 m | 8.28 m | 7.37 m | -9.81 m | 842 s | 11.72 m | 11.39 m |
| | | 70 s | 10.13 m | 8.30 m | 8.15 m | 7.37 m | -9.91 m | 844 s | 11.72 m | 11.452 m |
| | | 75 s | 10.20 m | 8.24 m | 7.92 m | 7.37 m | -10.08 m | 845 s | 11.72 m | 11.450 m |
| | | 80 s | 10.52 m | 8.07 m | 8.03 m | 7.37 m | -10.25 m | 846 s | 11.72 m | 11.33 m |
| | | 85 s | 10.95 m | 7.81 m | 8.05 m | 7.37 m | -10.39 m | 846.7 s | 11.72 m | 11.20 m |
| | | 90 s | 11.53 m | 7.54 m | 7.95 m | 7.37 m | -10.53 m | 847.4 s | 11.72 m | 10.96 m |
| | | 95 s | 12.06 m | 7.54 m | 7.70 m | 7.37 m | -10.66 m | 847.0 s | 11.72 m | 10.74 m |
| | | 100 s | 12.36 m | 7.79 m | 7.70 m | 7.37 m | -10.76 m | 846 s | 11.72 m | 10.51 m |
| | | 105 s | 12.53 m | 8.11 m | 7.70 m | 7.37 m | -10.84 m | 844 s | 11.72 m | 10.28 m |
| | | 110 s | 12.56 m | 8.29 m | 7.71 m | 7.37 m | -10.89 m | 841 s | 11.72 m | 10.15 m |
| | | 115 s | 12.44 m | 8.35 m | 7.92 m | 7.37 m | -10.98 m | 829 s | 11.72 m | 10.15 m |
| 120 s | 12.22 m | 8.32 m | 7.98 m | 7.37 m | -11.01 m | 836 s | 11.72 m | 10.15 m | | |
| 125 s | 11.91 m | 8.25 m | 7.97 m | 7.37 m | -11.044 m | 836 s | 11.72 m | 10.15 m | | |
| 130 s | 11.52 m | 8.14 m | 7.78 m | 7.37 m | -11.040 m | 833 s | 11.72 m | 10.15 m | | |
| 135 s | 11.04 m | 7.98 m | 7.70 m | 7.37 m | -11.043 m | 828 s | 11.72 m | 10.15 m | | |
| 136 s | 10.93 m | 7.95 m | 7.70 m | 7.37 m | -11.042 m | 827 s | 11.72 m | 10.15 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑬のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_p)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(16/18) ケース⑰ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(4/6)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑰ ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ10km) ・アスベリティ位置:de北へ10km ・断層面上縁深さ:0km | 23 s ~ 134 s | 23 s | 9.85 m | 8.11 m | 7.63 m | 8.93 m | -10.60 m | 529 s | 13.32 m | 11.88 m |
| | | 25 s | 9.84 m | 8.08 m | 7.73 m | 8.84 m | -10.64 m | 597 s | 13.30 m | 11.97 m |
| | | 30 s | 10.21 m | 8.00 m | 7.91 m | 8.66 m | -10.73 m | 603 s | 13.28 m | 12.13 m |
| | | 35 s | 10.54 m | 7.88 m | 7.97 m | 8.58 m | -10.79 m | 609 s | 13.14 m | 12.18 m |
| | | 40 s | 10.79 m | 7.74 m | 7.93 m | 8.50 m | -10.84 m | 612 s | 13.04 m | 12.16 m |
| | | 45 s | 10.99 m | 7.66 m | 7.84 m | 8.41 m | -10.88 m | 615 s | 12.92 m | 12.08 m |
| | | 50 s | 11.08 m | 7.65 m | 7.74 m | 8.30 m | -10.89 m | 618 s | 12.78 m | 11.97 m |
| | | 55 s | 11.06 m | 7.67 m | 7.65 m | 8.20 m | -10.92 m | 621 s | 12.62 m | 11.87 m |
| | | 60 s | 10.90 m | 7.70 m | 7.69 m | 8.18 m | -10.95 m | 624 s | 12.30 m | 11.78 m |
| | | 65 s | 10.62 m | 7.72 m | 7.74 m | 8.16 m | -10.99 m | 628 s | 12.10 m | 11.65 m |
| | | 70 s | 10.27 m | 7.75 m | 7.74 m | 8.15 m | -11.03 m | 634 s | 11.86 m | 11.41 m |
| | | 75 s | 9.84 m | 7.76 m | 7.70 m | 8.12 m | -11.11 m | 639 s | 11.64 m | 11.07 m |
| | | 80 s | 9.37 m | 7.79 m | 7.66 m | 8.14 m | -11.19 m | 643 s | 11.40 m | 10.74 m |
| | | 85 s | 9.20 m | 7.79 m | 7.59 m | 8.16 m | -11.29 m | 648 s | 11.13 m | 10.47 m |
| | | 90 s | 9.46 m | 7.72 m | 7.54 m | 8.15 m | -11.36 m | 652 s | 10.83 m | 10.34 m |
| | | 95 s | 9.60 m | 7.66 m | 7.54 m | 8.08 m | -11.43 m | 654 s | 10.69 m | 10.46 m |
| | | 100 s | 9.64 m | 7.59 m | 7.53 m | 8.03 m | -11.46 m | 653 s | 10.35 m | 10.94 m |
| | | 105 s | 9.78 m | 7.69 m | 7.54 m | 7.98 m | -11.50 m | 653 s | 10.26 m | 11.58 m |
| 110 s | 10.17 m | 7.75 m | 7.48 m | 7.92 m | -11.54 m | 652 s | 10.26 m | 11.92 m | | |
| 115 s | 10.60 m | 7.79 m | 7.46 m | 7.84 m | -11.57 m | 651 s | 10.26 m | 12.04 m | | |
| 120 s | 10.88 m | 7.71 m | 7.44 m | 7.76 m | -11.63 m | 650 s | 10.26 m | 11.97 m | | |
| 125 s | 11.31 m | 7.65 m | 7.46 m | 7.63 m | -11.68 m | 648 s | 10.26 m | 11.75 m | | |
| 130 s | 11.37 m | 7.56 m | 7.47 m | 7.60 m | -11.71 m | 647 s | 10.26 m | 11.42 m | | |
| 134 s | 11.30 m | 7.45 m | 7.44 m | 7.59 m | -11.72 m | 646 s | 10.26 m | 11.10 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑰のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(17/18) ケース⑱ 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(5/6)

一部修正(R4/9/16審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|---------|-----------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケース⑱ ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ15km) ・アスペリティ位置:de ・断層面上縁深さ:3km | 22 s ~ 133 s | 22 s | 10.78 m | 7.15 m | 6.87 m | 7.11 m | -12.26 m | 830 s | 9.81 m | 9.21 m |
| | | 25 s | 10.72 m | 7.30 m | 6.87 m | 7.08 m | -12.26 m | 827 s | 9.81 m | 9.38 m |
| | | 30 s | 10.47 m | 7.53 m | 6.87 m | 7.03 m | -12.27 m | 820 s | 9.81 m | 9.70 m |
| | | 31 s | 10.41 m | 7.58 m | 6.88 m | 7.03 m | -12.27 m | 818 s | 9.81 m | 9.81 m |
| | | 35 s | 10.07 m | 7.73 m | 6.94 m | 7.03 m | -12.27 m | 811 s | 9.81 m | 9.99 m |
| | | 40 s | 9.56 m | 7.88 m | 7.02 m | 7.03 m | -12.30 m | 803 s | 9.81 m | 10.28 m |
| | | 45 s | 9.18 m | 8.02 m | 7.20 m | 7.03 m | -12.28 m | 794 s | 9.81 m | 10.66 m |
| | | 50 s | 9.28 m | 8.38 m | 7.43 m | 7.03 m | -12.25 m | 784 s | 9.81 m | 10.97 m |
| | | 55 s | 9.27 m | 8.63 m | 7.55 m | 7.03 m | -12.26 m | 774 s | 9.81 m | 11.25 m |
| | | 60 s | 9.51 m | 8.82 m | 7.48 m | 7.03 m | -12.25 m | 765 s | 9.81 m | 11.49 m |
| | | 65 s | 9.94 m | 9.00 m | 7.48 m | 7.03 m | -12.24 m | 756 s | 9.81 m | 11.75 m |
| | | 70 s | 10.36 m | 9.07 m | 7.53 m | 7.03 m | -12.25 m | 820 s | 9.81 m | 11.89 m |
| | | 75 s | 10.86 m | 9.02 m | 7.76 m | 7.05 m | -12.23 m | 819 s | 9.81 m | 12.05 m |
| | | 80 s | 11.32 m | 8.95 m | 8.88 m | 7.09 m | -12.22 m | 816 s | 9.81 m | 12.16 m |
| | | 85 s | 11.69 m | 8.83 m | 9.74 m | 7.14 m | -12.21 m | 862 s | 9.81 m | 12.15 m |
| | | 90 s | 11.89 m | 9.27 m | 10.13 m | 7.19 m | -12.19 m | 863 s | 9.81 m | 12.26 m |
| | | 95 s | 11.90 m | 9.81 m | 10.19 m | 7.25 m | -12.06 m | 857 s | 9.81 m | 12.39 m |
| | | 100 s | 11.75 m | 10.35 m | 9.86 m | 7.29 m | -12.01 m | 854 s | 9.81 m | 12.51 m |
| | | 105 s | 11.50 m | 10.95 m | 9.47 m | 7.35 m | -12.01 m | 851 s | 9.81 m | 12.63 m |
| | | 110 s | 12.45 m | 11.29 m | 9.77 m | 7.44 m | -12.01 m | 848 s | 9.81 m | 12.80 m |
| 112 s | 12.74 m | 11.37 m | 9.86 m | 7.47 m | -12.01 m | 846 s | 9.81 m | 12.87 m | | |
| 115 s | 13.02 m | 11.46 m | 9.96 m | 7.54 m | -12.02 m | 844 s | 9.81 m | 12.88 m | | |
| 120 s | 13.04 m | 11.52 m | 10.18 m | 7.64 m | -12.02 m | 841 s | 9.81 m | 12.99 m | | |
| 125 s | 12.70 m | 11.46 m | 10.42 m | 7.77 m | -12.01 m | 837 s | 10.09 m | 13.04 m | | |
| 130 s | 12.18 m | 11.32 m | 10.6808 m | 8.69 m | -11.99 m | 833 s | 10.52 m | 13.00 m | | |
| 131 s | 12.07 m | 11.29 m | 10.6809 m | 8.89 m | -11.89 m | 832 s | 10.60 m | 12.98 m | | |
| 133 s | 11.85 m | 11.20 m | 10.66 m | 9.25 m | -11.70 m | 831 s | 10.74 m | 13.01 m | | |

※黄ハッチング: ケース⑱のうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

組合せ評価結果(18/18) ケースIII 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(6/6)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ケースIII ・断層パターン:7 ・波源位置:くの字モデル(東へ20km) ・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層面上縁深さ:2km | 23 s ~ 136 s | 25 s | 9.31 m | 7.33 m | 6.97 m | 7.60 m | -11.92 m | 833 s | 9.82 m | 10.63 m |
| | | 30 s | 9.14 m | 6.90 m | 6.85 m | 7.29 m | -11.97 m | 833 s | 9.65 m | 10.31 m |
| | | 35 s | 8.97 m | 6.87 m | 6.82 m | 6.83 m | -12.04 m | 834 s | 9.57 m | 10.08 m |
| | | 40 s | 8.79 m | 6.81 m | 6.75 m | 6.78 m | -12.09 m | 835 s | 9.31 m | 9.87 m |
| | | 45 s | 9.18 m | 6.75 m | 6.71 m | 6.73 m | -12.13 m | 835.9 s | 8.92 m | 9.58 m |
| | | 50 s | 9.55 m | 6.71 m | 6.71 m | 6.70 m | -12.14 m | 836.4 s | 8.51 m | 9.27 m |
| | | 55 s | 9.93 m | 6.70 m | 6.74 m | 6.68 m | -12.150 m | 836.1 s | 8.43 m | 8.96 m |
| | | 60 s | 10.22 m | 6.75 m | 6.76 m | 6.65 m | -12.1526 m | 835 s | 8.40 m | 8.40 m |
| | | 65 s | 10.28 m | 6.77 m | 6.76 m | 6.62 m | -12.1525 m | 834 s | 8.41 m | 7.86 m |
| | | 70 s | 10.16 m | 6.76 m | 6.77 m | 6.61 m | -12.148 m | 832 s | 8.60 m | 7.78 m |
| | | 75 s | 9.90 m | 7.02 m | 6.77 m | 6.60 m | -12.14 m | 830 s | 8.99 m | 7.89 m |
| | | 80 s | 9.52 m | 7.38 m | 6.78 m | 6.68 m | -12.14 m | 827 s | 9.36 m | 8.04 m |
| | | 85 s | 9.04 m | 7.72 m | 6.82 m | 6.78 m | -12.13 m | 822 s | 9.55 m | 8.25 m |
| | | 90 s | 8.52 m | 8.03 m | 6.96 m | 6.70 m | -12.13 m | 817 s | 9.59 m | 8.50 m |
| | | 95 s | 8.62 m | 8.21 m | 7.08 m | 6.53 m | -12.12 m | 810 s | 9.62 m | 8.80 m |
| | | 100 s | 8.77 m | 8.24 m | 7.11 m | 6.55 m | -12.12 m | 803 s | 9.64 m | 9.13 m |
| | | 105 s | 8.70 m | 8.19 m | 7.14 m | 6.59 m | -12.10 m | 794 s | 9.64 m | 9.31 m |
| | | 110 s | 8.86 m | 8.08 m | 7.24 m | 6.66 m | -12.09 m | 785 s | 9.71 m | 9.52 m |
| 115 s | 8.86 m | 7.99 m | 7.20 m | 6.69 m | -12.09 m | 831 s | 9.65 m | 9.80 m | | |
| 120 s | 9.50 m | 8.05 m | 7.11 m | 6.74 m | -12.08 m | 827 s | 9.70 m | 9.98 m | | |
| 125 s | 10.15 m | 8.10 m | 7.55 m | 6.77 m | -12.06 m | 823 s | 9.76 m | 10.17 m | | |
| 130 s | 10.73 m | 8.15 m | 8.74 m | 6.81 m | -12.05 m | 816 s | 9.83 m | 10.36 m | | |
| 135 s | 11.21 m | 8.92 m | 9.62 m | 6.86 m | -12.02 m | 833 s | 9.93 m | 10.62 m | | |

※黄ハッチング: ケースIIIのうち評価項目・影響確認地点の最大値である。
 朱書き: 線形足し合わせによる組合せ時間差に基づく実施ケース (T_{max})。
 青書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲に基づく実施ケース (T_n)。
 緑書き: 組合せ時間差のパラメータスタディ範囲(拡大)に基づく実施ケース (T_n)。

(1) 地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価

「5.3 水位が高い波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価」の最大ケース

○「5.3 水位が高い波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の最大ケースの組合せ評価」の最大ケースは、以下のとおりである。

| 評価項目・影響確認地点 | 健全地形モデル | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | |
|--------------------------|----------------|---|-------------------|---|-------------------|---|-------------------|---|
| | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 |
| 防潮堤前面 (上昇側) | 13.44m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース①】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:115s | 14.11m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑧】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:115s | 13.55m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑩】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:115s | 13.48m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑯】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:4km 組合せの時間差:110s |
| 3号炉 取水口 (上昇側) | 9.51m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース③】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:110s | 11.82m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑧】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:110s | 10.93m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑫】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:115s | 11.52m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑱】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:3km 組合せの時間差:120s |
| 1,2号炉 取水口 (上昇側) | 8.74m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース④】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:23s | 11.84m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑧】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:115s | 11.57m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑩】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:45s | 10.68m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑱】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:3km 組合せの時間差:131s |
| 放水口 (上昇側) | 10.28m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース①】 断層パターン:7 波源位置:くの字モデル(基準) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:5km 組合せ時間差:30s | 9.97m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑧】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:133s | 9.94m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑫】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:133s | 9.25m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑱】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:3km 組合せの時間差:133s |
| 3号炉 取水口 (下降側) | 9.94m (参考値) | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース③】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:100s | 12.36m (参考値) | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑧】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:40s | 11.29m (参考値) | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑫】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:94s | 12.30m (参考値) | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑱】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:3km 組合せの時間差:40s |
| 「貯留堰を 下回る時間」 | 715s | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース①】 断層パターン:7 波源位置:くの字モデル(基準) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:5km 組合せ時間差:150s | 677s | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑥】 断層パターン:5 波源位置:くの字モデル(西へ55km) アスペリティ位置:de南へ10km 断層面上縁深さ:1km 組合せの時間差:172s | 728s | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑫】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:133s | 863s | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑱】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:3km 組合せの時間差:90s |
| 茶津入構 トンネル (上昇側) | 13.64m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース②】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de北へ10km 断層面上縁深さ:0km 組合せの時間差:23s | 13.02m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑦】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de北へ10km 断層面上縁深さ:0km 組合せの時間差:23s | 13.90m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑪】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de北へ10km 断層面上縁深さ:0km 組合せの時間差:30s | 13.32m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑯】 断層パターン:6 波源位置:くの字モデル(東へ10km) アスペリティ位置:de北へ10km 断層面上縁深さ:0km 組合せの時間差:23s |
| アクセスルート トンネル (上昇側) | 13.74m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース①】 断層パターン:7 波源位置:くの字モデル(基準) アスペリティ位置:de南へ20km 断層面上縁深さ:5km 組合せ時間差:60s | 13.20m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑧】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:133s | 13.04m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑫】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:5km 組合せの時間差:133s | 13.04m | <ul style="list-style-type: none"> 【ケース⑱】 断層パターン:7 波源位置:矩形モデル(東へ15km) アスペリティ位置:de 断層面上縁深さ:3km 組合せの時間差:120s |

余白

5.3 水位が高い波源の組合せ評価

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果 (1/8) 健全地形モデル

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差※1 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|----------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 23 s ~ 135 s | 100 s | 12.33 m | 7.79 m | 7.95 m | 7.51 m | -9.16 m | 656.3 s | 11.84 m | 10.82 m |
| | | 105 s | 11.80 m | 7.93 m | 7.91 m | 7.46 m | -9.18 m | 655.7 s | 11.84 m | 10.59 m |
| | | 110 s | 11.31 m | 7.96 m | 8.33 m | 7.46 m | -9.19 m | 655 s | 11.84 m | 10.45 m |
| | | 115 s | 10.90 m | 7.88 m | 8.64 m | 7.46 m | -9.20 m | 653 s | 11.84 m | 10.45 m |
| | | 120 s | 10.39 m | 8.18 m | 8.71 m | 7.46 m | -9.22 m | 652 s | 11.84 m | 10.45 m |
| | | 125 s | 9.86 m | 8.57 m | 8.81 m | 7.46 m | -9.20 m | 648 s | 11.84 m | 10.45 m |
| | | 130 s | 10.28 m | 8.86 m | 8.98 m | 7.46 m | -9.17 m | 646 s | 12.17 m | 10.71 m |
| | | 135 s | 10.65 m | 9.09 m | 9.34 m | 7.49 m | -9.16 m | 643 s | 12.60 m | 11.32 m |

※1:組合せ時間差は、陸上地すべり(川白)の第1波のピークと地震に伴う津波の第2波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2:黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.3 水位が高い波源の組合せ評価

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果 (2/8) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差※1 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|----------|---------|---------|-----------|----------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ5km) ・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層面上縁深さ: 5km | 23 s ~ 135 s | 100 s | 12.69 m | 8.13 m | 7.60 m | 7.4740 m | -11.41 m | 645 s | 11.57 m | 10.88 m |
| | | 105 s | 12.21 m | 7.97 m | 7.49 m | 7.4740 m | -11.46 m | 647 s | 11.57 m | 10.58 m |
| | | 110 s | 11.70 m | 7.78 m | 7.44 m | 7.4739 m | -11.51 m | 645 s | 11.57 m | 10.25 m |
| | | 115 s | 11.17 m | 7.59 m | 7.44 m | 7.4739 m | -11.54 m | 643 s | 11.57 m | 10.25 m |
| | | 120 s | 10.54 m | 7.90 m | 7.44 m | 7.4739 m | -11.59 m | 639 s | 11.57 m | 10.25 m |
| | | 125 s | 10.11 m | 8.74 m | 7.92 m | 7.4739 m | -11.62 m | 635 s | 11.57 m | 10.26 m |
| | | 130 s | 10.43 m | 9.63 m | 8.48 m | 7.4739 m | -11.60 m | 629 s | 11.59 m | 10.55 m |
| | | 135 s | 10.97 m | 10.26 m | 9.01 m | 7.4739 m | -11.61 m | 624 s | 12.06 m | 11.00 m |

※1: 組合せ時間差は、陸上地すべり (川白) の第1波のピークと地震に伴う津波の第2波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2: 黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果 (3/8) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差※1 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|----------|---------|--------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ5km) ・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層面上縁深さ: 5km | 23 s ~ 135 s | 100 s | 12.48 m | 8.02 m | 8.68 m | 7.47 m | -10.45 m | 630 s | 11.82 m | 10.93 m |
| | | 105 s | 11.88 m | 8.12 m | 8.82 m | 7.45 m | -10.48 m | 634 s | 11.82 m | 10.69 m |
| | | 110 s | 11.34 m | 8.19 m | 9.09 m | 7.45 m | -10.51 m | 643 s | 11.82 m | 10.45 m |
| | | 115 s | 10.89 m | 8.28 m | 9.40 m | 7.45 m | -10.51 m | 644.6 s | 11.82 m | 10.44 m |
| | | 120 s | 10.43 m | 8.61 m | 9.74 m | 7.45 m | -10.51 m | 645.3 s | 11.82 m | 10.44 m |
| | | 125 s | 11.05 m | 9.05 m | 10.14 m | 7.45 m | -10.57 m | 644.8 s | 11.82 m | 10.44 m |
| | | 130 s | 11.77 m | 9.40 m | 10.59 m | 7.45 m | -10.56 m | 646 s | 12.04 m | 10.70 m |
| | | 135 s | 12.39 m | 9.55 m | 11.05 m | 7.45 m | -10.59 m | 642 s | 12.48 m | 11.34 m |

※1: 組合せ時間差は、陸上地すべり (川白) の第1波のピークと地震に伴う津波の第2波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2: 黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果 (4/8) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差※1 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|--|---------------------------------|----------|---------|---------|-----------|-----------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ5km) ・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層面上縁深さ: 4km | 23 s ~ 135 s | 100 s | 12.62 m | 7.99 m | 7.70 m | 7.41731 m | -11.47 m | 677 s | 11.60 m | 10.73 m |
| | | 105 s | 12.09 m | 7.90 m | 7.70 m | 7.41731 m | -11.50 m | 676 s | 11.60 m | 10.43 m |
| | | 110 s | 11.56 m | 7.75 m | 7.70 m | 7.41731 m | -11.52 m | 675 s | 11.60 m | 10.33 m |
| | | 115 s | 11.02 m | 7.56 m | 7.70 m | 7.41731 m | -11.53 m | 672 s | 11.60 m | 10.33 m |
| | | 120 s | 10.37 m | 7.93 m | 7.70 m | 7.41731 m | -11.53 m | 668 s | 11.60 m | 10.33 m |
| | | 125 s | 9.81 m | 8.91 m | 7.92 m | 7.41731 m | -11.56 m | 664 s | 11.60 m | 10.33 m |
| | | 130 s | 10.25 m | 9.84 m | 8.52 m | 7.41731 m | -11.73 m | 655 s | 11.60 m | 10.37 m |
| | | 135 s | 10.86 m | 10.51 m | 9.20 m | 7.41731 m | -11.75 m | 649 s | 11.91 m | 10.80 m |

※1: 組合せ時間差は、陸上地すべり (川白) の第1波のピークと地震に伴う津波の第2波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2: 黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果 (5/8) 健全地形モデル

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差※1 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|----------|----------|---------|-----------|----------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.28 m | 8.29 m | 8.60 m | 10.28 m | -7.79 m | 712 s | 18.28 m | 14.54 m |
| | | 35 s | 12.46 m | 8.07 m | 8.45 m | 10.36 m | -7.81 m | 709 s | 17.79 m | 14.65 m |
| | | 40 s | 12.64 m | 8.21 m | 8.30 m | 10.42 m | -7.85 m | 706 s | 18.03 m | 14.81 m |
| | | 45 s | 12.79 m | 8.30 m | 8.14 m | 10.447 m | -7.88 m | 705 s | 17.60 m | 14.94 m |
| | | 50 s | 12.92 m | 8.36 m | 8.04 m | 10.446 m | -7.91 m | 704 s | 17.44 m | 14.981 m |
| | | 55 s | 13.00 m | 8.38 m | 7.94 m | 10.42 m | -7.92 m | 702 s | 17.18 m | 14.978 m |
| | | 60 s | 13.047 m | 8.33 m | 7.87 m | 10.37 m | -7.94 m | 701 s | 16.71 m | 14.91 m |
| | | 65 s | 13.049 m | 8.23 m | 7.85 m | 10.42 m | -7.95 m | 694 s | 16.41 m | 14.74 m |
| | | 70 s | 13.00 m | 8.21 m | 7.87 m | 10.450 m | -7.94 m | 686 s | 16.06 m | 14.52 m |
| | | 75 s | 12.86 m | 8.22 m | 7.87 m | 10.39 m | -7.92 m | 675 s | 15.65 m | 14.28 m |
| 80 s | 12.59 m | 8.22 m | 7.88 m | 10.21 m | -7.90 m | 690 s | 15.28 m | 14.09 m | | |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ20km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 31 s ~ 156 s | 35 s | 10.27 m | 8.68 m | 8.14 m | 8.78 m | -7.23 m | 511 s | 15.89 m | 13.61 m |
| | | 40 s | 10.37 m | 8.80 m | 8.25 m | 8.92 m | -7.28 m | 721.3 s | 16.23 m | 13.81 m |
| | | 45 s | 10.52 m | 8.88 m | 8.33 m | 9.07 m | -7.36 m | 721.2 s | 16.54 m | 13.95 m |
| | | 50 s | 10.75 m | 8.93 m | 8.39 m | 9.22 m | -7.39 m | 717 s | 16.81 m | 14.06 m |
| | | 55 s | 10.87 m | 8.95 m | 8.45 m | 9.36 m | -7.42 m | 700 s | 17.05 m | 14.11 m |
| | | 60 s | 11.01 m | 8.90 m | 8.46 m | 9.51 m | -7.50 m | 697 s | 17.39 m | 14.13 m |
| | | 65 s | 11.21 m | 8.85 m | 8.51 m | 9.65 m | -7.65 m | 698 s | 17.61 m | 14.22 m |
| | | 70 s | 11.33 m | 8.76 m | 8.56 m | 9.79 m | -7.69 m | 696 s | 17.77 m | 14.31 m |
| | | 75 s | 11.50 m | 8.61 m | 8.57 m | 9.93 m | -7.71856 m | 695 s | 17.85 m | 14.40 m |
| | | 80 s | 11.69 m | 8.43 m | 8.50 m | 10.05 m | -7.71856 m | 695 s | 17.86 m | 14.46 m |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ25km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 33 s ~ 159 s | 35 s | 9.85 m | 7.59 m | 7.32 m | 8.49 m | -6.98 m | 480 s | 14.16 m | 11.99 m |
| | | 40 s | 10.01 m | 7.80 m | 7.43 m | 8.53 m | -6.99 m | 493 s | 14.50 m | 12.22 m |
| | | 45 s | 10.09 m | 7.98 m | 7.54 m | 8.57 m | -7.03 m | 502 s | 15.02 m | 12.48 m |
| | | 50 s | 10.16 m | 8.14 m | 7.70 m | 8.62 m | -7.11 m | 506 s | 15.27 m | 12.77 m |
| | | 55 s | 10.20 m | 8.27 m | 7.85 m | 8.66 m | -7.13 m | 507 s | 15.35 m | 13.11 m |
| | | 60 s | 10.23 m | 8.39 m | 7.94 m | 8.70 m | -7.18 m | 508 s | 15.69 m | 13.39 m |
| | | 65 s | 10.29 m | 8.54 m | 8.09 m | 8.84 m | -7.22 m | 718 s | 16.19 m | 13.62 m |
| | | 70 s | 10.40 m | 8.67 m | 8.20 m | 8.99 m | -7.27 m | 701 s | 16.37 m | 13.83 m |
| | | 75 s | 10.58 m | 8.74 m | 8.29 m | 9.15 m | -7.33 m | 699 s | 16.65 m | 13.96 m |
| | | 80 s | 10.79 m | 8.79 m | 8.35 m | 9.29 m | -7.36 m | 697 s | 16.93 m | 14.07 m |

※1: 組合せ時間差は、陸上地すべり(川白)の第1波のピークと地震に伴う津波の第1波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2: 黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果 (6/8) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差※1 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|----------|---------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.60 m | 10.99 m | 10.13 m | 9.46 m | -9.78 m | 681 s | 17.554 m | 14.41 m |
| | | 35 s | 11.79 m | 11.02 m | 10.18 m | 9.59 m | -9.79 m | 681 s | 17.51 m | 14.52 m |
| | | 40 s | 11.98 m | 11.01 m | 10.22 m | 9.70 m | -9.88 m | 681 s | 17.45 m | 14.65 m |
| | | 45 s | 12.16 m | 10.99 m | 10.23 m | 9.76 m | -9.84 m | 681 s | 17.36 m | 14.78 m |
| | | 50 s | 12.33 m | 10.93 m | 10.20 m | 9.80 m | -9.86 m | 680 s | 17.18 m | 14.831 m |
| | | 55 s | 12.46 m | 10.83 m | 10.13 m | 9.80 m | -9.87 m | 679 s | 16.78 m | 14.832 m |
| | | 60 s | 12.56 m | 10.69 m | 10.02 m | 9.79 m | -9.89 m | 676 s | 16.57 m | 14.78 m |
| | | 65 s | 12.60 m | 10.49 m | 9.87 m | 9.80 m | -9.88 m | 676 s | 16.25 m | 14.68 m |
| | | 70 s | 12.59 m | 10.25 m | 9.74 m | 9.874 m | -9.88 m | 679 s | 15.89 m | 14.53 m |
| | | 75 s | 12.48 m | 9.95 m | 9.63 m | 9.869 m | -9.87 m | 681 s | 15.55 m | 14.35 m |
| 80 s | 12.25 m | 9.67 m | 9.47 m | 9.74 m | -9.86 m | 682 s | 15.25 m | 14.12 m | | |

※1:組合せ時間差は、陸上地すべり(川白)の第1波のピークと地震に伴う津波の第1波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2:黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果(7/8) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 ^{※1} | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|----------------------|---------|---------|-----------|-----------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.26 m | 9.37 m | 9.71 m | 10.26 m | -9.36 m | 719.1 s | 17.83 m | 14.53 m |
| | | 35 s | 12.45 m | 9.14 m | 9.56 m | 10.35 m | -9.39 m | 718.8 s | 18.08 m | 14.66 m |
| | | 40 s | 12.62 m | 9.16 m | 9.41 m | 10.40 m | -9.42 m | 718 s | 17.70 m | 14.80 m |
| | | 45 s | 12.77 m | 9.17 m | 9.32 m | 10.4297 m | -9.45 m | 716 s | 17.58 m | 14.92 m |
| | | 50 s | 12.89 m | 9.14 m | 9.26 m | 10.4280 m | -9.48 m | 715 s | 17.42 m | 14.9725 m |
| | | 55 s | 12.98 m | 9.05 m | 9.34 m | 10.40 m | -9.49 m | 714 s | 17.15 m | 14.9717 m |
| | | 60 s | 13.03 m | 8.94 m | 9.59 m | 10.35 m | -9.49 m | 713 s | 16.69 m | 14.90 m |
| | | 65 s | 13.02 m | 9.00 m | 9.77 m | 10.40 m | -9.51 m | 712 s | 16.37 m | 14.72 m |
| | | 70 s | 12.98 m | 9.06 m | 9.91 m | 10.4301 m | -9.51 m | 711 s | 16.03 m | 14.51 m |
| | | 75 s | 12.83 m | 9.13 m | 10.02 m | 10.37 m | -9.530 m | 709 s | 15.62 m | 14.27 m |
| 80 s | 12.55 m | 9.24 m | 10.12 m | 10.19 m | -9.526 m | 708 s | 15.25 m | 14.08 m | | |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ15km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km | 30 s ~ 152 s | 30 s | 11.01 m | 10.33 m | 10.21 m | 9.45 m | -8.88 m | 705 s | 17.29 m | 14.13 m |
| | | 35 s | 11.21 m | 10.24 m | 10.15 m | 9.60 m | -9.04 m | 707 s | 17.56 m | 14.21 m |
| | | 40 s | 11.33 m | 10.09 m | 10.04 m | 9.75 m | -9.12 m | 709 s | 17.74 m | 14.30 m |
| | | 45 s | 11.51 m | 9.86 m | 9.93 m | 9.89 m | -9.07 m | 713 s | 17.83 m | 14.38 m |
| | | 50 s | 11.72 m | 9.67 m | 9.82 m | 10.02 m | -9.11 m | 716 s | 17.85 m | 14.43 m |
| | | 55 s | 11.91 m | 9.41 m | 9.66 m | 10.14 m | -9.14 m | 718.5 s | 17.83 m | 14.47 m |
| | | 60 s | 12.08 m | 9.15 m | 9.49 m | 10.23 m | -9.16 m | 717.9 s | 18.06 m | 14.53 m |
| | | 65 s | 12.25 m | 8.93 m | 9.32 m | 10.29 m | -9.20 m | 717 s | 17.72 m | 14.62 m |
| | | 70 s | 12.39 m | 8.98 m | 9.18 m | 10.33 m | -9.26 m | 716 s | 17.60 m | 14.74 m |
| | | 75 s | 12.52 m | 8.97 m | 9.09 m | 10.34 m | -9.29 m | 715 s | 17.46 m | 14.83 m |
| 80 s | 12.61 m | 8.92 m | 9.01 m | 10.31 m | -9.30 m | 713 s | 17.23 m | 14.84 m | | |

※1:組合せ時間差は、陸上地すべり(川白)の第1波のピークと地震に伴う津波の第1波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2:黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

組合せ評価結果 (8/8) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③

一部修正 (R5/3/24審査会合)

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差※1 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|----------|---------|----------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.61 m | 11.10 m | 10.38 m | 9.48 m | -9.84 m | 711 s | 17.54 m | 14.38 m |
| | | 35 s | 11.81 m | 11.12 m | 10.35 m | 9.63 m | -9.91 m | 713 s | 17.50 m | 14.51 m |
| | | 40 s | 12.00 m | 11.13 m | 10.28 m | 9.75 m | -9.95 m | 714 s | 17.44 m | 14.65 m |
| | | 45 s | 12.18 m | 11.11 m | 10.26 m | 9.84 m | -10.01 m | 715 s | 17.30 m | 14.78 m |
| | | 50 s | 12.35 m | 11.04 m | 10.22 m | 9.88 m | -10.02 m | 715.8 s | 17.15 m | 14.85 m |
| | | 55 s | 12.48 m | 10.92 m | 10.13 m | 9.88 m | -10.03 m | 715.6 s | 16.76 m | 14.87 m |
| | | 60 s | 12.57 m | 10.76 m | 9.99 m | 9.87 m | -10.07 m | 715 s | 16.56 m | 14.81 m |
| | | 65 s | 12.61 m | 10.54 m | 9.88 m | 9.84 m | -10.07 m | 713 s | 16.17 m | 14.73 m |
| | | 70 s | 12.58 m | 10.29 m | 9.83 m | 9.923 m | -10.082 m | 711 s | 15.86 m | 14.58 m |
| | | 75 s | 12.45 m | 10.06 m | 9.69 m | 9.919 m | -10.07 m | 707 s | 15.51 m | 14.38 m |
| 80 s | 12.20 m | 9.81 m | 9.37 m | 9.78 m | -10.078 m | 706 s | 15.21 m | 14.13 m | | |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ15km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km | 30 s ~ 152 s | 30 s | 11.02 m | 10.72 m | 9.85 m | 8.41 m | -9.61 m | 689 s | 16.37 m | 14.06 m |
| | | 35 s | 11.13 m | 10.80 m | 9.95 m | 8.59 m | -9.60 m | 742 s | 16.58 m | 14.11 m |
| | | 40 s | 11.24 m | 10.88 m | 10.06 m | 8.77 m | -9.57 m | 741 s | 16.79 m | 14.17 m |
| | | 45 s | 11.35 m | 10.94 m | 10.16 m | 8.95 m | -9.55 m | 741 s | 17.19 m | 14.21 m |
| | | 50 s | 11.44 m | 11.00 m | 10.23 m | 9.13 m | -9.51 m | 711 s | 17.38 m | 14.25 m |
| | | 55 s | 11.51 m | 11.04 m | 10.26 m | 9.29 m | -9.46 m | 714 s | 17.45 m | 14.28 m |
| | | 60 s | 11.54 m | 11.058 m | 10.25 m | 9.45 m | -9.65 m | 715 s | 17.44 m | 14.36 m |
| | | 65 s | 11.62 m | 11.057 m | 10.22 m | 9.57 m | -9.69 m | 716 s | 17.38 m | 14.48 m |
| | | 70 s | 11.78 m | 11.04 m | 10.19 m | 9.67 m | -9.75 m | 715 s | 17.25 m | 14.59 m |
| | | 75 s | 11.92 m | 10.99 m | 10.15 m | 9.72 m | -9.84 m | 715 s | 17.12 m | 14.71 m |
| 80 s | 12.06 m | 10.90 m | 10.08 m | 9.74 m | -9.88 m | 715 s | 16.78 m | 14.75 m | | |

※1:組合せ時間差は、陸上地すべり(川白)の第1波のピークと地震に伴う津波の第1波のピークの重なる可能性の高い範囲として設定した。

※2:黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

(2) 地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価

「5.3 水位が高い波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価」の最大ケース

○「5.3 水位が高い波源の組合せ評価」のうち「地震に伴う津波の最大ケースの位相変動を考慮した波源の組合せ評価」の最大ケースは、以下のとおりである。

| 評価項目・影響確認地点 | 健全地形モデル | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | |
|--------------------------|----------------|---|-------------------|---|-------------------|---|-------------------|---|
| | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 |
| 防潮堤前面 (上昇側) | 13.05m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:65s | 12.69m | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:100s | 13.03m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:60s | 12.62m | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:100s |
| 3号炉 取水口 (上昇側) | 9.09m | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 11.02m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:35s | 10.33m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 11.13m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:40s |
| 1, 2号炉 取水口 (上昇側) | 9.34m | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 10.23m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:45s | 11.05m | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 10.38m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:30s |
| 放水口 (上昇側) | 10.45m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:70s | 9.87m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:70s | 10.43m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:70s | 9.92m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:70s |
| 3号炉 取水口 (下降側) | 9.22m (参考値) | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:120s | 11.62m (参考値) | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:125s | 10.59m (参考値) | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:135s | 11.75m (参考値) | ・断層パターン:6 ・波源位置:矩形モデル(東へ5km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:135s |
| 「貯留堰を 下回る時間」 | 721s | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ20km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:40s | 682s | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:80s | 719s | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 742s | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ15km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:35s |
| 茶津入構 トンネル (上昇側) | 18.28m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 17.55m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 18.08m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:35s | 17.54m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:30s |
| アクセスルート トンネル (上昇側) | 14.98m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:50s | 14.83m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:55s | 14.97m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:50s | 14.87m | ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:55s |

5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認

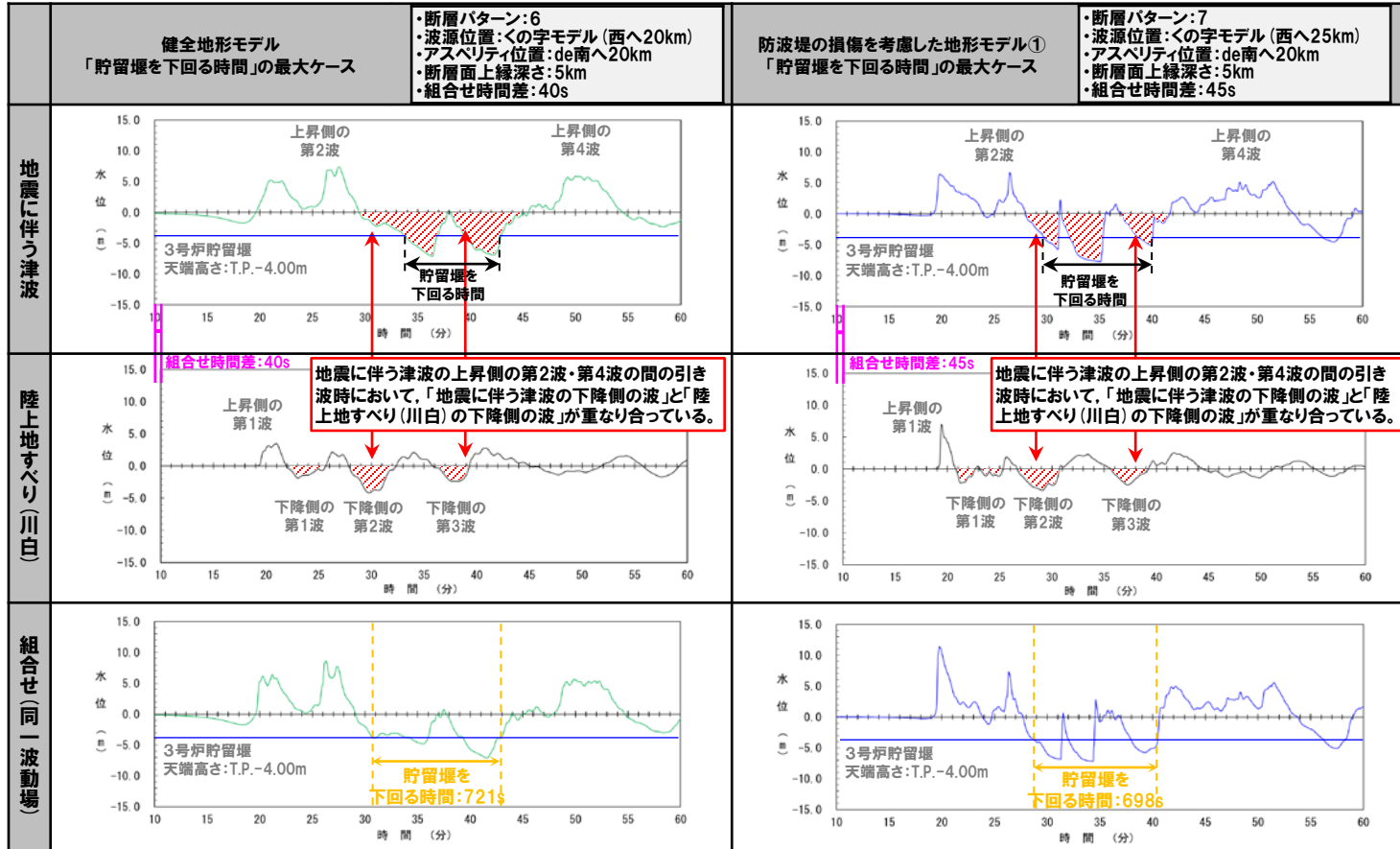
| | |
|--|------------|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2.1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2.2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2.3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3.1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3.2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4.1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4.2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4.3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4.4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5.1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5.3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7.1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7.2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認

「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 (健全地形モデル・防波堤の損傷を考慮した地形モデル①)

一部修正 (R5/12/8審査会合)

○検討対象波源①②を用いた組合せ評価の結果、地震に伴う津波の上昇側の第2波・第4波の間の引き波時(組合せ評価において水位時刻歴波形の着目する時間帯)において、「地震に伴う津波の下降側の波」と「陸上地すべり(川白)の下降側の波」が組合せ後の「貯留堰を下回る時間」に対する影響が大きくなるように重なり合い(下図参照)、組合せ前の時間より長くなっている。



※水位時刻歴波形は、3号炉取水口前面の代表点から抽出した。

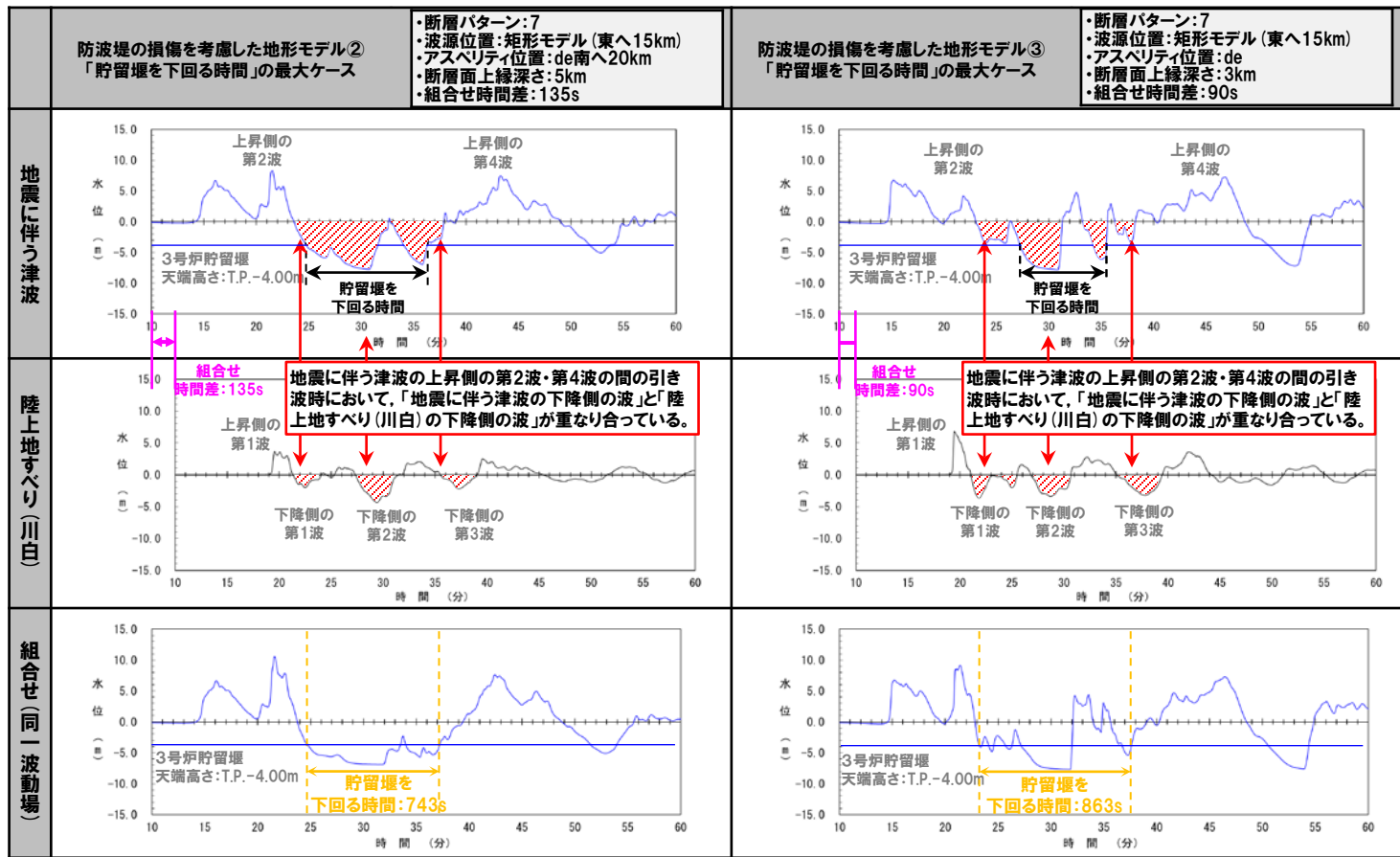
○以上から、水位下降側の評価方法(波源の選定方法)及び評価結果(選定した最大ケース)は妥当である。

5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認

「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 (防波堤の損傷を考慮した地形モデル②・③)

一部修正 (R5/12/8審査会合)

○検討対象波源①②を用いた組合せ評価の結果、地震に伴う津波の上昇側の第2波・第4波の間の引き波時(組合せ評価において水位時刻歴波形の着目する時間帯)において、「地震に伴う津波の下降側の波」と「陸上地すべり(川白)の下降側の波」が組合せ後の「貯留堰を下回る時間」に対する影響が大きくなるように重なり合い(下図参照)、組合せ前の時間より長くなっている。



※水位時刻歴波形は、3号炉取水口前面の代表点から抽出した。

○以上から、水位下降側の評価方法(波源の選定方法)及び評価結果(選定した最大ケース)は妥当である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

| | |
|--|-----|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2.1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2.2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2.3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3.1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3.2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4.1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4.2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4.3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4.4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5.1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5.3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7.1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7.2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(1/3) 健全地形モデル

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|----------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.14 m | 8.35 m | 8.57 m | 10.25 m | -7.88 m | 694.2 s | 17.93 m | 14.53 m |
| | | 35 s | 12.32 m | 8.10 m | 8.41 m | 10.34 m | -7.76 m | 693.9 s | 18.28 m | 14.59 m |
| | | 40 s | 12.48 m | 8.06 m | 8.27 m | 10.41 m | -7.79 m | 692 s | 17.80 m | 14.73 m |
| | | 45 s | 12.63 m | 8.17 m | 8.15 m | 10.445 m | -7.82 m | 690 s | 17.71 m | 14.84 m |
| | | 50 s | 12.75 m | 8.24 m | 8.01 m | 10.442 m | -7.84 m | 687 s | 17.55 m | 14.94 m |
| | | 55 s | 12.83 m | 8.27 m | 7.91 m | 10.41 m | -7.85 m | 685 s | 17.36 m | 14.95 m |
| | | 60 s | 12.88 m | 8.23 m | 7.84 m | 10.34 m | -7.85 m | 684 s | 16.88 m | 14.89 m |
| | | 65 s | 12.87 m | 8.13 m | 7.78 m | 10.25 m | -7.84 m | 680 s | 16.59 m | 14.76 m |
| | | 70 s | 12.82 m | 8.14 m | 7.77 m | 10.27 m | -7.82 m | 626 s | 16.16 m | 14.59 m |
| | | 75 s | 12.71 m | 8.16 m | 7.77 m | 10.27 m | -7.80 m | 626 s | 15.75 m | 14.36 m |
| | | 80 s | 12.49 m | 8.17 m | 7.76 m | 10.16 m | -7.75 m | 625 s | 15.46 m | 14.09 m |
| | | 85 s | 12.13 m | 8.15 m | 7.75 m | 9.91 m | -7.69 m | 625 s | 15.03 m | 13.65 m |
| | | 90 s | 11.61 m | 8.13 m | 7.71 m | 9.68 m | -7.80 m | 627 s | 14.55 m | 13.32 m |
| | | 95 s | 11.12 m | 8.11 m | 7.74 m | 9.60 m | -7.72 m | 630 s | 13.96 m | 12.94 m |
| | | 100 s | 10.61 m | 8.09 m | 7.80 m | 9.56 m | -7.69 m | 632 s | 13.28 m | 12.43 m |
| | | 105 s | 10.26 m | 8.05 m | 7.86 m | 9.72 m | -7.81 m | 649 s | 12.54 m | 11.77 m |
| | | 110 s | 9.79 m | 7.97 m | 7.86 m | 9.76 m | -7.84 m | 658 s | 11.72 m | 11.21 m |
| | | 115 s | 9.76 m | 7.86 m | 7.82 m | 9.68 m | -7.90 m | 655 s | 11.42 m | 10.91 m |
| | | 120 s | 9.30 m | 7.76 m | 7.83 m | 9.33 m | -7.98 m | 647 s | 11.55 m | 10.76 m |
| | | 125 s | 9.56 m | 7.65 m | 7.86 m | 8.99 m | -8.02 m | 652 s | 11.63 m | 10.73 m |
| 130 s | 9.88 m | 7.53 m | 7.78 m | 8.73 m | -8.07 m | 645 s | 11.70 m | 10.72 m | | |
| 135 s | 10.23 m | 7.35 m | 7.63 m | 8.52 m | -8.11 m | 636 s | 11.78 m | 10.72 m | | |
| 140 s | 10.63 m | 7.39 m | 7.53 m | 8.27 m | -8.16 m | 633 s | 11.77 m | 10.71 m | | |
| 145 s | 10.94 m | 7.45 m | 7.48 m | 8.06 m | -8.22 m | 629 s | 11.76 m | 10.65 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(2/3) 健全地形モデル

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|----------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.14 m | 8.48 m | 8.72 m | 10.26 m | -7.79 m | 701 s | 17.94 m | 14.55 m |
| | | 35 s | 12.32 m | 8.25 m | 8.58 m | 10.35 m | -7.84 m | 699 s | 18.29 m | 14.62 m |
| | | 40 s | 12.49 m | 8.07 m | 8.44 m | 10.41 m | -7.88 m | 694 s | 17.81 m | 14.74 m |
| | | 45 s | 12.64 m | 8.18 m | 8.30 m | 10.440 m | -7.90 m | 694 s | 18.05 m | 14.87 m |
| | | 50 s | 12.77 m | 8.25 m | 8.13 m | 10.438 m | -7.91 m | 693 s | 17.60 m | 14.955 m |
| | | 55 s | 12.86 m | 8.28 m | 8.01 m | 10.41 m | -7.92 m | 681 s | 17.42 m | 14.957 m |
| | | 60 s | 12.92 m | 8.25 m | 7.93 m | 10.36 m | -7.92 m | 621 s | 17.12 m | 14.90 m |
| | | 65 s | 12.94 m | 8.17 m | 7.90 m | 10.28 m | -7.93 m | 667 s | 16.64 m | 14.75 m |
| | | 70 s | 12.92 m | 8.20 m | 7.88 m | 10.32 m | -7.92 m | 641 s | 16.29 m | 14.59 m |
| | | 75 s | 12.84 m | 8.23 m | 7.89 m | 10.32 m | -7.91 m | 646 s | 15.86 m | 14.38 m |
| | | 80 s | 12.66 m | 8.24 m | 7.89 m | 10.22 m | -7.87 m | 644 s | 15.48 m | 14.13 m |
| | | 85 s | 12.34 m | 8.23 m | 7.90 m | 10.01 m | -7.79 m | 643 s | 15.14 m | 13.74 m |
| | | 90 s | 11.87 m | 8.22 m | 7.86 m | 9.81 m | -7.73 m | 641 s | 14.75 m | 13.45 m |
| | | 95 s | 11.31 m | 8.20 m | 7.83 m | 9.75 m | -7.66 m | 643 s | 14.17 m | 13.10 m |
| | | 100 s | 10.82 m | 8.18 m | 7.89 m | 9.72 m | -7.78 m | 646 s | 13.53 m | 12.63 m |
| | | 105 s | 10.38 m | 8.14 m | 7.94 m | 9.88 m | -7.81 m | 652 s | 12.81 m | 12.04 m |
| | | 110 s | 9.86 m | 8.09 m | 7.98 m | 9.95 m | -7.89 m | 658 s | 12.05 m | 11.52 m |
| | | 115 s | 9.76 m | 8.00 m | 7.98 m | 9.87 m | -7.97 m | 657 s | 11.63 m | 11.19 m |
| | | 120 s | 9.74 m | 7.88 m | 7.94 m | 9.59 m | -8.05 m | 654 s | 11.74 m | 11.04 m |
| | | 125 s | 9.46 m | 7.77 m | 7.91 m | 9.25 m | -8.10 m | 650 s | 11.84 m | 10.86 m |
| 130 s | 9.77 m | 7.67 m | 7.87 m | 8.97 m | -8.16 m | 646 s | 11.92 m | 10.75 m | | |
| 135 s | 10.14 m | 7.61 m | 7.89 m | 8.77 m | -8.20 m | 641 s | 11.94 m | 10.74 m | | |
| 140 s | 10.54 m | 7.56 m | 7.81 m | 8.54 m | -8.26 m | 638 s | 11.97 m | 10.73 m | | |
| 145 s | 10.89 m | 7.47 m | 7.66 m | 8.31 m | -8.36 m | 635 s | 11.96 m | 10.71 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(3/3) 健全地形モデル

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|----------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.27 m | 8.13 m | 8.45 m | 10.25 m | -7.83 m | 703 s | 17.83 m | 14.52 m |
| | | 35 s | 12.46 m | 8.07 m | 8.30 m | 10.35 m | -7.87 m | 701 s | 18.06 m | 14.63 m |
| | | 40 s | 12.63 m | 8.19 m | 8.14 m | 10.41 m | -7.76 m | 700 s | 17.68 m | 14.79 m |
| | | 45 s | 12.78 m | 8.30 m | 8.02 m | 10.445 m | -7.78 m | 699 s | 17.54 m | 14.90 m |
| | | 50 s | 12.89 m | 8.36 m | 7.88 m | 10.443 m | -7.83 m | 697 s | 17.37 m | 14.98 m |
| | | 55 s | 12.96 m | 8.37 m | 7.81 m | 10.41 m | -7.84 m | 696 s | 17.08 m | 15.00 m |
| | | 60 s | 12.99 m | 8.32 m | 7.77 m | 10.35 m | -7.87 m | 696 s | 16.64 m | 14.90 m |
| | | 65 s | 12.97 m | 8.20 m | 7.74 m | 10.38 m | -7.88 m | 694 s | 16.31 m | 14.73 m |
| | | 70 s | 12.90 m | 8.15 m | 7.75 m | 10.42 m | -7.86 m | 692 s | 15.91 m | 14.52 m |
| | | 75 s | 12.73 m | 8.15 m | 7.76 m | 10.36 m | -7.85 m | 691 s | 15.53 m | 14.24 m |
| | | 80 s | 12.41 m | 8.14 m | 7.75 m | 10.16 m | -7.81 m | 691 s | 15.17 m | 14.03 m |
| | | 85 s | 11.93 m | 8.12 m | 7.74 m | 9.86 m | -7.74 m | 689 s | 14.81 m | 13.59 m |
| | | 90 s | 11.34 m | 8.11 m | 7.68 m | 9.66 m | -7.66 m | 688 s | 14.27 m | 13.22 m |
| | | 95 s | 10.82 m | 8.08 m | 7.68 m | 9.57 m | -7.77 m | 684 s | 13.64 m | 12.73 m |
| | | 100 s | 10.36 m | 8.05 m | 7.76 m | 9.54 m | -7.75 m | 681 s | 12.91 m | 12.08 m |
| | | 105 s | 9.83 m | 7.98 m | 7.77 m | 9.58 m | -7.69 m | 676 s | 12.07 m | 11.32 m |
| | | 110 s | 9.75 m | 7.86 m | 7.72 m | 9.52 m | -7.64 m | 674 s | 11.64 m | 10.75 m |
| | | 115 s | 8.86 m | 7.76 m | 7.71 m | 9.16 m | -7.69 m | 671 s | 11.75 m | 10.57 m |
| | | 120 s | 9.15 m | 7.66 m | 7.72 m | 8.71 m | -7.81 m | 667 s | 11.82 m | 10.56 m |
| | | 125 s | 9.48 m | 7.56 m | 7.75 m | 8.39 m | -7.82 m | 664 s | 11.87 m | 10.54 m |
| 130 s | 9.89 m | 7.47 m | 7.63 m | 8.18 m | -7.86 m | 658 s | 11.91 m | 10.53 m | | |
| 135 s | 10.26 m | 7.42 m | 7.51 m | 7.96 m | -7.92 m | 649 s | 11.91 m | 10.51 m | | |
| 140 s | 10.60 m | 7.46 m | 7.44 m | 7.80 m | -8.01 m | 638 s | 11.93 m | 10.47 m | | |
| 145 s | 10.79 m | 7.51 m | 7.38 m | 7.73 m | -8.06 m | 634 s | 11.92 m | 10.40 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(1/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|----------|----------|-----------|--------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.48 m | 11.02 m | 10.11 m | 9.40 m | -9.52 m | 668 s | 17.64 m | 14.41 m |
| | | 35 s | 11.66 m | 11.042 m | 10.18 m | 9.54 m | -9.65 m | 668 s | 17.61 m | 14.49 m |
| | | 40 s | 11.82 m | 11.039 m | 10.22 m | 9.66 m | -9.69 m | 670 s | 17.54 m | 14.58 m |
| | | 45 s | 11.97 m | 11.01 m | 10.23 m | 9.73 m | -9.75 m | 669 s | 17.44 m | 14.69 m |
| | | 50 s | 12.12 m | 10.95 m | 10.21 m | 9.77 m | -9.80 m | 668 s | 17.26 m | 14.79 m |
| | | 55 s | 12.24 m | 10.84 m | 10.14 m | 9.76 m | -9.83 m | 667 s | 17.07 m | 14.81 m |
| | | 60 s | 12.34 m | 10.70 m | 10.03 m | 9.73 m | -9.849 m | 666 s | 16.66 m | 14.77 m |
| | | 65 s | 12.391 m | 10.50 m | 9.89 m | 9.69 m | -9.845 m | 665 s | 16.33 m | 14.68 m |
| | | 70 s | 12.386 m | 10.25 m | 9.72 m | 9.67 m | -9.84 m | 665 s | 15.99 m | 14.55 m |
| | | 75 s | 12.31 m | 9.93 m | 9.52 m | 9.71 m | -9.82 m | 668 s | 15.64 m | 14.37 m |
| | | 80 s | 12.13 m | 9.59 m | 9.39 m | 9.66 m | -9.81 m | 671.5 s | 15.31 m | 14.12 m |
| | | 85 s | 11.82 m | 9.27 m | 9.17 m | 9.49 m | -9.80 m | 671.6 s | 15.02 m | 13.63 m |
| | | 90 s | 11.39 m | 9.16 m | 8.88 m | 9.30 m | -9.78 m | 671 s | 14.56 m | 13.31 m |
| | | 95 s | 10.96 m | 9.18 m | 8.60 m | 9.16 m | -9.75 m | 669 s | 13.93 m | 12.95 m |
| | | 100 s | 10.55 m | 9.25 m | 8.62 m | 9.16 m | -9.71 m | 666 s | 13.32 m | 12.45 m |
| | | 105 s | 10.26 m | 9.27 m | 8.61 m | 9.37 m | -9.64 m | 662 s | 12.58 m | 11.83 m |
| | | 110 s | 9.80 m | 9.28 m | 8.62 m | 9.53 m | -9.60 m | 657 s | 11.77 m | 11.30 m |
| | | 115 s | 9.80 m | 9.27 m | 8.67 m | 9.54 m | -9.62 m | 652 s | 11.22 m | 11.00 m |
| | | 120 s | 9.84 m | 9.24 m | 8.74 m | 9.27 m | -9.57 m | 645 s | 11.30 m | 10.90 m |
| | | 125 s | 9.89 m | 9.20 m | 8.85 m | 8.85 m | -9.57 m | 636 s | 11.34 m | 10.81 m |
| 130 s | 10.07 m | 9.11 m | 8.96 m | 8.47 m | -9.53 m | 585 s | 11.37 m | 10.64 m | | |
| 135 s | 10.45 m | 9.03 m | 8.99 m | 8.23 m | -9.47 m | 589 s | 11.38 m | 10.51 m | | |
| 140 s | 10.80 m | 8.90 m | 8.99 m | 7.96 m | -9.36 m | 587 s | 11.34 m | 10.51 m | | |
| 145 s | 11.11 m | 8.81 m | 9.02 m | 7.68 m | -9.34 m | 584 s | 11.31 m | 10.52 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(2/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.48 m | 11.03 m | 10.12 m | 9.41 m | -9.68 m | 663 s | 17.65 m | 14.45 m |
| | | 35 s | 11.65 m | 11.06 m | 10.18 m | 9.55 m | -9.67 m | 664 s | 17.63 m | 14.51 m |
| | | 40 s | 11.82 m | 11.05 m | 10.22 m | 9.65 m | -9.76 m | 665 s | 17.56 m | 14.59 m |
| | | 45 s | 11.99 m | 11.02 m | 10.227 m | 9.72 m | -9.82 m | 666 s | 17.48 m | 14.71 m |
| | | 50 s | 12.13 m | 10.96 m | 10.209 m | 9.75 m | -9.89 m | 666 s | 17.36 m | 14.78 m |
| | | 55 s | 12.27 m | 10.87 m | 10.156 m | 9.75 m | -9.93 m | 661 s | 17.14 m | 14.80 m |
| | | 60 s | 12.38 m | 10.73 m | 10.05 m | 9.73 m | -9.946 m | 660 s | 16.72 m | 14.75 m |
| | | 65 s | 12.45 m | 10.54 m | 9.92 m | 9.70 m | -9.94 m | 659 s | 16.49 m | 14.67 m |
| | | 70 s | 12.47 m | 10.31 m | 9.77 m | 9.70 m | -9.83 m | 660 s | 16.07 m | 14.54 m |
| | | 75 s | 12.42 m | 10.03 m | 9.59 m | 9.76 m | -9.948 m | 659 s | 15.73 m | 14.37 m |
| | | 80 s | 12.28 m | 9.73 m | 9.49 m | 9.72 m | -9.92 m | 663 s | 15.36 m | 13.99 m |
| | | 85 s | 12.01 m | 9.44 m | 9.32 m | 9.57 m | -9.91 m | 664 s | 15.10 m | 13.71 m |
| | | 90 s | 11.61 m | 9.24 m | 9.06 m | 9.41 m | -9.89 m | 668 s | 14.62 m | 13.43 m |
| | | 95 s | 11.24 m | 8.99 m | 8.76 m | 9.30 m | -9.85 m | 666 s | 14.14 m | 13.11 m |
| | | 100 s | 10.78 m | 8.91 m | 8.78 m | 9.29 m | -9.81 m | 660 s | 13.53 m | 12.65 m |
| | | 105 s | 10.37 m | 8.99 m | 8.79 m | 9.50 m | -9.77 m | 656 s | 12.85 m | 12.08 m |
| | | 110 s | 10.03 m | 8.98 m | 8.82 m | 9.67 m | -9.73 m | 650 s | 12.09 m | 11.59 m |
| | | 115 s | 10.00 m | 8.98 m | 8.86 m | 9.70 m | -9.69 m | 646 s | 11.40 m | 11.29 m |
| | | 120 s | 10.02 m | 8.95 m | 8.93 m | 9.51 m | -9.67 m | 637 s | 11.49 m | 11.15 m |
| | | 125 s | 10.06 m | 8.90 m | 9.00 m | 9.09 m | -9.67 m | 591 s | 11.54 m | 11.07 m |
| 130 s | 10.09 m | 8.86 m | 9.04 m | 8.72 m | -9.68 m | 602 s | 11.56 m | 10.94 m | | |
| 135 s | 10.32 m | 8.73 m | 9.10 m | 8.46 m | -9.60 m | 599 s | 11.55 m | 10.77 m | | |
| 140 s | 10.72 m | 8.65 m | 9.13 m | 8.21 m | -9.50 m | 596 s | 11.54 m | 10.68 m | | |
| 145 s | 11.06 m | 8.47 m | 9.15 m | 7.94 m | -9.43 m | 592 s | 11.51 m | 10.73 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果 (3/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|----------|-----------|--------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.59 m | 10.97 m | 10.11 m | 9.44 m | -9.68 m | 682 s | 17.52 m | 14.37 m |
| | | 35 s | 11.79 m | 10.990 m | 10.17 m | 9.59 m | -9.73 m | 682 s | 17.48 m | 14.51 m |
| | | 40 s | 11.97 m | 10.992 m | 10.21 m | 9.70 m | -9.78 m | 682 s | 17.41 m | 14.65 m |
| | | 45 s | 12.15 m | 10.97 m | 10.22 m | 9.78 m | -9.82 m | 681 s | 17.26 m | 14.77 m |
| | | 50 s | 12.31 m | 10.91 m | 10.19 m | 9.81 m | -9.86 m | 681 s | 17.11 m | 14.834 m |
| | | 55 s | 12.43 m | 10.81 m | 10.11 m | 9.81 m | -9.88 m | 680 s | 16.72 m | 14.829 m |
| | | 60 s | 12.51 m | 10.65 m | 9.99 m | 9.80 m | -9.90 m | 680 s | 16.52 m | 14.80 m |
| | | 65 s | 12.54 m | 10.44 m | 9.85 m | 9.77 m | -9.92 m | 681 s | 16.12 m | 14.70 m |
| | | 70 s | 12.51 m | 10.19 m | 9.70 m | 9.85 m | -9.91 m | 683 s | 15.80 m | 14.54 m |
| | | 75 s | 12.37 m | 9.85 m | 9.56 m | 9.84 m | -9.88 m | 685 s | 15.45 m | 14.35 m |
| | | 80 s | 12.11 m | 9.54 m | 9.35 m | 9.70 m | -9.86 m | 684 s | 15.15 m | 14.08 m |
| | | 85 s | 11.69 m | 9.23 m | 9.06 m | 9.46 m | -9.85 m | 683 s | 14.75 m | 13.59 m |
| | | 90 s | 11.28 m | 9.02 m | 8.71 m | 9.26 m | -9.84 m | 680 s | 14.28 m | 13.24 m |
| | | 95 s | 10.78 m | 9.05 m | 8.35 m | 9.13 m | -9.81 m | 677 s | 13.67 m | 12.76 m |
| | | 100 s | 10.35 m | 9.10 m | 8.36 m | 9.14 m | -9.78 m | 675 s | 12.99 m | 12.11 m |
| | | 105 s | 9.83 m | 9.09 m | 8.36 m | 9.29 m | -9.75 m | 671 s | 12.17 m | 11.40 m |
| | | 110 s | 9.64 m | 9.09 m | 8.43 m | 9.32 m | -9.70 m | 668 s | 11.34 m | 10.84 m |
| | | 115 s | 9.65 m | 9.05 m | 8.51 m | 9.07 m | -9.65 m | 665 s | 11.35 m | 10.52 m |
| | | 120 s | 9.71 m | 9.03 m | 8.64 m | 8.58 m | -9.60 m | 661 s | 11.35 m | 10.36 m |
| | | 125 s | 9.84 m | 8.97 m | 8.73 m | 8.16 m | -9.63 m | 658 s | 11.39 m | 10.36 m |
| 130 s | 10.09 m | 8.92 m | 8.76 m | 7.93 m | -9.57 m | 652 s | 11.42 m | 10.35 m | | |
| 135 s | 10.50 m | 8.86 m | 8.81 m | 7.70 m | -9.48 m | 640 s | 11.40 m | 10.34 m | | |
| 140 s | 10.77 m | 8.70 m | 8.89 m | 7.48 m | -9.40 m | 617 s | 11.41 m | 10.32 m | | |
| 145 s | 10.97 m | 8.69 m | 8.99 m | 7.32 m | -9.34 m | 610 s | 11.37 m | 10.28 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(1/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|----------|--------|-----------|----------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.13 m | 9.41 m | 9.66 m | 10.23 m | -9.20 m | 715 s | 18.29 m | 14.53 m |
| | | 35 s | 12.30 m | 9.09 m | 9.48 m | 10.33 m | -9.25 m | 714 s | 18.26 m | 14.59 m |
| | | 40 s | 12.46 m | 9.09 m | 9.30 m | 10.40 m | -9.28 m | 713 s | 18.10 m | 14.71 m |
| | | 45 s | 12.61 m | 9.12 m | 9.19 m | 10.429 m | -9.30 m | 712 s | 17.70 m | 14.84 m |
| | | 50 s | 12.73 m | 9.10 m | 9.09 m | 10.426 m | -9.31 m | 711 s | 17.53 m | 14.92 m |
| | | 55 s | 12.81 m | 9.02 m | 9.14 m | 10.39 m | -9.317 m | 710 s | 17.29 m | 14.94 m |
| | | 60 s | 12.851 m | 8.89 m | 9.36 m | 10.32 m | -9.316 m | 709 s | 16.85 m | 14.87 m |
| | | 65 s | 12.847 m | 8.87 m | 9.55 m | 10.23 m | -9.316 m | 707 s | 16.57 m | 14.75 m |
| | | 70 s | 12.80 m | 8.94 m | 9.70 m | 10.25 m | -9.31 m | 707 s | 16.13 m | 14.58 m |
| | | 75 s | 12.68 m | 9.09 m | 9.80 m | 10.25 m | -9.31 m | 705 s | 15.72 m | 14.34 m |
| | | 80 s | 12.46 m | 9.20 m | 9.91 m | 10.14 m | -9.31 m | 704 s | 15.35 m | 14.09 m |
| | | 85 s | 12.09 m | 9.31 m | 10.00 m | 9.89 m | -9.29 m | 703 s | 15.01 m | 13.64 m |
| | | 90 s | 11.58 m | 9.36 m | 10.08 m | 9.66 m | -9.28 m | 701 s | 14.54 m | 13.31 m |
| | | 95 s | 11.41 m | 9.36 m | 10.18 m | 9.60 m | -9.27 m | 699 s | 13.94 m | 12.93 m |
| | | 100 s | 11.41 m | 9.28 m | 10.25 m | 9.58 m | -9.25 m | 698 s | 13.26 m | 12.42 m |
| | | 105 s | 11.38 m | 9.15 m | 10.32 m | 9.74 m | -9.25 m | 696 s | 12.52 m | 11.76 m |
| | | 110 s | 11.30 m | 9.02 m | 10.35 m | 9.80 m | -9.23 m | 694 s | 11.69 m | 11.20 m |
| | | 115 s | 11.20 m | 8.87 m | 10.31 m | 9.70 m | -9.21 m | 691 s | 11.65 m | 10.91 m |
| | | 120 s | 11.15 m | 8.71 m | 10.27 m | 9.36 m | -9.17 m | 689 s | 11.75 m | 10.78 m |
| | | 125 s | 11.08 m | 8.60 m | 10.19 m | 9.04 m | -9.12 m | 688 s | 11.86 m | 10.78 m |
| 130 s | 11.01 m | 8.64 m | 10.09 m | 8.78 m | -9.06 m | 686 s | 11.91 m | 10.77 m | | |
| 135 s | 10.95 m | 8.69 m | 10.00 m | 8.57 m | -9.00 m | 682 s | 11.96 m | 10.77 m | | |
| 140 s | 10.94 m | 8.73 m | 9.98 m | 8.34 m | -8.91 m | 676 s | 11.97 m | 10.75 m | | |
| 145 s | 10.95 m | 8.75 m | 10.01 m | 8.13 m | -9.01 m | 665 s | 11.95 m | 10.69 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(2/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|---------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.13 m | 9.64 m | 9.84 m | 10.25 m | -9.34 m | 717 s | 17.96 m | 14.54 m |
| | | 35 s | 12.30 m | 9.35 m | 9.69 m | 10.34 m | -9.37 m | 715 s | 18.28 m | 14.61 m |
| | | 40 s | 12.47 m | 9.10 m | 9.54 m | 10.40 m | -9.38 m | 715 s | 17.80 m | 14.74 m |
| | | 45 s | 12.62 m | 9.10 m | 9.44 m | 10.43 m | -9.42 m | 714 s | 18.03 m | 14.85 m |
| | | 50 s | 12.75 m | 9.09 m | 9.33 m | 10.42 m | -9.43 m | 712 s | 17.58 m | 14.94 m |
| | | 55 s | 12.84 m | 9.01 m | 9.26 m | 10.39 m | -9.45 m | 711 s | 17.40 m | 14.95 m |
| | | 60 s | 12.90 m | 8.90 m | 9.41 m | 10.34 m | -9.457 m | 710 s | 17.10 m | 14.88 m |
| | | 65 s | 12.92 m | 8.93 m | 9.63 m | 10.26 m | -9.45 m | 709 s | 16.63 m | 14.75 m |
| | | 70 s | 12.90 m | 9.00 m | 9.81 m | 10.30 m | -9.463 m | 708 s | 16.28 m | 14.59 m |
| | | 75 s | 12.82 m | 9.07 m | 9.95 m | 10.30 m | -9.462 m | 706 s | 15.84 m | 14.37 m |
| | | 80 s | 12.63 m | 9.16 m | 10.07 m | 10.20 m | -9.45 m | 705 s | 15.47 m | 14.13 m |
| | | 85 s | 12.31 m | 9.28 m | 10.18 m | 9.99 m | -9.45 m | 704 s | 15.13 m | 13.73 m |
| | | 90 s | 11.84 m | 9.34 m | 10.25 m | 9.79 m | -9.44 m | 701 s | 14.72 m | 13.44 m |
| | | 95 s | 11.57 m | 9.39 m | 10.34 m | 9.74 m | -9.43 m | 699 s | 14.15 m | 13.09 m |
| | | 100 s | 11.60 m | 9.36 m | 10.42 m | 9.74 m | -9.43 m | 697 s | 13.51 m | 12.62 m |
| | | 105 s | 11.59 m | 9.31 m | 10.47 m | 9.90 m | -9.41 m | 695 s | 12.79 m | 12.03 m |
| | | 110 s | 11.55 m | 9.19 m | 10.50 m | 9.98 m | -9.39 m | 692 s | 12.02 m | 11.51 m |
| | | 115 s | 11.48 m | 9.07 m | 10.48 m | 9.90 m | -9.37 m | 691 s | 11.83 m | 11.19 m |
| | | 120 s | 11.36 m | 8.95 m | 10.40 m | 9.62 m | -9.35 m | 691 s | 11.95 m | 11.05 m |
| | | 125 s | 11.24 m | 8.81 m | 10.30 m | 9.29 m | -9.30 m | 689 s | 12.04 m | 10.88 m |
| 130 s | 11.14 m | 8.68 m | 10.20 m | 9.02 m | -9.26 m | 686 s | 12.12 m | 10.79 m | | |
| 135 s | 11.07 m | 8.74 m | 10.11 m | 8.82 m | -9.15 m | 682 s | 12.14 m | 10.78 m | | |
| 140 s | 11.03 m | 8.80 m | 10.07 m | 8.60 m | -9.06 m | 670 s | 12.20 m | 10.77 m | | |
| 145 s | 11.04 m | 8.85 m | 10.09 m | 8.38 m | -9.16 m | 628 s | 12.17 m | 10.74 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果 (3/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|--------|-----------|---------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 12.26 m | 9.18 m | 9.51 m | 10.24 m | -9.24 m | 719 s | 17.82 m | 14.51 m |
| | | 35 s | 12.44 m | 9.11 m | 9.34 m | 10.33 m | -9.27 m | 717 s | 18.05 m | 14.63 m |
| | | 40 s | 12.61 m | 9.17 m | 9.18 m | 10.40 m | -9.30 m | 716 s | 17.66 m | 14.78 m |
| | | 45 s | 12.75 m | 9.18 m | 9.09 m | 10.43 m | -9.31 m | 715 s | 17.52 m | 14.88 m |
| | | 50 s | 12.87 m | 9.15 m | 9.10 m | 10.42 m | -9.31 m | 714 s | 17.35 m | 14.97 m |
| | | 55 s | 12.94 m | 9.05 m | 9.35 m | 10.39 m | -9.33 m | 713 s | 17.04 m | 14.98 m |
| | | 60 s | 12.97 m | 8.91 m | 9.56 m | 10.34 m | -9.34 m | 712 s | 16.62 m | 14.88 m |
| | | 65 s | 12.95 m | 8.97 m | 9.72 m | 10.36 m | -9.34 m | 711 s | 16.29 m | 14.72 m |
| | | 70 s | 12.87 m | 9.07 m | 9.83 m | 10.39 m | -9.35 m | 710 s | 15.88 m | 14.52 m |
| | | 75 s | 12.70 m | 9.19 m | 9.89 m | 10.33 m | -9.34 m | 709 s | 15.51 m | 14.23 m |
| | | 80 s | 12.38 m | 9.32 m | 9.96 m | 10.13 m | -9.33 m | 707 s | 15.16 m | 14.02 m |
| | | 85 s | 11.90 m | 9.40 m | 10.02 m | 9.84 m | -9.33 m | 705 s | 14.78 m | 13.58 m |
| | | 90 s | 11.32 m | 9.42 m | 10.09 m | 9.65 m | -9.33 m | 704 s | 14.24 m | 13.21 m |
| | | 95 s | 11.27 m | 9.36 m | 10.17 m | 9.56 m | -9.32 m | 702 s | 13.60 m | 12.72 m |
| | | 100 s | 11.26 m | 9.26 m | 10.24 m | 9.56 m | -9.32 m | 700 s | 12.87 m | 12.06 m |
| | | 105 s | 11.21 m | 9.10 m | 10.27 m | 9.61 m | -9.30 m | 699 s | 12.04 m | 11.31 m |
| | | 110 s | 11.18 m | 8.95 m | 10.25 m | 9.55 m | -9.28 m | 697 s | 11.85 m | 10.74 m |
| | | 115 s | 11.13 m | 8.76 m | 10.20 m | 9.19 m | -9.27 m | 696 s | 11.94 m | 10.61 m |
| 120 s | 11.06 m | 8.57 m | 10.10 m | 8.75 m | -9.22 m | 694 s | 12.00 m | 10.61 m | | |
| 125 s | 11.00 m | 8.54 m | 9.99 m | 8.45 m | -9.17 m | 692 s | 12.04 m | 10.60 m | | |
| 130 s | 10.95 m | 8.59 m | 9.88 m | 8.25 m | -9.11 m | 691 s | 12.10 m | 10.59 m | | |
| 135 s | 10.95 m | 8.61 m | 9.84 m | 8.03 m | -9.04 m | 687 s | 12.12 m | 10.57 m | | |
| 140 s | 10.97 m | 8.63 m | 9.86 m | 7.87 m | -8.99 m | 679 s | 12.15 m | 10.53 m | | |
| 145 s | 11.00 m | 8.62 m | 9.96 m | 7.81 m | -8.89 m | 671 s | 12.17 m | 10.46 m | | |

※黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(1/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構 トンネル | アクセスルート トンネル |
|---|---------------------------------|--------|----------|----------|-----------|---------|----------------|-----------|--------------|-----------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.69 m | 11.16 m | 10.37 m | 9.43 m | -9.69 m | 689 s | 17.66 m | 14.43 m |
| | | 35 s | 11.72 m | 11.172 m | 10.36 m | 9.58 m | -9.77 m | 687 s | 17.64 m | 14.49 m |
| | | 40 s | 11.85 m | 11.166 m | 10.31 m | 9.70 m | -9.82 m | 703 s | 17.57 m | 14.58 m |
| | | 45 s | 12.01 m | 11.14 m | 10.28 m | 9.78 m | -9.90 m | 707 s | 17.47 m | 14.70 m |
| | | 50 s | 12.16 m | 11.08 m | 10.24 m | 9.828 m | -9.93 m | 709 s | 17.34 m | 14.79 m |
| | | 55 s | 12.29 m | 10.98 m | 10.17 m | 9.833 m | -9.95 m | 709 s | 17.12 m | 14.82 m |
| | | 60 s | 12.39 m | 10.82 m | 10.04 m | 9.81 m | -9.96 m | 710 s | 16.71 m | 14.78 m |
| | | 65 s | 12.446 m | 10.62 m | 9.88 m | 9.76 m | -9.969 m | 709 s | 16.37 m | 14.71 m |
| | | 70 s | 12.449 m | 10.36 m | 9.75 m | 9.73 m | -9.965 m | 706 s | 16.05 m | 14.57 m |
| | | 75 s | 12.38 m | 10.07 m | 9.69 m | 9.78 m | -9.95 m | 704 s | 15.70 m | 14.40 m |
| | | 80 s | 12.21 m | 9.81 m | 9.49 m | 9.74 m | -9.96 m | 702 s | 15.33 m | 13.98 m |
| | | 85 s | 11.91 m | 9.60 m | 9.18 m | 9.56 m | -9.967 m | 697 s | 15.02 m | 13.67 m |
| | | 90 s | 11.48 m | 9.32 m | 8.85 m | 9.38 m | -9.972 m | 689 s | 14.57 m | 13.35 m |
| | | 95 s | 11.07 m | 8.99 m | 8.54 m | 9.24 m | -9.96 m | 552 s | 14.03 m | 13.00 m |
| | | 100 s | 10.64 m | 8.64 m | 8.26 m | 9.24 m | -9.95 m | 553 s | 13.41 m | 12.50 m |
| | | 105 s | 10.28 m | 8.44 m | 8.06 m | 9.44 m | -9.93 m | 554 s | 12.68 m | 11.88 m |
| | | 110 s | 9.81 m | 8.37 m | 7.95 m | 9.60 m | -9.92 m | 556 s | 11.88 m | 11.35 m |
| | | 115 s | 9.77 m | 8.27 m | 7.89 m | 9.60 m | -9.94 m | 557 s | 11.49 m | 11.05 m |
| | | 120 s | 9.63 m | 8.22 m | 7.59 m | 9.35 m | -9.91 m | 557 s | 11.57 m | 10.96 m |
| | | 125 s | 9.90 m | 8.14 m | 7.76 m | 8.94 m | -9.86 m | 557 s | 11.62 m | 10.86 m |
| 130 s | 10.25 m | 8.09 m | 8.05 m | 8.57 m | -9.78 m | 558 s | 11.64 m | 10.69 m | | |
| 135 s | 10.67 m | 8.00 m | 8.29 m | 8.34 m | -9.73 m | 558 s | 11.67 m | 10.66 m | | |
| 140 s | 11.07 m | 7.92 m | 8.45 m | 8.09 m | -9.64 m | 557 s | 11.65 m | 10.64 m | | |
| 145 s | 11.43 m | 8.06 m | 8.55 m | 7.84 m | -9.64 m | 556 s | 11.63 m | 10.62 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果(2/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:5km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.72 m | 11.17 m | 10.389 m | 9.44 m | -9.75 m | 562 s | 17.68 m | 14.45 m |
| | | 35 s | 11.74 m | 11.18 m | 10.385 m | 9.59 m | -9.83 m | 562 s | 17.66 m | 14.51 m |
| | | 40 s | 11.85 m | 11.17 m | 10.35 m | 9.69 m | -9.89 m | 561 s | 17.60 m | 14.60 m |
| | | 45 s | 12.02 m | 11.14 m | 10.29 m | 9.77 m | -9.92 m | 706 s | 17.51 m | 14.71 m |
| | | 50 s | 12.17 m | 11.09 m | 10.23 m | 9.81 m | -9.99 m | 708 s | 17.40 m | 14.78 m |
| | | 55 s | 12.32 m | 10.99 m | 10.16 m | 9.82 m | -10.03 m | 709 s | 17.18 m | 14.81 m |
| | | 60 s | 12.43 m | 10.85 m | 10.05 m | 9.80 m | -10.05 m | 709.7 s | 16.77 m | 14.77 m |
| | | 65 s | 12.51 m | 10.65 m | 9.89 m | 9.77 m | -10.04 m | 709.5 s | 16.54 m | 14.70 m |
| | | 70 s | 12.53 m | 10.42 m | 9.77 m | 9.77 m | -10.05 m | 708 s | 16.12 m | 14.56 m |
| | | 75 s | 12.50 m | 10.15 m | 9.75 m | 9.83 m | -10.066 m | 705 s | 15.79 m | 14.40 m |
| | | 80 s | 12.36 m | 9.92 m | 9.59 m | 9.79 m | -10.05 m | 703 s | 15.43 m | 14.03 m |
| | | 85 s | 12.10 m | 9.73 m | 9.31 m | 9.64 m | -10.06 m | 695 s | 15.13 m | 13.76 m |
| | | 90 s | 11.71 m | 9.51 m | 9.02 m | 9.48 m | -10.0670 m | 558 s | 14.70 m | 13.47 m |
| | | 95 s | 11.30 m | 9.20 m | 8.72 m | 9.37 m | -10.0674 m | 559 s | 14.21 m | 13.16 m |
| | | 100 s | 10.82 m | 8.87 m | 8.43 m | 9.37 m | -10.06 m | 559 s | 13.62 m | 12.69 m |
| | | 105 s | 10.42 m | 8.54 m | 8.22 m | 9.57 m | -10.05 m | 560 s | 12.97 m | 12.13 m |
| | | 110 s | 9.88 m | 8.33 m | 8.12 m | 9.74 m | -10.03 m | 560 s | 12.18 m | 11.63 m |
| | | 115 s | 9.77 m | 8.37 m | 8.11 m | 9.76 m | -10.04 m | 562 s | 11.68 m | 11.32 m |
| | | 120 s | 9.75 m | 8.36 m | 7.95 m | 9.57 m | -9.99 m | 562 s | 11.76 m | 11.18 m |
| | | 125 s | 9.81 m | 8.11 m | 7.66 m | 9.17 m | -9.94 m | 563 s | 11.83 m | 11.11 m |
| 130 s | 10.18 m | 7.87 m | 7.92 m | 8.81 m | -9.90 m | 565 s | 11.83 m | 10.98 m | | |
| 135 s | 10.62 m | 7.78 m | 8.22 m | 8.56 m | -9.83 m | 565 s | 11.85 m | 10.80 m | | |
| 140 s | 11.04 m | 7.76 m | 8.40 m | 8.34 m | -9.76 m | 565 s | 11.88 m | 10.69 m | | |
| 145 s | 11.43 m | 7.64 m | 8.51 m | 8.09 m | -9.68 m | 562 s | 11.82 m | 10.74 m | | |

※黄ハッチング:評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

組合せ評価結果 (3/3) 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③

| 波源 | 組合せ時間範囲 $T_s \sim T_s + T_d$ | 組合せ時間差 | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1, 2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | | 茶津入構トンネル | アクセスルートトンネル |
|---|---------------------------------|--------|---------|---------|-----------|---------|----------------|-----------|----------|-------------|
| | | | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | | (上昇側) | (上昇側) |
| | | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 (参考値) | 貯留堰を下回る時間 | 水位変動量 | 水位変動量 |
| ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km | 29 s ~ 149 s | 30 s | 11.61 m | 11.10 m | 10.38 m | 9.48 m | -9.84 m | 711 s | 17.543 m | 14.38 m |
| | | 35 s | 11.81 m | 11.12 m | 10.35 m | 9.63 m | -9.91 m | 713 s | 17.50 m | 14.51 m |
| | | 40 s | 12.00 m | 11.13 m | 10.28 m | 9.75 m | -9.95 m | 714 s | 17.44 m | 14.65 m |
| | | 45 s | 12.18 m | 11.11 m | 10.26 m | 9.84 m | -10.01 m | 715 s | 17.30 m | 14.78 m |
| | | 50 s | 12.35 m | 11.04 m | 10.22 m | 9.88 m | -10.02 m | 715.8 s | 17.15 m | 14.85 m |
| | | 55 s | 12.48 m | 10.92 m | 10.13 m | 9.88 m | -10.03 m | 715.6 s | 16.76 m | 14.87 m |
| | | 60 s | 12.57 m | 10.76 m | 9.99 m | 9.87 m | -10.07 m | 715 s | 16.56 m | 14.81 m |
| | | 65 s | 12.61 m | 10.54 m | 9.88 m | 9.84 m | -10.07 m | 713 s | 16.17 m | 14.73 m |
| | | 70 s | 12.58 m | 10.29 m | 9.83 m | 9.923 m | -10.08 m | 711 s | 15.86 m | 14.58 m |
| | | 75 s | 12.45 m | 10.06 m | 9.69 m | 9.919 m | -10.07 m | 707 s | 15.51 m | 14.38 m |
| | | 80 s | 12.20 m | 9.81 m | 9.37 m | 9.78 m | -10.08 m | 706 s | 15.21 m | 14.13 m |
| | | 85 s | 11.79 m | 9.54 m | 9.02 m | 9.55 m | -10.08 m | 701 s | 15.02 m | 13.63 m |
| | | 90 s | 11.32 m | 9.16 m | 8.70 m | 9.33 m | -10.097 m | 694 s | 14.36 m | 13.25 m |
| | | 95 s | 10.83 m | 8.76 m | 8.36 m | 9.21 m | -10.096 m | 678 s | 13.77 m | 12.80 m |
| | | 100 s | 10.39 m | 8.32 m | 8.04 m | 9.21 m | -10.104 m | 632 s | 13.10 m | 12.16 m |
| | | 105 s | 9.85 m | 8.22 m | 7.84 m | 9.36 m | -10.07 m | 552 s | 12.27 m | 11.45 m |
| | | 110 s | 9.76 m | 8.14 m | 7.73 m | 9.40 m | -10.06 m | 552 s | 11.61 m | 10.88 m |
| | | 115 s | 9.19 m | 8.28 m | 7.47 m | 9.16 m | -10.03 m | 553 s | 11.69 m | 10.57 m |
| | | 120 s | 9.45 m | 8.20 m | 7.36 m | 8.67 m | -9.99 m | 554 s | 11.69 m | 10.52 m |
| | | 125 s | 9.81 m | 8.15 m | 7.58 m | 8.26 m | -9.92 m | 555 s | 11.73 m | 10.54 m |
| 130 s | 10.24 m | 7.86 m | 7.81 m | 8.04 m | -9.89 m | 609 s | 11.73 m | 10.53 m | | |
| 135 s | 10.64 m | 7.80 m | 8.02 m | 7.83 m | -9.78 m | 606 s | 11.73 m | 10.50 m | | |
| 140 s | 10.99 m | 7.69 m | 8.20 m | 7.64 m | -9.69 m | 600 s | 11.75 m | 10.48 m | | |
| 145 s | 11.24 m | 7.98 m | 8.32 m | 7.50 m | -9.56 m | 596 s | 11.73 m | 10.43 m | | |

※黄ハッチング: 評価項目・影響確認地点の最大値である。

5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価

「5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価」の最大ケース

○「5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価」の最大ケースは、以下のとおりである。

| 影響確認地点 | 健全地形モデル | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル① | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル② | | 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ | |
|----------------------|---------|---|-------------------|---|-------------------|---|-------------------|---|
| | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 | 評価値 | 断層パラメータの概要 |
| 茶津入構トンネル (上昇側) | 18.29m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:35s | 17.65m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s | 18.29m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:30s | 17.68m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ10km ・断層面上縁深さ:5km ・組合せの時間差:30s |
| アクセスルートトンネル (上昇側) | 15.00m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:55s | 14.83m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:50s | 14.98m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:55s | 14.87m | <ul style="list-style-type: none"> ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(西へ10km) ・アスベリティ位置:de南へ20km ・断層面上縁深さ:4km ・組合せの時間差:55s |

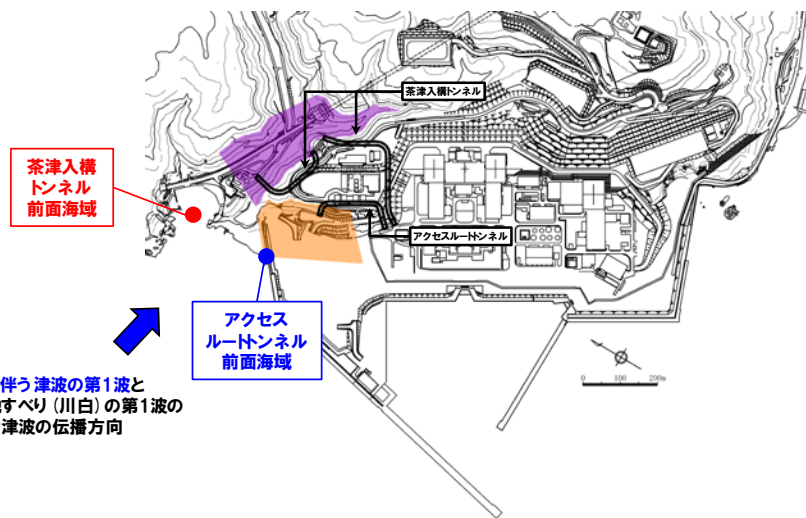
余白

波形抽出地点の妥当性確認

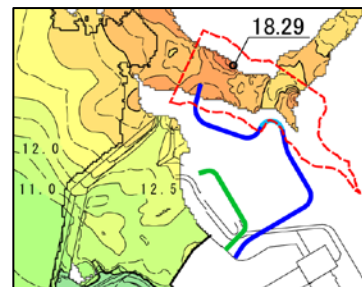
○茶津入構トンネル・アクセスルートトンネルの最大ケースを対象に、最大水位上昇量分布・水位時刻歴波形から、その水位上昇メカニズムを確認した。

- 茶津入構トンネル・アクセスルートトンネルは、地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波の組合せにより、水位が最大となる(右下図における赤丸の時刻)。
- この第1波は、西方向からの津波であり、「茶津入構トンネル前面海域」・「アクセスルート前面海域」から、茶津入構トンネル・アクセスルートトンネル方向へ遡上するため、概ね水位時刻歴波形のピークが発生する時刻が概ね同じとなる。

○以上より、茶津入構トンネル・アクセスルートトンネルに対して影響の大きい波源を選定するに当たって、「茶津入構トンネル前面海域」・「アクセスルート前面海域」の水位時刻歴波形を用いることは、妥当である。

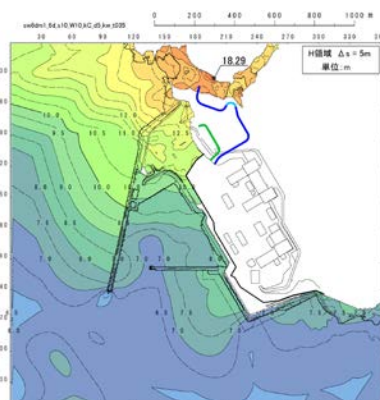


茶津入構トンネル

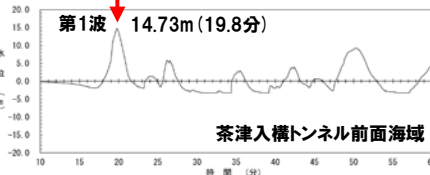
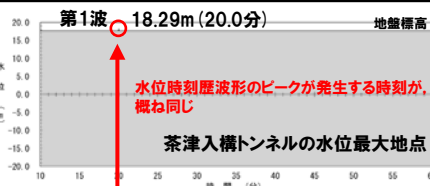


拡大図(赤破線:影響確認地点)

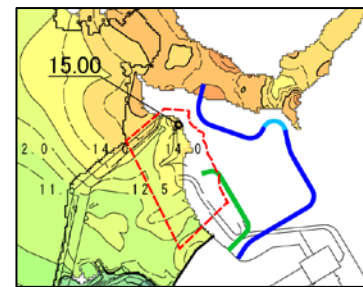
最大水位上昇量分布



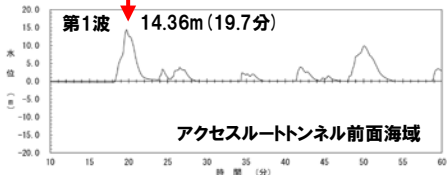
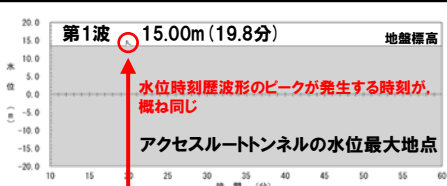
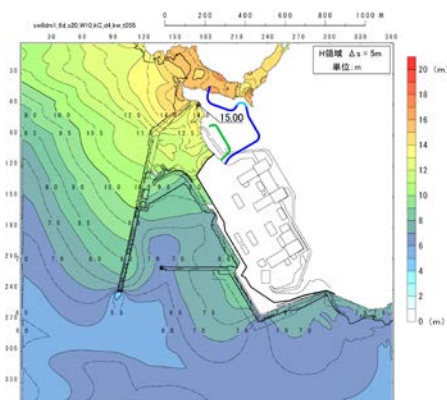
水位時刻歴波形



アクセスルートトンネル



拡大図(赤破線:影響確認地点)



地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波以外の組合せ評価の影響(1/4) 検討方針・①地震に伴う津波の着目するピークの選定

【検討方針】

○茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネルにおける「地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波以外の組合せ評価の影響」を以下により検討する。

- ① 地震に伴う津波の水位時刻歴波形より、着目するピーク(水位が高いピーク)を選定する。
- ② 陸上地すべり(川白)に伴う津波の水位時刻歴波形より、着目するピーク(水位が高いピーク)を選定する。
- ③ 上記①、②で選定した地震に伴う津波と陸上地すべり(川白)に伴う津波の着目するピークに対して、ピークが重なる組合せを選定する。

【①地震に伴う津波の着目するピークの選定】

○以下の理由により、地震に伴う津波の第1波・第4波を選定し、「③ピークが重なる組合せの選定」を実施する。

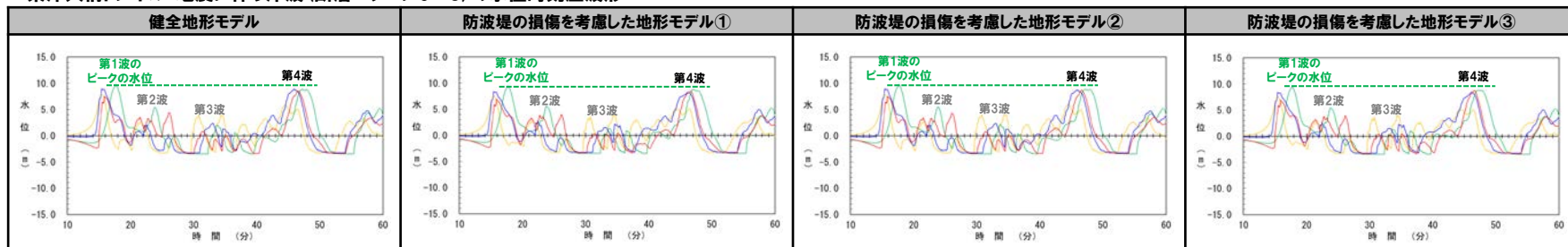
- 第1波:水位が最も高いため選定する。
- 第2波:水位が他の波と比べて低いため、選定しない。
- 第3波:水位が他の波と比べて低いため、選定しない。
- 第4波:水位が高いため選定する。

地震に伴う津波のうち位相が早く水位が高い波源(発電所に近い波源)

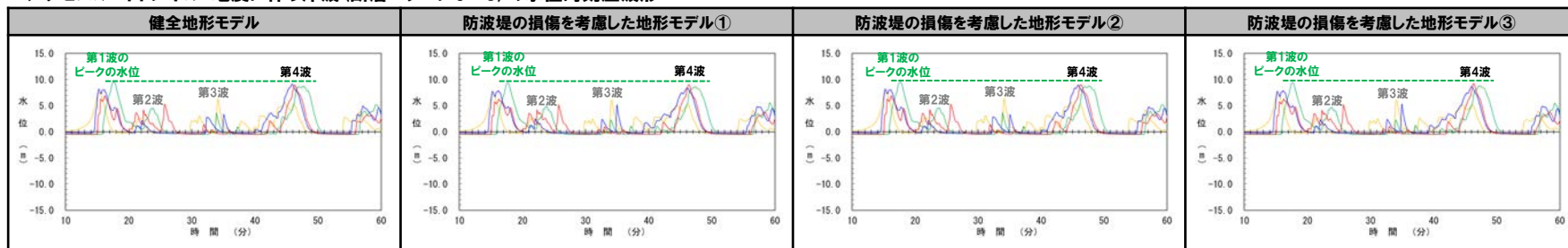
| 断層パラメータの概要 | | | | |
|------------|--------------|--------|----------|---------|
| 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスベリティ位置 | 断層面上縁深さ |
| 断層パターン5 | 矩形モデル | 東へ30km | de | 5km |
| 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | de | 5km |
| 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km |
| 断層パターン8 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km |

【凡例】
— 断層パターン5(矩形モデル, 東へ30km) — 断層パターン7(矩形モデル, 東へ15km)
— 断層パターン6(矩形モデル, 東へ5km) — 断層パターン8(矩形モデル, 東へ15km)

茶津入構トンネル:地震に伴う津波(断層パターン5~8)の水位時刻歴波形



アクセスルートトンネル:地震に伴う津波(断層パターン5~8)の水位時刻歴波形



※水位時刻歴波形は、それぞれ茶津入構トンネル前面海域・アクセスルートトンネル前面海域の代表点から抽出した。

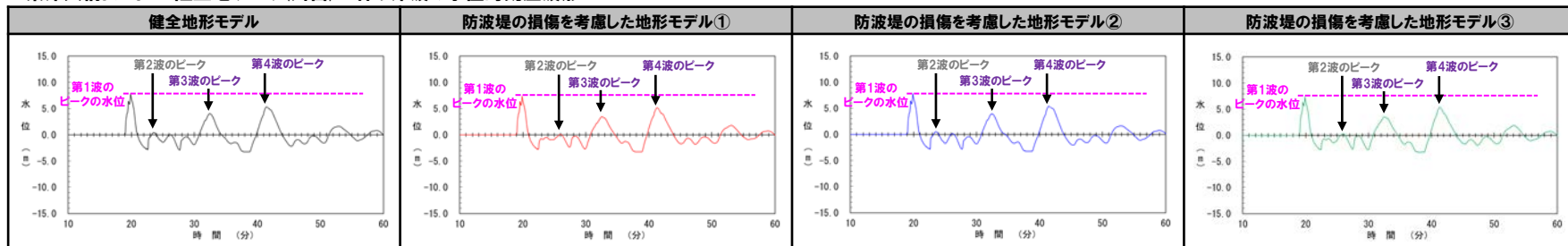
地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波以外の組合せ評価の影響(2/4) ②陸上地すべり(川白)に伴う津波の着目するピークの選定

【②陸上地すべり(川白)に伴う津波の着目するピークの選定】

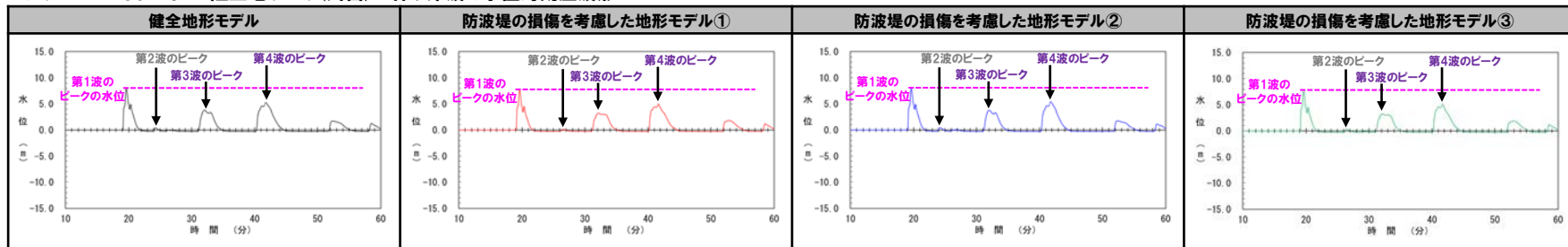
○以下の理由により、陸上地すべり(川白)に伴う津波の**第1波・第3波・第4波**を選定し、「③ピークが重なる組合せの選定」を実施する。

- **第1波**:水位が最も高いため選定する。
- **第2波**:水位が他の波と比べて低いため、選定しない。
- **第3波**:水位が高いため選定する。
- **第4波**:水位が高いため選定する。

茶津入構トンネル:陸上地すべり(川白)に伴う津波の水位時刻歴波形



アクセスルートトンネル:陸上地すべり(川白)に伴う津波の水位時刻歴波形



※水位時刻歴波形(ピークの水位)は、それぞれ茶津入構トンネル前面海域・アクセスルートトンネル前面海域の代表点から抽出した。

地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波以外の組合せ評価の影響(3/4) ③ピークが重なる組合せの選定

【③ピークが重なる組合せの選定】

○地震に伴う津波の第1波・第4波(前々頁参照)と陸上地すべり(川白)に伴う津波の第1波・第3波・第4波(前頁参照)に対して、ピークが重なる組合せを選定する。

○具体的には、以下の方法により選定する。

- 陸上地すべり(川白)に伴う津波の組合せ時間範囲(下図①, ③, ④)において、地震に伴う津波の(位相が最も早く水位が高い波源=最も東に移動させた波源(右表))の第1波・第4波のピークが発生する組合せを選定する。
- 上記の最も東に移動させた波源から西に移動させた場合に、地震に伴う津波の第1波・第4波のピーク(下図の矢印の範囲)が陸上地すべり(川白)に伴う津波の組合せ時間範囲(下図①, ③, ④)に入る組合せを選定する。

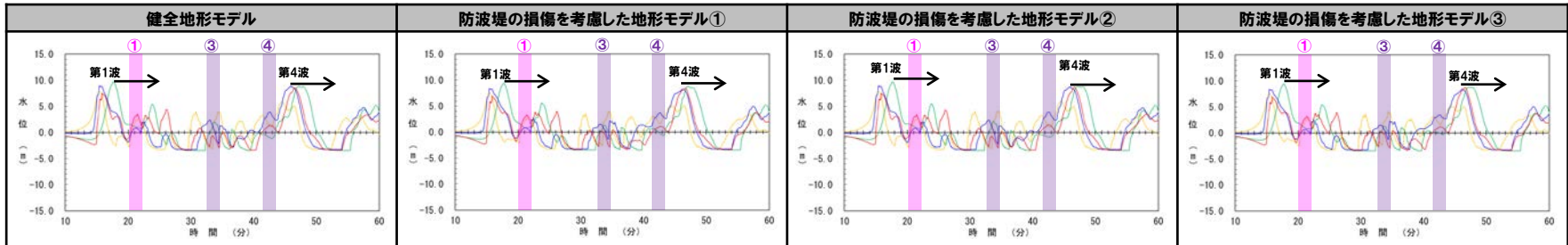
地震に伴う津波のうち位相が早く水位が高い波源(発電所に近い波源)

| 断層パラメータの概要 | | | | |
|------------|--------------|--------|----------|---------|
| 断層パターン | 矩形モデル・くの字モデル | 東西方向位置 | アスペリティ位置 | 断層面上縁深さ |
| 断層パターン5 | 矩形モデル | 東へ30km | de | 5km |
| 断層パターン6 | 矩形モデル | 東へ5km | de | 5km |
| 断層パターン7 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km |
| 断層パターン8 | 矩形モデル | 東へ15km | de | 5km |

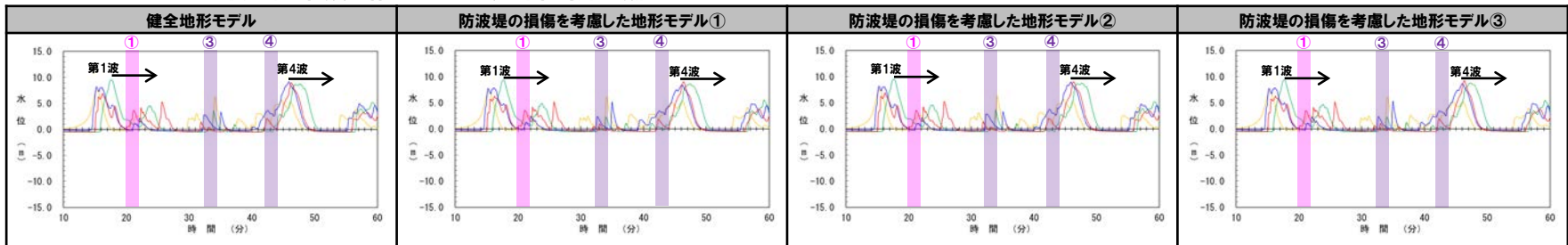
【凡例】

— 断層パターン5(矩形モデル, 東へ30km) — 断層パターン7(矩形モデル, 東へ15km)
— 断層パターン6(矩形モデル, 東へ5km) — 断層パターン8(矩形モデル, 東へ15km)

茶津入構トンネル:地震に伴う津波(断層パターン5~8)の水位時刻歴波形



アクセスルートトンネル:地震に伴う津波(断層パターン5~8)の水位時刻歴波形



※水位時刻歴波形は、それぞれ茶津入構トンネル前面海域・アクセスルートトンネル前面海域の代表点から抽出した。

○水位が高いピークのうち、ピークが重なる組合せとして、「地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波の組合せ」が選定される。

○なお、上記以外の組合せの影響については、以下の理由により影響が小さいことを確認していることから、組合せ評価の対象外とする。

- 地震に伴う津波の第2波以降は、その第1波と比べて低い(前々頁参照)
- 陸上地すべり(川白)の第2波以降は、その第1波と比べて低い(前頁参照)
- 更に、第2波以降としては水位が高い組合せは、ピークが重ならない。

地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波以外の組合せ評価の影響(4/4) まとめ

○茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネルにおける「地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波以外の組合せ評価の影響」を以下により検討した。

- ① 地震に伴う津波の水位時刻歴波形より、着目するピーク(水位が高いピーク)を選定した。
- ② 陸上地すべり(川白)に伴う津波の水位時刻歴波形より、着目するピーク(水位が高いピーク)を選定した。
- ③ 上記①、②で選定した地震に伴う津波と陸上地すべり(川白)に伴う津波の着目するピークに対して、ピークが重なる組合せを選定した。

【①地震に伴う津波の着目するピークの選定】(P396参照)

- 第1波:水位が最も高いため選定する。
- 第2波:水位が他の波と比べて低いため、選定しない。
- 第3波:水位が他の波と比べて低いため、選定しない。
- 第4波:水位が高いため選定する。

【②陸上地すべり(川白)に伴う津波の着目するピークの選定】(P397参照)

- 第1波:水位が最も高いため選定する。
- 第2波:水位が他の波と比べて低いため、選定しない。
- 第3波:水位が高いため選定する。
- 第4波:水位が高いため選定する。

【③ピークが重なる組合せの選定】(P398参照)

| | | ②陸上地すべり(川白)に伴う津波の着目するピークの選定 | | | |
|---------------------|------------------|-----------------------------|------------------|-------|-------|
| | | 第1波 | 第2波 [※] | 第3波 | 第4波 |
| ①地震に伴う津波の着目するピークの選定 | 第1波 | 重なる | - | 重ならない | 重ならない |
| | 第2波 [※] | - | - | - | - |
| | 第3波 [※] | - | - | - | - |
| | 第4波 | 重ならない | - | 重ならない | 重ならない |

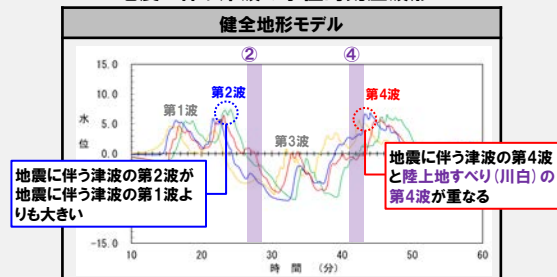
※水位が他の波と比べて低い
ため、選定しない。

○以上より、茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネルに影響が最も大きい組合せとして、ピークの水位が最も高く、かつ、ピークが重なる「地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波の組合せ」が選定されることから、この組合せを検討対象とする。

【参考:前回審査会合(令和5年10月20日審査会合)との違い】

- 今回の茶津入構トンネル・アクセスルートトンネルの評価では、「地震に伴う津波の第1波と陸上地すべり(川白)の第1波以外の組合せ」を、定量的な影響評価の検討対象としない。
- 一方、前回審査会合(令和5年10月20日審査会合)の3号炉取水口・1, 2号炉取水口、放水口の評価では、「陸上地すべり(川白)の第2波以降の組合せ」を、定量的な影響評価の検討対象としている。
- ここで、「茶津入構トンネル・アクセスルートトンネル(今回)」と「3号炉取水口他(前回)」において、定量的な影響評価の実施の有無の違いは、以下の理由によるものである。
 - 3号炉取水口他(前回)では、地震に伴う津波の第2波の水位上昇量が第1波よりも大きく、地震に伴う津波の第2波と陸上地すべり(川白)の第2波が重なる場合があり(右図参照)、最大ケースを更新する可能性があったため定量的な影響評価を実施した。
 - 3号炉取水口他(前回)では、地震に伴う津波の第4波の水位上昇量が第1波よりも大きく、地震に伴う津波の第4波と陸上地すべり(川白)の第4波が重なる場合があり(右図参照)、最大ケースを更新する可能性があったため定量的な影響評価を実施した。

地震に伴う津波の水位時刻歴波形



地震に伴う津波の第2波が地震に伴う津波の第1波よりも大きい

地震に伴う津波の第4波と陸上地すべり(川白)の第4波が重なる

※水位時刻歴波形は、3号炉取水口前面の代表点から抽出した。

7. 行政機関による津波評価

| | |
|--|------------|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2.1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2.2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2.3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3.1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3.2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4.1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4.2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4.3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4.4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5.1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5.2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5.3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5.4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5.5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7.1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7.2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

7.1 国の検討会モデルによる検討

国交省ほか(2014)の断層モデルによる数値シミュレーション結果(1/2)

一部修正(H26/12/5審査会合)

○国交省ほか(2014)のパラメータスタディ結果は下表のとおりである。

【F12断層】

| 対象ケース | 変動パラメータ | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1,2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | |
|-------|------------|-------|--------|----------|-------|--------|-----------|
| | 大すべり域の位置 | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | |
| | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 貯留堰を下回る時間 |
| F12断層 | 大すべり域右側 | 3.72m | 2.22m | 2.16m | 1.72m | -2.46m | 0s |
| | 大すべり域中央 | 3.53m | 2.30m | 2.18m | 2.00m | -2.50m | 0s |
| | 大すべり域左側 | 3.80m | 2.33m | 2.29m | 2.00m | -2.02m | 0s |
| | 大すべり域隣接LLR | 3.79m | 2.45m | 2.35m | 2.57m | -2.38m | 0s |
| | 大すべり域隣接LRR | 4.05m | 2.47m | 2.50m | 1.72m | -2.34m | 0s |

※黄ハッチングは評価項目の最大ケースである。

【F14断層】

| 対象ケース | 変動パラメータ | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1,2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | |
|-------|-------------|-------|--------|----------|--------|--------|-----------|
| | 大すべり域の位置 | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | |
| | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 貯留堰を下回る時間 |
| F14断層 | 大すべり域右側 | 3.95m | 3.47m | 3.44m | 3.06m | -2.59m | 0s |
| | 大すべり域中央 | 3.86m | 3.49m | 3.31m | 2.71m | -2.63m | 0s |
| | 大すべり域左側 | 3.73m | 3.34m | 3.17m | 2.55m | -2.71m | 0s |
| | 大すべり域隣接LLLR | 3.79m | 3.41m | 3.26m | 2.55m | -2.61m | 0s |
| | 大すべり域隣接LLRR | 3.74m | 3.48m | 3.21m | 2.55m | -2.74m | 0s |
| | 大すべり域隣接LRLR | 3.93m | 3.32m | 3.30m | 3.539m | -2.73m | 0s |
| | 大すべり域隣接LRRR | 4.29m | 3.27m | 3.28m | 3.536m | -2.67m | 0s |

※黄ハッチングは評価項目の最大ケースである。

7.1 国の検討会モデルによる検討

国交省ほか(2014)の断層モデルによる数値シミュレーション結果(2/2)

一部修正(H26/12/5審査会合)

○国交省ほか(2014)のパラメータスタディ結果は下表のとおりである。

【F15断層】

| 対象ケース | 変動パラメータ | 防潮堤前面 | 3号炉取水口 | 1,2号炉取水口 | 放水口 | 3号炉取水口 | |
|-------|-------------|-------|--------|----------|-------|--------|-----------|
| | 大すべり域の位置 | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (上昇側) | (下降側) | |
| | | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 水位変動量 | 貯留堰を下回る時間 |
| F15断層 | 大すべり域右側 | 4.17m | 3.37m | 3.37m | 2.49m | -2.83m | 0s |
| | 大すべり域中央 | 4.29m | 3.18m | 3.27m | 2.47m | -2.84m | 0s |
| | 大すべり域左側 | 3.65m | 3.16m | 3.19m | 2.39m | -2.47m | 0s |
| | 大すべり域隣接LLLR | 3.76m | 3.25m | 3.30m | 2.33m | -2.50m | 0s |
| | 大すべり域隣接LRRR | 3.79m | 3.34m | 3.30m | 2.48m | -2.54m | 0s |
| | 大すべり域隣接LRLR | 4.66m | 3.33m | 3.24m | 3.13m | -3.33m | 0s |
| | 大すべり域隣接LRRR | 4.87m | 3.32m | 3.24m | 3.12m | -3.31m | 0s |

※黄ハッチングは評価項目の最大ケースである。

7. 2 地方自治体モデルによる検討

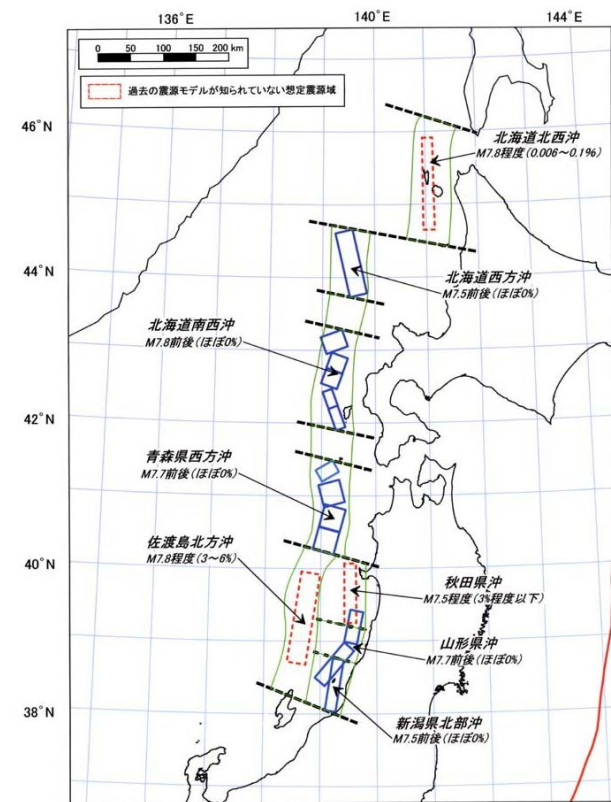
| | |
|---|-----|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2. 1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2. 2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2. 3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3. 1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3. 2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4. 1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4. 2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4. 3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4. 4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5. 1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5. 2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5. 3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5. 4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5. 5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7. 1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7. 2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体による検討一覧（地震規模の整理）

- 日本海東縁部において評価を実施している地方自治体の検討内容について、以下のとおり整理した。
- 日本海東縁部における既往最大の地震は、1993年北海道南西沖地震（断層長さ131km, M_w 7.84）である。
 - 既往最大規模相当を想定した自治体は、北海道・青森県である。
 - 既往最大を上回る地震規模を想定した自治体は、秋田県・山形県・新潟県・石川県・福井県・鳥取県・島根県である。
 - 最も地震規模が大きいモデルは、秋田県の断層長さ350km, M_w 8.69である。

| | 最大規模の地震 | | 想定位置 |
|-----------------|---------|--------------|---------------|
| | 断層長さ | モーメントマグニチュード | |
| 北海道(2017) | — | M_w 7.9 | 北海道南西沖など |
| 青森県(2015) | — | M_w 7.9 | 青森県西方沖 |
| 秋田県(2013) | 350km | M_w 8.69 | 青森県西方沖～佐渡島北方沖 |
| 山形県(2014) | — | (マグニチュード8.5) | 佐渡島北方沖 |
| 新潟県(2014) | — | M_w 8.09 | 佐渡島北方沖 |
| 富山県(2012) | — | — | — |
| 石川県(2012) | 167km | M_w 7.99 | 佐渡島北方沖 |
| 福井県(2012) | 167km | M_w 7.99 | 佐渡島北方沖 |
| 鳥取県(2012) | 222km | M_w 8.16 | 佐渡島北方沖 |
| 島根県(2012) | 223km | M_w 8.01 | 佐渡島北方沖 |
| 山口県(2015) | — | — | — |
| 【参考】 既往最大の地震 | 131km | M_w 7.84 | 1993年北海道南西沖地震 |



想定地震の震源域・規模
(地震本部(2003)より引用)

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体による検討概要 (1/6)

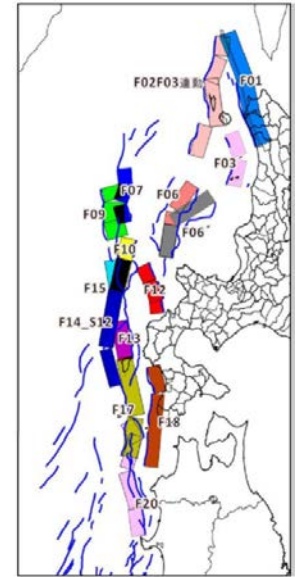
■北海道 (2017)

○国交省ほか (2014) に基づき最大 M_w 7.9の地震を想定している。

想定地震一覧

| 地震モデル | マグニチュード | 説明 |
|----------|---------|---|
| F01 | 7.9 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF01モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F03 | 7.4 | 国の報告書で示している断層トレースを基に、F03の東側の断層について、新たに設定したモデル |
| F02F03連動 | 7.8 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF02とF03の連動を設定したモデル |
| F06 | 7.6 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF06モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F06 | 7.6 | 国の報告書で示している断層トレースを基に、F06の東側の断層について、新たに設定したモデル |
| F07 | 7.4 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF07モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F09 | 7.6 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF09モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F10 | 7.5 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF10モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F12 | 7.4 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF12モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F13 | 7.3 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF13モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F14.S12 | 7.9 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF14モデルをベースとした以下の2モデルの解析結果を足し合わせたもの ・大すべり域を1つに繋げたモデル ・南側のセグメント全体を大すべり域として配置したモデル |
| F15 | 7.8 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF15モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F17 | 7.8 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF17モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F18 | 7.7 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF18モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |
| F20 | 7.8 | 国の報告書により設定された津波断層モデルF20モデルをベースに、大すべり域を1つに繋げたモデル |

(北海道 (2017) に一部加筆)



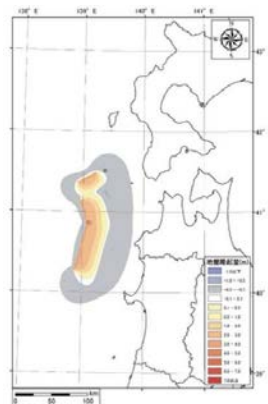
津波断層モデル位置
(北海道 (2017) より引用)

■青森県 (2015)

○地震本部 (2003) が示す青森県西方沖に M_w 7.9の地震を想定している。



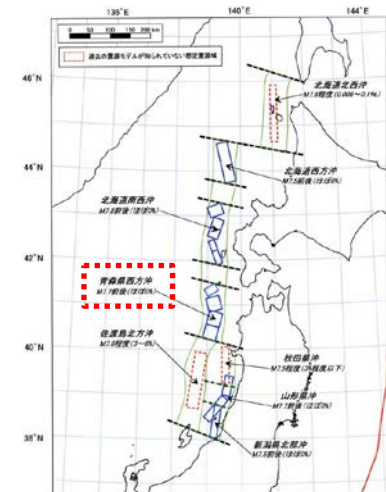
想定地震位置図



地盤変動量

(青森県 (2015) より引用)

■青森県想定
青森県西方沖 M_w = 7.9



想定地震の震源域・規模
(地震本部 (2003) に一部加筆)

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体による検討概要 (2/6)

■秋田県 (2013)

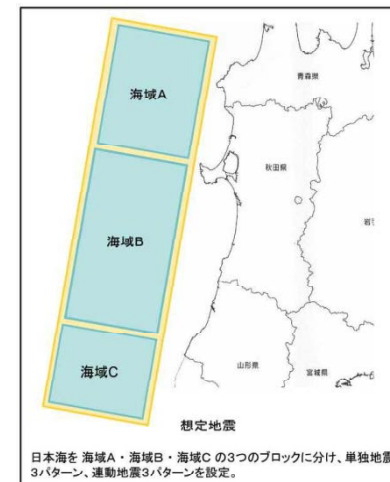
○単独地震として3領域を設定したうえで、さらに連動地震として3領域の同時破壊を想定した断層長さ350km、 M_w 8.7の地震を想定している。

想定地震パラメータ

| 区分 | ID | 震源、想定地震 | 関連震源 | 想定した地震規模 | | 傾斜角 | | すべり角 λ (°) | 断層モデル 上端深さ Hs (km) | 断層 モデル長さ L _{model} (km) | 断層 モデル幅 W _{model} (km) | 断層 モデル面積 S _{model} (km ²) | 断層モデル 下端深さ H _d (km) | 地震モーメント M ₀ (Nm) | モーメント マグニチュード M _w | 平均 すべり量 D _{model} (m) | 備考 |
|------|----|-------------|------------------|------------|------------------------|--------------|--------------|-----------------------|--------------------------|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------|
| | | | | 断層長さL (km) | マグニチュード M ₀ | δ (°) | θ (°) | | | | | | | | | | |
| 単独地震 | 1 | 海域A | 日本海中部 | 130 | 7.9 | 東傾斜 | 35 | 90 | 0 | 130 | 50 | 6,500 | 29 | 6.85E+20 | 7.82 | 3.0 | 小断層を2km×2kmでモデル化 |
| | 2 | 海域B | 佐渡島北方沖、秋田県沖、山形県沖 | 140 | 7.9 | 東傾斜 | 35 | 90 | 0 | 140 | 54 | 7,560 | 31 | 8.59E+20 | 7.89 | 3.2 | |
| | 3 | 海域C | 新潟県北部沖、山形県沖 | 80 | 7.5 | 西傾斜 | 55 | 90 | 0 | 80 | 32 | 2,560 | 26 | 1.69E+20 | 7.42 | 1.9 | |
| 連動地震 | 4 | 海域A+海域B | 新潟県北部沖、山形県沖 | 270 | 8.5 | 東傾斜 | 20 | 90 | 0 | 270 | 105 | 28,350 | 36 | 6.24E+21 | 8.46 | 6.3 | 小断層を5km×5kmでモデル化 |
| | 5 | 海域B+海域C | 佐渡島北方沖、秋田県沖、山形県沖 | 220 | 8.3 | 東傾斜 | 20 | 90 | 0 | 220 | 85 | 18,700 | 29 | 3.34E+21 | 8.28 | 5.1 | |
| | 6 | 海域A+海域B+海域C | 新潟県北部沖、山形県沖 | 350 | 8.7 | 東傾斜 | 20 | 90 | 0 | 350 | 135 | 47,250 | 46 | 1.34E+22 | 8.69 | 8.1 | |

注) 海域Cの単独地震については、津波シミュレーションの概略計算で秋田県への影響が比較的小さいと想定されたため、最終的な詳細計算は省略した。

(秋田県 (2013) に一部加筆)



想定地震位置図
(秋田県 (2013) より引用)

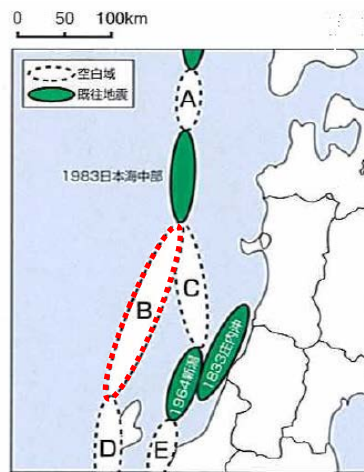
■山形県 (2014)

○地震本部 (2003) が示す佐渡島北方沖の空白域にマグニチュード8.5の地震を想定している。

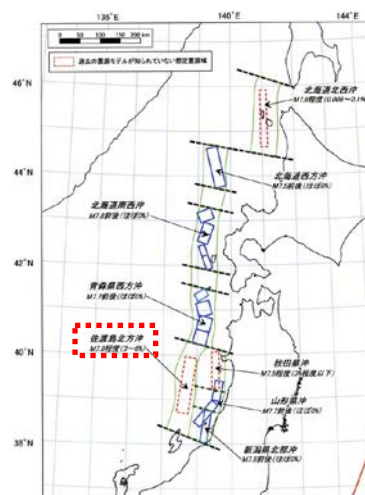
想定震源域及び想定地震規模

| 想定震源域 | 想定地震規模 |
|--------------------------|------------|
| 「長期評価佐渡島北方沖」の空白域 (右図「B」) | マグニチュード8.5 |
| 「長期評価秋田県沖」の空白域 (右図「C」) | マグニチュード8.0 |

(山形県 (2014) に一部加筆)



想定地震位置図
(山形県 (2014) に一部加筆)



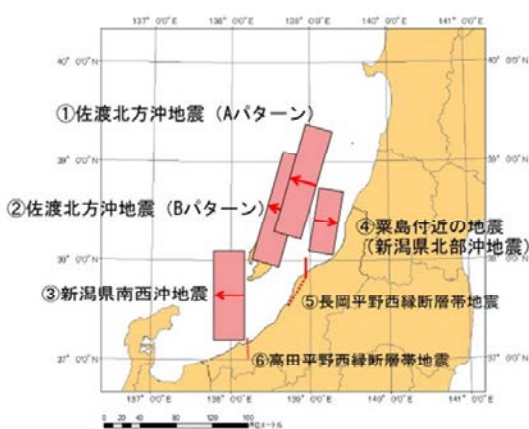
想定地震の震源域・規模
(地震本部 (2003) に一部加筆)

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体による検討概要 (3/6)

■新潟県 (2016)

○地震本部 (2003) を参照し、佐渡島北方沖地震として最大 M_w 7.80を設定。さらに、3連動地震として M_w 8.09の地震を想定している。

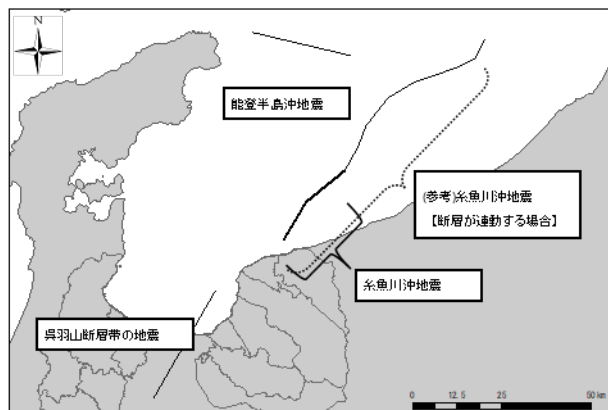


- ①佐渡北方沖地震 (Aパターン) M_w 7.80
- ②佐渡北方沖地震 (Bパターン) M_w 7.80
- ③新潟県南西沖地震 M_w 7.75
- ④粟島付近の地震 (新潟県北部沖地震) M_w 7.56
- ⑤長岡平野西縁断層帯地震 M_w 7.63
- ⑥高田平野西縁断層帯地震 M_w 7.10
- ⑦連動発生地震 (同時) (秋田、山形、新潟県北部沖) M_w 8.09
- ⑧連動発生地震 (時間差) (秋田、山形、新潟県北部沖)

想定震源位置図
(新潟県 (2016) に一部加筆)

■富山県 (2012)

○海域の活断層による津波のみ想定しており、日本海東縁部の地震による津波は想定していない。



想定地震位置図
(富山県 (2012) より引用)

想定地震パラメータ

| 名称 | 規模 (M) | 原点 | 走向 (度) | 傾斜角 (度) | 滑り角 (度) | 断層上端深さ (km) | 長さ (km) | 幅 (km) | 滑り量 (m) |
|---------------------------------|--------|---------------------------|-----------------|---------|---------|-------------|---------|--------|----------------|
| 呉羽山断層帯の地震 | 7.4 | 北緯 36.872° 東経 137.343° | 210 | 45 | 90 | 0.1 | 35 | 22 | 2.9m (実測値) |
| 糸魚川沖地震 | 7.2 | 北緯 37.002° 東経 137.556° | 約41度 (平均走向) | 30 | 90 | 0.1 | 28 | 44 | 2.2m (標準算式) |
| 能登半島沖地震 | 7.2 | 北緯 37.531° 東経 137.463° | 約103度 (平均走向) | 30 | 90 | 0.1 | 28 | 44 | 2.2m (標準算式) |
| (参考) 糸魚川沖地震 【断層が連動する場合】 | 8.0 | 北緯 37.002° 東経 137.556° | 約58度 (平均走向) | 30 | 90 | 0.1 | 84 | 44 | 6.6m (標準算式) |
| (参考) 呉羽山断層帯 の地震 【滑り量標準算式】 | 7.4 | 北緯 36.872° 東経 137.343° | 210 | 45 | 90 | 0.1 | 35 | 22 | 1.4m (標準算式) |

※1: 滑り量の「標準算式」は、地震調査研究推進本部等で使用されている方法で、地震のモーメント (規模) と断層面積から求めるものである。

※2: 呉羽山断層帯の滑り量の「実測値」は、平成7、8年度に実施した富山県の活断層調査結果より設定した。

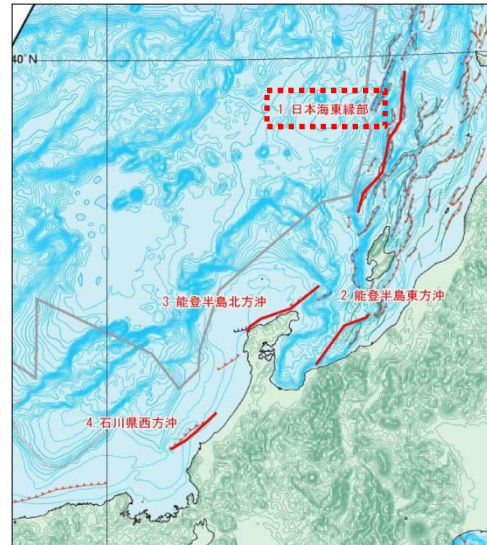
(富山県 (2012) より引用)

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体による検討概要 (4/6)

■石川県 (2012)

○徳山ほか (2001) が示す活断層を基に、 M_w 7.99の地震を想定している。



想定地震位置図
(石川県 (2012) に一部加筆)

想定地震パラメータ

| 断層名 | | 1 日本海東縁部 | 2 能登半島 東方沖 | 3 能登半島 北方沖 | 4 石川県西方沖 |
|----------------------------|-----------|-------------|------------------|------------------|-------------|
| 想定 マグニチュード | M_w | 7.99 | 7.58 | 7.66 | 7.44 |
| 気象庁 マグニチュード | M_j | 8.54 | 8.03 | 8.13 | 7.85 |
| 気象庁 マグニチュード | M_j | 8.54 | 8.02 | 8.13 | 7.85 |
| 断層長 (km) | L | 167 | 82 | 95 | 65 |
| 幅 (km) | W | 17.32 | 17.32 | 17.32 | 17.32 |
| 地震モーメント ($N \cdot m$) | M_o | $1.22E+21$ | $2.95E+20$ | $3.89E+20$ | $1.82E+20$ |
| すべり量 (m) | D | 12.01 | 5.94 | 6.76 | 4.62 |
| 上縁深さ (km) | d | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 傾斜角 | ϕ | 60 | 60 | 60 | 60 |
| すべり角 | λ | 90 | 90 | 90 | 90 |

(石川県 (2012) に一部加筆)

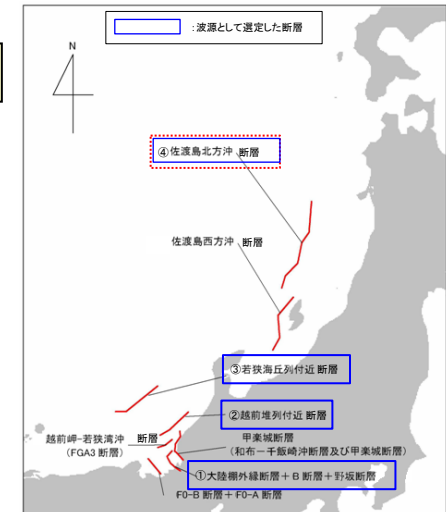
■福井県 (2012)

○徳山ほか (2001) が示す活断層等を参考に、 M_w 7.99の地震を想定している。

想定地震パラメータ

| 選定波源 | マグニチュード' M_w | 地震により隆起する地盤 | |
|----------------|-------------------|-------------|------------------|
| | | すべり量 | 長さ, 幅 |
| ①野坂,B及び大陸棚外縁断層 | 7.28 | 3.73m | 長さ49km 幅17.32km |
| ②越前堆列付近断層 | 7.44 | 4.62m | 長さ65km 幅17.32km |
| ③若狭海丘列付近断層 | 7.63 | 6.43m | 長さ90km 幅17.32km |
| ④佐渡島北方沖断層 | 7.99 | 12.01m | 長さ167km 幅17.32km |

(福井県 (2012) に一部加筆)



想定地震位置図
(福井県 (2012) に一部加筆)

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体による検討概要 (5/6)

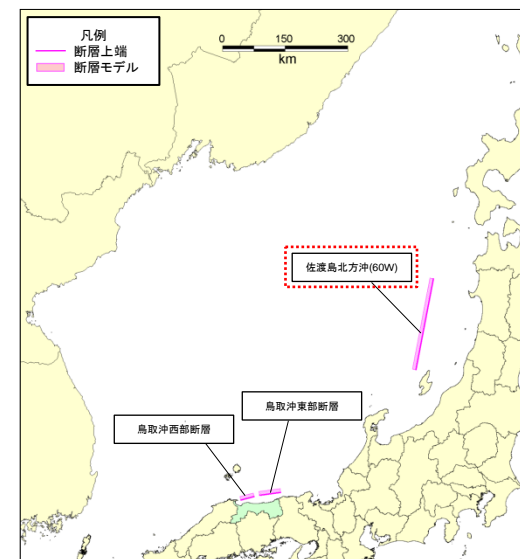
■鳥取県 (2012)

○地震本部 (2003) を参照し、佐渡島北方沖の領域に最大 M_w 8.16の地震を想定している。

想定地震パラメータ

| 想定断層 | M_w | 緯度 (度) | 経度 (度) | 深さ (km) | 走向 (度) | 傾斜 (度) | すべり角 (度) | 長さ(運動) (km) | 幅 (km) | すべり量 (m) | |
|----------------|---------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|----------------|-----------|-------------|-------|
| 鳥取沖東部断層 (北上がり) | 7.30 | 35.75 | 134.46 | 0 | 262 | 90 | 40 | 51.0 | 15.00 | 4.24 | |
| 鳥取沖東部断層 (南上がり) | 7.30 | 35.69 | 133.89 | 0 | 82 | 90 | 40 | 51.0 | 15.00 | 4.24 | |
| 鳥取沖西部断層 (北上がり) | 7.05 | 35.65 | 133.75 | 0 | 255 | 90 | 40 | 33.0 | 15.00 | 2.74 | |
| 鳥取沖西部断層 (南上がり) | 7.05 | 35.58 | 133.39 | 0 | 75 | 90 | 40 | 33.0 | 15.00 | 2.74 | |
| 隠岐東方断層 | 7.38 | 36.55 | 134.03 | 0 | 78 | 60 | 90 | 58.2 | 17.32 | 4.19 | |
| 隠岐北西方の断層 | 7.77 | 36.40 | 132.67 | 0 | 11 | 60 | 90 | 31.0 | (114) | 17.32 | 8.23 |
| | | 36.68 | 132.74 | 0 | 334 | 60 | 90 | 35.9 | | 17.32 | 8.23 |
| | | 36.97 | 132.57 | 0 | 4 | 60 | 90 | 46.8 | | 17.32 | 8.23 |
| 佐渡島北方沖 (パターン1) | E (東落ち) | 7.85 | 38.95 | 138.41 | 0 | 20 | 45 | 90 | 131.1 | 21.21 | 7.71 |
| | | 7.85 | 38.95 | 138.41 | 0 | 20 | 60 | 90 | 131.1 | 17.32 | 9.44 |
| | | 7.85 | 40.06 | 138.93 | 0 | 200 | 45 | 90 | 131.1 | 21.21 | 7.71 |
| 佐渡島北方沖 (パターン2) | E (東落ち) | 8.16 | 38.36 | 138.15 | 0 | 12.9 | 45 | 90 | 222.2 | 21.21 | 13.06 |
| | | 8.16 | 38.36 | 138.15 | 0 | 12.9 | 60 | 90 | 222.2 | 17.32 | 16.00 |
| | | 8.16 | 40.31 | 138.73 | 0 | 193.3 | 45 | 90 | 222.2 | 21.21 | 13.06 |
| 佐渡島北方沖 (パターン2) | W (西落ち) | 8.16 | 40.31 | 138.73 | 0 | 193.3 | 60 | 90 | 222.2 | 17.32 | 16.00 |
| | | 8.16 | 40.31 | 138.73 | 0 | 193.3 | 45 | 90 | 222.2 | 21.21 | 13.06 |
| | | 8.16 | 40.31 | 138.73 | 0 | 193.3 | 60 | 90 | 222.2 | 17.32 | 16.00 |

(鳥取県 (2012) に一部加筆)



想定地震位置図
(鳥取県 (2012) に一部加筆)

■島根県 (2012)

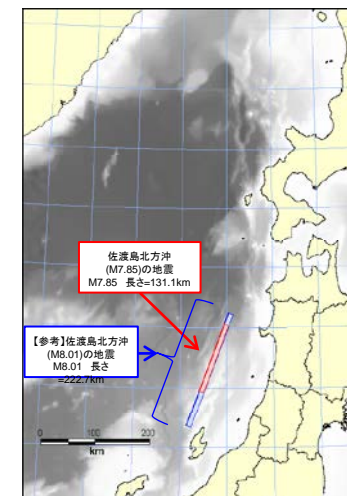
○地震本部 (2003) を参照し、佐渡島北方沖の領域に最大 M_w 8.01の地震を想定している。

想定地震パラメータ

| 想定断層 | M_j | $M_w^{※4}$ | 緯度 (度) | 経度 (度) | 深さ (km) | 走向 (度) | 傾斜 (度) | すべり角 (度) | 長さ (km) | 幅 (km) | すべり量 (m) |
|-------------------------------------|-------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|------------|-----------|-------------------|
| 佐渡島北方沖の地震 ^{※2} | 7.85 | 7.85 | 38.9498 | 138.4131 | 0.0 | 20 | 60 | 90 | 131.1 | 17.3 | 9.4 |
| 【参考】佐渡島北方沖の地震 (M8.01) ^{※3} | 8.01 | 8.01 | 38.3584 | 138.1383 | 0.0 | 20 | 60 | 90 | 222.7 | 17.3 | 9.5 |
| 出雲市沖合の地震 (断層北傾斜) | 7.5 | 6.9 | 35.5879 | 132.8784 | 3.0 | 267 | 45 | 90 | 38.4 | 17.0 | 3.2 ^{※1} |
| 出雲市沖合の地震 (断層南傾斜) | 7.5 | 6.9 | 35.5690 | 132.4544 | 3.0 | 87 | 45 | 90 | 38.4 | 17.0 | 3.2 ^{※1} |
| 浜田市沖合の地震 | 7.3 | 6.8 | 35.1888 | 132.2491 | 3.0 | 232 | 45 | 90 | 27.0 | 17.0 | 2.4 ^{※1} |
| 隠岐北西方の地震 | 7.4 | 6.9 | 36.9606 | 132.5336 | 3.0 | 154 | 45 | -90 | 36.0 | 17.0 | 2.8 ^{※1} |

※1:すべり量は、Mから松田式により算出 (logD=0.6M-4.0)
 ※2:中国電力想定モデル (2008) に基づき設定
 ※3:佐渡島北方沖の最大規模の地震として設定
 ※4:津波震源としての M_w (武村式 $M_w=0.78M_j+1.08$ により算出)

(島根県 (2012) に一部加筆)



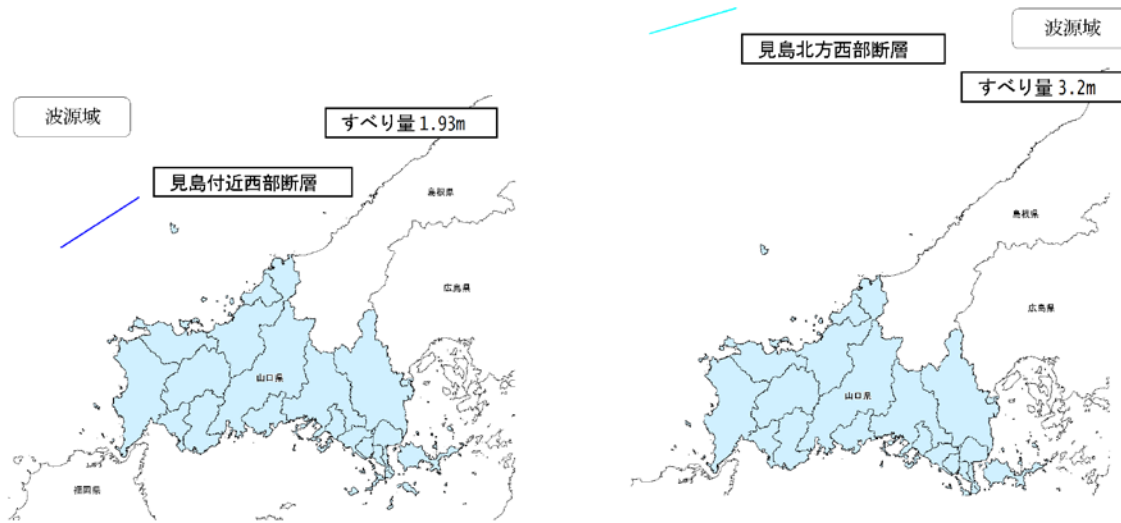
想定地震位置図
(島根県 (2012) より引用)

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体による検討概要 (6/6)

■山口県 (2015)

○海域活断層による津波のみ想定しており、日本海東縁部の地震による津波は想定していない。



想定地震位置図
(山口県 (2015) より引用)

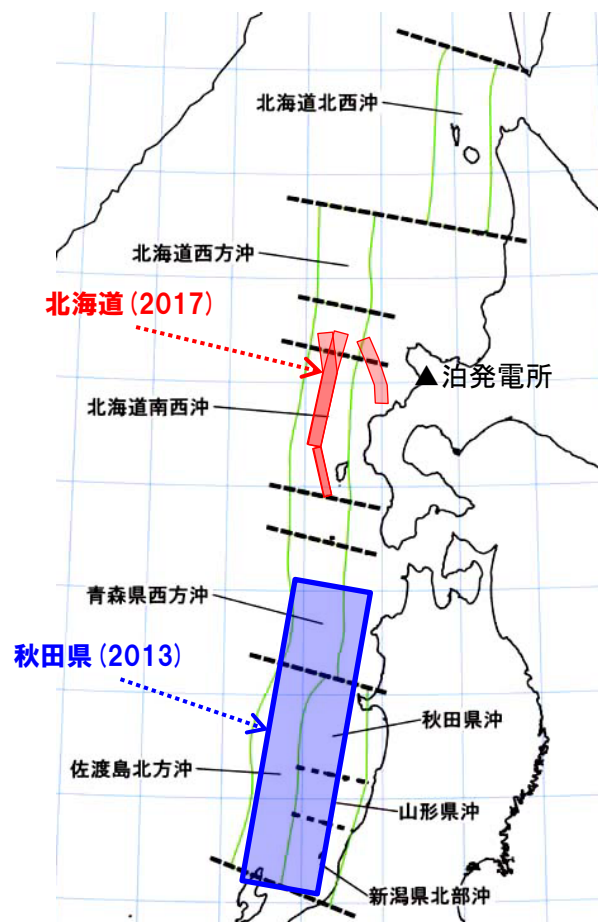
- ①山口県独自モデル 見島付近西部断層
- ②山口県独自モデル 見島北方西部断層

7.2 地方自治体モデルによる検討

地方自治体における津波評価の検討対象

○日本海東縁部において評価を実施している地方自治体の検討内容を踏まえ、行政機関における津波評価の検討対象は、以下の理由より、秋田県(2013)及び北海道(2017)とする。

- 秋田県(2013):最も地震規模の大きい断層モデル(M_w 8.69,断層長さ350km)を想定している。
- 北海道(2017):最も泊発電所に近い位置に断層モデルを想定している。



検討対象とする断層モデルの位置
(地震本部(2003)に一部加筆)

| | |
|---|-----|
| 1. 計算条件 | 3 |
| 2. 既往津波の検討 | 25 |
| 2. 1 既往津波の文献調査 | 26 |
| 2. 2 津波堆積物調査 | 29 |
| 2. 3 既往津波の再現解析 | 82 |
| 3. 地震に伴う津波 | |
| 3. 1 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波 | |
| 3. 2 海域活断層に想定される地震に伴う津波 | |
| 4. 地震以外の要因に伴う津波 | 85 |
| 4. 1 火山による山体崩壊に伴う津波 | 86 |
| 4. 2 海底地すべりに伴う津波 | 132 |
| 4. 3 陸上の斜面崩壊(陸上地すべり)に伴う津波 | 154 |
| 4. 4 陸上の斜面崩壊(岩盤崩壊)に伴う津波 | 267 |
| 5. 地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ | 313 |
| 5. 1 解析実施ケース一覧 | 314 |
| 5. 2 ピークが重なる波源の組合せ評価 | 319 |
| 5. 3 水位が高い波源の組合せ評価 | 347 |
| 5. 4 「貯留堰を下回る時間」の最大ケースの妥当性確認 | 377 |
| 5. 5 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネル設置に伴う基準津波への影響評価 | 380 |
| 6. 基準津波策定 | |
| 7. 行政機関による津波評価 | 400 |
| 7. 1 国の検討会モデルによる検討 | 401 |
| 7. 2 地方自治体モデルによる検討 | 403 |
| 8. 超過確率の参照 | |
| 9. 基準津波による安全性評価 | |
| 参考文献 | 412 |

参考文献

- ・渡辺偉夫 (1998) : 日本被害津波総覧 [第2版], 東京大学出版会, 238p.
- ・羽鳥徳太郎 (1984a) : 北海道渡島沖津波 (1741年) の挙動の再検討, 東京大学地震研究所彙報, 59, pp.115-125.
- ・宇佐美龍夫・石井寿・今村隆正・武村雅之・松浦律子 (2013) : 日本被害地震総覧 599-2012, 東京大学出版会, 694p.
- ・羽鳥徳太郎 (1996) : 日本近海における津波マグニチュードの特性, 津波工学研究報告, Vol.13, pp.17-26.
- ・羽鳥徳太郎 (1986) : 津波の規模階級の区分, 東京大学地震研究所彙報, Vol.61, pp.503-515.
- ・国立天文台編 (2016) : 理科年表, 平成28年版, 丸善出版.
- ・羽鳥徳太郎 (1995) : 日本海沿岸における津波エネルギー分布, 地震, 第2輯, 第48巻, pp.229-233.
- ・北海道 (2013) : 平成24年度日本海沿岸の津波浸水想定の特長・見直し報告書, 北海道に津波被害をもたらす想定地震の再検討ワーキンググループ.
- ・川上源太郎・仁科健二・加瀬善洋・廣瀬亘・田近淳・渡邊達也・石丸聡・嵯峨山積・林圭一・高橋良・深見浩司・田村慎・輿水健一・岡崎紀俊・大津直 (2015) : 北海道の日本海・オホーツク海沿岸における津波履歴: 充填研究「北海道の津波災害履歴の研究-未解明地域を中心に-」成果報告書, 北海道地質研究所調査研究報告, 第42号, pp1-218.
- ・川上源太郎・加瀬善洋・ト部厚志・高清水康博・仁科健二 (2017a) : 日本海東縁の津波とイベント堆積物, 地質学雑誌, 第123巻, 第10号, pp.857-877.
- ・Gentaro Kawakami, Kenji Nishina, Yoshihiro Kase, Jun Tajika, Keiichi Hayashi, Wataru Hirose, Tsumoru Sagayama, Tatsuya Watanabe, Satoshi Ishimaru, Ken'ichi Koshimizu, Ryo Takahashi and Kazuomi Hirakawa. (2017b) : Stratigraphic record tsunami along the Japan Sea, southwest Hokkaido, northern Japan, Island Arc, Volume26, Issue4, p.18.
- ・東大地震研 (2017) : 平成29年度「日本海地震・津波調査プロジェクト」成果報告書.
- ・北海道立総合研究機構 (2013) : 平成24年度津波堆積物調査研究業務報告書.
- ・羽鳥徳太郎・片山通子 (1977) : 日本海沿岸における歴史津波の挙動とその波源域, 東京大学地震研究所彙報, Vol.52, pp.49-70.
- ・宮部直巳 (1941) : 昭和15年8月2日日本海に起つた津浪, 東京帝國大學地震研究所彙報, pp.104-114.
- ・中央气象台 (1940) : 「気象要覧」, 第492号, pp.954-956.
- ・斎藤博英 (1941) : 北海道西岸を襲ひし津浪, 北海道気象要報, 第1巻, 第3号, pp.107-125.
- ・気象庁 (1984) : 昭和58年 (1983年) 日本海中部地震調査報告, 気象庁技術報告, 第106号, p.254.
- ・後藤章夫・高橋浩晃・宇津木充・小野忍・大島弘光・笠原稔・竹中博士・齊田智治 (1994) : 北海道南西沖地震に伴う津波-小樽から礼文島まで, 月刊海洋, 号外No.7, pp.153-158.
- ・相田勇 (1977) : 三陸沖の古い津波のシミュレーション, 東京大学地震研究所彙報, Vol.52, pp.71-101.
- ・土木学会 (2016) : 「原子力発電所の津波評価技術」, 土木学会原子力土木委員会津波評価部会.
- ・嶋原良典・犬井将堯・山本阿子・森木ひかる・隈元崇 (2022,2023) : 日本周辺海域で過去に発生した海底地すべり津波の規模推定, 日本地震学会2022年度秋季大会.
- ・犬井将堯・嶋原良典 (2023) : 日本海の過去の海底地すべり津波の規模推定, 日本地球惑星科学連合2023年大会.
- ・Watts,P.,S.T.Grilli,D.R.Tappin,and G.J.Fryer (2005) :Tsunami Generation by Submarine Mass Failure. II:Predictive Equations and Case Studies,Journal of Waterway,Port,Coastal,and Ocean Engineering,ASCE,pp.298-310.

参考文献

- ・西来邦章・伊藤順一・上野龍之編(2012):第四紀火山岩体・貫入岩体データベース.
- ・中野俊・西来邦章・宝田晋治・星住英夫・石塚吉浩・伊藤順一・川辺禎久・及川輝樹・古川竜太・下司信夫・石塚治・山元孝広・岸本清行編(2013):日本の火山(第3版),200万分の1地質編集図,No.11,産業技術総合研究所 地質調査総合センター.
- ・兼岡一郎・井田喜朗(1997):火山とマグマ,東京大学出版社.
- ・中村浩之・井上公夫・土屋智・石川芳治(2000):地震砂防,古今書院.
- ・太田一也(1987a):眉山大崩壊のメカニズムと津波,月刊地球,9巻4号,pp.214-220.
- ・山元孝広(2014):日本の主要第四紀火山の積算マグマ噴出量階段図,地質調査総合センター研究資料,No.613,産総研地質調査総合センター
- ・小嶋尚・野上道男・小野有五・平川一臣(2003):日本の地形2 北海道,東京大学出版会.
- ・児玉浩・宇井忠英・中川光弘(1998b):ニセコ火山群の火山活動史,日本岩石鉱物鉱床学会 平成9年度学術講演会予稿集, p.8.
- ・勝井義雄・岡田弘・中川光弘(2007):北海道の活火山,北海道新聞社.
- ・気象庁(2013):日本活火山総覧(第4版).
- ・奥野充(2003):ニセコ・イワオヌプリ,大雪山・旭岳,屈斜路・アトヌプリにおける最新噴火の年代学的研究,文部省科学研究費重点領域研究 北海道における完新世火山の火山活動特性の評価研究成果報告書, pp.13-23.
- ・北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会(2000):北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会報告書,平成12年10月.
- ・阿部勝征(1989):地震と津波のマグニチュードに基づく津波高の予測 東京大学地震研究所彙報, Vol.64,pp.51-69.
- ・後藤智明・小川由信(1982):Leap-frog法を用いた津波の数値計算法,東北大学工学部土木工学科資料.
- ・小谷美佐・今村文彦・首藤伸夫(1998):GISを利用した津波遡上計算と被害推定法,海岸工学論文集,第45巻, pp.356-360.
- ・Mansinha, L. and Smylie, D.(1971):The displacement fields of inclined faults, Bulletin of the Seismological Society of America,Vol.61, No.5, pp.1433-1440.
- ・長谷川賢一・鈴木孝夫・稲垣和男・首藤伸夫(1987):津波の数値実験における格子間隔と時間積分間隔に関する研究,土木学会論文集, No.381, II-7, pp.111-120.
- ・S.Noda, K.Yashiro, K.Takahashi, M.Takemura, S.Ohno, M.Tohdo and T.Watanabe (RESPONSE SPECTRA FOR DESIGN PURPOSE OF STIFF STRUCTURES ON ROCK SITES,OECD Workshop on the Relations Between Seismological DATA and Seismic Engineering,Oct.16-18,Istanbul,399)
- ・新エネルギー総合開発機構(1986):昭和60年度全国地熱資源総合調査(第2次)火山性熱水対流系地域タイプ①
(ニセコ地域)調査 火山岩分布年代調査報告書 要旨.
- ・新エネルギー総合開発機構(1987)(1):昭和61年度全国地熱資源総合調査(第2次)火山性熱水対流系地域タイプ①
(ニセコ地域)地熱調査成果図集.
- ・気象庁(2011):地震年報.
- ・Kaneoka Ichiro, Hiromitsu Yamagishi and Masahiro Yahata(1987):K-Ar Ages of the Neogene Submarine Volcanic Rocks and Overlying Quaternary Subaerial Lavas from the Mt.karibayama Area, Southwest Hokkaido, Buji. Volcanol. Soc. Japan, Ser.2, Vol, 32, No.4, pp. 329-333.
- ・火山噴火予知連絡会(2003):火山噴火予知連絡会による活火山の選定及び火山活動度による分類(ランク分け)について,気象庁, 報道発表資料
- ・新エネルギー総合開発機構(1994):地熱開発促進調査報告書No.33,奥尻地域.
- ・秦光男・佐藤博之・須田芳朗・小川健三(1979):20万分の1地質図「久遠」,工業技術院地質調査所.

参考文献

- ・井口隆(2006):日本の第四紀火山で生じた山体崩壊・岩屑なだれの特徴-発生状況・規模と運動形態・崩壊地形・流動堆積状況・発生原因について-, Journal of the Japan Landslide Society, Vol.42, No.5 (2006) January, pp.409-420.
- ・第四紀火山カタログ委員会編(2000):日本の第四紀火山カタログ, 日本火山学会.
- ・雁沢好博(1992):西北海道渡島半島の第三系層序と古地理, 地理学論集, No.37, pp.11-23.
- ・玉生志郎(1978):ガラスによるフィッション・トラック年代測定, 日本地質学会第85年学術大会講演要旨, p.288.
- ・宇井忠英・中川光弘(1999):第四紀火山カタログ委員会編 日本の第四紀火山カタログ1999, 日本火山学会.
- ・Satake,K.(2007):Volcanic origin of the 1741 Oshima-Oshima tsunami in the Japan Sea, Earth Planets Space, Vol.59, pp.381-390.
- ・秦光男・瀬川秀良・矢島淳吉(1982):奥尻島北部及び南部地域の地質, 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅) 地質調査所, p.83.
- ・鹿野和彦・吉村洋平・石山大三・Geoffrey J.Orton・大口健志(2006):北海道奥尻島 勝間山火山の噴出物と構造, 火山, 第51巻(2006), 第4号, pp.211-229.
- ・高速道路調査会(1985):地すべり地形の安定度評価に関する研究報告書, p.36.
- ・松本智裕・橋和正・今村文彦・首藤伸夫(1998):土石流による津波発生・伝播モデルの開発, 海岸工学論文集, 第45巻, pp.346-350.
- ・土木学会(2002):「原子力発電所の津波評価技術」, 土木学会原子力土木委員会津波評価部会.
- ・Kawamata,K., K.Takaoka, K.Ban, F.Imamura, S.Yamaki, and E.Kobayashi(2005):Model of tsunami generation by collapse of volcanic eruption: The 1741 Oshima-Oshima Tsunami, Tsunamis, Vol23, pp.79-96.
- ・Hampton and Lee(1996):SUBMARINE LANDSLIDES, Reviews of Geophysics, Volume 34, Issue 1, pp.33-59.
- ・鈴木博・長嶋昭(1980):高圧力下における海水の粘性係数, 日本機械学会論文集(B編), 46巻, 408号, pp.1574-1582.
- ・東日本高速道路(株), 中日本高速道路(株), 西日本高速道路(株)(2006):設計要領第一集土工編:pp.1-44.
- ・東日本高速道路(株), 中日本高速道路(株), 西日本高速道路(株)(2007):設計要領第二集橋梁建設編:pp.4-8.
- ・高橋保・小林幸一郎(1993):粘性土石流の流動機構に関する研究, 京都大学防災研究所年報第36号B-2, pp.433-449.
- ・地盤工学会(2009):地盤材料試験の方法と解説-二分冊の1-, 丸善, p.55.
- ・日本機械学会(2006):機械工学便覧基礎編α4 流体力学, 丸善, p.84.
- ・水山高久・吉松弘行・鈴木浩之(1985):湛水した砂防ダムに流入する土石流の影響, 第29回水理講演会論文集, pp.639-644.
- ・道上正規・檜谷浩・木戸 正二(1996):貯水池内での土砂流入に伴う水面波に関する実験的研究.
- ・松村和樹・高濱淳一郎・嶋大尚・村上正人・道上正規・檜谷浩・哇森雅樹・北栄雅人(1997):土塊が水域に突入することによる段波の形成過程に関する実験的研究.
- ・山岸宏光・石井正之(1979):5万分の1地質図幅説明書「余別および積丹岬」北海道立地下資源調査所.
- ・藤原明敏(1970):地すべり調査と解析, pp.148-149.
- ・稲垣秀輝・大久保拓郎・長谷川修一・矢田部龍一(2005):古期地すべりの安定性, 土と基礎, Vol.53, No.2, pp.17-19.
- ・柳田誠・長谷川修一(2000):地すべり地形の年齢-地すべり地形の形成から消失までの時間-, 第39回日本地すべり学会研究発表会講演集, pp.591-594.
- ・国土交通省(2008):地すべり防止技術指針及び同解説, 平成20年4月, 国土交通省砂防部 独立行政法人土木研究所, p.52.
- ・森脇寛(1987):崩土の到達距離予測, 日本地すべり学会誌, 地すべり, 第24巻, 第2号, pp.10-16.
- ・山田剛二・渡正亮・小橋澄治(1971):地すべり・斜面崩壊の実態と対策, pp.310-325.
- ・土木学会(1997):大規模岩盤崩壊に関する技術検討委員会報告書.
- ・川本眺万(1975):岩盤力学, p.161.

参考文献

- ・ 北海道地すべり学会 (2012) : 北海道の地すべり2012, pp.249-257.
- ・ 国土交通省・内閣府・文部科学省 (2014) : 日本海における大規模地震に関する調査検討会 報告書, 平成26年9月日本海における大規模地震に関する調査検討会.
- ・ 地震本部 (2003) : 日本海東縁部の地震活動の長期評価について, 地震調査研究推進本部, p.62

(WEB)

- ・ 東北大学・原子力規制庁 (2014) : 津波痕跡データベース.
<https://tsunami-db.irides.tohoku.ac.jp/tsunami/mainframe.php>
- ・ 海上保安庁 (2022) : 海域火山データベース: <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/kaiikiDB/list-2.htm>
- ・ 気象庁 火山活動解説資料: https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
- ・ 防災科学技術研究所 (2010) : 地すべり地形分布図データベース: <https://www.j-shis.bosai.go.jp/map/>
- ・ (独)産業技術総合研究所地質調査総合センター 日本の火山: <https://gbank.gsj.jp/volcano/>
- ・ 秋田県 (2013) : 「地震被害想定調査」に係る津波関連データについて.
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/6779>
- ・ 北海道 (2017) : 北海道日本海沿岸における津波浸水想定公表について.
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/nihonkai_tsunami-sinnsuisoutei.html
- ・ 青森県 (2015) : 津波浸水想定設定.
<https://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/tunami-sinsuisoutei.html>
- ・ 山形県 (2014) : 山形県津波浸水想定, 被害想定検討委員会について.
<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/bousaijouhou/jishintsunami/tsunami/shinsuisoutei/tsunamiinkai.html>
- ・ 新潟県 (2014) : 新潟県地域防災計画.
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bosaikikaku/sec-bousaikikaku-chiikibousaieikaku.html>
- ・ 富山県 (2012) : 津波浸水想定公表について.
<https://www.pref.toyama.jp/1900/bousaianzen/bousai/suigai/kj00017580.html>
- ・ 石川県 (2012) : 石川県津波浸水想定区域図の作成について.
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/kikikanri_g/tsunami_info.html
- ・ 福井県 (2012) : 福井県における津波シミュレーション結果の公表について.
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kikitaisaku/kikitaisaku/tunami-soutei.html>
- ・ 鳥取県 (2012) : 鳥取県津波対策検討委員会.
<https://www.pref.tottori.lg.jp/273953.htm>
- ・ 島根県 (2012) : 島根県津波浸水想定区域マップ.
https://web-gis.pref.shimane.lg.jp/bousai_shiryo/tsunamishinsui_souteizuH29.html
https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/bosai_shiryo/tsunamishinsui_souteizuH29.html
- ・ 山口県 (2015) : 山口県津波浸水想定図.
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/6/12640.html>